年報 25

平成 24 年度(2012.4.1-2013.3.31)

千葉県立中央博物館

目　次

平成 24 年度 1 年間のあゆみ・・・・・・・・ ii

1　資料収集・整理保存
1A　本館（登録点数、資料収集、借用、利用、保存・管理）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1B　大利根分館（　〃　）・・・・・・・・・・・・ 5
1C　大多喜城分館（　〃　）・・・・・・・・・・・ 6
1D　分館海の博物館（　〃　）・・・・・・・・・・・ 7

2　調査研究
2.1　研究課題（館企画・助成研究・共同研究）・・ 8
2.2　研究成果の公表（シンポジウム・セミナー・研究紹介展示・研究報告の発行・執筆・発表）・ 9
2.3　研究交流（海外調査・海外研究員・館友、共同研究員、市民研究員、研究生の受入）・・・・ 10
2.4　学会・研究会の委員受託・・・・・・・・・・ 10

3　展示
3A　本館（常設展示、企画展示、出前展示）・・・・ 11
3B　大利根分館（企画展示、出前展示）・・・・・・ 17
3C　大多喜城分館（常設展示、企画展示）・・・・・ 19
3D　分館海の博物館（　〃　）・・・・・・・・・・ 21

4　教育普及
4A　本館（講座・観察会、展示観覧支援、フィールド・ミュージアム、学習キット貸出・製作、各種連携（学校・団体・友の会・その他）、人材教育支援、質問相談・委員受託、ボランティア） 23
4B　大利根分館（講座、展示解説、フィールドミュージアム、学習キットの貸出・製作、各種連携（学校・団体）・・・・・・・・・・・・・・・ 31
4C　大多喜城分館（講座、展示解説、学習キットの貸出・製作、各種連携（学校・団体）、人材教育支援）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
4D　分館海の博物館（講座・観察会、展示解説、フィールドミュージアム、学習キットの貸出、各種連携（学校。団体）、人材育成支援、委員受託、ボランティア）・・・・・・・・・・・・・・ 35

5　情報発信
5.1　出版物・印刷物の発行・・・・・・・・・・・・ 37
5.2　インターネットによる情報発信（サイト更新、メルマガ配信、ツイッター、デジタルミュージアムの公開、アクセス件数）・・・・・・・・・ 39
5.3　マスコミを通じての発信（記者発表・行事情報の発信・取材対応・メディア掲載）・・・・・ 40

6　県立博物館ネットワーク
6.1　県立博物館情報システム・・・・・・・・・・ 41
6.2　千葉県美術館・博物館職員等研修会・・・・・ 42
6.3　千葉学講座・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

7　入館者状況
7.1　月別入館者数・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
7.2　団体入館状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 44

8　予算・決算
8.1　歳入決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
8.2　歳出決算額・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
8.3　外部資金（予算額）・・・・・・・・・・・・・ 46

9　組織・運営
9.1　博物館協議会・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
9.2　館組織・職員・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
9.3　運営推進チーム・・・・・・・・・・・・・・・ 49

10　千葉県立中央博物館友の会
10.1　会員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
10.2　役員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
10.3　事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

開館日・入場料・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

<データ編>
1A　資料の収集・借用・利用（本館）・・・・・・・ 1
1B　〃　（大利根分館）・・・・ 7
1C　〃　（大多喜城分館）・・・ 9
1D　〃　（分館海の博物館）・・ 12

2　調査研究
2.1　研究課題成果・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
2.2　職員の執筆活動・研究発表・・・・・・・・・・ 28
2.3　研究交流（海外調査・海外研究員・館友・共同研究員・市民研究員・研究生の受入、客員研究員・学会委員受託）・・・・・・・・・・・・・ 35

4A　教育普及（本館）
講座・観察会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
展示観覧支援（ミュージアムトーク等）・・・・ 44
学習キット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
学校支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
職場体験・博物館実習・教員研修等・・・・・ 50
団体・機関支援・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
友の会支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
4B　教育普及（大利根分館）・・・・・・・・・・・ 57
講座、学習キット、団体支援（学校・一般）
4C　教育普及（大多喜城分館）・・・・・・・・・・ 61
講座、学習キット、団体支援（学校・一般）、教員研修
4D　教育普及（分館海の博物館）・・・・・・・・・ 65
講座・観察会、展示解説、学習キット、団体支援（学校・一般）、職場体験・博物館実習・教員研修

5　情報発信
5.2　　ウェブサイト更新記事・メルマガコラム・・・ 69
5.2.4　デジタルミュージアム公開コンテンツ・・・ 70
5.3.3　取材対応一覧・・・・・・・・・・・・・・・ 71
5.3.4　新聞雑誌掲載記事一覧・・・・・・・・・・・ 74

7　団体入館状況（種類・地域内訳）・・・・・・・ 77

所在地

本文に、☞データ編とある事業は、データ編で詳細を参照ください。

平成 24 年度 1 年間のあゆみ

平成 24 年

4 月	1 日	千葉県立博物館情報システムの新システム稼働開始
		庶務部に企画調整課を新設。生態・環境研究部の生態学研究科と環境科学研究科は生態学・環境研究科に統合。
		研究員の職名の一部変更（主任上席研究員の新設）
	22 日	定期総会の開催（友の会）
5 月	26 日	企画展「水郷を旅する人々 Ⅱ」開始（6 月 24 日まで）（大利根）
7 月	3 日	生態園トピックス展「第 9 回生態園ギャラリー」開始（9 月 2 日まで）（本館）
	7 日	企画展「シカとカモシカ ―日本の野生を生きる―」開始（9 月 17 日まで）（本館）
	12 日	収蔵資料展「絵図と絵画」開始（10 月 21 日まで）（大多喜城）
	14 日	収蔵資料展「夏休みスペシャル 海のカニ･川のカニ」開始（9 月 2 日まで）（海）
	26 日	平成 24 年度第 1 回千葉県博物館協議会開催
8 月	15 日	博物館実習開始（8 月 23 日まで）
	19 日	自然誌シンポジウム「どうする？ 房総のシカと生物多様性保全」開催（本館）
9 月	8 日	収蔵品展「古い道具とむかしのくらし」開始（9 月 30 日まで）（大利根）
10 月	1 日	大利根分館季節休館（～3 月 31 日）
	6 日	秋の展示「おもしろ研究紹介」開始（12 月 2 日まで）（本館）
	14 日	当館の PR を含む宝くじの CM が民放テレビ各局から関東 7 都県市にて放送開始（本館）
	16 日	生態園トピックス展「ムカデとヤスデ」開始（12 月 9 日まで）（本館）
	20 日	特別展「ティラノサウルス ―肉食恐竜の世界―」開始（12 月 24 日まで）（本館）
	26 日	企画展「上総の仏教美術」開始（12 月 9 日まで）（大多喜城）
11 月	11 日	JST のサイエンスアゴラ（於：日本科学未来館）において、企画展「シカとカモシカ」３館連携に関するポスター発表が審査委員特別賞を受賞
12 月	7 日	「『世界最大のトドの化石』の発見」記者会見（本館）
	13 日	平成 24 年度第 2 回千葉県博物館協議会開催

平成 25 年

1 月	12 日	第 4 回関東地区博物館協会共同企画展「水郷を旅する人々」開始（2 月 3 日まで）（本館）
		出土遺物巡回展「時空を超えて― 市原市ちはら台の発掘ものがたり―」開始（2 月 24 日まで）（本館）
2 月	5 日	生態園外周の木塀一部改修工事着工（3 月 27 日終了）
	16 日	マリンサイエンスギャラリー「深い海に暮らす生きものたち」開始（6 月 2 日まで）（海）
	19 日	「『新種植物イスミスズカケ』の発見に関する公開」記者会見（本館）
	24 日	当館の収蔵資料をモチーフとしたオリジナルマグネットを来館者等に配布開始
	26 日	生態園トピックス展「写真でみる生態園の生きものたち」開始（5 月 6 日まで）（本館）
	28 日	千葉県美術館・博物館職員等研修会開催
3 月	13 日	平成 24 年度第 3 回千葉県博物館協議会開催
	16 日	春の展示「ナッツ&ベリー」開始（5 月 12 日まで）（本館）
	24 日	ツイッターによる情報発信を開始（本館・大利根・大多喜城）
	29 日	当館刊行物の PDF 公開を開始

1A　資料収集・整理保存　〈本館〉

資料の収集・整理・利用提供・保存管理を行った。

1A.1　資料の登録点数

平成 25 年 3 月末現在

分野	年間登録点数	総登録点数	情報システム登録点数
全資料合計　()内は 24 年度末数値	15,737 (32,240)	815,114 (799,377 ※5)	156,374 (135,733)
動物資料	**6,212**	**249,725**	**76,400**
哺乳類	22	5,227	685
鳥類	0	1,666	0
魚類	690	14,223	14,193
両棲・は虫類	0	2,050	0
昆虫	4,437	142,945	50,085
甲殻類	384	11,598	8,781
カブトガニ・ウミグモ・多足類 ※1	-8	593	571
クモ類	63	786	238
軟体動物	616	69,507	1,847
多毛類	8	1,054	0
その他無脊椎動物	0	76	0
植物・菌類資料	**10,669**	**377,615**	**56,051**
維管束植物	10,237	295,612	35,055
蘚苔類	432	34,764	4,956
藻類	0	5,920	3,377
植物資料小計	21,338	713,911	43,388
地衣類	0	14,652	6,206
担子菌類	0	23,412	6,265
子嚢菌類他	0	3,079	190
変形菌類	0	176	2
菌類資料小計	0	41,319	12,663
地学資料	**2,831**	**32,421**	**22,724**
岩石・鉱物	1,987	15,449	15,458
地層（はぎとりなど）	0	26	22
植物化石	0	115	50
脊椎動物化石	749	7,620	1,101
軟体動物化石	40	5,365	3,944
その他無脊椎動物化石	55	2,810	1,932
地学景観画像	0	217	217
その他	0	819	0
自然誌合計	**19,712**	**659,761**	**155,175**
歴史資料 ※2	**-8,893**	**7,186**	**780**
古文書・古典籍	60	1,405	211
美術工芸品	65	1,020	480
埋蔵文化財 ※2	-9,453	3,285	50
その他（工業・科学技術）	435	1,476	39
特殊資料・貴重書	**0**	**5,447**	
リンネ関係レンスコークコレクション	0	5,397	
その他稀覯本	0	50	
生態・環境資料	**409**	**21,403**	
生態・環境にかかわる生物音響資料	317	1,520	
生態・環境にかかわる映像資料	92	14,209	
生態・環境にかかわる文献資料	0	5,558	
環境教育資料	0	54	
地域の生態系に関する資料	0	62	
図書資料	**4,509**	**121,317**	**419**
図書（冊数）	1,272	47,187	419
雑誌（冊数）※3	3,237	74,130	0
（雑誌（誌数）※4）	70	5,014	

※1　資料廃棄による減少　　※2　資料点数の数え方の変更による減少

※3　増加（3240 冊）-廃棄（3 冊）　　※4　登録点数に含まない

※5　23 年度年報にて総登録点数を 799,537 点と掲載したが、当該年度の変形菌類の増加点数に誤り（5 増のところ 165 増と報告）を確認したため、上記のとおり訂正する。

1A.2　資料の収集　☞データ編

購入、寄贈、寄託、交換、館員による収集（採集等）のうち、本年度は以下の資料収集を行った。

収集方法	資料系	件数	点数
寄贈	地学資料	1	11
	動物資料	2	2
	生態・環境資料	9	415
	小計	12	428
採集（館員による収集）	動物資料		6,211
	植物・菌類資料		10,669
	地学資料		2,831
	生態・環境資料		409
	小計		20,120
合計			20,548

1A.3　資料の借用　☞データ編

借用資料	展示室・展示名	件数	点数
常設展示資料	地学展示室	15	549
	生物展示室	2	33
	歴史展示室	22	868
	小計	39	1,450
企画展示資料	特別展「ティラノサウルス－肉食恐竜の世界－」	48	51
	企画展「シカとカモシカ －日本の野生を生きる－」	33	211
	春の展示「ナッツ＆ベリー －千葉の名産から世界の逸品まで－」	29	185
	関東地区博物館協議会共同企画展「水郷を旅する人々」	12	13
	トピックス展「第 3 回惑星地球フォトコンテスト入選作品展示会」	1	16
	トピックス展「牧野富太郎生誕 150 年展」	1	1
	トピックス展「世界最大のトドの化石が発見されました！」	1	1
	生態園トピックス展「ムカデとヤスデ」	8	41
	小計	132	518
調査研究資料	歴史資料	2	2,360
合計		174	4,329

1A.4 資料の利用 ☞データ編

1A.4.1 利用件数 105 件 1,879 点

利用方法	件数	点数
館内閲覧	3	243
館内撮影	13	133
貸出	26	448
研究用貸出	25	230
交換	1	50
デジタル情報の複製	29	706
デジタルミュージアム転載	8	69

1A.4.2 資料登録データの提供 213,307 点

資料系	分野	S-net・GBIF ※1	千葉県 GIS ※2	その他 ※3
動物資料	哺乳類		685	
	魚類	2,116	9,043	
	昆虫	12,884	43,048	
	甲殻類	4,000	390	
	カブトガニ・ウミグモ・多足類		570	
	クモ類		236	
	軟体動物		7,450	
	小計	19,000	61,422	
植物・菌類資料	維管束植物	4,000	87,045	12,627
	蘚苔類		10,395	
	藻類		3,378	
	地衣類		6,204	
	担子菌類		9,044	
	微小菌類		190	
	変形菌類		2	
	小計	4,000	116,258	12,627
合計		23,000	177,680	12,627

※1 S-net = 国立科学博物館サイエンスミュージアムネット、GBIF = Global Biodiversity Information Facility

※2 千葉県 GIS 提供件数は、前年度からの更新。

※3 岐阜大学教育学部

1A.4.3 図書の利用提供 1,066 冊

利用方法	冊数
長期貸出（館職員）	1,007 冊
書庫図書の閲覧（来館者）	12 件 59 冊
図書コピー（来館者）	74 件 922 枚

1A.5　資料の保存・管理

1A.5.1　IPM（総合的有害生物防除）・燻蒸の実施

収蔵環境の調査・保全、および資料の燻蒸を行った。

実施項目	内容
環境調査	生物生息調査（トラップ調査）　1 回 ・粘着トラップ（176 個）を設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計し、資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、発生源を特定し排除した。 ・ 調査区域：収蔵庫・展示室・1 階（講堂・研修室・学習情報センター等）
	温湿度測定　常時 ・ 自記温湿度計（設置場所：各収蔵庫・歴史展示室）
収蔵庫清掃	定期清掃　各収蔵庫 2 回実施
燻蒸・殺虫・殺菌	燻蒸釜の運転（殺虫・殺菌）　13 回 ・ 使用薬剤：酸化エチレン（商品名：エキヒューム S）
	低温処理(冷凍庫)による殺虫 ・実施なし
	高温処理(乾燥機)による殺虫 ・常時運転
施設・設備の改善	特になし

1A.5.2　資料の修理

■図書資料の館内修理　22 冊

配架場所	内訳
開架（閲覧コーナー・体験学習室）	16
書庫	6

1B　資料収集・整理保存　〈大利根分館〉

1B.1　資料の登録点数

平成 25 年 3 月 31 日現在

分野		年間登録点数	総登録点数	情報システム登録点数
全資料合計　()内は 24 年度末数値		57(36)	4,745(3,650)	2,048(2,048)
地学資料	古生物	0	1	1
動物資料	動物資料（鳥類）	0	262	262
歴史・民俗資料	民俗資料	0	569	569
	埋蔵文化財	0	253	253
その他	絵葉書	0	258	258
	古文書	0	705	705
小計		0	2,048	2,048
図書資料	図書（冊数）	23	1,293	0
	雑誌（冊数）	34	1,404	0
	雑誌（誌数）※	1	316	0

※　増加 41 誌-廃棄 7 誌。雑誌誌数は、登録点数には、含まない。

1B.2　資料の収集　☞データ編

収集方法	資料系	件数	点数
寄託	古文書・民俗資料	14	5,355
	地学資料	1	2
	小計	15	5,357

1B.3　資料の借用　☞データ編

借用資料	資料系	件数	点数
常設展示資料	古文書	1	8
	民俗資料	3	4
	美術資料	1	1
	埋蔵文化財	3	133
	地学資料	1	3
	小計	9	149
企画展示資料	企画展「水郷を旅する人々Ⅱ」	22	23
合計		31	172

1B.4　資料の利用　☞データ編

利用方法	資料系	件数	点数
閲覧	歴史	1	5
複製	歴史	4	25
貸出	歴史	6	13
合計		11	43

1C　資料収集・整理保存　〈大多喜城分館〉

資料の収集・整理・利用提供・保存管理を行った。

1C.1　資料の登録点数

平成 25 年 3 月末現在

分野		年間登録点数	総登録点数	情報システム登録点数
全資料合計　()内は 24 年度末数値		101(132)	3,512(3,411)	1,025(1,030)
歴史・民俗資料	歴史　※1	-7	740（247）	664
	生活	0	385	0
	芸術	0	1	0
	宗教	0	54	0
	文学	0	18	0
	古文書　※1	-2	297（299）	361
	考古	0	9	0
	その他　※1	15	424（409）	0
	小計	6	1,928	1,025
図書資料	図書（冊数）	53	833	
	雑誌（冊数）	42	751	
	雑誌（誌数）　※2	6	232	

※1　資料の返却 1 件（古文書 1 件 21 点）、および資料の再分類整理による増減。
※2　登録点数に含まない。

1C.2　資料の収集　☞データ編

収集方法	資料系	件数	点数
寄託	歴史・古文書・宗教・生活	70	822

1C.3　資料の借用　☞データ編

借用資料	資料系・展示名	件数	点数
常設展示資料・調査研究資料	歴史・古文書・宗教・生活	16	63
企画展示資料	企画展「上総の仏教美術　～夷隅・長生～」	26	49
合計		42	112

1C.4　資料の利用　☞データ編

利用方法	資料系	件数	点数
閲覧・館内撮影	古文書	2	41
貸出	歴史・生活	4	16
デジタル情報の複製	歴史・古文書・生活	28	37
合計		34	94

1C.5　資料の保存・管理

実施項目	内容
環境調査	生物生息調査（トラップ調査）　1 回 ・ 粘着トラップ（40 個） ・ 調査区域：収蔵庫・展示室・事務室等
	カビ類生息調査（空中浮遊カビ調査）　1 回 ・ 収蔵庫内 7 地点で衝突式サンプリング法により浮遊菌の測定を行った。
防虫防黴	除塵除菌処理 ・収蔵庫内でカビの発生の認められた資料の除塵除菌及び床・棚の除塵を行った

1D　資料収集・整理保存　〈分館海の博物館〉

資料の収集・整理・利用提供・保存管理を行った。

1D.1　資料の登録点数

平成 25 年 3 月末現在

分野		年間登録点数	総登録点数	情報システム登録点数
全資料合計 ()内は 24 年度末数値		166(241)	59,022(58,856)	5,781(5,781)
動物資料	海綿	0	299	0
	刺胞	9	5,933	845
	環形	6	2,073	618
	貝類	0	8,957	112
	頭足類	1	245	108
	甲殻類	0	2,553	706
	棘皮	0	1,562	179
	その他	5	386	20
	魚類	42	14,497	2,234
植物資料	種子植物	0	72	23
	藻類	102	6,932	936
画像資料	写真	0	12,215	0
	動画	0	1,416	0
図書資料	図書・雑誌等	1	1,882	0

1D.2　資料の収集

収集方法	資料系	点数
館員による収集（採集）	動物資料	63
	植物資料	102
	図書資料	1
	合計	166

1D.3　資料の借用　☞データ編

区分	展示名	件数	点数
企画展示	マリンサイエンスギャラリー「チーバくんと学ぶ　深い海に暮らす生きものたち」	5	12

1D.4　資料の利用　☞データ編

収集方法	資料系	件数	点数
研究用貸出	動物	7	**26**
デジタル情報の複製	植物・動物	10	**51**
合計		17	**77**

1D.5　資料の保存・管理

実施	内容
収蔵庫の燻蒸	ア．使用薬剤：　アルプ（酸化プロピレン＋アルゴン混合ガス） イ．燻蒸期間：　2012 年 10 月 14 日（日）～19 日（金） ウ．結果：　供試虫及び供試菌の 100%死滅をもって、乾燥収蔵庫内の殺虫・殺卵・殺カビが良好に行われたことが確認できた。
燻蒸装置の運転	ア．方法：　乾燥収蔵庫を密閉し、間熱気化器により薬剤を 60g/m³投入して 48 時間燻蒸を行った。燻蒸後は、活性炭吸着装置によるガス回収作業後、軸流扇に風管接続して館外に強制排気した。 イ．回数：　1 回

2　調査研究

調査研究、研究成果の公表・周知、研究交流等を行った。

2.1　研究課題

2.1.1　館企画の研究課題　97 件　☞データ編

	種別	研究課題	件数
本館 大利根分館 大多喜城分館	重点研究	房総丘陵の自然－過去、現在、未来－：植物学 〃　：動物学 〃　：地学	3
	地域研究	地球誌系：1 房総の大地から探る地球の歴史 2 房総半島南部の大地の動きをさぐる 3 房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人のくらしの関連性	8
		生命誌系　1：房総の分類学的多様性の特徴とその保全	14
		生命誌系　2：房総の生態学的多様性の特徴とその保全	11
		人類誌系：房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究	12
		博物館誌系　：　博物館とその社会的役割に関する研究	2
	普遍研究	地球誌系：地形地質学的多様性に関する基礎研究	10
		生命誌系　1：分類学的多様性に関する基礎的研究	9
		生命誌系　2：生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究	11
		人類誌系：景観史という新領域の創出	5
		博物館誌系：博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究	2
	小計		87
分館海の博物館	房総半島の海洋生物相とその特徴　房総半島沿岸の魚類相と繁殖 〃　房総半島の海産無脊椎動物相 〃　房総半島沿岸の海藻相		3
	専門研究		7
	小計		10

2.1.2　助成を受けた研究課題・他機関との共同研究課題　35 件　☞データ編

種別	件数
文部科学省科学研究費補助金による研究（研究代表）	10
文部科学省科学研究費補助金による研究（研究分担）	6
その他助成金による研究（研究代表・研究分担）	9
他機関との共同研究課題	10

2.2 研究成果の公表・周知

2.2.1 自然誌シンポジウムの開催 1回

学問の発展に寄与すると共に、県民への還元を図るため、専門的なテーマを掲げて学術シンポジウムを開催した。

テーマ：「どうする？ 房総のシカと生物多様性保全」

開催日： 2012 年 8 月 19 日 (10:30～15:30)

場所： 本館講堂

担当： 落合啓二

内容： 千葉県のニホンジカの保護管理とニホンジカによる生物多様性への影響について

共催： 千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター

対象・定員： 小学 3 年生以上(小学生は保護者同伴)・200 名

プログラム：

①趣旨説明および千葉のシカの歴史の概要紹介 落合啓二（千葉県立中央博物館）

②講演

1 千葉のシカの保護管理の現状と課題 浅田正彦（千葉県生物多様性センター）

2 房総の自然に対するシカの影響 鈴木牧（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

3 植生学会が取りまとめた植生に対するシカの全国的な影響 大野啓一（千葉県立中央博物館）

4 シカ個体群と環境の変遷から生態系保全を考える 揚妻直樹（北海道大学・北方生物圏フィールド科学センター・和歌山研究林）

③パネルディスカッション

コーディネーター 花輪伸一（WWFJapan）

パネリスト 浅田正彦・鈴木牧（東京大学）・大野啓一・揚妻直樹（北海道大学）

参加者数： 115 人

※本シンポジウムは、企画展「シカとカモシカ－日本の野生を生きる－」と関連して開催した。

2.2.2 セミナーの開催 9回

研究事業活性化のため、研究員の研究成果紹介や最近の研究動向などを発表し、研究員間の情報交換を行った。

①中央博セミナー（本館）

	開催日	発表テーマ	発表者
1	1 月 16 日（水）	系統学が解き明かす魚類進化の謎 ―魚類進化ミトゲノミクスの到達点と今後の展開―	宮正樹

②海博セミナー（分館海の博物館）

	開催日	発表テーマ	発表者
1	6 月 27 日（水）	沿岸性魚類の繁殖行動を観察してわかること	川瀬裕司
2	7 月 12 日（木）	ニュージーランドの海藻について	ウエンデイ・ネルソン（ニュージーランド国立水圏科学研究所）
3	11 月 1 日（木）	サラサエビ科エビ類（甲殻亜門：十脚目）の分類学的研究	奥野淳兒
5	11 月 8 日（木）	イソギンチャク類(刺胞動物門：花虫綱)の分類学的研究	柳 研介
5	11 月 15 日(木)	アサクサノリの話	菊地則雄
6	11 月 22 日(木)	アジサイ属タマアジサイ類の分類と分布	青木慎哉
7	11 月 29 日(木)	磯の生物モニタリング	村田明久
8	12 月 11 日(火)	房総における元禄地震と津波	本吉正宏

2.2.3 研究紹介展示 3件

中央博物館研究員による国内および海外での調査研究活動や最新の研究成果のパネル紹介。(場所：本館展示室)

期間	展示名	担当
前年度 2 月 1 日～（次年度継続）	地域の音を未来に伝える地図	大庭照代
前年度 2 月 1 日～2013 年 2 月 20 日	ヌエゴケの正体−シダ植物かコケ植物か？	古木達郎
2013 年 2 月 20 日～（次年度継続）	世界で千葉県にだけ：新種「イスミスズカケ」の発見	斎木健一

2.2.4　研究報告の発行　3誌

①Natural History Research　Vol.12 No.2　2013年3月31日発行

著者	論文名	ページ
Tatsuwo Furuki and Benito C.	Taxonomical studies of the Family Aneuraceae (Marchantiophyta) of Singapore.	p.71-79
Tomoyuki Komai	A new species of the hippolytid shrimp genus *Lebbeus* (Crustacea: Decapoda: Caridea) from lower bathyal zone in the Izu Islands, central Japan.	p.81-89
Tomoyuki Komai	Records of four species of the pylochelid hermit crab genus *Trizocheles* Forest, 1987 (Crustacea: Decapoda: Anomura) from the Sagami Sea and Izu Islands, central Japan, with descriptions of three new species.	p.91-112

②千葉県立中央博物館自然誌研究報告　第12巻　第2号　2013年2月28日発行

	著者	論文名	ページ
原著論文	川瀬裕司	南房総で発見されたオオウナギ *Anguilla marmorata*	p.55-59
報告	大庭照代	千葉県立中央博物館「自然の音および音環境録音コレクション」DISCOGRAPHY：収集および刊行資料	p.61-91

③千葉県立中央博物館研究報告－人文科学－第13巻　第1号　2013年1月31日発行

	著者	論文名	ページ
調査報告	小林裕美	梵天に見る房総の出羽三山信仰の今	p.1-81

2.2.5　研究員の執筆・研究発表　537件　☞データ編

活動	人数	件数	内訳
学術論文・学術書への執筆	22	76	学術論文69件、学術書7件
報告書への執筆	14	37	
普及書への執筆	35	168	
ウェブサイト・メルマガへの執筆	27	145	ウェブサイト109件、メルマガ36件
口頭発表	32	111	

2.3　研究交流　☞データ編

2.3.1　海外調査・海外研究員の来訪

	種類	人数	備考
本館	職員の海外調査	1	スリランカ
	海外研究員の来訪	3	韓国（博物館）
分館海の博物館	職員の海外調査	1	アメリカ合衆国
	海外研究員の来訪	1	ニュージーランド

2.3.2　館友、共同研究員、市民研究員、研究生の受入　☞データ編

	種類	人数	内訳	対応研究員数	（平成23年度）
本館	館友	2	継続2		2
	共同研究員	19	継続16、新規3	9	25
	市民研究員	39	継続33、新規6	10	38
	研究生	1	継続1	1	4
	合計	61		16	69

館友：退職後も当館において調査研究活動を継続する当館の元研究職員。
共同研究員：当館職員と共同で、当館の資料・設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家。
市民研究員：当館職員の助言により、館内外で調査研究活動を行う市民。
研究生：当館職員が大学と連携して研究指導を行う大学・大学院在籍の学生。

2.3.3　客員研究員・学会委員等の受託　18名　26件　☞データ編

種類	人数	件数
客員研究員	4	4
学会委員	15	22

※人数計は重複を除く

3A　展示　<本館>

常設展示の一部を更新し、企画展示・出前展示を開催した。

3A.1　常設展示

3A.1.1　展示更新等　25 箇所

展示資料等の更新（追加・入替等)、清掃・保守・点検を行った。

■展示更新等　14 箇所

展示室名	展示コーナー	更新内容
地学展示室	地震と房総	「2011 年東北地方太平洋沖地震による津波被害」パネル追加 「平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震」解説パネル追加
生物展示室	干潟ジオラマ	ジオラマ解説シートの更新
分類展示室	貝類	「マツカサガイ」「ヨコハマシジラ」追加（ミヤコタナゴ展示に関連） 「スズカケボラ」「ウメノハナガイ」追加（トピックス展に関連）
小動物展示室		「ミヤコタナゴ」追加
歴史展示室	ゆれる幕末と房総	「諸国名所百景　船橋大神宮」「成田参詣記」追加
	近世	「見どころパネル」２箇所新設（「村と町」「揺れる幕末と房総」）
案内所		「オニビシのたね」、「アオダイショウの抜け殻」、その他追加

■展示資料の清掃・保守・点検　11 箇所

展示室名	資料名
地学展示室	「布良の海食洞ジオラマ」
生物展示室	「庭先の生物ジオラマ」「鳥に食べられる植物」「秋に実る果実模型」
分類展示室	「種子の拡大模型」「ヒカゲヘゴ模型」
歴史展示室	「蒸気船通運丸」「千葉教会教会堂」
自然と人間のかかわり展示室	「谷津田の水源ジオラマ」「川辺の今昔」「干潟の生物による自浄作用」

3A.1.2 音声ガイドの利用　1,245 人

常設展示の解説が聞ける、音声ガイドの貸出を行った。ガイドの台数 10 台。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
118	63	51	105	183	129	70	163	135	68	67	93	1,245

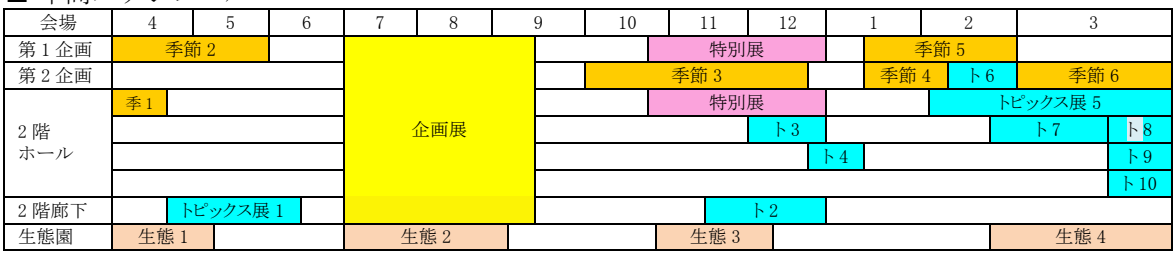
3A.2　企画展示

■ 開催概要

	開催回数	入場者数	観覧料※2	会場
特別展	1	50,631	800 円	第 1 企画展示室等
企画展	1	36,081	500 円	〃
季節展等	6	50,219	300 円	〃
トピックス展※1	10	50,488	300 円	2 階ホール・展示室廊下等
生態園トピックス展	4	41,033	無料	生態園オリエンテーションハウス
計	22	228,452		

※ 1　トピックス展は、当初計画以外に行う、速報性の高い展示
※ 2　常設展示の観覧料を含む（金額は一般個人）

■ 年間スケジュール



季・季節＝季節展、ト＝トピックス展、生態＝生態園トピックス展

■開催詳細

	企画展示名	開催期間	開催日数	入場者数

開催期間が年度をまたがない展示は、開催日数および入場者数内訳の記載を省略する。

■特別展

1	特別展「ティラノサウルス　－肉食恐竜の世界－」	2012 年 10 月 20 日～12 月 24 日	57 日	50, 631 人

展示概要　：　最新の発見と研究成果に基づき復元されたティラノサウルス全身骨格「パーフェクト・スタン」を公開。全く新しいティラノサウルスを徹底解剖して、肉食恐竜の秘密を紹介。
主な展示資料　：　ティラノサウルス全身骨格・カルノタウルス全身骨格・アフロベナトル全身骨格などの肉食恐竜標本
行事　：　講演会「恐竜フェスタ 2012 in 千葉」（11/23）、体験イベント「恐竜くんのイラスト教室 ～恐竜を描いてみよう～」（11/11, 12/24）、「恐竜折り紙教室」（12/2）、ミュージアムトーク（10/20, 11/4, 11/25, 12/23）、突撃、恐竜調査隊！（会期中の土日祝 22 日間）
解説書・配布資料　：　2 点　解説資料「肉食恐竜ミニ図鑑」（A4, 8p）、展示室案内図/展示品リスト（A4, 4p）
会場　：　2F ホール、第 1 企画展示室
担当　：　伊左治鎭司・宮野伸也・岡崎浩子・高橋直樹・八木令子・加藤久佳・石渡克彦・宮正樹・林浩二・立和名明美
館内協力　：　友の会ボランティア
主な連携先　：　インターキッズ（株）・ゴビサポートジャパン（株）

■企画展

1	企画展「シカとカモシカ　－日本の野生を生きる－」	2012 年 7 月 7 日～9 月 17 日	69 日	36, 081 人

展示概要　：　日本の野生動物を代表する二大草食獣であるニホンジカとニホンカモシカなどの標本・映像・写真を長年の研究成果をもとに紹介。
主な展示資料　：　世界のシカとカモシカの剥製、角、骨格、毛皮・縄文弥生骨角製品・星野道夫氏写真パネル、原稿、愛用品など 490 点
行事　：　記念講演会「星野道夫と見た風景」（7/15）、講演会「日本の野生を追う ークマ･サル」（7/29）、「縄文人・弥生人とシカとのかかわり」（9/9）、「ニホンカモシカを追って 36 年」（9/15）。自然誌シンポジウム「どうする？ 房総のシカと生物多様性保全」（8/19）、カモシカクイズ「この顔をさがせ！」（全 24 回土日祝実施）、○×クイズ大会「めざせ！ シカ博士・カモシカ博士」（7/21・8/15）、体験イベント「シカの骨パズルに挑戦！」（8/5・9/1）、「ヤマビルとたわむれよう」（7/28・9/2）、ミュージアムトーク、3 館園コラボ企画「ちばジカプロジェクト at 千葉市科学館・千葉市動物公園・千葉県立中央博物館。
解説書・配布資料　：　A4 版チラシ、解説資料（A4 版 8 ページ）「シカ・カモシカをもっと知ろう」
会場　：　2F ホール、第 1 企画展示室、第 2 企画展示室、展示室通路
担当　：　落合啓二
館内協力　：　宮野伸也、原 正利、山口 剛、大木淳一、尾崎煙雄、桑原和之、倉西良一、林 紀男、郷堀英司、三浦和信、白井 豊、島立理子、立和名明美、大庭照代、大野啓一、萩野康則、加藤久佳、乙竹孝文、小田島高之
クイズ協力：友の会ボランティア
主な連携先　：　千葉市科学館・千葉市動物公園

■季節展等

1	科博コラボ・ミュージアム in 千葉「恐竜アロサウルスとその時代の生き物たち」	2012 年 1 月 12 日～4 月 8 日	7 日	2,616 人

開催日数 ： 計 76 日（前年度 69 日、本年度 7 日）
入場者数 ： 計 19,867 人（前年度 17,251 人、本年度 2,616 人）
展示概要 ： 国立科学博物館所蔵のアロサウルス実物全身骨格標本を展示し、1 億 5 千万年前の実物化石のもつ質感と迫力を味わってもらった。
主な展示資料 ： アロサウルス全身骨格標本・ステゴサウルス上腕骨・始祖鳥化石・魚類化石ほか
借用資料の有無 ： H23 年度有り
行事 ： 24 年度は無し
解説書・配布資料 ： A4 版解説資料（4 種類）
会場 ： 2F ホール
担当 ： 新和弘、伊左治鎭司
館内協力者 ： 岡崎浩子、高橋直樹、加藤久佳、森田利仁
主な連携先 ： 国立科学博物館

2	春の展示「芽ばえ」	2012 年 3 月 17 日～5 月 27 日	49 日	8,982 人

開催日数 ： 計 62 日（前年度 13 日、本年度 49 日）
入場者数 ： 計 13,283 人（前年度 4,301 人、本年度 8,982）
展示概要 ： タネから発芽したばかりの小さな植物である芽ばえ。山野草や森の木々、果物などのさまざまな芽生えのかわいらしい姿と特徴を紹介。
主な展示資料 ： 双葉のある芽ばえ・針葉樹の芽ばえ・単子葉の芽ばえ・樹木の芽ばえ・山野草の芽ばえ・果物の芽ばえなど、約 291 種、計 336 点（写真パネル 151 点、芽ばえ標本 134 点、化石 4 点、芽ばえ細密画原画 35 点、レプリカ 5 点など）。
行事 ： 観察会「芽ばえと芽吹きウォッチング」(4/29)、講演会「芽ばえさまざま ー形と生態の多様性ー」（5/19)、ミュージアムトーク（4/14, 4/28, 5/12, 5/26）
解説書・配布資料 ： A4 版チラシ．展示解説書（A3 版二つ折）
会場 ： 第 1 企画展示室
担当 ： 大野啓一
館内協力者 ： 山口剛、萩野康則、林浩二

3	秋の展示「おもしろ研究紹介」	2012 年 10 月 6 日～12 月 2 日	50 日	20,127 人

展示概要 ： 博物館の学芸員が行うさまざまな専門研究の最新の研究成果 4 件を紹介。「南房総　嶺岡山地の変な石はどこから？」（高橋）/「遺跡の貝を調べる」（黒住）/「水生昆虫の謎に迫る」（倉西）/「水生植物をよみがえらせる」（林紀男）
主な展示資料 ： 各展示解説パネル。貝類・岩石（房総半島嶺岡帯）・水草標本
解説書・配布資料 ： A4 版チラシ
会場 ： 第 2 企画展示室
担当 ： 倉西良一・黒住耐二・高橋直樹・林紀男
館内協力 ： 原正利・宮野伸也・岡崎浩子・大木淳一・桑原和之

4	第 4 回関東地区博物館協会共同企画展「水郷を旅する人々」	2013 年 1 月 12 日～2 月 3 日	20 日	2,731 人

展示概要 ： 近世・近代の水郷観光の歴史と、水郷を訪れた文人・文豪の足跡と作品を紹介した。
主な展示資料 ： 亜欧堂田善「總州眞景図藁」、渡邉崋山「四州眞景(複製)」、歌川広重「利根川帰雁之図」、蒸気船通運丸模型など 35 点
行事 ： 展示解説(会期中の毎土日、午前午後)全１８回、関東地区博物館協会によるスタンプラリー（会期中）
解説書・配布資料 ： 解説シート４点(A４表裏)
会場 ： 第 2 企画展示室
担当 ： 内田龍哉
館内協力 ： 郷堀英司、小林裕美、糠谷隆、佐藤誠、三浦和信
主な連携先 ： 県立中央図書館、県立関宿城博物館

5	出土遺物巡回展「時空を超えて― 市原市ちはら台の発掘ものがたり―」	2013 年 1 月 12 日～2 月 24 日	38 日	12,596 人

展示概要 ： 房総の多くの遺跡の中で質量ともに傑出した存在である草刈遺跡をはじめとした市原市ちはら台地区の遺跡群を紹介。
主な展示資料 ： 旧石器時代から奈良・平安時代にかけての土器・石器・鉄器・陶器など資料 1,294 点、パネル 36 点。
行事 ： 「遺跡調査研究発表会」（2/2)、ミュージアムトーク（1/19・1/27・2/9・2/24）
解説書・配布資料 ： A4 版チラシ、解説書（A4 版 16ｐ）
会場 ： 第 1 企画展示室
担当 ： 三浦和信
館内協力 ： 郷堀英司、内田龍哉、小林裕美、ボランティア：3 名
主な連携先 ： (公財)千葉県教育振興財団、千葉県立房総のむら、千葉県立関宿城博物館

6	春の展示「ナッツ&ベリー　－千葉の名産から世界の逸品までー」	2013 年 3 月 16 日～5 月 12 日	14 日	3,167 人

開催日数 ： 計 50 日（本年度 14 日、次年度 36 日）
入場者数 ： 計 9,723 人（本年度 3,167 人、次年度 6,556 人）
展示概要 ： 他の動物に種子を運んでもらうために進化したナッツやベリー。ヒトが食べてもおいしい木の実のいろいろを紹介。
主な展示資料 ： ミックスナッツの正体・いろいろなナッツ・千葉県のナッツ&ベリー・いろいろなベリー、七味唐辛子の正体・リキュールやケーキになったナッツ&ベリー
行事 ： 公開講座「イチゴ」 (3/24)、体験イベント「イチゴの食べくらべ」 (3/23・24・30・31)、ミュージアムトーク
解説書・配布資料 ： A4 版チラシ
会場 ： 第 1 企画展示室
担当 ： 古木達郎・天野誠・斎木健一
館内協力 ： 原正利、大野啓一、桑原和之、尾崎煙雄、島立理子、御巫由紀、大木淳一、郷堀英司、三浦和信、高橋直樹
主な連携先 ： 千葉県いちご組合連合会、（社）千葉県落下生協会、八街商工会議所落花生部会、千葉県農林総合研究センター、千葉県農林水産部生産販売振興課

■トピックス展

1	第 3 回惑星地球フォトコンテスト入選作品展示会	2012 年 4 月 21 日～6 月 17 日	50 日	8,308 人

展示概要 ： 日本地質学会の主催による地球科学系の写真展「惑星地球フォトコンテスト」の第 3 回入選作品を紹介。
主な展示資料 ： 最優秀賞 1 点を含む入選作品 10 数点
会場 ： 展示室廊下
担当 ： 高橋直樹
館内協力 ： 地学研究科
主な連携先 ： 日本地質学会

2	牧野富太郎生誕 150 年記念展	2012 年 11 月 16 日～12 月 26 日	35 日	14,997 人

展示概要 ： 牧野富太郎生誕 150 周年を記念して，千葉県の植物研究黎明期のようすを紹介。
主な展示資料 ： 当館所蔵の牧野博士が採集したコゴメガヤツリの標本・牧野博士の著作文献
会場 ： 展示室廊下
担当 ： 御巫由紀・天野誠

3	世界最大のトドの化石が発見されました！	2012 年 12 月 8 日～12 月 24 日	15 日	6,475 人

展示概要 ： 千葉県市原市朝生原（梅ケ瀬渓谷）から発見された約 90 万年前の巨大なアシカ科鰭脚(ききゃく)類の下顎骨(かがくこつ)化石を紹介。
主な展示資料 ： 梅ヶ瀬渓谷産トドの下顎骨化石、市原産アシカ類下顎骨化石、木更津産トドの下顎骨化石
解説書・配布資料 ： A4 解説資料（1 種類）
会場 ： 2F ホール
担当 ： 伊左治鎭司・大木淳一
館内協力 ： 岡崎浩子・立和名明美
主な連携先 ： 国立科学博物館

4	干支にちなんで －巳年－	2012 年 12 月 26 日～2013 年 1 月 10 日	7 日	542 人

展示概要 ： 来年の干支である蛇にちなんで名前がつけられたさまざまな生きものや岩石を紹介。
主な展示資料 ： ヘビトンボ、オオヘビガイ、ヘビギンポ、ジャノメガザミ、ヘビイチゴ、ヘビキノコモドキ、ジャゴケ、蛇紋岩など
会場 ： 2F ホール
担当 ： 宮 正樹
館内協力 ： 黒住耐二・立川浩之・古木達郎・天野　誠・斉藤明子・高橋直樹

5	世界で千葉県だけ：新種植物イスミスズカケ	2013 年 2 月 6 日～6 月 2 日	47 日	8,786 人

展示概要 ： 当館の調査ボランティアによっていすみ市で発見され、千葉大との共同研究で新種であることが判明したイスミスズカケを紹介。
主な展示資料 ： イスミスズカケ実物標本・イラスト
会場 ： 2F ホール
担当 ： 斎木健一

6	二五穴 －山をブチヌク用水路－	2013 年 2 月 16 日～3 月 3 日	14 日	3,029 人

展示概要 ： 房総丘陵の小櫃川周辺で発達してきた「二五穴」と呼ばれる用水路を紹介。
主な展示資料 ： 二五穴実物大模型、蔵玉折木沢地区地形模型、房総数学文庫
行事 ： ミュージアムトーク
会場 ： 第 2 企画展示室
担当 ： 島立理子
館内協力 ： 尾崎煙男・加藤久佳・大木淳一・宮野伸也・小田島高之・八木令子
主な連携先 ： 国立歴史民俗博物館

7	博物館で梅見物！	2013 年 2 月 20 日～3 月 15 日	21 日	3,782 人

展示概要 ： 当館所蔵の「梅」にまつわる浮世絵や古文書を特別公開。
主な展示資料 ： 浮世絵・古文書
会場 ： 2F ホール
担当 ： 内田龍哉
館内協力 ： 島立理子・御巫由紀・立和名明美

8	サクラサク	2013 年 3 月 23 日～4 月 7 日	8 日	2,178 人

開催日数 ： 計 14 日（本年度 8 日、次年度 6 日）
入場者数 ： 計 3,226 人（本年度 2,178 人、次年度 1,048 人）
展示概要 ： 桜の開花期に当たり、当館所蔵の桜に関する浮世絵・地誌・本草書を展示紹介する。
主な展示資料 ： 歌川広重「千駄木団子坂　花屋敷」（複製）、歌川広重「飛鳥山　北の眺望」（複製）、齊藤月岑著『江戸名所図会』、寺島良安著『和漢三才図会』　４点
会場 ： ２Ｆホール
担当 ： 内田龍哉
館内協力 ： 島立理子、立和名明美、御巫由紀

9	貝類新収蔵資料・伏見道雄貝類コレクション．パート 1	2013 年 3 月 26 日～4 月 26 日	6 日	1,498 人

開催日数 ： 計 28 日（本年度 6 日、次年度 22 日）
入場者数 ： 計 4,182 人（本年度 1,498 人、次年度 2,684 人）
展示概要 ： 伏見道雄氏が収集された、世界中の海産種を中心とした希少種を多く含む貴重な貝類のコレクションを紹介。
主な展示資料 ： 貝類標本 27 点
解説書・配布資料 ： 解説資料「貝類新収蔵資料・伏見道雄貝類コレクション．パート 1」A4 版, 1p.
会場 ： 2F ホール
担当 ： 黒住耐二
館内協力 ： 宮 正樹

10	ZooMuSee －超高解像度昆虫画像データベース－	2013 年 3 月 28 日～2014 年 3 月 28 日	4 日	893 人

開催日数 ： 本年度 4 日
入場者数 ： 本年度 893 人
展示概要 ： 昆虫の超高解像度画像を，マウスを使って自由に拡大縮小することができる超高解像度昆虫画像データベース「ZooMuSee」を紹介。
主な展示資料 ： 「ZooMuSee」をインストールしたコンピュータ・パネル
会場 ： 2F ホール
担当 ： 宮野伸也・斉藤明子・尾崎煙雄

■生態園トピックス展

1	生態園の花粉	2012 年 2 月 7 日～5 月 6 日	31 日	9,605 人

開催日数 ： 計 78 日（前年度 47 日、本年度 31 日）
入場者数 ： 計 19,746 人（前年度 10,141 人、本年度 9,605 人）
展示概要 ： 生態園にある代表的な植物について、花と花粉の組み合わせで紹介。
主な展示資料 ： スギやハンノキ、クロマツ、イヌシデなど生態園の樹木について、雄花の写真（デジカメ）と花粉の写真（光学顕微鏡画像）を 30 点。
行事 ： 「職員むけ解説会」（2/15）、講座「花粉のみわけ方ー技とコツ」①（2/26）、講座「〃」②（3/4）、友の会解説「生態園トピックス展の紹介」（3/14）、連休特別企画「新型ルーペでみる超小さな世界」（4/28）、友の会解説（5/2）、ミュージアムトーク（5/6）
解説書・配布資料 ： 解説書 A3 二つ折り、「生態園の花粉と花の図鑑①冬～初夏」（A4）
会場 ： オリエンテーションハウス
担当 ： 奥田昌明

2	第 9 回生態園ギャラリー	2012 年 7 月 3 日～9 月 2 日	54 日	8,204 人

展示概要 ： 来園者の撮影した夏の生態園の写真を募集して展示。投票期間（7/18～9/2）には約 3,000 名が投票、優秀作 6 点を選んだ。作品にコメント受付。ラミネート加工して園路にも設置。
主な展示資料 ： 来園者撮影による夏の生態園の写真 30 点。
行事 ： 撮影会（6/16・6/30・7/14）、ミュージアムトーク（8/18）
会場 ： オリエンテーションハウス
担当 ： 林浩二
館内協力 ： 生態学・環境研究科および環境教育研究科職員、生態園解説員

3	ムカデとヤスデ	2012 年 10 月 16 日～12 月 9 日	48 日	14,189 人

展示概要 ： たくさんの足で地面をはい回るムカデやヤスデなど、嫌われることの多い生きものを分かりやすく紹介。
主な展示資料 ： ムカデ・ヤスデに関する解説パネル 26 点、写真パネル 24 点、液浸標本 45 点、拡大模型 2 点など
行事 ： ミュージアムトーク
解説書・配布資料 ： ムカデとヤスデ. 友の会ニュース, (41): 8-9. 千葉県立中央博物館友の会のコピー
会場 ： オリエンテーションハウス
担当 ： 萩野康則

4	写真でみる生態園の生きものたち	2013 年 2 月 26 日～5 月 6 日	30 日	9,035 人

開催日数 ： 計 61 日（本年度 30 日、次年度 31 日）
入場者数 ： 計 17,228 人（本年度 9,035 人、次年度 8,193 人）
展示概要 ： これまで撮りためられてきた，植物・昆虫・鳥・キノコなど生態園のさまざまな生きものたちの写真を一堂に紹介。
主な展示資料 ： 春夏秋冬ごとに生態園内で撮影した植物，キノコ，コケ，虫，クモ，鳥，両生類などの写真 270 点
行事 ： 展示解説会（3/13：友の会向けを兼ねて）、展示解説会（3/21：中央博ボランティア向けを兼ねて）
解説書・配布資料 ： 解説書：図書室・生態園オリエンテーションハウス配置記録用に数部限定作製（A4）、配布資料：なし
会場 ： オリエンテーションハウス
担当 ： 林 紀男
館内協力 ： 大野啓一、萩野康則、宮野伸也、斉藤明子、大木淳一、古木達郎、原田浩、山口剛、尾崎煙雄、御巫由紀、黒住耐二、桑原和之、倉西良一、吹春俊光、平田和宏、宇山直子

3A.3 出前展示

館外イベントへのブース出展、当館資料の館外機関での展示を行った。

タイトル	期間	開催日数	観覧者数	会場	主な展示資料	担当
エコメッセ 2012 in ちば	2012 年 9 月 17 日（月）	1 日	200 人	幕張メッセ国際会議場	パネル展示等	桑原和之
サイエンスイベントのブース出展	2012 年 11 月 24 日(土)	1 日	160 人	東海大学付属浦安中・高校	星砂をさがそう体験イベント	加藤久佳
江戸風俗図屏風の展示公開	2013 年 2 月 9 日（土）～3 月 2 日（土）	19 日	16,095 人	さわやかちば県民プラザ（柏市）	江戸風俗図屏風（デジタル複製）	郷堀英司
芽ばえ展 ※	2013 年 3 月 21 日（木）～5 月 6 日（月）	9 日	2,168 人	さわやかちば県民プラザ（柏市）	写真パネル 37 点	大野啓一

※開催日数 計 40 日（次年度 31 日）、入場者数 計 9,052 人（次年度 6,884 人）

3B　展示　<大利根分館>

企画展示・出前展示を行った。

3B.2　企画展示

■年間開催概要　4 件 11,004 人

展示名	開催回数	日数	入場者数	観覧料　※
企画展	1	52	7,474	300 円
写真展	1	36	544	200 円
収蔵資料展	2	44	2,986	200 円
計	4	132	11,004	

※ 常設展示の観覧料を含む（金額は一般個人）

■実施詳細

1	企画展「水郷を旅する人々Ⅱ」	2012 年 5 月 26 日～6 月 24 日	30 日	6,010 人

展示概要 ： 水郷を訪れた文人墨客の紹介。
主な展示資料 ： 水郷をテーマにした書籍や文人に関係する資料などおよそ 80 点
行事 ： ミュージアムトーク・企画展記念講演会
解説書・配布資料 ： 解説書 A3 二つ折り 8 ページ「水郷を旅する人々Ⅱ」（A4）
会場 ： 第 3 展示室
担当 ： 糠谷隆
館内協力者 ： 内田龍哉

2	写真展「私が撮った水郷 2012」	2012 年 4 月 1 日～5 月 6 日	36 日	544 人

展示概要 ： 水郷地域の自然や文化を公募した写真で紹介する。
主な展示資料 ： 水郷地域で撮影された写真およそ 50 点
会場 ： 第 3 展示室
担当 ： 糠谷隆
館内協力者 ： 内田龍哉

3	収蔵資料展「空飛ぶいきものたち」	2012 年 7 月 21 日～9 月 2 日	44 日	2,986 人

展示概要 ： 鳥や翼竜など空飛ぶいきものたちの標本や生態を紹介する。
主な展示資料 ： 水鳥標本、翼竜・恐竜の化石等およそ 100 点
行事 ： ミュージアムトーク・企画展記念講演会
会場 ： 第 3 展示室
担当 ： 糠谷隆
館内協力者 ： 桑原和之、森田利仁

4	収蔵資料展「古い道具とむかしのくらし」	2012 年 9 月 8 日～9 月 30 日	22 日	1,464 人

展示概要 ： 小学 3 年生の「昔の暮らし」の学習単元に役立つ資料を紹介する。
主な展示資料 ： 江戸～昭和にかけての生活道具およそ 100 点
会場 ： 第 3 展示室
担当 ： 糠谷隆

3B.3　出前展示

小学校で当館資料の展示を行った。

展示名	校数	件数	日数	観覧者数	展示概要
古い道具とむかしのくらし	1	1	23	731	小学３・４年社会科の同名単元に対応し、水郷地域農家の民具を展示した。
昔の灯り	1	1	11	835	通常の展示の他、暗室化した展示室内で、行燈や燭台等の灯りに実際に火をともし、その明るさを体験する。
古い道具とむかしのくらし	10	10	65	6,099	水郷地域農家の民具を解説したパネルを展示した。
鳥の先祖は恐竜だった	6	8	219	4,785	恐竜の特徴や、鳥に近い動物であることを子ども向けに解説したパネルを展示した。
計	17	20	318	12,450	

※校数計は重複校を除く

■実施詳細

①学習キット展示

展示名	開始日	終了日	開催日数	会場	観覧者数
古い道具とむかしのくらし	2012.9.28	2012.10.31	23	千葉大学附属小学校	731
昔の灯り	2012.10.11	2012.10.22	11	千葉大学附属小学校	853

（担当：糠谷　隆･佐藤　誠）

②パネル展示「古い道具とむかしのくらし」

開始日	終了日	開催日数	会場	観覧者数
9月28日	10月31日	23	千葉大学附属小学校	731
12月3日	12月14日	11	市川市立妙典小学校	813
1月15日	1月18日	4	市川市立塩焼小学校	857
1月21日	1月23日	3	柏市立花野井小学校	252
1月24日	1月31日	8	茨城県潮来市立牛堀小学校	695
1月29日	2月7日	10	八街市立朝陽小学校	571
2月1日	2月8日	8	八街市立実住小学校	897
2月12日	2月15日	4	船橋市立高根東小学校	567
2月14日	2月18日	5	柏市立南部小学校	789
2月15日	2月22日	8	印西市立内野小学校	388
2月18日	2月21日	4	柏市立柏の葉小学校	270

（担当：糠谷　隆･佐藤　誠）

③パネル展示「鳥の先祖は恐竜だった」

開始日	終了日	開催日数	会場	観覧者数
9月28日	10月31日	23	佐倉市立青菅小学校	325
9月28日	10月31日	23	佐倉市立小竹小学校	178
11月1日	11月30日	23	佐倉市立小竹小学校	279
11月1日	11月30日	23	佐倉市立井野小学校	814
11月28日	1月11日	47	佐倉市立井野小学校	814
1月11日	2月13日	34	八千代市立大和田南小学校	645
2月13日	3月12日	28	八千代市立米本南小学校	795
3月12日	3月29日	18	八千代市立村上小学校	935

（担当：佐藤　誠）

3C　展示　<大多喜城分館>

常設展示を更新し、企画展示を開催した。

3C.1　常設展示

■ 展示更新

企画展示の合間に展示更新を行った。

展示室名	展示コーナー	更新内容
2 階展示室	房総の城と城下町	短刀（千代鶴）、太刀（固山宗平）、刀（長旨）、刀（備州長船祐）、槍（宗光）、薙刀（兼治）等
2 階展示室	房総の城と城下町	紺糸威百二十間筋兜、刀（伝青江貞次）、兎形変兜、鍔 7 点、鎧着用之次第、火縄銃切断模型、火縄銃機関部構造複製等
3 階展示室	房総の城と城下町	木造地蔵菩薩半跏像、大河内正質寄贈掛時計、篇額、キリシタン禁制制札、大多喜縣廳制札、樋口一葉書簡等

3C.2　企画展示

■ 年間開催概要

展示名	開催回数	開催日数	入場者数	観覧料　※
企画展	1	39	14,260	300 円
収蔵資料展	1	88	21,106	200 円
写真展	1	19	8,704	200 円
特別公開	2	114	32,499	200 円
計	5	260	76,569	

※ 常設展示の観覧料を含む（金額は一般個人）

■実施詳細

1	企画展「上総の仏教美術ー夷隅・長生ー」	2012 年 10 月 26 日～12 月 9 日	39 日	14,260 人

展示概要 ： 夷隅・長生地域の寺院等が所蔵している仏教美術に係る資料を紹介した。
主な展示資料 ： 木造阿弥陀如来坐像、絹本著色両界曼荼羅図、日輪寺密教法具など 55 点
行事 ： 講演会「上総の仏教美術」(11/11)、博物館セミナー「仏教美術を鑑る～かたちと願い～」(11/18)
解説書・配布資料 ： 解説書 A3 二つ折り、「上総の仏教美術～夷隅・長生～」 (A4)
会場 ： ２階展示室及び１階フロアー
担当 ： 村田憲一
館内協力者 ： 地引尚幸、福原宣之、郷堀英司、本吉正宏、三浦和信、筑紫敏夫

2	収蔵資料展「絵図と絵画」	2012 年 7 月 12 日～10 月 21 日	88 日	21,106 人

展示概要 ： 当館で所蔵している資料のうち、絵画で表現された資料を紹介した。
主な展示資料 ： 本多忠勝画像（県指定）、大河内正敏絵画（波に飛燕図）、錦絵（徳川御永代録）など 45 点
会場 ： 3 階展示室
担当 ： 福原宣之
館内協力者 ： 地引尚幸、村田憲一

3	写真展「大多喜城の四季」	2012 年 4 月 24 日～5 月 13 日	19 日	8,704 人

展示概要 ： 大多喜城をバックに四季折々の風景を撮影した作品を公募し、入選作を展示した。
主な展示資料 ： 背伸びして春光を待つ、大多喜城と桜、万緑に鯉幟、雪だまり、など 27 点（出品写真含む）
会場 ： １階フロアー
担当 ： 地引尚幸
館内協力者 ： 福原宣之、村田憲一

4	特別公開Ⅰ「江戸風俗図屏風」	2012 年 4 月 1 日～4 月 22 日 2012 年 9 月 19 日～10 月 21 日 2012 年 12 月 19 日～2013 年 1 月 14 日 2013 年 3 月 13 日～4 月 21 日	102 日	29,166 人

主な展示資料 ： 江戸風俗図屏風の高精細デジタル複製品。左隻（2 回）、右隻（2 回）
解説書・配布資料 ： A4 ちらし
会場 ： 1 階フロアー
担当 ： 地引尚幸
館内協力者 ： 福原宣之、村田憲一

5	特別公開Ⅱ「重要文化財　大薙刀」	2013 年 2 月 4 日～2 月 17 日	12 日	3,333 人

主な展示資料 ： 「大薙刀（伝法城寺）」「赤絲威大鎧（複製）」「後三年合戦絵巻」
会場 ： 2 階展示室
担当 ： 村田憲一
館内協力者 ： 地引尚幸、福原宣之

3D　展示　<分館海の博物館>

常設展示を更新し、企画展示を開催した。

3D.1　常設展示の更新

■ 展示更新

企画展示の合間に展示更新を行った。

展示室名	展示コーナー	更新回数
常設展示室	ユニット展示	1 回交換
〃	季節展示	3 回交換
〃	トピック展示	13 回更新
〃	自然観察エリアホワイトボード	19 回更新
〃	こんな研究をやっています	1 回更新

3D.2　企画展示の開催

■年間開催概要

展示名	開催回数	開催日数	入場者数
マリンサイエンスギャラリー	2	70	16, 803
収蔵資料展	1	48	21, 426
写真展	1	61	9, 068
計	4	179	47, 297

※ 年度またぎの企画展示の日数・入場者数は、本年度（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日）のみの数値。

■実施詳細

1	マリンサイエンスギャラリー 「名前の秘密－海の生きもの編－」	2012 年 2 月 18 日～5 月 6 日	32 日	8,422 人

開催日数 ： 計 69 日（前年度 32 日）
入場者数 ： 計 12,466 人（前年度 4,044 人）
展示概要 ： 標準和名や地方名、学名など、様々な生きものの名前を紹介した。
主な展示資料 ： ダイオウイカ・スベスベマンジュウガニ標本、解説パネル
行事 ： 講座「名前の秘密」
解説書・配布資料 ： 展示解説書、解説シート「和名」、解説シート「学名」、ワークシート「なまえでしりとり」
会場 ： 分館海の博物館研修室
担当 ： 村田明久
館内協力者：本吉正宏、川瀬裕司、菊地則雄、奥野淳兒、柳　研介、青木慎哉
助成金（機関・名称） ： 日本海事科学振興財団・海と船の企画展支援事業（平成 23 年度配付）
助成金（金額） ； 464,415 円

2	収蔵資料展「夏休みスペシャル　海のカニ・川のカニ」	2012 年 7 月 14 日～9 月 2 日	48 日	21,426 人

展示概要 ： 房総半島の河川、海岸、深海に分布する種を中心に様々なカニを紹介した。
主な展示資料 ： サワガニ、モクズガニ、アカテガニ、ベンケイガニ、オオホモラ、ヘイケガニなど約 100 点
解説書・配布資料 ： リーフレット（A4）
会場 ： 分館海の博物館研修室
担当 ： 奥野淳兒
館内協力者 ： 本吉正宏、川瀬裕司、菊地則雄、柳　研介、青木慎哉、村田明久

3	写真展「ダイバーズフォトギャラリー －勝浦の海をゆく－」	2012 年 10 月 27 日～ 2013 年 1 月 14 日	61 日	9,068 人

展示概要 ： 勝浦ダイビング協会の協力を得て、勝浦市内で撮影された水中写真を展示した
主な展示資料 ： 勝浦市内のダイビングポイントで撮影された海洋生物の写真、112 点
解説書・配布資料 ： ポスター・展示作品目録
会場 ： 分館海の博物館研修室
担当 ： 青木慎哉
館内協力者 ： 本吉正宏、川瀬裕司、菊地則雄、奥野淳兒、柳　研介、村田明久
主な連携先 ： 勝浦ダイビング協会

4	マリンサイエンスギャラリー 「チーバくんと学ぶ深い海に暮らす生きものたち」	2013 年 2 月 16 日～5 月 6 日	38 日	8,381 人

展示概要 ： 深い海に暮らす生きものたちの暮らしや体のつくり，人との関わりについて紹介した
主な展示資料 ： キンメダイ，タカアシガニ，メンダコ，トガリムネエソ，シギウナギ
行事 ： 講座「深い海に暮らす生きものたち」2 月 17 日
解説書・配布資料 ： 展示解説書・ポスター，ちらし，お絵かき用紙，アンケート用紙
会場 ： 分館海の博物館研修室
担当 ： 川瀬裕司
館内協力者 ： 本吉正宏、菊地則雄、奥野淳兒、柳　研介、青木慎哉、村田明久
助成金（機関・名称） ： 日本海事科学振興財団・海と船の企画展支援事業
助成金（金額） ： 989,782 円

4A　教育普及　<本館>

講座・観察会等の主催、展示観覧支援、房総の山のフィールド・ミュージアム事業、学習キットの貸出・製作、学校教育支援、人材育成支援、団体・機関等への支援、友の会活動支援、ちばジカプロジェクト、専門分野における助言・相談対応、ボランティアの受入を実施した。

4A.1　講座・観察会等の主催　230 件 15,743 人　☞データ編

行事種類	件数	参加者数	シリーズ	件数	参加者数
講座	72	1,873	地学講座	19	445
			動物学講座	7	92
			植物学講座	17	173
			歴史学講座	16	846
			考古学講座	5	140
			環境科学講座	2	51
			環境教育講座	6	126
観察会	46	1,079	地学野外観察会	5	127
			里山観察会	3	102
			植物観察会	7	255
			生態園観察会	14	256
			房総の山の観察会　※1	5	69
			山の学校　※2	12	270
体験イベント・特別企画	32	4,085	連休特別企画	9	759
			県民の日特別企画	6	904
			海の日特別企画	1	367
			夏休み自由研究相談会	3	121
			体験教室	2	20
			文化の日特別企画	4	1,410
			生態園連休特別企画	7	504
企画展示関連	58	4,470	特別展「ティラノサウルス」関連行事	28	4,937
			企画展「シカとカモシカ」関連行事	14	1,029
			〃　　クイズ	24	2,015
			春の展示「芽ばえ」関連行事	2	151
			出土遺物巡回展「時空を超えて」関連行事	1	212
			春の展示「ナッツ&ベリー」関連行事	6	321
			次年度企画展プレ行事	1	13
			生態園トピックス展「生態園の花粉」関連行事	1	5
			第 9 回生態園ギャラリー	3	23
				230	15,743

※1，2 は、房総の山のフィールド・ミュージアム事業

※2 は、12 回中、1 日雨天中止

4A.2　展示観覧支援　22,311 人

4A.2.1　ミュージアム・トーク　開催日数 114 日　参加者数 2,315 人　☞データ編

研究員が展示室、生態園、収蔵庫においてテーマを決め、本館入場者に対する解説を行った。
開催日時：毎土日祝（11：00～・14：30～）各 30 分

4A.2.2　展示解説　92 回　1,670 人　☞データ編

企画展示の個人向け解説、および団体の要望に応じて解説を行った。

解説展示名	実施回数	参加者数			
		団体	個人	友ボ※	合計
春の展示「芽ばえ」	9	185	0	40	225
企画展「シカとカモシカ－日本の野生を生きる－」	61	95	748	40	883
特別展「ティラノサウルス－肉食恐竜の世界－」	4	59	112	15	186
「水郷を旅する人々」	8	0	109	0	109
「時空を超えて－市原市ちはら台の発掘ものがたり－」	1	0	0	9	9
春の展示「ナッツ＆ベリー－千葉の名産から世界の逸品まで－」	4	6	103	31	103
生態園トピックス展「ムカデとヤスデ」	3	0	29	9	38
生態園トピックス展「写真で見る生態園の生きものたち」	2	0	40	40	80
合計	92	345	1,141	184	1,670

※　友の会会員向け展示解説、ボランティア研修における解説。

4A.2.3　中央博調査隊・森の調査隊　17,081 人　☞データ編

子ども対象のワークシートによる展示観覧プログラムを個人向けと団体向けに行った。
本館シート：中央博調査隊、おきにいり新聞、博物館ぬりえ、おえかきっこ。生態園シート：森の調査隊

対象	実施場所	プログラム	(団体)	実施日数	利用者数	実施備考
個人対象	本館	本館シート			1,655	展示室・開館日
		実物資料の提示		随時	9,653	案内所・開館日
	生態園	森の調査隊		138	2,292	土日祝・夏休期間
	小計				13,600	
団体対象	本館	中央博調査隊	幼稚園・保育所	1	31	
			小学校	7	478	
			特別支援学校	1	22	
			小計	9	531	
	生態園	森の調査隊	幼稚園・保育所	2	46	
			小学校	26	2,782	
			特別支援学校	0	0	
			子ども団体	2	61	
			公民館	2	61	
			小計	32	2,950	

4A.2.4　音声ガイドの利用　1,245 人

常設展示の解説が聞ける、音声ガイドの貸出を行った。ガイドの台数 10 台。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
118	63	51	105	183	129	70	163	135	68	67	93	1,245

（3A.1.2 常設展示より再掲）

4A.3 房総の山のフィールド・ミュージアム事業

4A.3.1 観察会 ※4A.1 講座・観察会等の主催を参照

4A.3.2 教室博物館 開室 66 日 入場者 1,075 人

小学校の教室に博物館を開き、地域住民の協力により資料収集・調査活動を実施。（入場無料）

	三島小学校教室博物館		坂畑小学校博物館	
月	開室日数	入室者数	開室日数	入室者数
4	4	103	1	25
5	5	72	2	26
6	5	129	1	30
7	4	43	1	10
8	6	42	0	0
9	4	63	1	6
10	4	108	1	6
11	6	112	1	21
12	3	32	1	12
1	4	65	1	15
2	4	74	1	10
3	6	71	0	0
合計	55	914	11	161

4A.3.3 おばあちゃんの畑プロジェクト 97 人参加

房総丘陵において、博物館と地元グループが協同して「在来の農作業」をテーマにした活動を実施。

行事	期間	参加者数
5 月 13 日（日）	5 月の作業 1	15
5 月 20 日（日）	5 月の作業 2	13
7 月 8 日（土）	7 月の作業	12
8 月 12 日（日）	8 月の作業日	8
9 月 9 日（日）	9 月の畑作業	24
10 月 14 日（日）	10 月の畑の作業日	25

（担当：島立理子）

4A.3.4 山みち展示

君津市清和県民の森の遊歩道に野外展示を季節毎に設置した。

4A.4　学習キットの貸出・製作

4A.4.1　標本・学習キットの貸出　11 件 1,184 人　☞データ編

団体・機関に、学習用に整備した資料・キットの貸出を行った。

キット名	貸出先	貸出日数	利用者数
生命と大地の歴史を体感する化石キット	6	30	601
哺乳類標本貸し出しキット	5	79	583
合計	11	109	1,184

4A.4.2　野草カードの提供　96 件　☞データ編

団体・機関に、教材「野草カード」を提供した。

提供先	幼稚園	小学校	中学校	高校	特殊支援学校	その他	合計
県内	0	45	21	0	0	0	70
県外	0	22	3	1	0	0	26
合計	0	67	24	1	0	0	96

4A.4.3　学習キットの製作

千葉県立博物館合同企画事業「授業に役立つ県立博物館」プロジェクトにおいて学習キットを製作した。

キット名	内容	点数
昆虫標本作製キット～理科編～	昆虫標本作製道具一式（1 組 5 セット）	2
昆虫標本作製キット～国語編～	展翅板と昆虫標本のセット。中 1 国語授業用。教科書掲載のヘルマン・ヘッセ作「少年の日の思い出」に登場する道具を再現したもの。	5
昆虫標本のつくり方	DVD。昆虫標本の作製実演の動画。字幕解説付き。25 分 35 秒。	100

4A.5　学校教育支援　49 校 70 件 2,478 人　☞データ編

特別見学の実施、講座観察会の講師、出前授業、研究課題相談等を行った。

依頼先	学校数	件数	人数
幼稚園・保育所	0	0	0
小学校	16	18	983
中学校	7	11	634
中高	1	1	28
高校	8	16	478
特別支援学校	2	4	45
大学	15	20	310

※大学生・大学院生の論文研究指導は、2.3 館友、共同研究員、市民研究員、研究生の受入を参照のこと。
※中央博調査隊・森の調査隊は除く。

4A.5.2　大学非常勤講師　12 名　☞データ編（Data 2.3.3 客員研究員・学会委員受託参照）

博物館学、自然・歴史分野の講座の非常勤講師として大学教育支援を行った。

4A.6 人材教育支援 ☞データ編

職場体験、インターンシップ、博物館実習、教員研修等の人材教育事業の実施・受入を行った。

4A.6.1 職場体験・インターンシップ・博物館実習 36 件 114 日 115 人

実施内容	受入	校数	件数	日数	人数	備考
職場体験	中学生	23	23	44	64	研究部各科で各校 1～2 日間の受入
インターンシップ	大学生	9	9	58	10	野鳥観察舎業務（7～9 月 8 名） 図書室（9～10 月 2 名）
インターンシップ（連携）	大学生	1	1	1	1	連携による受入
博物館実習	大学生	14	1	9	24	2012 年 8 月 15 日(水)～23 日(木)
博物館実習（連携）	大学生	2	2	2	16	連携による受入

■博物館実習カリキュラム（8 月 15 日～23 日）

1 日目	開講式（館長） 講義「中央博物館のあゆみ」（岡崎浩子） 講義「資料の収蔵管理・ＩＰＭなどについて」（斉藤明子） 館内見学（収蔵庫、常設展示室、企画展、図書室）
2 日目	生態園見学（原正利） 班別実習（各科対応）
3 日目	講義「生態園の活動」（林紀男） 班別実習（各科対応）
4 日目	講義「調査研究活動」（古木達郎） 班別実習（各科対応）
5 日目	講義「房総の山のフィールド・ミュージアムの活動」（尾崎煙雄） 班別実習（各科対応）
6 日目	自宅研修
7 日目	講義「教育普及活動について」（乙竹孝文） 学習プログラム（中央博調査隊）シュミレーション（石渡克彦） 梱包・人文資料取扱実習（三浦和信・乙竹孝文・立和名明美） 案内所体験・入館者調査（大野啓一）
8 日目	模擬ミュージアムトーク（石渡克彦）
9 日目	模擬ミュージアムトーク（石渡克彦） 広報用チラシ配布準備作業（石渡克彦） 講義「博物館の現在と今後」（森田利仁） 閉講式（館長）・交流会

4A.6.2 教員研修 19 件 24 日 296 人

実施内容	件数	日数	人数	備考
博物館利用研修会	1	1	18	当館主催の博物館利用に関する研修会
博物館活用研究会	1	3	17	博学連携による博物館利用法、ワークシート作成などの研究会 会員 13 名
その他	17	20	261	他機関主催の研修受入

4A.7　団体・機関等への支援　169 件 7,029 人　☞データ編

特別利用、講座講師による団体・機関の学習支援、学会・研究会の開催支援を行った。

支援内容	件数	人数	備考
特別利用	18	346	館の概要説明、展示解説、収蔵庫等の案内。4.1 展示解説の件数も含む。
講座等講師	103	5,035	館内外における講師派遣
学会・研究会等の開催	48	1,648	特別利用・講師派遣以外の人員・施設提供による開催支援。

4A.8　友の会活動支援

4A.8.1　友の会事業支援　73 件 809 人　☞データ編

講師・施設・設備の提供により当館友の会の活動を支援した。

内容	件数	人数	備考
企画行事講師	14	322	友の会主催の講座・観察会の講師を引き受けた。1 件雨天中止
会員対象の展示解説・講座	11	102	毎月 1 回（水）。当館企画展示の解説、専門分野の講座の実施
友の会自主活動支援	48	385	コケサークル観察会講師・ヒスイの会（岩石勉強会）

4A.8.2　友の会による博物館の行事開催支援

館主催の講座・観察会、企画展示のイベントの実施に当たって、友の会ボランティアの協力を受けた。
10.3.5 千葉県立中央博物館友の会（博物館行事の支援）を参照こと。

4A.9　ちばジカプロジェクト　☞データ編

企画展「シカとカモシカ」の関連事業。シカをテーマに、千葉市科学館・千葉市動物公園と企画連携し、ワークシート・展示・講座を行った。ちばジカプロジェクトは、「サイエンスアゴラ 2012」にて審査委員特別賞を受賞した。

行事	期間	参加者数	備考
シカ探ワークシート『シカ探調査隊～トナカイを調査せよ！』	4 月 28 日～9 月 17 日	8,585	3 館を回って回答する
紹介展示（パネル展示）	4 月 28 日～9 月 17 日	26,217	各館を紹介した展示
ちば生きもの科学クラブ（第 1 回～第 8 回）	5 月 12 日～11 月 10 日	223	クラブ生募集。対象：小 4～大人
合計		35,025	

ちば生きもの科学クラブ詳細

内容	開催日	場所	参加者数
第 1 回『オリエンテーション』	5 月 12 日	千葉市動物公園	37
第 2 回『試料から学ぶ』	5 月 26 日	千葉市科学館	23
第 3 回『生体そのものを見つめる 1』	6 月 23 日	千葉市動物公園	29
第 4 回『企画展』自由見学	7 月 7 日～9 月 17 日	本館	
第 5 回『企画展「シカとカモシカ」の裏側』(講師：落合啓二)	7 月 27 日	本館	31
第 6 回『調べ方・まとめ方を学ぶ』	8 月 18 日	千葉市科学館	31
第 7 回『生体を見つめる 2』	10 月 20 日	千葉市動物公園	24
第 8 回『発表会』	11 月 10 日	本館	48

（担当：大木淳一・山口剛・落合啓二）

4A.10　専門分野における助言・相談対応

研究員による質問対応、資料・図書の利用提供により、県民の学習支援を行った。研究員が専門分野の知識を活かし、団体・機関・行政等のへの助言・技術協力を行った。

4A.10.1　学習情報センターにおける質問対応件数　184 件

1 階学習情報センターにて、自然や歴史に関する質問、生物や岩石・鉱物の同定など、来館者からの質問に対応した。

■質問内訳　184 件

標本同定	写真同定	その他
88	17	79

■回答過程で資料を提示した質問件数

図書の提示件数　　98 件
標本資料提示件数　11 件

4A.10.2　その他個人および団体・機関・行政からの相談件数　3,045 件

1 階学習情報センター以外で対応したもの

対応	個人	団体
来館・視察等の対応件数（学習情報センター以外）	874	128
電話・文書・ファックス・メール等での相談件数	863	1,073
現地での助言指導件数		107
合計	1,737	1.307

4A.10.3　委員受託　27 名 80 件　☞データ編（Data 2.3.3 客員研究員・学会委員受託参照）

博物館協議会委員、文化財保護審議委員、自然保護検討委員、発表会審査委員等の委員を受託した。

4A.10.4　図書利用

所蔵図書の利用提供により、来館者の調査・研究を支援した。

■図書の利用件数　86 件

書庫の図書の閲覧　12 件　　59 冊
図書コピー　　74 件　922 枚

■図書の開架冊数　3,388 冊

閲覧コーナー　2,145 冊
体験学習室　　1,234 冊

4A.11　ボランティアの受入

ボランティア制度を設け、館の様々な事業において、ボランティアの受入を行っている。登録期間は年度末までで、更新が可能。

4A.11.1　登録者数　189 人（継続 133 人・新規 56 人）

4A.11.2　活動日数　2,073 日

4A.11.3　活動内容別の実績

活動内容は、7 種類。複数の活動に参加できる。

活動内容	人数		活動日数	備考
	活動申請	活動実績	（延べ人日）	
展示室ボランティア	43	27	399	常設展示室で展示解説、体験学習室での学習をサポート
生態園パートナー	22	12	111	生態園来園者の自然観察をサポート（森の調査隊・自然観察・野鳥のパートナー）
資料整理ボランティア	48	37	786	博物館資料の整理・保存をサポート（活動分野：岩石・化石・昆虫・貝・哺乳類・維管束植物・菌類・地衣類・図書）
講座・観察会・イベントボランティア	32	21	111	当館行事（講座・観察会・イベント）をサポート（活動分野：地学）
自然誌調査研究ボランティア	24	17	350	重点調査（銚子市植物調査）のサポート
房総の山の観察会サポーター	8	5	21	房総の山のフィールド・ミュージアムでの観察会をサポート
「おばあちゃんの畑」プロジェクト活動支援パートナー	12	12	295	「おばあちゃんの畑」プロジェクトの活動サポート
合計			2,073	

4A.11.4　ボランティア研修

企画展示の解説、通信発行、個別の質問対応等を行った。

■企画展示解説

開催日	解説	内容	参加数
5 月 23 日（水）	大野啓一	春の展示「芽ばえ」の解説	30
9 月 12 日（水）	落合啓二	企画展「シカとカモシカ」の解説	10
9 月 12 日（水）	友田暁子	図書室利用ガイダンス	6
3 月 13 日（水）	林紀男	生態園トピックス展「写真で見る 生態園のいきものたち」の解説	20
3 月 21 日（木）	林紀男	生態園トピックス展「写真で見る 生態園のいきものたち」の解説	19

■通信発行

「銚子市植物調査通信」No1～11 を発行し、植物調査ボランティアに配付した。（植物学研究科）

4B 教育普及 <大利根分館>

講座等の主催、展示解説、川のフィールドミュージアム事業、学習キットの貸出、学校教育支援、人材教育支援、団体・機関等への支援を行った。

4B.1 講座等の主催 29 件 1,183 人 ☞データ編

行事	件数	参加者数	備考
企画展関連行事	5	445	企画展「水郷を旅する人々Ⅱ」
講座	6	60	講座「水郷の自然と歴史」
夏休み子供教室	12	585	
体験教室	5	67	5 月連休開催
昭和の名車大集合!!	1	372	11 月 24 日開催

4B.2 展示解説 55 回 4,043 人 ☞データ編

企画展示の個人向け解説、および団体の要望に応じて解説を行った。

解説展示名	実施回数	参加者数
企画展「水郷を旅する人々Ⅱ」展示解説会・ギャラリートーク	5	93
団体向け展示解説（学校）	39	2,181
団体向け展示解説（一般）	11	312

※4B.1 講座等の主催、4B.5 学校教育支援、4B.7 団体・機関支援と一部重複。

4B.3 川のフィールドミュージアム事業 4 回 18 人 ☞データ編

利根川下流周辺地域の歴史や文化、自然について、参加者と現地調査をしてその成果をまとめ、発表した。発表内容は、「たかっぽ通信」5 号に掲載した。

事業名	実施日	参加者数	活動内容
いきもの調査隊	11 月 10 日	3	秋・冬の水鳥を観察した。
	12 月 1 日	7	
いしぶみ調査隊	11 月 3 日	4	香取市新島･北佐原地区で石碑や記念碑を調査し、地域の歴史を調べた。 （10 月 6 日、職員による事前調査実施した。）
	12 月 8 日	4	

4B.4 学習キットの貸出・製作

4B.4.1 学習キットの貸出 56 件 88 日 5,925 人 ☞データ編

団体・機関に、学習用に整備した資料・キットの貸出を行った。

キット名	貸出先	貸出日数	利用者数
灯の歴史体験キット	43	53	3,195
古い道具とむかしのくらし	13	35	2,100

4B.4.2 学習キットの製作

千葉県立博物館合同企画事業「授業に役立つ県立博物館」プロジェクトにおいて学習キットを製作した。

キット名	内容	点数
水郷の景観模型キット	50 年前の利根川下流域の水郷農家を再現した模型で、洪水時の水面模型を組み合わせることで、当時の水害の様子が分かるようにした。	1

4B.5　学校教育支援　53 件 3,704 人　☞データ編

団体解説、出前授業を行った。

依頼先	学校数	件数	参加者数
幼稚園・保育所	1	1	31
小学校	47	51	3,585
中学校	1	1	88
高校	0	0	0
特別支援学校	0	0	0
大学	0	0	0

4B.6　人材教育支援

教員研修等の人材教育事業の実施・受入を行った。

4B.6.1　教員研修　1 件 2 日 1 人　☞データ編

実施内容	件数	日数	人数	備考
体験講座の指導補助	1	2	1	10 年目教員研修、小学校教員 （7 月 28 日・29 日、佐倉市立西志津小学校教員、担当：糠谷）

4B.7　団体・機関等への支援　12 件 351 人　☞データ編

支援内容	団体数	件数	人数
団体解説	11	12	351

4C　教育普及　<大多喜城分館>

講座等の主催、展示解説、学習キットの貸出・製作、学校教育支援、人材教育支援、団体・機関等への支援を行った。

4C.1　講座等の主催

4C.1.1　主催行事　24 件 809 人　☞データ編

種類	件数	参加者数
講座・観察会（博物館セミナー）	9	126
企画展関連行事（企画展「上総の仏教美術」）	1	27
体験教室（甲冑・小袖の試着体験）	5	216
ミュージアム・トーク	9	440

4C.1.2　大多喜お城まつり（協働企画・会場）　☞データ編

大多喜町との協働企画。大多喜高校茶道部による茶席や有志による琴演奏、鉄砲隊の演武会等の会場を提供した。

種類	件数	参加者数
大多喜お城まつり（協働企画・会場）	1	702
関連行事（甲冑・小袖試着体験、鼓演奏）	2	89

4C.2　展示解説　☞データ編

種類	件数	参加者数
展示解説・企画展解説	32	1,261

※4.2 講座・観察会、4.5 学校教育支援、4.7 団体支援と一部重複。

4C.4　学習キットの貸出・製作

4C4.1　学習キットの貸出　29 件 852 人　☞データ編

キット名	貸出先	貸出日数	利用者数
甲冑・小袖キット	28	29	840
裃キット	1	1	12

4C.4.2　学習キットの製作

千葉県立博物館合同企画事業「授業に役立つ県立博物館」プロジェクトにおいて学習キットを製作した。

キット名	内容	セット数
裃試着体験キット	江戸時代の武士の正装、「裃」の試着衣装。サイズは「160cm、150cm」（各 1 着）。	2

4C.5　学校教育支援　19 校 17 件 608 人　☞データ編

大多喜城の歴史、展示解説、甲冑・小袖の試着体験、出前授業などを実施した。

依頼先	学校数	件数	参加者数
幼稚園・保育所	1	1	44
小学校	11	9	296
中学校	2	3	71
高校	1	1	121
特別支援学校	2	1	30
大学	2	2	46

4C.6　人材教育支援（職場体験・博物館実習）　2 件 5 日 5 人　☞データ編

実施内容	対象	校数	件数	日数	人数	備考
ゆめ・仕事ぴったり体験	小学生	1	1	1	3	
博物館実習	大学生	2	1	4	2	2012 年 8 月 16 日(木)～19 日(日)

4C.7　団体・機関等への支援　81 件 2,427 人　☞データ編

支援内容	件数	人数	備考
歴史教室・体験教室	76	2,338	大多喜城解説、企画展解説、甲冑・小袖の試着体験
講座等講師	3	166	館内外における講師派遣

4D　教育普及　<分館海の博物館>

講座・観察会等の主催、展示解説、海のフィールドミュージアム事業、学習キットの貸出、学校教育支援、人材教育支援、団体・機関等への支援、ボランティアの受入を行った。

4D.1　講座・観察会等の主催　53 件 927 人　☞データ編

行事		件数	参加者数	対象
講座	講座	4	18	一般
観察会	観察会※1	9	82	一般・小学生以上
	磯・いそ探検隊（フィールドトリップ）※1	7	123	3 才以上
体験イベント	博物館探検隊（バックヤードツアー）	2	51	3 才以上
	タッチプール	6	306	3 才以上
	みんなで工作	5	95	3 才以上
	海の体験コーナーイベント※2	20	252	一般

※1　海のフィールドミュージアム事業を兼ねる。
※2　海の体験コーナーイベントは、「海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう」「微小貝を探そう」など。

4D.2　展示解説　34 回　1,819 人　☞データ編

解説対象	実施回数	参加者数
展示室の歩き方（個人対象）	2	12
学校団体	27	1,690
一般団体	5	117

4D.3　海のフィールドミュージアム事業　75 件 2,049 人

行事	件数	参加者数
観察会	9	82
フィールドトリップ	7	123
野外実習授業	59	1,844

4D.1 講座・観察会、4.5 学校教育から再掲。

4D.4　学習キットの貸出　55 件 55 日間 1,654 人　☞データ編

館行事・学校・団体・機関に学習キットの貸し出しを行った。

キット名	貸出件数	貸出日数	利用者数
磯の観察キット	44	44	1,543
海藻おしばキット	11	11	111

※館行事での利用を含む。

4D.5　学校教育支援　17 件 1,065 人　☞データ編

野外実習授業（学校団体向けの自然観察会）を実施した。

依頼先	学校数	実施件数	参加者数
幼稚園・保育所	1	1	35
小学校	9	10	669
中学校	2	3	111
高校	3	4	97
特別支援学校	0	0	0
大学・大学院	2	21	153

※海のフィールドミュージアム事業を兼ねる。展示解説は含まない。

4D.5.2　大学非常勤講師　3 名　☞データ編

自然分野の講座の非常勤講師として大学教育支援を行った。

4D.6　人材教育支援　☞データ編

4D.6.1　職場体験・博物館実習　4 件 9 日 11 人

実施内容	対象	校数	件数	日数	人数	備考
職場体験	中学生	3	3	5	9	
博物館実習	大学生	1	1	4	2	2012 年 8 月 16 日(木)～19 日(日)

4D.6.2　教員研修　3 件 3 日 35 人

実施内容	件数	日数	人数	備考
依頼による実施	3	3	35	館前の磯・講座実験室にて

4D.7　団体・機関等への支援　13 件 385 人　☞データ編

団体フィールドトリップ（一般団体向けの自然観察会）を実施した。

支援内容	団体数	件数	参加者数	備考
団体フィールドトリップ	12	13	385	

4D.10.3　委員受託（教育・文化財保護・自然保護等）　5 名 17 件

博物館協議会委員、文化財保護審議委員、自然保護検討委員、発表会審査委員等を引き受けた。

4D.11　ボランティアの受入

4D.11.1　登録者数　20 人

4D.11.2　活動日数　278 日

4D.11.3　活動内容

活動内容	活動人数	活動日数（延べ人日）	備考
展示解説ボランティア	1	40	展示室の解説をサポート
イベント支援ボランティア	11	91	当館で実施する講座・観察会・イベントをサポート
調査研究ボランティア	3	54	調査・研究に用いる器材の整理をサポート
資料整理ボランティア	5	93	博物館資料の保存・管理をサポート

5 情報発信

出版物・印刷物、インターネット、マスコミを通じて、当館事業の発信を行った。そのほか、缶バッチ・マグネット等の来館促進グッズの開発と配布を行った。

5.1 出版物・印刷物の発行 62 点

行事案内・ちらし・ポスター等の広報印刷物、年報・研究報告・たより・解説書等の普及刊行物を発行した。

①4 館共通

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
行事案内	平成 25 年度行事案内	A4(三折)	6	25,000	3 月 27 日
刊行物	Natural History Research Vol.12 No.2	B5	42	850	3 月 31 日
	千葉県立中央博物館自然誌研究報告 第 12 巻 第 2 号	B5	37	850	3 月 28 日
	千葉県立中央博物館研究報告－人文科学－ 第 13 巻 第 1 号	B5	81	850	1 月 30 日
	中央博物館だより 70	A4	12	1,500	3 月 26 日
	千葉県立中央博物館年報 23 平成 22 年度	A4	136	PDF ※	3 月 31 日
	千葉県立中央博物館年報 24 平成 23 年度	A4	130	PDF ※	3 月 31 日

※ PDF は、本館ウェブサイトにて公開。

②本館

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
利用案内	常設的展示パンフレット（一般用） 増刷	A3 変(四折)	8	30,000	3 月 8 日
	常設展示パンフレット（小・中学生団体用）増刷	B4 変(四折)	8	10,000	3 月 25 日
刊行物	生態園観察ノート No.19「生態園のトンボ」	A5	29	3,000	3 月 20 日
	銚子市植物調査通信 1	A4	4	50	5 月 7 日
	銚子市植物調査通信 2	A4	4	50	6 月 5 日
	銚子市植物調査通信 3	A4	4	50	7 月 9 日
	銚子市植物調査通信 4	A4	4	50	8 月 8 日
	銚子市植物調査通信 5	A4	4	50	9 月 11 日
	銚子市植物調査通信 6	A4	4	50	10 月 11 日
	銚子市植物調査通信 7	A4	4	50	11 月 13 日
	銚子市植物調査通信 8	A4	4	50	12 月 18 日
	銚子市植物調査通信 9	A4	4	50	1 月 9 日
	銚子市植物調査通信 10	A4	4	50	2 月 7 日
	銚子市植物調査通信 11	A4	4	50	3 月 8 日
	昆虫標本のつくり方	DVD		100	2 月 27 日
企画展示関連	特別展「ティラノサウルス」				
	展示解説パンフレット	A4	8	50,000	10 月 17 日
	展示品リスト	A4	4	30,000	10 月 17 日
	ポスター	A2	1	800	7 月 21 日
	ちらし	A4	2	120,000	7 月 21 日
	ポストカード（8 種）	ハガキ	2	各 1,000	10 月 17 日
	企画展「シカとカモシカ」				
	ちらし増刷	A4	2	18,500	7 月 7 日
	展示解説パンフレット	A4	8	10,000	6 月 25 日
	春の展示「ナッツ＆ベリー」				
	ちらし	A4	2	40,000	2 月 5 日
行事関連	千葉学講座：平成 24 年度				
	ポスター	A1	1	100	10 月 13 日
	ちらし	A4	2	10,000	10 月 13 日

③房総の山のフィールド・ミュージアム

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
行事案内	平成 25 年度のご案内	A4	2	10,000	3 月 15 日
刊行物	ニュースレター「しいむじな」37 号	A4	4	6,000	6 月 30 日
	ニュースレター「しいむじな」38 号	A4	4	6,000	10 月 31 日
	ニュースレター「しいむじな」39 号	A4	4	6,000	1 月 10 日
	ニュースレター「しいむじな」40 号	A4	4	6,000	3 月 25 日

④大利根分館

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
利用案内	常設展示パンレット(増刷)	A4(三折)	6	5,000	3 月 31 日
刊行物	大利根 川のフィールドミュージアムニュースレター「たかっぽ通信」第５号	A4	4	5,000	3 月 31 日
企画展示関連	収蔵資料展「空飛ぶいきものたち」				
	ポスター	A2	1	100	6 月 22 日
	ちらし	A5	2	50,000	6 月 22 日
	企画展「水郷を旅する人々Ⅱ」				
	ポスター	A2	1	500	3 月 29 日
	ちらし	A4	2	15,000	3 月 29 日
	展示解説用リーフレット	A4	8	5,000	3 月 29 日
	写真展「私が撮った水郷 2012」				
	ポスター	A2	1	500	2 月 28 日

⑤大多喜城分館

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
利用案内	常設展案内パンフレット(増刷)	A4(三折)	6	40.000	1 月 23 日
	「大多喜城の歴史」リーフレット(増刷)	B6	2	50,000	1 月 23 日
企画展示関連	企画展「上総の仏教美術」				
	ポスター	B2	1	300	10 月 5 日
	ちらし	A4	2	10,000	10 月 5 日
	解説書	A3(二折)	4	15,000	10 月 25 日
	写真展「大多喜城の四季」				
	ポスター	A2	1	100	2 月 4 日
	ちらし	A4	2	5,000	2 月 4 日

⑥分館海の博物館

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
行事案内	平成 24 年度行事案内	A6 切	8	8,000	4 月 30 日
刊行物	海の生きもの観察ノート 11「クラゲを観察しよう」	A5	24	5,000	3 月 31 日
企画展示関連	マリンサイエンスギャラリー「チーバくんと学ぶ　深い海に暮らす生きものたち」				
	ポスター	A2	1	1,050	1 月 20 日
	ちらし	A4	2	18,000	1 月 20 日
	展示解説書	A4	16	5,000	2 月 16 日
	収蔵資料展「海のカニ・川のカニ」				
	ちらし	A4	2	18,000	7 月 4 日
	解説シート	A4	1	1,000	7 月 13 日
	ワークシート	A4	1	1,500	4 月 30 日
	ダイバーズフォトギャラリー「勝浦の海をゆく」				3 月 31 日
	展示作品目録	A4	2	200	
	ポスター	A2	1	100	1 月 20 日
	ちらし	A4	1	7,000	1 月 20 日

5.2 インターネットによる情報発信

ウェブサイト・メールマガジン・ツイッターにより当館事業の広報および発信をし、デジタルミュージアムの公開を行った。県立博物館情報システムの更新に伴い、24 年 4 月にホームページをリニューアルした。また、25 年 3 月に本館ウェブサイトにて、当館刊行物の PDF ファイルの公開を開始した。

5.2.1 ウェブサイトの更新

展示・行事案内、研究員紹介の更新を行った。

	修正・更新ファイル数	新規追加ファイル数	合計
本館	671	5,291	5,962

■教室博日記（房総の山のフィールド・ミュージアム）の更新：4 月～3 月、127 回（No.1004～1130） ☞データ編

■PDF の公開：千葉県立中央博物館年報 22～24

5.2.2 メールマガジンの配信 43,251 件 ☞データ編

展示・行事情報のほか、毎回、職員による連載コラムを掲載した。

館名	メルマガ名	巻次	配信回	配信日	総配信数
本館・大利根分館・大多喜城分館	ちば中央博メール	68～79	12	毎月 10 日	19,836
房総の山のフィールド・ミュージアム	しいむじなメール	97～108	12	毎月 10 日	11,268
分館海の博物館	海からのたより	86～97	12	毎月 1 日	12,147

■連載コラム名

メルマガ名	連載名
ちば中央博メール	「中央博の窓」12 本、「コラム 研究室から…」12 本
海からのたより	「研究員ノート」12 本

5.2.3 ツイッターによる情報発信の開始

25 年 3 月 26 日、ツイッターを開始した。

アカウント名：@chiba_chuohaku （本館・大利根分館・大多喜城分館）

フォロワー数：26 人、 ツイート数：46 件 （平成 25 年 3 月末現在）

5.2.4 デジタルミュージアムの公開

当館資料や自然・歴史について、テーマごとに解説したコンテンツを作成し、当館ウェブサイトで公開した。

■コンテンツ総数 36 本(新規公開 7 本) ☞データ編 （平成 25 年 3 月末）

館名	新規コンテンツ		ホームページに移動		公開総数
本館	地域の音が出る地図 維管束植物標本百選、 ネパールと東南アジアのガ 梵天にみる房総の出羽三山信仰 おばあちゃんの畑プロジェクト	5	房総の山のフィールド・ミュージアム 常設展示	2	27
大利根	なし	0	常設展示	1	2
大多喜城	なし	0		0	3
分館海の博物館	理想郷いきもの図鑑 勝浦深訪	2		0	4

5.2.5 ウェブサイトへのアクセス件数 393,935 件

A 本館 B 大利根分館 C 大多喜城分館 D 分館海の博物館 E 房総の山のフィールド・ミュージアム

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
A	19,859	20,154	21,135	26,137	30,224	20,884	27,223	32,309	22,449	19,637	19,495	21,059	280,565
B	841	1,435	1,330	1,289	1,454	944	970	1,023	621	1,231	1,038	733	12,909
C	3,071	2,542	1,995	2,712	3,709	2,705	3,114	2,784	1,765	1,850	1,999	2,382	30,628
D	4,980	4,971	4,300	6,415	8,024	4,668	4,712	3,577	2,833	3,510	4,316	5,208	57,514
E	842	873	1,139	1,149	1,294	1,187	1,191	1,198	721	874	895	956	12,319
計	29,593	29,975	29,899	37,702	44,705	30,388	37,210	40,891	28,389	27,102	27,743	30,338	393,935

※数値は、ページビュー数

5.3　マスコミを通じての発信（メディアへの発信）

マスコミを通じて、新発見の発表、行事や専門的な話題の発信・情報提供を行った。

5.3.1　記者発表等　3 件

	件数	発表内容
新発見等の報告	2	本館（12/7 トドの化石発見、2/19 新種植物イスミスズカケの発見に関する公開）
知事会見	1	本館（10/18 特別展「ティラノサウルス」開催）

5.3.2　行事情報の発信　768 件

県・マスコミ等の報道機関、ミニコミ誌・業界メディア等に当館の行事情報を発信した件数

	件数
本館・大利根分館・大多喜城分館	768

5.3.3　職員の取材対応　113 件　☞データ編

当館事業や専門分野について職員が取材を受けた件数

	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	新聞・テレビ	合計
本館	38	22	3	63
大利根分館	11	1	0	12
大多喜城分館	16	1	0	17
分館海の博物館	13	8	0	21
合計	78	32	0	113

5.3.4　メディア掲載　379 件

①メディアに取り上げられた当館の館紹介および催事情報の件数　269 件

	新聞・雑誌・ミニコミ	テレビ・ラジオ	Web・メルマガ	合計
4 館	220	31	18	269

※ 当館の PR を含む宝くじの CM「知ってる宝くじ!?　宝くじが博物館の運営に役立っています！」が民放テレビ各局より関東 7 都県市にて放送された。（本館）

②新聞・雑誌等に掲載された当館関連記事（催事情報を除く）の件数　110 件　☞データ編

	記事	新聞連載　※	合計
本館	67	11	78
大利根分館	5	1	5
大多喜城分館	11	0	11
分館海の博物館	9	7	16
合計	92	19	110

※職員執筆の新聞連載　☞データ編

館名	新聞名	連載名	連載期間	本数
本館ほか	朝日新聞	チーバくんの Q　中央博を訪ねる	2012 年 4 月 3 日～2013 年 3 月 26 日	12
海の博物館	千葉日報	名前の秘密　海の生きもの編　3～5	2012 年 4 月 2 日、16 日、23 日	3
	千葉日報	チーバくんと学ぶ　深い海に暮らす生きものたち　1～4	2013 年 2 月 11 日～3 月 25 日	4

6 県立博物館ネットワーク

6.1 県立博物館情報システム

県立博物館情報システムの運営統括を行った。第 3 期システム（24 年度～28 年度）の運用を開始した。

■所蔵資料登録件数 （平成 25 年 4 月 1 日現在）

	平成 24 年度			（平成 23 年度）	
館名	登録件数	データ公開件数	公開画像点数	登録件数	画像点数
美術館	2,456	2,438	606	2,811	575
中央博物館	156,374	121,492	2,568	135,733	1,201
分館海の博物館	5,781	5,706	836	5,781	776
大利根分館	2,047	1,341	951	2,048	832
大多喜城分館	1,025	489	392	1,030	135
現代産業科学館	2,110	1,135	1,477	1,045	930
関宿城博物館	5,658	2,510	2,315	5,658	2,011
房総のむら	42,942	4,175	4,557	42,945	3,786
合計	218,393	139,286	13,702	197,051	10,246

■分野別登録件数（全県立館） （平成 25 年 4 月 1 日現在）

検索分野	登録件数	データ公開件数	公開画像点数
動物	81,484	78,184	1,887
植物・菌類	57,010	47,464	744
岩石	15,480	231	422
地学景観画像	217	214	236
古生物	7,028	209	328
古文書	4,613	1,898	904
民俗	3,726	2,272	3,347
埋蔵文化財	28,770	1,343	472
美術工芸	2,651	1,047	837
絵はがき	2,402	2,401	2,370
古写真	36	32	72
年中行事	61	0	0
工業・科学技術	2,149	1,135	1,477
美術作品	2,456	2,438	606
図書・刊行物	10,310	418	0
雑誌	0	0	0
合計	218, 393	139, 286	13, 702

6.2 千葉県美術館・博物館職員等研修会

千葉県教育委員会では博物館職員の資質向上を図るため、県内の博物館等の職員を対象に博物館の運営に関する専門的な情報の提供や技術の習得を目的とした研修会を開催した。当館が実務を担当した。

日　　時	2013 年 2 月 28 日（木）　13 時 00 分～16 時 30 分
会　　場	千葉県立中央博物館講堂
テ ー マ	博物館資料はなぜ救済されなければならないのか？　－東日本大震災の教訓－
プログラム	講演 1　震災における博物館の被害と復旧の現状　陸前高田市の事例 （陸前高田市立博物館　主任学芸員　熊谷　賢） 講演 2　大災害と博物館　岩手県の現場から考える博物館資料救済と関連する諸事情 （岩手県立博物館　学芸部長　大石雅之） 講演 3　福島県における文化財レスキュー　原発事故による影響と博物館の役割 （福島県立博物館　学芸員　竹谷陽二郎） 総合討論　博物館資料救済の合意形成に向けて
参 加 者	104 人（博物館等関係者　89 人、一般県民　15 人）
共　　催	千葉県教育委員会、千葉県博物館協会地域振興委員会

6.3 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」の開催

年 2 回、県立博物館の職員が講師となり、千葉県に関するテーマで講演を行った。本年度の会場は県立美術館。
会場：千葉県立美術館　時間：13 時 30 分～16 時 30 分

開催日	テーマ	講師	参加者数
11 月 17 日（土）	文学の中の「水郷」	内田龍哉（千葉県立中央博物館）	20 人
	漆の人間国宝　増村益城の歩み	中松満始（千葉県立美術館）	
12 月 15 日（土）	深い海に暮らす生きものたち	川瀬裕司（千葉県立中央博物館分館　海の博物館）	37 人
	発電の仕組み	今関文章（千葉県立現代産業科学館）	

7　入館者状況

7.1　月別入館者数

本館（生態園入園者含む）

月	開館日数	個人	団体	計
4 月	26	13,888	492	14,380
5 月	26	12,885	777	13,662
6 月	26	10,608	1,054	11,662
7 月	28	12,338	631	12,969
8 月	31	16,503	227	16,730
9 月	26	11,183	1,259	12,442
10 月	26	14,309	1,755	16,064
11 月	26	24,672	1,466	26,138
12 月	23	15,187	777	15,964
1 月	23	6,363	515	6,878
2 月	24	24,391	1,205	25,596
3 月	27	20,533	425	20,958
合計	312	182,860	10,583	193,443
割合		94.5%	5.5%	
通算	7,244	3,456,532	572,255	4,028,787

生態園

月	開館日数	計
4 月	26	7,804
5 月	26	6,547
6 月	26	4,580
7 月	26	4,000
8 月	27	4,160
9 月	26	3,328
10 月	26	6,038
11 月	26	8,744
12 月	23	4,183
1 月	23	2,898
2 月	24	5,126
3 月	27	8,449
合計	306	65,857
通算	7,210	2,780,674

大利根分館

月	開館日数	個人	団体	計
4 月	26	399	0	399
5 月	27	823	76	899
6 月	29	5,240	674	5,914
7 月	26	1,290	198	1,488
8 月	27	1,570	163	1,733
9 月	26	647	1,073	1,720
10 月	0	8	2,012	2,020
11 月	0	387	1,780	2,167
12 月	0	11	1,974	1,985
1 月	0	0	4,819	4,819
2 月	0	0	4,869	4,869
3 月	0	0	1,033	1,033
合計	161	10,375	18,671	29,046
割合		35.7%	64.3%	
通算				509,576

大多喜城分館

月	開館日数	個人	団体	計
4 月	26	9,127	454	9,581
5 月	27	8,421	520	8,941
6 月	26	4,081	1,046	5,127
7 月	24	4,303	361	4,664
8 月	27	7,804	149	7,953
9 月	26	5,171	238	5,409
10 月	23	5,090	630	5,720
11 月	26	8,272	1,246	9,518
12 月	21	5,026	566	5,592
1 月	25	4,764	212	4,976
2 月	24	4,971	619	5,590
3 月	27	9,328	402	9,730
合計	302	76,358	6,443	82,801
割合		92.2%	7.8%	

分館海の博物館

月	開館日数	個人	団体	計
4 月	26	4,192	51	4,243
5 月	26	5,593	774	6,367
6 月	26	2,780	1,177	3,957
7 月	26	5,027	797	5,824
8 月	31	15,529	573	16,102
9 月	26	4,128	345	4,473
10 月	22	2,745	347	3,092
11 月	26	3,399	360	3,759
12 月	21	1,911	79	1,990
1 月	24	3,544	149	3,693
2 月	24	3,727	218	3,945
3 月	27	6,309	172	6,481
合計	305	58,884	5,042	63,926
割合		92.1%	7.9%	
通算	7,231	2,874,545	521,916	3,396,461

7.2　団体入館状況　☞データ編

本館（生態園を含む）

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市	2	5	2	32	3		19	18	10	3	9	17	120	51.5%
葛南	1			6			3		3		2	11	26	11.2%
東葛飾				4			1		1	2		1	9	3.9%
北総		1		13	1		1	1	4			10	31	13.3%
東上総		2	1	4			2		1	2		1	13	5.6%
南房総	1	2	1	4					1	2		8	19	8.2%
県外			2	4		1			1			7	15	6.4%
海外													0	
合計	4	10	6	67	4	1	26	19	21	9	11	55	233	
割合	1.7%	4.3%	2.6%	28.8%	1.7%	0.4%	11.2%	8.2%	9.0%	3.9%	4.7%	23.6%		

大利根分館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市			1	2								1	4	5.3%
葛南				12									12	16.0%
東葛飾				9									9	12.0%
北総				35			1				1	1	38	50.7%
東上総				3									3	4.0%
南房総				1									1	1.3%
県外				6								2	8	10.7%
海外													0	0.0%
合計	0	0	1	68	0	0	1	0	0	0	1	4	75	5.3%
割合	0.0%	0.0%	1.3%	90.7%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	5.3%		

大多喜城分館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市		1							1			16	18	9.1%
葛南									1	1		18	20	10.2%
東葛飾	1									1		11	13	6.6%
北総												12	12	6.1%
東上総	2	2	2	4			2	1		1		15	29	14.7%
南房総					2				1	1		18	22	11.2%
県外						5				2		76	83	42.1%
海外												0	0	0.0%
合計	3	3	2	4	2	5	2	1	3	6		166	197	
割合	1.5%	1.5%	1.0%	2.0%	1.0%	2.5%	1.0%	0.5%	1.5%	3.0%	0.0%	84.3%		

分館海の博物館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市	3		2									7	12	10.9%
葛南								2	2	1			5	4.5%
東葛飾													0	0.0%
北総	1												1	0.9%
東上総		2		9	2					1		11	25	22.7%
南房総			1	1					3			5	10	9.1%
県外	4	6	3	25	1					1	1	16	57	51.8%
海外													0	0.0%
合計	8	8	6	35	3	0	0	2	5	3	1	39	110	
割合	7.3%	5.5%	31.8%	2.7%	0.0%	0.0%	1.8%	4.5%	2.7%	0.9%	35.5%	7.3%		

8 予算・決算

8.1 歳入決算

(千円)

	本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館	計
入場料収入	12,141	472	6,608	5,376	24,597
駐車場収入				9,313	9,313
その他収入	664	12	63	18	757
計	12,805	484	6,671	14,707	34,667

8.2 歳出決算

本館

(千円)

	決算額	構成比(%)	内訳	
展示事業費	21,537	12.6%	特別展開催等	
普及事業費	40,655	23.8%	展示解説員等	8,150
			博物館情報システム	30,542
			要覧等印刷費	663
			房総の山のフィールド・ミュージアム	1,113
			その他	187
調査研究費	3,117	1.8%	調査研究費	219
			重点研究事業	2,255
			シンポジウム	74
			研究報告書印刷	569
資料収集保存費	694	0.4%		
維持管理費	99,903	58.4%	一般運営費(光熱費等)・館管理業務(警備・清掃等)	
施設整備費	5,071	3.0%	施設整備(既設設備等改修)	
計	170,977			

分館

(千円)

	決算額	内訳
大利根分館	16,442	展示・普及・維持管理等
大多喜城分館	23,169	〃
分館海の博物館	57,997	展示・普及・調査研究(資料御収集込)・維持管理等

8.3 外部資金(予算)

(円)

事業	種類	金額
調査研究	文部科学省科学研究費補助金(研究代表)	18,500,000
	文部科学省科学研究費補助金(研究分担)	2,250,000
	その他助成金(笹川研究助成、文化芸術振興費補助金、東京大学大気海洋研究所学際連携研究、とうきゅう環境財団学術研究、五峯ライフサイエンス国際基金、海苔養殖の長期的・基礎的研究に関する助成)	5,235,000
展示	日本海事科学振興財団「海と船の企画展」支援事業	989,782
計		24,727,032

9 組織・運営

9.1 博物館協議会

教育機関設置条例第 21 条の 2 に基づいて設置され、県立美術館・博物館の運営に関し、各委員の専門的立場から広く意見を聴取し、事業に反映させている。(平成 18 年 4 月 1 日 設置)

■委員名簿

任期：平成 24 年 4 月 1 日～26 年 3 月 31 日

氏名（敬称略・氏名順）	所属・役職
鵜澤登美子	元佐倉市教育委員会教育次長
大森喜美江	千葉県子ども会育成連合会理事
岡本東三	千葉大学名誉教授
小野勝弘	株式会社出光興産顧問
齊藤泰嘉	筑波大学教授
反町京子	千葉市立大宮台小学校長
常光　徹	国立歴史民俗博物館教授
西田治文	中央大学教授
水島陽子	元館山市教育委員会教育委員長
米本　信	（財）NHK サービスセンター理事

■協議会の開催

第 1 回　　平成 24 年 7 月 26 日（会場：千葉県立中央博物館）

第 2 回　　平成 24 年 12 月 13 日（会場：千葉県立現代産業科学館）

第 3 回　　平成 25 年 3 月 13 日（会場：千葉県立中央博物館）

各回の議事録は、千葉の県立博物館のウェブサイトで PDF が公開されている。

http://www2.chiba-muse.or.jp/index.php?page_id=20（閲覧日：2013 年 11 月 5 日）

9.2 館組織・職員

9.2.1 組織図・分掌 （ ）内は人数

館長（1）	副館長（2）※1	庶務部 部長（1）	庶務課（5）	庶務・会計・管理
			企画調整課（3）	館事業の企画調整、情報システム運営、評価事業、博物館協議会の運営、他館との調整
			教育普及課（7）	教育普及・広報全般、本館来館者対応 体験学習室維持管理
		自然誌・歴史研究部 部長（1）	地学研究科（4）	地学分野の調査研究・資料・教育普及・展示に関すること。地学展示室維持管理
			動物学研究科（3+1）※2	動物分野の調査研究・資料・教育普及・展示に関すること。動物展示室維持管理
			植物学研究科（3+1）※2	植物分野の調査研究・資料・教育普及・展示に関すること。植物展示室維持管理
			歴史学研究科（6）	歴史分野の調査研究・資料・教育普及・展示に関すること。展示維持管理
			（大利根分館）（2）	大利根分館の管理・博物館事業
			（大多喜城分館）（4）	大多喜城分館の管理・博物館事業
			資料管理研究科（3）	博物館資料に関する研究。所蔵資料の統括・収蔵庫の維持管理・図書資料の管理
		生態・環境研究部 部長（1）	生態学・環境研究科（6+2）※2	生態環境分野の調査研究・資料・教育普及・展示に関すること。生態園の維持管理
			（房総の山のフィールド・ミュージアム）（4）	房総の山のフィールド・ミュージアム事業
			環境教育研究科（3）	環境教育分野の調査研究・資料・教育普及・展示に関すること。かかわり展示室等の維持管理
		分館海の博物館 分館長（1）	事務（2）	分館海の博物館の庶務・会計・管理
			専門（7）	分館海の博物館の博物館事業

※1 うち1名は環境生活部自然保護課副技監併任、※2 環境生活部自然保護課生物多様性センター併任

9.2.2 職員

①職員 73名（うち研究職63名で、再任用1名・併任5名を含む） 平成25年3月31日現在

部名・館	課・科名	職名	氏名	研究分野	
		館長	上野 純司	日本考古学	
		副館長（併）副技監	中村 俊彦	植物生態学	◎
		副館長	平野 久朗		
庶務部		部長兼庶務課長	村川 正二		
	庶務課	主査	高宮 京子		
		主査	宇野澤正義		
		副主査	植草さち江		
		副主査	長谷 久夫		
		主任事務員	佐藤久美子		
	教育普及課	課長	大野 啓一	群落生態学	
		主任上席研究員	乙竹 孝文	日本近世史	
		主任上席研究員	一場 郁夫	博物館活用・社会科教育	
		主任上席研究員	林 浩二	植物生態学・環境教育	
		主任上席研究員	立和名明美	考古学	
		主任上席研究員	奥田 昌明	古環境学	
		研究員	石渡 克彦	歴史学・東洋史学	
	企画調整課	課長	森田 利仁	古生物学	
		主任上席研究員	小田島高之	地理学	
		主任上席研究員	乃一 哲久	魚類水産学	
自然誌・歴史研究部		部長	宮野 伸也	社会性昆虫学	
	地学研究科	主席研究員兼科長	岡崎 浩子	堆積学	
		主任上席研究員	高橋 直樹	地質学・岩石学	
		主任上席研究員	八木 令子	地形学・自然地理学	
		主任上席研究員	伊左治鎭司	古生物学	
	動物学研究科	科長	宮 正樹	分子系統学	
		主任上席研究員	黒住 耐二	貝類学	
		主任上席研究員	立川 浩之	海洋生物学	
		上席研究員	高山 順子	海洋生態学	○

	植物学研究科	主席研究員兼科長	古木　達郎	蘚苔類分類学	
		主任上席研究員	原田　浩	地衣類分類学	○
		主任上席研究員	天野　誠	植物細胞分類学	
		主任上席研究員	斎木　健一	古植物学	
	歴史学研究科	主席研究員兼科長	郷堀　英司	日本考古学	
		主席研究員	筑紫　敏夫	日本近世史	
		主席研究員	内田　龍哉	日本近世史	
		主任上席研究員	小林　裕美	日本民俗学	
		主任上席研究員	三浦　和信	日本考古学	
		研究員	田邉由美子	動物考古学	
	（大利根分館）	主任上席研究員	糠谷　隆	魚類学	
		主任上席研究員	佐藤　誠	日本古代史	
	（大多喜城分館）	主任上席研究員	福原　宣之	博物館学	
		主任上席研究員	地引　尚幸	日本民俗学	
		主任上席研究員	村田　憲一	日本史	
	資料管理研究科	科長	斉藤　明子	昆虫分類学	
		主任上席研究員	駒井　智幸	甲殻類分類学	
		主任上席研究員	友田　暁子	図書資料論	
生態・環境研究部		部長	原　正利	森林生態学	
	生態学･環境研究科	主席研究員兼科長	大庭　照代	生物音響学	
		主席研究員	白井　豊	歴史地理学	
		主任上席研究員	由良　浩	植物実験生態学	○
		主任上席研究員	林　紀男	微生物生態学	
		主任上席研究員	萩野　康則	土壌動物学	
		主任上席研究員	御巫　由紀	植物分類学	
		主任上席研究員	山口　剛	昆虫生態学	
		主任上席研究員	浅田　正彦	哺乳類学	○
	（房総の山のFM）	主任上席研究員	尾崎　煙雄	森林生態学	
		主任上席研究員	島立　理子	民俗学・日本近代史	
		主任上席研究員	加藤　久佳	古生物学	
		主任上席研究員	大木　淳一	地質学	
	環境教育研究科	主席研究員兼科長	落合　啓二	哺乳類生態学	
		主任上席研究員	桑原　和之	鳥類学	
		主任上席研究員	倉西　良一	水生昆虫学	
分館海の博物館		分館長	宮田　昌彦	藻類分類学	
	事務	主査	的場　秀人		
		副主査	小安　祐一		●
	専門	主任上席研究員	本吉　正宏	歴史学	
		主任上席研究員	川瀬　裕司	魚類生態学	
		主任上席研究員	奥野　淳兒	動物分類学（甲殻類）	
		主任上席研究員	柳　研介	動物分類学	
		上席研究員	菊地　則雄	藻類学	
		上席研究員	青木　慎哉	海岸植物生態学	
		上席研究員	村田　明久	動物行動学（蔓脚類）	

（◎環境生活部自然保護課副技監併任、○環境生活部自然保護課生物多様性センター併任、●11 月 1 日転出）

②嘱託職員

本館	体験交流員	3 名
	その他	1 名
分館海の博物館	体験学習指導員	2 名
	その他	1 名

9.3　運営推進チーム

横断的な事業は、各館・各課科職員からなるチームを組織し、企画運営を行った。

企画・広報チーム
教育普及チーム
展示チーム
資料情報チーム
調査研究チーム
安全管理委員会
衛生委員会

10　千葉県立中央博物館友の会

10.1　会員数

（平成 25 年 3 月 31 日）

	24 年度	（23 年度）	（22 年度）
一般会員	358	407	403
家族会員	65	101	97
賛助会員	7	5	5
合　　計	430	513	505

10.2　役員

役職	人数
会長	1
副会長	2
事務局長庶務部会長	1
会計監査	2
幹事	13
会計・ショップ	1
ショップ担当	3
友の会事務局	1
顧問	3

10.3　事業

10.3.1　定期総会および講演会

4 月 22 日（日）中央博物館講堂
13：00～14：00　定期総会　（35 名）
14：10～15：40　講演会　　（40 名）　講師と演題：落合啓二「シカとカモシカ」

10.3.2　観察会・講座の実施　26 件 445 人（うち中止 1 件）

行事名	実施日	テーマ	実施場所	参加者数
青葉の森観察会	4/21（土）	春の青葉の森	青葉の森	25
	10/6（土）	秋の青葉の森	青葉の森	10
自然観察会	5/23（水）	すがすがしい新緑のブナ林を歩く－筑波山の植物－	筑波山	40
	8/24-25(金-土)	高原の花咲き乱れる乙女高原と上芦川	山梨県山梨市・笛吹市	43
	9/1（土）	多古光湿原の貴重種	横芝光町・多古町	24
生きもの教室	5/15（火）	エビ・カニの不思議	本館	14
	6/9（土）	青葉の森の虫さがし	青葉の森	中止
	6/19（火）	蜂蜜を知る・蜂蜜を楽しむ	研修室	12
	7/14（土）	青葉の森の虫さがし	青葉の森	15
	9/18（火）	サンゴのお話	本館	14
	11/13（火）	観察報告会	本館	13
歴史散歩	5/27（日）	市原市の歴史	市原市	16
	11/25（日）	成田市大栄・伊能～香取市栗源町	成田市・香取市	22
	2/24（日）	松戸市上本郷ほか	松戸市	20
地学	5/8（火）	地層・地質観察海底の砂の動きと地層の形成	茨城県神栖市	18
	6/9（土）	化石採集会：上総層群の化石－上総湊	富津市湊	31
	11/18（日）	化石採集会：千畑層の化石－鋸山	富津市金谷	32

行事名	実施日	テーマ	実施場所	参加者数
北総の自然と文化	6/30（土）	水との闘い（3）水郷佐原－水稲収穫ゼロの克服－	大利根分館・水生植物園（香取市）	17
	12/1（土）	龍角寺古墳群と仏教の伝来	房総のむら（栄町）	21
夏休み親子科学クラブ	8/5（日）	あっ，赤土から鉱物が！	本館	13
	8/6（月）	セミの抜けがらを調べてみよう	青葉の森・本館	6
	8/7（火）	飛べ，紙ヒコーキ！	本館	20
	8/8（水）	ガイコツくらべ	本館	13
	8/9（木）	年輪から木の一生をさぐる	本館・青葉の森	4
	8/10（金）	ふり子の実験・ふり子のタイマー	研修室	10

10.3.3 サークル活動　実施 17 件 101 人（うち中止 6 件）

行事名	実施日	テーマ	実施場所	参加者数
歴史サークル	4/30（月）	武蔵野台地の自然と歴史を歩く	東京都練馬区	17
	6/24（日）	史料を読み解き歴史を学ぶ 1	本館	6
	7/22（日）	史料を読み解き歴史を学ぶ 2	本館	7
	8/18（日）	明大平和教育登戸研究所記念館	川崎市多摩区	11
	9/30（日）	史料を読み解き歴史を学ぶ 3	本館	8
	10/28（日）	犬山城・岐阜城見学会	岐阜県	中止
	11/25（日）	史料を読み解き歴史を学ぶ 4	本館	5
	1/27（日）	史料を読み解き歴史を学ぶ 5	本館	6
	3/10（日）	早春の多摩丘陵の自然と歴史を歩く	川崎市生田区	中止
コケサークル	4/8（日）	第 44 回研修会　地衣類観察会	銚子海岸	9
	4/16（月）	第 45 回研修会　蘚苔類観察会	千葉市昭和の森	11
		第 46 回研修会　地衣類観察会	千葉市昭和の森	計画中止
	7/9（月）	第 47 回研修会　蘚苔類観察会	長野県麦草峠	10
		第 48 回研修会　地衣類観察会	栃木県日光市	計画中止
	10/18（木）	第 49 回研修会　蘚苔類観察会	鋸山	中止
		第 50 回研修会　地衣類観察	市原市民の森	計画中止
	2/7（木）	第 51 回研修会　鮮苔類顕微鏡観察	本館	11

10.3.4 博物館職員による会員対象展示解説・講座　12 回 108 人

毎月第 2 水曜日　11：00～12：00 実施

実施日	テーマ	講師	参加者数
4 月 11 日	春の展示「芽ばえ」の解説	大野啓一	11
5 月 2 日	生態園の雄花さがし（初夏編）	奥田昌明	3
6 月 13 日	和紙―歴史と技術	乙竹孝文	13
7 月 18 日	企画展「シカとカモシカ―日本の野生を生きる―」	落合啓二	10
8 月 8 日	縄文時代関連の展示	三浦和信	6
9 月 12 日	（鳥類を中心にした）生物多様性	柴田るり子※	13
10 月 24 日	特別展「ティラノサウルス―肉食恐竜の世界―」	伊左治鎭司	11
11 月 14 日	生態園トピックス展「ムカデとヤスデ」	萩野康則	9
12 月 12 日	化石のはなし	森田利仁	7
1 月 16 日	「時空を超えて―市原市ちはら台の発掘ものがたり―」	郷堀英司	9
2 月 27 日	学校の博物館活用	一場郁夫	6
3 月 13 日	生態園トピックス展「写真で見る生態園の生きものたち」	林　紀男	10

※千葉県環境部自然保護課千葉県生物多様性センター所属

10.3.5　博物館行事の支援　計画 22 件、実施 20 件 1,118 人

支援内容：指導・観察補助・会計・保安等

実施日	行事名		派遣チーム	参加者数
4 月 22 日	海の博物館行事	潮だまりの海藻	海藻	12
4 月 29 日	生態園連休特別企画	鳥のさえずり１，２，３	自然観察会	73
5 月 4 日	連休特別企画	石を割ってみよう	ヒスイの会	61
5 月 5 日	連休特別企画	本物の化石にさわってみよう	地学	148
5 月 26 日	地学野外観察会	上総層群化石採集会	地学	29
6 月 15 日	県民の日特別企画	本物の化石にさわってみよう	地学	300
7 月 22 日	夏休み自由研究相談会		友の会(1 名)	38
8 月 4 日	地学講座	化石の模型をつくろう１（製作編）	地学	38
8 月 5 日	地学野外観察会	海岸で石ころをひろおう	地学（1 名）	33
8 月 5 日	生態園観察会	早起きして夏の音を探そう１，２	自然観察会	28
8 月 11 日	地学講座	化石の模型をつくろう２（製作編）	地学	37
8 月 13 日	地学講座	化石のクリーニング	地学	23
8 月 18 日	生態園観察会	虫の声１　夏の夜	生きもの教室	12
8 月 25 日	夏休み自由研究相談会		友の会(1 名)	14
8 月 26 日	夏休み自由研究相談会		友の会(1 名)	7
9 月 23 日	地学講座	化石発掘たいけん	地学	28
10 月 6 日	体験教室	勾玉づくりに挑戦しよう１，２	歴史散歩	連携中止
10 月 6 日	生態園観察会	虫の声２　秋の夜	生きもの教室	連携中止
10 月 27-28 日	地学野外観察会	秩父地方の地質と化石	地学	25
11 月 3 日	文化の日特別企画	砂で遊ぼう−砂絵／ジオパッド	地学	162
11 月 4 日	地学講座	実験水路をつくろう・使おう	地学	9
11 月 10-11 日	地学野外観察会	県外岩石観察会６　箱根火山の小松石	地学	21
3 月 2 日	地学講座	岩石薄片をつくろう	ヒスイの会	20

10.3.6　本館企画展示ボランティア　46 日間

展示名・行事名	活動日数	活動人数
特別展「ティラノサウルス―肉食恐竜の世界―」『突撃、恐竜調査隊』	22 日間（土日祝）	18 名（延べ 62 人日）
企画展「シカとカモシカ」『カモシカクイズ　この顔をさがせ！』	24 日間（土日祝）	13 名（各回 2〜4 名）

10.3.7　友の会ニュースの発行　年 3 回

75 号〜77 号（発行日：4 月 1 日、8 月 1 日、12 月 1 日）

編集会議　12 回

10.3.8　ミュージアムショップの運営

営業時間　平　日　12：00〜16：30

土日祝　11：00〜16：30

月曜日　休業　（博物館の臨時開館日も休業）

TEL　043-266-5996

■開館日・休館日

◇開館時間

午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

◇休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌平日に休館）
年末年始（12月28日～1月4日）
大利根分館　10月～3月季節休館。学校等団体のみ観覧予約受付

◇臨時開館日・臨時休館日

	臨時開館日	臨時休館日
本館・生態園	7月23日、30日 8月6日、13日、20日、27日 （以上、生態園は休園）	なし
大利根分館	なし	なし
大多喜城分館	5月1日 1月2日、3日	7月10日、11日 10月23日、24日、25日 12月11日、12日、1月4日
分館海の博物館	5月1日 8月6日、13日、20日、27日 1月2日～4日	5月8日、9月4日、10月16日、18日、19日 12月18日、19日、1月8日、9日 1月8日、9日

■入場料

	本館						分館			
	通常期間		特別展期間		企画展期間		通常期間		企画展期間	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
一般	300	240	800	640	500	400	200	160	300	240
高校・大学生	150	120	400	320	250	200	100	80	150	120

※20人以上は団体料金を適用
※小中学生以下、65歳以上は無料
※身体障害者および介助者は無料

施設無料開放日：6月15日（県民の日）、11月3日（文化の日）

◇生態園　無料

◇年間パスポート料金

	本館		分館	
	料金	企画展追加料金	料金	企画展追加料金
一般	1,500	200	1,000	100
高校・大学生	750	100	500	50

DATA 1A　資料の収集・借用・利用一覧　〈本館〉

Data 1A.2　資料の収集

■寄贈資料一覧

	資料系	資料名	点数	寄贈者
1	動物	ニシキエビ剥製	1	個人
2	〃	モンゴル産タイリクオオカミ全身毛皮	1	個人
3	地学	岩石標本	11	個人
4	生態・環境	射場崇男　ＣＤコレクション	5	個人
5	〃	小山勇　鳥の音声コレクション	298	個人
6	〃	田辺至　録音コレクション	4	個人
7	〃	長谷川博　コレクション	3	個人
8	〃	海上の森サウンドマップ関連資料	8	個人
9	〃	平野の音博物館	1	個人
10	〃	峯岸典雄　生物音声コレクションの追加・補足（軽井沢の野鳥と環境録音　峯岸コレクション）	3	個人
11	〃	自然の中に生きる音	1	千葉県立鎌ヶ谷高等学校
12	〃	稲干しのすがた撮影写真	92	個人

Data 1A.3　資料の借用

■常設展示資料の借用

①地学展示室

	資料系	資料名	点数	借用先
1	地学	千葉石標本（南房総市荒川産）	1	個人
2	〃	方解石標本（南房総市荒川産）	1	個人
3	〃	千葉石の産状写真	1	個人
4	〃	千葉石拡大写真	1	個人
5	〃	千葉石拡大写真	1	個人
6	〃	千葉石結晶構造イラスト	1	個人
7	〃	千葉石結晶形態模式図	1	個人
8	〃	サンゴ岩体化石	1	とみうら元気倶楽部
9	〃	ニホンジカ角化石	1	木更津市立中郷小学校
10	〃	馬蹄石	1	個人
11	〃	銚子産化石・岩石	105	個人
12	〃	ナウマンゾウ臼歯化石ほか	23	個人
13	〃	ナウマンゾウ臼歯化石	1	個人
14	〃	石筍ほか	2	個人
15	〃	山岳鳥瞰図	408	個人

②生物展示室

	資料系	資料名	点数	借用先
1	動物	海岸漂着物	16	個人
2	植物	海岸漂着物	17	個人

③歴史展示室

	資料系	資料名	点数	借用先
1	歴史	中山新田Ⅰ遺跡出土石器ほか	474	千葉県教育委員会
2	〃	鳥浜貝塚出土クルミほか	9	福井県立若狭歴史民俗資料館
3	〃	下ヶ戸宮前貝塚出土骨角製刺突具	7	我孫子市教育委員会
4	〃	姥山貝塚出土縄文土器	9	慶應義塾大学
5	〃	林跡遺跡出土木葉形尖頭器ほか	8	鎌ヶ谷市教育委員会
6	〃	城の腰遺跡出土石器ほか	105	県立房総のむら指定管理者（財）千葉県教育振興財団
7	〃	下向山遺跡出土土器ほか	4	袖ケ浦市郷土博物館
8	〃	本名輪遺跡出土炭化米	一式	君津市教育委員会
9	〃	西広貝塚出土石剣ほか	17	市原市教育委員会
10	〃	三田遺跡出土赤彩土器ほか	8	芝山町教育委員会
11	〃	山田水呑遺跡出土墨書土器ほか	24	東金市教育委員会
12	〃	四留作第１号墳出土鋤先ほか	35	木更津市教育委員会
13	〃	新坂１号墳出土円頭大刀ほか	60	山武市教育委員会
14	〃	宮内井戸作遺跡出土深鉢	13	佐倉市教育委員会
15	〃	鉄帽ほか	18	印西市立印旛歴史民俗資料館
16	〃	有吉北貝塚貝層剥ぎ取り断面ほか	26	（財）千葉県教育振興財団
17	〃	草木撰種録ほか	3	個人
18	〃	村明細帳・年貢割付状	2	個人
19	〃	地租改正の丈量器具	一式	富津市文化協会

20	〃	職工人夫心得ほか	4	個人
21	〃	内野第１遺跡出土土偶	2	千葉市教育委員会
22	〃	飯山満東遺跡出土浅鉢	5	国立歴史民俗博物館

■ 企画展示資料の借用

①特別展「ティラノサウルスー肉食恐竜の世界ー」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	地学	カルノタウルス（全身）	1	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
2	〃	トリケラトプス・ロボット	1	佐賀県立宇宙科学館
3	〃	アロサウルス（四肢骨など）	4	個人
4	〃	エオラプトル（全身）	1	群馬県立自然史博物館
5	〃	ヘレラサウルス（全身）	1	群馬県立自然史博物館
6	〃	ヘレラサウルス（頭骨）	1	個人
7	〃	コエロフィシス（頭骨）	1	個人
8	〃	ケラトサウルス（頭骨）	1	個人
9	〃	メガロサウルス（下顎）	1	個人
10	〃	スピノサウルス（上顎）	1	群馬県立自然史博物館
11	〃	アロサウルス（頭骨）	1	個人
12	〃	アロサウルス（頭骨）	1	個人
13	〃	シノサウロプテリクス（全身）	1	個人
14	〃	スキピオニクス（全身）	1	個人
15	〃	ラプトレックス（頭骨）	1	個人
16	〃	アリオラムス（頭骨）	1	個人
17	〃	アリオラムス（頭骨）	1	佐賀県立宇宙科学館
18	〃	テラトフォネウス（頭骨）	1	佐賀県立宇宙科学館
19	〃	新種?ティラノサウルス類（頭骨）	1	個人
20	〃	ダスプレトサウルス（頭骨）	1	国立科学博物館
21	〃	タルボサウルス（頭骨）	1	ゴビサポート・ジャパン
22	〃	ハルピミムス（頭骨）	1	ゴビサポート・ジャパン
23	〃	ガリミムス（全身）	1	ゴビサポート・ジャパン
24	〃	ガルディミムス（頭骨）	1	ゴビサポート・ジャパン
25	〃	オルニトミムス類（頭骨）	1	個人
26	〃	アーケオルニトミムス（頭骨）	1	個人
27	〃	カウディプテリクス（全身）	1	群馬県立自然史博物館
28	〃	ヴェロキラプトル vs プロトケラトプス（全身）	1	ゴビサポート・ジャパン
29	〃	インゲニア（全身）	1	ゴビサポート・ジャパン
30	〃	シティパティ幼体(卵)	1	ゴビサポート・ジャパン
31	〃	オヴィラプトル類	1	個人
32	〃	コンコラプトル（全身）	1	個人
33	〃	モノニクス（全身）	1	ゴビサポート・ジャパン
34	〃	サウロルニトイデス（頭骨）	1	ゴビサポート・ジャパン
35	〃	ヴェロキラプトル（頭骨）	1	個人
36	〃	ヴェロキラプトル（頭骨）	1	個人
37	〃	ミクロラプトル（全身）	1	個人
38	〃	始祖鳥ロンドン標本	1	佐賀県立宇宙科学館
39	〃	始祖鳥マックスブルグ標本	1	佐賀県立宇宙科学館
40	〃	始祖鳥ハールレム標本	1	佐賀県立宇宙科学館
41	〃	始祖鳥アイヒシュテット標本	1	佐賀県立宇宙科学館
42	〃	ヘスペロルニス（全身）	1	群馬県立自然史博物館
43	〃	ガストルニス（全身）	1	群馬県立自然史博物館
44	〃	アフロベナトル（全身）	1	国立科学博物館
45	〃	ティラノサウルス（全身）	1	インターキッズ
46	〃	ティラノサウルス（脳幹）	1	佐賀県立宇宙科学館
47	〃	ティラノサウルス（歯）	1	佐賀県立宇宙科学館
48	〃	ティラノサウルス（叉骨）	1	個人

②企画展「シカとカモシカ －日本の野生を生きるー」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	動物	哺乳類標本（剥製・骨格・角）	12	国立科学博物館
2	〃	哺乳類標本（剥製）	15	三重県立博物館
3	〃	哺乳類標本（骨格・角）	13	千葉市動物公園
4	〃	哺乳類標本（骨格・角）	5	横浜市立金沢動物園
5	〃	哺乳類標本（剥製）	3	埼玉県立自然の博物館
6	〃	哺乳類標本（剥製）	1	茨城県自然博物館
7	〃	哺乳類標本（ニホンジカ落角標本一式）	1	大船渡市立博物館

8	〃	星野道夫氏撮影写真パネル・原稿・愛用品ほか	34	星野道夫事務所
9	〃	ニホンジカによる植生影響写真ほか	3	植生学会
10	〃	ヤマビル写真・イラスト・忌避剤ほか	11	ヤマビル研究会
11	〃	ニホンジカ映像・写真	14	個人
12	〃	ニホンジカ写真	6	個人
13	〃	マダニ写真	5	個人
14	〃	キョン写真・映像・音声	4	個人
15	〃	ニホンジカ音声	2	個人
16	〃	コウガイビル写真	1	個人
17	〃	ニホンジカによる植生影響写真	1	個人
18	〃	ニホンジカによる植生影響写真	1	個人
19	〃	ニホンカモシカ角写真	1	個人
20	歴史	縄文時代・弥生時代骨角製品	13	千葉県立房総のむら
21	〃	縄文時代・弥生時代骨角製品	4	公益財団法人千葉県教育振興財団
22	〃	縄文時代骨角製品	9	市原市教育委員会
23	〃	弥生時代骨角製品	9	千葉大学文学部考古学教室（個人）
24	〃	古墳時代埴輪	1	横芝光町教育委員会
25	〃	縄文時代骨角製品	2	千葉県教育委員会
26	〃	鉄炮預リ証文	1	印西市立印旛歴史民俗資料館および個人
27	〃	成形図説（データ）	1	早稲田大学図書館
28	〃	矢作貝塚出土ヤスほか	13	県立房総のむら指定管理者（財）千葉県教育振興財団
29	〃	草刈遺跡出土腰飾りほか	4	（公財）千葉県教育振興財団
30	〃	こうもり穴洞穴出土ト骨	9	千葉大学文学部考古学研究室
31	〃	下総小川台古墳群第５号墳出土埴輪（シカ）	1	横芝光町教育委員会
32	〃	西広貝塚出土腰飾りほか	9	市原市教育委員会
33	〃	草刈遺跡出土腰飾りほか	2	千葉県教育委員会

③春の展示「ナッツ&ベリー －千葉の名産から世界の逸品まで－」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	植物	モンキーポッドとパラダイスナッツほか	3	（財）沖縄美ら島財団　総合研究センター
2	〃	デジタル画像「ヘーゼルナッツ」ほか	14	富山県中央植物園
3	〃	デジタル画像「縄文の水辺の復元」	1	国立歴史民俗博物館
4	〃	デジタル画像「ノウゴウイチゴ」	1	富山市科学博物館
5	〃	デジタル画像「ハスカップ」ほか	2	個人
6	〃	デジタル画像「ベリーパッチ」ほか	5	個人
7	〃	デジタル画像「アーモンド」	2	個人
8	〃	デジタル画像「ピスタチオナッツ」	2	個人
9	〃	デジタル画像「カシューナッツ」	2	個人
10	〃	デジタル画像「カシューナッツ」	2	個人
11	〃	デジタル画像「シラタマノキ」	1	個人
12	〃	デジタル画像「ハシバミ」	1	個人
13	〃	デジタル画像「イイギリの実を食べるヒヨドリ」	1	個人
14	〃	デジタル画像「モミジイチゴ」ほか	6	個人
15	〃	デジタル画像「ハスの実」ほか資料	5	個人
16	〃	ハスの果実ほか	5	個人
17	〃	マカダミアナッツ製品ほか	5	個人
18	〃	ハスカップ製品ほか	5	個人
19	〃	シロバナノヘビイチゴほかデジタル画像	2	北八ヶ岳苔の会
20	〃	デジタル画像「マロンケーキ」ほか	2	（株）シャトレーゼ
21	〃	デジタル画像「ピスタチオショコラ」ほか	21	京成ホテルミラマーレ
22	〃	落花生のパネル、ポスター、標本	8	千葉県農林総合研究センター育種研究所
23	〃	イチゴのパネル、イチゴとブルーベリーの植木鉢	17	千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所
24	〃	落花生のぼり旗、製品、パネルほか	48	（社）千葉県落花生協会
25	〃	映像「八街の落花生」	1	八街商工会議所落花生部会
26	〃	イチゴのぼり旗	4	千葉県いちご組合連合会
27	〃	ピーちゃん着ぐるみ	1	千葉県農林水産部生産販売振興課
28	歴史	道免き谷津遺跡写真資料	6	（公財）千葉県教育振興財団
29	〃	道免き谷津遺跡出土品	12	（公財）千葉県教育振興財団

④関東地区博物館協議会共同企画展「水郷を旅する人々」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	歴史	航湖紀勝	1	県立関宿城博物館
2	〃	桂月全集第２巻	1	県立中央図書館
3	〃	若山牧水全集第８巻	1	県立中央図書館
4	〃	田山花袋『水郷めぐり』	1	県立中央図書館
5	〃	北原白秋全集第５巻	1	県立中央図書館

6	〃	北原白秋全集第１２巻	1	県立中央図書館
7	〃	定本与謝野晶子全集第２巻	1	県立中央図書館
8	〃	定本与謝野晶子全集第６巻	1	県立中央図書館
9	〃	徳冨蘆花全集第３巻	1	県立中央図書館
10	〃	若山牧水肖像写真（デジタル画像）	1	公益財団法人沼津牧水会
11	〃	北原白秋翁肖像写真（デジタル画像）	1	特例財団法人北原白秋生家記念財団
12	〃	野口雨情肖像写真他（デジタル画像）	2	特例財団法人茜平ふれあい財団

⑤トピックス展「第 3 回惑星地球フォトコンテスト入選作品展示会」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	地学	惑星地球フォトコンテスト入選作品	16	日本地質学会

⑥トピックス展「牧野富太郎生誕 150 年展」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	植物	牧野富太郎写真 A2-0011（デジタル画像）	1	公益財団法人高知県牧野財団

⑦トピックス展「世界最大のトドの化石が発見されました！」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	地学	現生トド雄下顎骨	1	個人

⑧生態園トピックス展「ムカデとヤスデ」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	動物	マクラギヤスデ拡大模型	1	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
2	〃	セスジアカムカデ拡大模型	1	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
3	〃	ムカデヤスデ液浸標本	10	個人
4	〃	ムカデヤスデ画像	11	個人
5	〃	ムカデヤスデ画像	11	個人
6	〃	ヤスデ画像	4	個人
7	〃	ヤスデ画像	1	個人
8	〃	ヤンバルトサカヤスデ画像	2	個人

■調査研究資料の借用

	資料系	資料名	点数	借用先
1	歴史	古文書・古文書容器	835	個人
2	〃	古文書	1,525	個人

Data 1A.4　資料の利用

■閲覧

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	一般	ニホンジカ頭骨標本	40	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
2	貴重書	著作物	きのこ図版（「ポートレットの菌類図譜」等 11 冊掲載）	202	PIE InteatI
3	歴史	一般	日本博覧図　千葉県之部初編　濱口儀兵衛店	1	ヤマサ醤油株式会社

■ 館内撮影

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	地学	著作物	ナウマンゾウ牙化石（登録番号 CBM-PV16）の写真	1	木更津市教育委員会
2	動物	一般	オオムラサキ標本	25	個人
3	〃	一般	淡水性貝類 16 種	16	一般財団法人自然環境研究センター
4	〃	一般	世界の陸産貝類標本	7	㈱千代田ラフト
5	〃	一般	フズリナ拡大模型	1	㈱テレビマンユニオン
6	歴史	一般	中台板石塔婆	1	個人
7	〃	一般	浅間山古墳出土資料　金銅製冠飾り　他	12	松戸市立博物館
8	〃	一般	成田香取鹿島息栖細見絵図他	35	成田アート博覧会
9	〃	一般	米山素子氏寄贈資料（篠崎四郎拓本資料）	6	個人
10	〃	著作物	諸国名所百景　上総笠森寺岩作の観音他	3	株式会社　芳林社
11	生態環境	著作物	サウンドマップ（生態園舟田池・林）	2	独立行政法人 科学技術振興機構 理数学習支援センター サイエンスウィンドウ
12	貴重書	著作物	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画：「四季花くらべ内 秋」	1	個人
13	〃	著作物	Linnaeus,A Student, Lecture Notes, MS(SouIsby,1)等 16 件	23	個人

■貸出

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	一般	ニュウドウカジカ液浸標本	1	新江ノ島水族館
2	〃	一般	標本、スズメバチの巣等	119	大阪市立自然史博物館
3	〃	一般	アライグマの標本、ハクビシンの標本	2	八千代市環境保全課
4	〃	一般	頭骨標本（ノウサギ、キツネ、ニホンザル）	3	旭市立三川小学校
5	〃	一般	ニホンザル、タヌキ、ノウサギ、アズマモグラ、アブラコウモリの剥製・ 全身組立骨格	10	千葉市立星久喜中学校
6	〃	一般	剥製（ニホンウサギ、アズマモグラ）、ヤマアラシの針毛、毛皮（ゴマフアザラシ、キタオットセイ、ヒグマ、トナカイ、ホッキョクギツネ）	8	千葉市科学館
7	〃	一般	ニホンジカ毛皮（夏毛、冬毛）、千葉県産ニホンジカ頭骨（角付き）	3	千葉市科学館
8	〃	一般	タヌキ頭骨（6 点）、ニホンジカ（6 点）	12	市原市立有秋中学校
9	〃	著作物	千葉県立中央博物館平成 24 年度企画展「シカとカモシカ」放映映像（DVD）	1	千葉市科学館
10	植物	一般	コケの樹脂含浸標本	36	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
11	〃	一般	レプリカ・模型・ジオラマ（ブルーチーズの発酵菌レプリカほか）	19	群馬県立自然史自然史博物館
12	〃	一般	菌類模型	43	鳥取県立博物館
13	植物・動物	一般	植物・菌類模型（33 点）、鳥剥製（21 点）、ほ乳類剥製（10 点）、菌類標本（8 点）、貝類標本（34 点）	106	千葉県立房総のむら
14	地学	一般	ティラノサウルス砂像	1	あさひ砂の彫刻美術展実行委員会
15	〃	一般	貸出用化石キット 基本セット 18 種 6 セット	18	千葉市立星久喜中学校
16	〃	一般	貸出化石キット基本セット 18 種 6 セット 拡張セット 4 種 1 セット	1	千葉市立幕張西中学校
17	歴史	一般	水戸佐倉道分間延絵図（複製）	1	八千代市立郷土博物館
18	〃	一般	干鰯復元模造品他	2	千葉県立関宿城博物館
19	〃	一般	浅間山古墳出土資料 金銅製冠飾り 他	6	松戸市立博物館
20	生態環境	一般	中央博物館 石造文化財調査カード（本埜村）6 冊、石造文化財ネガフィルム（本埜村）2 冊	8	印西市立印旛歴史民俗資料館
21	〃	一般	千葉県教育委員会 石造文化財調査カード（印西町 2 冊・印旛村 1 冊・本埜村 1 冊）	4	印西市立印旛歴史民俗資料館
22	貴重書	著作物	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画の画像」の画像ポジフィルム	1	誠文堂新光社
23	〃	著作物	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画の画像」の画像ポジフィルム	2	（株）セブンオークス・パブリシング、マガジン発行「YUCARI」
24	〃	著作物	カーチス植物学雑誌 vol.3 より No.96 ランタナ・アキュレアタ植物画＋解説画像（35mm ポジスライド）	2	神代植物公園サービスセンター
25	〃	著作物	二口善雄植物画	28	袖ヶ浦市郷土博物館
26	〃	著作物	書籍 ミケリ「植物の新しい属」他	11	鳥取県立博物館

■ 研究用貸出

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	一般	カサガイ類	115	個人
2	〃	一般	ナツシマチョウジャゲンゲ ホロタイプ	1	大阪市立自然史博物館
3	〃	一般	オガサワラモクズガニ パラタイプ	1	四国大学
4	〃	一般	オガサワラモクズガニ パラタイプ	1	四国大学
5	〃	一般	ヤガ科ガ類	1	個人
6	〃	一般	ウモレベンケイガニ	3	National University of Singapore
7	〃	一般	ダルマゴカイ類	2	横浜国立大学
8	〃	一般	ヤママユガ科ガ類	4	個人
9	〃	一般	ハネカクシ科 Megalopinus tomishimai ホロタイプ	1	個人
10	〃	一般	コイ科スガモロコ属魚類	24	近畿大学農学部
11	〃	一般	ヤガ科ガ類	8	個人
12	〃	一般	ベニシオマネキ	6	National Chung Hsing University
13	〃	一般	二枚貝類	10	熊本大学文学部
14	〃	一般	ヤドカリ類	5	島根大学汽水域研究センター
15	〃	一般	カニ類	2	National Chung Hsing University
16	〃	一般	オガサワラモクズガニ パラタイプ	1	四国大学
17	〃	一般	オサテエビ	3	National Taiwan Ocean University
18	〃	一般	オガサワラモクズガニ	1	四国大学
19	〃	一般	ケアシガニ科ケアシガニ属	7	National University of Singapore
20	〃	一般	貝類	12	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
21	〃	一般	フクロムシ類	6	琉球大学理工学研究科
22	〃	一般	ヤママユガ科ガ類	4	個人
23	〃	一般	カマトガニ科カニ類	5	National University of Singapore
24	〃	一般	ヤママユガ科ガ類	5	個人
25	地学	一般	ムカシマンモス ホロタイプ，パラタイプ	2	埼玉県立自然の博物館

■ 交換

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	植物	一般	維管束植物	50	香港漁農自然護理署

■デジタル情報の複製

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	著作物	イノシシ剥製画像	3	船橋市飛ノ台史跡公園博物館
2	植物	著作物	ツチグリの写真	2	日本テレビ放送網
3	〃	著作物	野草カード画像：ホトケノザ、ハルジオン	2	教育出版株式会社社
4	地学	著作物	ナウマウゾウ復元骨格写真	2	ベネッセコーポレーション
5	〃	著作物	梅ヶ瀬層産トド類化石写真	1	誠文堂新光社
6	〃	著作物	ニホンハナガメ化石標本写真、ニホンハナガメ出土状況写真、ヤベイシガメ化石標本写真、ナウマンゾウ全身骨格標本写真	4	袖ヶ浦市郷土博物館
7	〃	著作物	九十九里浜航空写真	1	株式会社第一学習社東京支社
8	〃	著作物	千葉市中央区千葉港付近の空中斜め写真	1	有限会社 ハユマ
9	歴史	著作物	鳥瞰図:中央博物館及びその周辺地域の景観の変化（明治 10 年代）	1	個人
10	〃	著作物	上総国分寺復元模型	1	株式会社学研教育出版
11	〃	一般	群鶴図	1	野田市
12	〃	著作物	真忠組一件絵巻（新開徒党の図）	1	千葉県文書館
13	〃	一般	日本博覧図　千葉県之部初編　千葉県下総国下埴生郡成田町旅舎大野市平	1	株式会社旅館大野屋
14	〃	著作物	日本博覧図　千葉県之部初編　醤油醸造　吉田甚左衛門邸宅	1	文部科学省
15	〃	著作物	日本博覧図　千葉県之部初編　千葉県下総国葛飾郡八栄村三咲静楽園	1	鎌ヶ谷市郷土資料館
16	〃	著作物	下方丸塚古墳出土品	4	個人
17	〃	著作物	千葉県指定有形文化財　板絵馬著色武者絵（弁慶・牛若）	1	千葉市郷土博物館
18	生態環境	著作物	日本の野鳥の音声	178	慶應義塾幼稚舎
19	〃	一般	中央博物館石造文化財調査カードのうち本埜村分	389	個人
20	〃	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、「電車内での行商の女性達」	1	袖ヶ浦市郷土博物館
21	歴史・貴重書	著作物	小金巻狩り図屏風、「本草図譜『菌蕈部』」	2	公益財団法人 千葉県教育振興財団 千葉県立房総のむら
22	貴重書	著作物	"リンネの性の体系"24 綱『植物属誌』1 版 1737 年 G. D.　Ehret エーレット画 デジタル画像	1	学校法人日本放送協会学園
23	〃	著作物	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」の画像：歌川芳藤「草花植木づくし」	1	株式会社フィフス・ディメンション
24	〃	著作物	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」の画像：歌川芳藤「草花植木づくし」、歌川広重（二代）「三十六撰 東都入谷朝顔」、渓斎英泉「松（仮題）」（複製）	3	㈱ネクサス
25	〃	著作物	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」の画像：「市美弥景姿の福贔屓」「五節文章（菊月の文）」「春宵梅ノ宴」	3	㈱ネクサス
26	〃	著作物	「植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画」の画像：歌川広重（二代）「江戸名勝図會染井」	1	NHK エデュケーショナル
27	〃	著作物	図版「ヒトヨタケ属の 1 種」ほか（「バイエルン・パラティネート・レーゲンスブルク地方の菌類原色彩色譜」「フランス植物誌」「モンリュソン地方の大型菌類図譜」掲載）	3	鳥取県立博物館
28	〃	著作物	タマハジキタケの図（「Nova plantarum Genera」掲載）、こうたけの図・さまつの図（「本草図譜『菌蕈部』」掲載）	3	山と渓谷社
29	〃	著作物	きのこ図版（「植物の新しい属」等 10 冊に掲載）	93	㈱三越伊勢丹宣伝部

■ デジタルミュージアム転載

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	著作物	タヌキ、アナグマ、ハクビシン、アライグマの画像	4	大分市環境部
2	〃	著作物	タヌキ・アナグマ・ハクビシン・アライグマの顔と尾（デジタルミュージアム画像）	4	認定 NPO 人生態工房
3	歴史	著作物	「日本博覧図」	1	財団法人千葉市みどりの協会
4	生態環境	著作物	音声ファイル：コオロギの仲間、セミの仲間、カエルの仲間	54	ベネッセコーポレション小学生事業部 講座情報編集ユニット
5	〃	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、中央博デジタルミュージアム「故・林辰雄氏撮影写真集-昭和 30 年代東京湾-」の写真「海苔ひびの場所への住来」	1	株式会社日企
6	〃	著作物	故・林辰雄氏撮影のうち、中央博デジタルミュージアム「故・林辰雄氏撮影写真集-昭和 30 年代の東京湾-」	2	中部日本放送株式会社（CBC テレビ）
7	〃	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、中央博デジタルミュージアム「故・林辰雄氏撮影写真集-昭和 30 年代東京湾-」	2	株式会社ハウフルス
8	〃	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、中央博デジタルミュージアム「故・林辰雄氏撮影写真集-昭和 30 年代東京湾-」の写真「海苔ひびの場所への住来」	1	株式会社日企

DATA 1B　資料の収集・借用・利用一覧　〈大利根分館〉

Data 1B.2　資料の収集

■寄託資料

	資料系	資料名	点数	寄贈者（敬称略）
1	古文書	下小野区有文書	5	下小野区
2	古文書	十六島図	1	香北土地改良区
3	古文書	神宮寺文書	540	神宮寺
4	古文書	柴田家蔵書	119	個人
5	古文書	寺田家文学資料	447	個人
6	古文書	鈴木家文書	167	個人
7	古文書	神崎神社文書	91	神崎神社
8	古文書	三区用水関係文書	20	三区
9	古文書	石毛嘉左衛門家文書	1,525	個人
10	古文書	船板図	20	個人
11	地学資料	ナウマン・クジラの化石	2	成田市教育委員会
12	古文書	鴇崎区有文書	34	鴇崎区
13	古文書	寺内区有文書	15	寺内区
14	古文書	山来家文書	2,127	個人
15	古文書・民俗資料	古文書・造船関係用具他	244	個人

Data 1B.3　資料の借用

■常設展示借用資料一覧

	資料系	資料名	点数	借用先（敬称略）
1	古文書	黒田家文書	8	個人
2	民俗資料	板碑	2	惣持
3	民俗資料	板碑	1	個人
4	民俗資料	丸木舟	1	匝瑳市教育委員会
5	美術資料	木造阿弥陀如来坐像	1	西福寺
6	埋蔵文化財	阿玉台北遺跡出土土器・炭化米・石製浮子・石錘・土器片錘	17	県立房総のむら
7	埋蔵文化財	馬場遺跡・東野遺跡・多田遺跡・鴇崎貝塚・取香和田戸遺跡出土遺物	74	(公財)千葉県教育振興財団
8	埋蔵文化財	城山第 5 号前方後円墳出土人物埴輪・大六天遺跡・織幡ササノ倉遺跡出土土器・プロペラ・河童図	42	香取市教育委員会
9	地学資料	翼竜復元模型	3	航空科学博物館

■ 企画展示借用資料一覧

企画展「水郷を旅する人々Ⅱ」

	資料系	資料名	点数	借用先（敬称略）
1	古文書	高田与清「鹿島日記」	1	県立関宿城博物館
2	古文書	水郷汽船「水郷めぐり」	1	県立関宿城博物館
3	古文書	鳥瞰図「鹿島神宮詣と水郷めぐり」	1	県立関宿城博物館
4	古文書	田山花袋「水郷めぐり」	1	館林市教育委員会
5	古文書	田山花袋「山行水行」	1	館林市教育委員会
6	古文書	徳富蘇峰書額	1	旭市立鶴巻小学校
7	古文書	田山花袋「山行水行」原稿	1	館林市教育委員会
8	古文書	北原白秋全集	2	県立中央図書館
9	古文書	与謝野晶子全集	1	県立中央図書館
10	古文書	若山牧水全集	1	県立中央図書館
11	古文書	鴇田東鼠「名家紀行」	1	県立中央図書館
12	資料	さつき丸ラット	1	株式会社ラクスマリーナ
13	古文書	「香取鹿島と水郷霞ヶ浦筑波山案内図」	1	土浦市立博物館
14	古文書	藤森弘庵「航湖紀勝」	1	土浦市立博物館
15	古文書	三島中洲「霞浦遊藻」	1	土浦市立博物館
16	古文書	鹿島参宮鉄道開通記念絵葉書	1	小美玉市史料館
17	古文書	鹿島参宮鉄道延長線開通記念絵葉書	1	小美玉市史料館
18	古文書	鹿島参宮鉄道絵葉書	1	小美玉市史料館
19	古文書	徳富蘆花「青山白雲」	1	蘆花恒春園
20	古文書	徳富蘆花「青蘆集」	1	蘆花恒春園
21	古文書	野口雨情色紙	1	茜平ふれあい財団
22	古文書	野口雨情詩集「別後」	1	茜平ふれあい財団

Data 1B.4　資料の利用

■閲覧

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	歴史	一般	下小野区有文書	5	房総史料調査会

■複製

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	歴史	著作物	茶船写真（図録掲載写真）	1	印西市
2	歴史	著作物	利根川高瀬舟（図録掲載写真）	1	横浜みなと博物館
3	歴史	著作物	水郷の生活と船（図録掲載写真）	21	千葉ふるさと文化大学
4	歴史	著作物	山口家文書（図録掲載写真）	2	現代産業科学館

■ 貸出

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	歴史	一般	神宮寺文書	3	八街市郷土資料館
2	歴史	一般	奈良屋関係の資料	5	千葉県文書館
3	歴史	一般	水郷絵ハガキ	1	県民交流・文化課
4	歴史	一般	土摺臼	1	神栖市歴史民俗資料館
5	歴史	一般	土摺臼	1	稲敷市歴史民俗資料館
6	歴史	一般	石枕	2	芝山町教育委員会

DATA 1C　資料の収集・借用・利用一覧　〈大多喜城分館〉

Data 1C.2　資料の収集

■寄託

	資料系	資料名	点数	寄贈者（敬称略）
1	歴史、古文書	書画	8	個人
2	歴史、古文書	遠山景元肖像画	2	個人
3	歴史	刀剣ほか	3	個人
4	歴史、生活	陶磁器ほか	6	個人
5	歴史	絵馬、刀剣	3	個人
6	古文書	古文書	3	個人
7	古文書、生活	古文書	20	個人
8	歴史	刀剣	2	個人
9	古文書、歴史	古文書、三つ扇紋鬼瓦	3	個人
10	歴史	三つ葉葵紋軒瓦	1	個人
11	宗教	白磁製マリア観音像	1	個人
12	歴史	四季豊年図	1	個人
13	歴史	刀剣	1	個人
14	歴史	刀剣	1	個人
15	古文書	古文書	7	個人
16	歴史、古文書	刀剣、津軽照子書簡	9	個人
17	歴史	陣笠	1	個人
18	宗教	熊野観心十界図	1	個人
19	歴史	短刀	1	個人
20	宗教	木造薬師如来坐像ほか	2	個人
21	歴史	甲冑ほか	5	個人
22	歴史、生活	万祝ほか	34	九十九里町
23	歴史、古文書	刀剣、樋口一葉書簡ほか	14	個人
24	歴史、生活	刀剣、袴ほか	23	個人
25	歴史	刀剣	1	個人
26	歴史、生活	薬箪笥、はかりほか	8	個人
27	歴史	勝海舟扁額	1	上瀑小学校
28	歴史	大河内正質寄贈掛時計	1	大多喜小学校
29	歴史	三つ葉葵紋軒瓦ほか	2	個人
30	歴史	甲冑、打掛	2	個人
31	古文書	古文書ほか	10	個人
32	歴史	刀筒ほか	5	個人
33	歴史	甲冑ほか	2	個人
34	歴史、宗教	勝浦市東光寺旧蔵資料	48	個人
35	歴史、宗教	松平家紋所付御膳ほか	20	個人
36	歴史、古文書	蒋介石扁額船方往来	2	個人
37	歴史	刀剣	2	個人
38	歴史	刀剣	10	個人
39	宗教	日妙曼荼羅	1	個人
40	歴史	具足	1	個人
41	歴史、宗教	仏像ほか	5	個人
42	歴史	松平正和書	1	個人
43	歴史	陣笠	1	個人
44	歴史	袴	2	個人
45	歴史、古文書	刀剣、古文書	12	個人
46	宗教	仏像ほか	9	個人
47	歴史	刀剣	2	個人
48	古文書、歴史	古書籍	2	個人
49	古文書、歴史	古文書ほか	20	個人
50	古文書	古文書ほか	2	個人
51	歴史	槍ほか	2	個人
52	歴史	刀剣	2	個人
53	古文書、歴史	古文書ほか	6	個人
54	歴史	刀剣	1	個人
55	宗教	百万遍講中道具ほか	2	個人
56	歴史、古文書	甲冑、刀剣、鏡ほか	38	個人
57	歴史	刀剣	1	個人
58	考古	中瀧城跡出土遺物	1	立教大学考古学研究会
59	歴史	奉納額ほか	3	個人
60	古文書	古文書	91	個人
61	古文書	古文書（区有文書、一括）	1	個人
62	歴史	額	1	個人
63	歴史	刀剣	3	個人
64	歴史、宗教	長持、小袖ほか	4	個人
65	歴史、古文書	刀剣、絵図ほか	13	個人
66	古文書、歴史	古文書ほか	4	個人
67	歴史	甲冑ほか	5	個人
68	歴史、古文書	大多喜町資料	316	大多喜町
69	古文書、歴史	伝日蓮消息断簡１幅ほか	2	個人
70	歴史	刀、脇差	2	個人

Data 1C.3　資料の借用

■ 常設展示・調査研究

	資料系	資料名	点数	借用先（敬称略）
1	歴史、生活	笈箪笥、鷲図	2	個人
2	歴史、古文書	紙本著色本多忠勝像ほか	3	個人
3	歴史、生活	屏風、乱箱ほか	7	個人
4	歴史	キリシタン禁制ほか	2	個人
5	歴史	甲冑	1	個人
6	歴史	甲冑、太刀、袖搦	3	個人
7	古文書	新田掟書	2	個人
8	宗教	鰐口	1	個人
9	歴史	火縄銃、兜	2	個人
10	古文書、生活	鉄砲改帳、髪飾一式ほか	3	個人
11	歴史	甲冑	1	個人
12	歴史、古文書	甲冑、刀剣ほか	19	個人
13	歴史、古文書、宗教	茶湯器、武田系譜、袈裟ほか	10	個人
14	歴史	火縄銃ほか	2	個人
15	生活	鍔鍛冶道具	1	個人
16	歴史	大多喜水道水路大絵図ほか	4	個人

■ 企画展示

企画展「上総の仏教美術　～夷隅・長生～」

	資料系	資料名	点数	借用先（敬称略）
1	歴史	大多喜水道水路大絵図ほか	4	個人
2	考古	軒丸瓦(上総岩熊法興寺跡出土)	1	いすみ市郷土資料館
3	考古	布目瓦(上総岩熊法興寺跡出土)	1	個人(いすみ市岬公民館保管)
4	考古	瓦経(上総岩熊法興寺跡出土)	2	行元寺
5	宗教	木造不動明王坐像	1	長昌寺（睦沢町立歴史民俗資料館保管）
6	宗教	木造如来形坐像	1	普門寺（睦沢町立歴史民俗資料館保管）
7	宗教	木造馬頭観世音菩薩立像	1	紺屋区（大多喜町）
8	宗教	銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	3	行元寺
9	宗教	木造阿弥陀如来坐像	1	法華寺
10	宗教	一塔両尊像（写真）	1	藻原寺
11	宗教	絹本著色両界曼荼羅図	2	行元寺
12	宗教	紙本著色観心十界図	1	宝聚院
13	宗教	絹本著色弘法大師像	1	日輪寺
14	宗教	木造慈恵大師坐像	1	長福寿寺
15	宗教	木造日蓮聖人坐像(写真)	1	大網白里市教育委員会
16	宗教	木造夢想疎石坐像(写真)	1	鎌倉国宝館
17	宗教	二十五条袈裟淡縹色麻布	1	太高寺（いすみ市郷土資料館保管）
18	宗教	金銅竜文五鈷鈴	1	行元寺
19	宗教	日輪寺密教法具	3	日輪寺
20	宗教	密教法具	15	行元寺
21	宗教	鋳銅孔雀宝珠文磬	1	法興寺
22	宗教	鋳銅鰐口	1	龍蔵寺
23	宗教	鋳銅雲版	1	蓮福寺
24	宗教	梵鐘（弘長四年在銘）(写真)	1	長柄町教育委員会
25	宗教	金紙金泥大般若経	1	紺屋区（大多喜町）
26	宗教	藻原寺文書　金綱集(写真)	1	茂原市教育委員会

Data 1C.4　資料の利用

■閲覧・館内撮影

	資料系	区分	資料名	点数	借用先（敬称略）
1	古文書	一般	旧森家弓術関係資料	19	個人
2	古文書	一般	森大家文書	22	個人

■ 貸出

	資料系	区分	資料名	点数	借用先（敬称略）
1	歴史	一般	短刀	1	県立現代産業科学館
2	生活	一般	万祝（九十九里町所蔵）	7	いすみ市
3	歴史	一般	十手、袖搦	6	千葉県文書館
4	複製	一般	和船(模型)	2	千葉経済大学地域経済博物館

■ デジタル情報の複製

	資料系	区分	資料名	点数	借用先（敬称略）
1	歴史	一般	遠山金四郎景元画像	1	(株)イースト・エンタテイメント
2	歴史	一般	遠山金四郎景元画像	1	日本テレビ放送網(株)
3	歴史	一般	遠山金四郎景元画像	1	千葉県文書館
4	歴史	一般	遠山金四郎景元画像	1	(株)テレビ朝日
5	歴史	一般	遠山金四郎景元画像	1	(株)アーテファクトリー
6	歴史	一般	火縄銃仙台筒	2	(株)童夢
7	歴史	一般	紺糸威二枚胴具足、本多忠勝画像	2	(株)ブエノ
8	歴史	一般	鉄六十二間筋兜	1	(株)アーテファクトリー
9	歴史	一般	兎形変兜	1	(有)リゲル社
10	歴史	一般	本小札二枚胴具足	1	岡崎市美術博物館
11	歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株)ハウフルス
12	歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株)ベストセラーズ
13	歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株)ベストセラーズ
14	歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株)K&B パブリッシャーズ
15	歴史	一般	本多忠勝画像	1	テレビ朝日映像(株)
16	歴史	一般	本多忠勝画像	1	スタジオＡＫ
17	歴史	一般	本多忠勝画像	1	読売新聞千葉支局
18	歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株)スリーシーズン
19	歴史	一般	本多忠勝画像	1	千葉県文書館
20	歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株)コミュニティネット
21	歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株)コミュニティネット
22	歴史	一般	本多忠勝画像	1	朝日新聞立川支局
23	歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株)小学館
24	歴史	一般	本多忠勝画像	1	(株)テレビ朝日
25	歴史	一般	本多忠勝画像、旧大多喜城全図	2	(株)碧水社
26	古文書	一般	旧森家弓術関係資料	5	個人
27	古文書	一般	旧森家弓術関係資料	3	個人
28	古文書	一般	旧森家弓術関係資料	1	個人

DATA 1D　資料の収集・借用・利用一覧　〈分館海の博物館〉

Data 1D.3　資料の借用

■企画展示

マリンサイエンスギャラリー「チーバくんと学ぶ　深い海に暮らす生きものたち」

	資料系	資料名	点数	借用先（敬称略）
1	標本	フクロウナギ	1	千葉県立中央博物館
2	標本	オニボウズギス	1	千葉県立中央博物館
3	画像	飽和潜水の画像	1	独立行政法人海洋研究開発機構
4	画像	ハナダイ類	6	個人
5	動画	アンコウ類	3	個人

Data 1D.4　資料の利用

■研究用貸出

	資料系	区分	資料名	点数	利用者名（敬称略）
1	動物	一般	(ZV)Ptychodera flava 標本	1	個人
2	動物	一般	(ZW)Sternaspis scutata 標本	4	個人
3	動物	一般	(ZW)Ochetostoma? sp. 標本他	2	個人
4	動物	一般	(ZG)Physalia physalis 標本他	2	個人
5	動物	一般	(ZG)Acanthastrea rotundoflora 標本他	8	個人
6	動物	一般	(ZE)Synapta maculata 標本他	2	個人
7	動物	一般	(ZG)Stylobates sp. 標本他	7	個人

■デジタル情報の利用

	資料系	区分	資料名	点数	利用者名（敬称略）
1	植物	著作物	フトモズクの写真	1	海藻デザイン研究所
2	植物	著作物	日本産アマノリの写真	29	海苔増殖振興会
3	植物	著作物	アサクサノリ・スサビノリの写真	2	NHK
4	植物	著作物	鵜原理想郷の植物の写真	11	千葉自然学校
5	動物	著作物	タツノオトシゴの育児嚢の写真	1	童夢
6	動物	著作物	イッカクの骨格写真	3	日本テレビ
7	動物	著作物	バフンウニの写真	1	実教出版
8	動物	著作物	ヤリマンボウ稚魚の写真	1	日本テレビ
9	動物	著作物	平成 14 年度マリンサイエンスギャラリー展示解説書図版一式	1	柏島ダイビングサービス
10	動物	著作物	ウメボシイソギンチャクの写真	1	花組

DATA 2　調査研究

Data 2.1.1　研究課題成果一覧

〈本館・大利根分館・大多喜城分館〉

1 重点研究課題

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**房総丘陵の自然 －過去、現在、未来－ ：植物学**	原　正利 大野啓一 天野　誠 斎木健一 御巫由紀 尾崎煙雄 古木達郎 原田　浩 友田暁子 （共同研究員・市民研究員）	【内容】房総丘陵の森林には、関東周辺の山地と比べ、ヒメコマツやカツラなど温帯性の維管束植物が低標高地に分布する。北総にも分布する温帯性の種との対比や、その生育立地や生態の研究も行って、維管束植物の多様性を解明する。また、この森林には、多くの蘚苔類、地衣類、菌類が共生している。これらの生物群に関する研究も行って、房総丘陵の植物学的多様性を総合的に解明する。 【成果】(1)維管束植物相調査については、東京大学千葉演習林内の現地調査を 8 回行い、千葉演習林の担当者ととりまとめについて相談した。房総丘陵に分布する温帯性植物の立地と生態については調査を実施できなかった。(2)銚子市域の植物相調査は、1 ㎢調査区全 106 区のうち、72 区の調査が終了した。総記録データ数は 5480、累積分類群数は 932、館員の採集した標本点数は 937 であった。ボランティアはのべ 94 名、標本点数は 2404 であった。(3)蘚苔類については、東京大学演習林が保管する標本および当館所蔵標本による植物相調査を行った。(4)地衣類については、東京大学千葉演習林にて 4 日間の現地調査を行い、800 点の標本を採取し、県内未記録 2 種および希少種 1 種について論文および学会発表により公表した。
2	**房総丘陵の自然 －過去、現在、未来－ ：動物学**	宮野伸也 斉藤明子 尾崎煙雄 落合啓二	【内容】清澄山系は、動物相から見ても、多様性の高い地域である。特に昆虫は、この地域でのみ記録されている種も多い。また、哺乳類も多いが、反面、移入種や植物相へ影響などの問題も生じている。房総丘陵内の他の山系との比較も行い、清澄山系の昆虫相の特異性を明らかにする。また、哺乳類の分布･生態に関する研究も継続する。研究 【成果】東京大学千葉演習林において､11 回の現地調査を行い昆虫標本の採集を行った。採取した標本については標本化作業と同定を進めた。
3	**房総丘陵の自然 －過去、現在、未来－ ：地学**	岡崎浩子 高橋直樹 加藤久佳 伊左治鎭司	【内容】房総丘陵に産する新生代の化石、火成岩がまとまって産出する嶺岡丘陵の岩石、第四紀（沖積層）の地震隆起と津波堆積物の調査によって、房総半島南部の地質の特性を解明する。 【成果】鴨川市内の房総丘陵から派生した分離丘陵「鴨川富士」周辺の地質について調査を行い、50 点の資料を採集した。また化石については、市原市梅ヶ瀬渓谷のトド化石の発見と報道発表を行ったほか、上総層群の脊椎動物化石調査を 4 回実施した。さらに、君津市蔵玉、折木沢、高宕沢、清和地区の小糸川、養老渓谷等における陸成炭酸塩岩（トゥファ）の調査を行い、成果は学会で発表した。

2-①地域研究課題：地球誌系

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**房総半島の地層の堆積環境の復元**	岡崎浩子	【内容】房総半島はそのほとんどが新生代の地層からできており、この時代の日本の模式地層として位置づけられている。したがってその地層の形成時の堆積環境を復元することは、房総半島の成り立ちおよび日本列島の成り立ちを解明する上で大変重要である。この堆積環境の復元を堆積相解析を用いて地域ごとに行う。 【成果】2011.3.11 東日本太平洋沖地震で屏風ヶ浦にに到来した津波堆積物の剥ぎ取り資料の検討を行い、地球惑星連合大会で発表した。
2	**房総半島嶺岡帯の地質構造の解明**	高橋直樹	【内容】嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特徴の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。 【成果】嶺岡帯に産出する斑れい岩類の産状及び岩石学的性質のまとめを行い、日本地質学会で発表した。
3	**房総半島の地形景観とその成り立ちに関する研究**	八木令子 （吉村光敏）	【内容】房総半島には高い山や火山はないが、激しい隆起や侵食、氷河性海面変動などに起因して形成された丘陵や台地、平野、海岸、河川など多様な地形が見られる。これらの分布や成り立ちに関する総括的な調査を行うとともに、それぞれの地形を景観として俯瞰できるような眺望地点の分布を明らかにする。 【成果】銚子半島～屏風ヶ浦海食崖～旭市椿海の現地調査を行い、地形景観を眺望できる場所を把握した。それらのうち、銚子マリーナから見た屏風ヶ浦の地形地質、銚子タワーから見た銚子半島の地形の解説図を作成し、銚子市で開催された一般向け講演会などで発表した。
4	**房総半島の脊椎動物化石の分布調査**	伊左治鎭司	【内容】房総半島に分布する上総層群と下総層群から産出する脊椎動物化石は多種多様であり、化石密集層から産出する例も知られている。脊椎動物化石を多く含む地層について、産出化石と堆積環境について調査する。 【成果】市原市の梅ヶ瀬渓谷から発見された鰭脚類化石が、世界最大のトド類と判明した。今後国立科学博物館の甲能直樹博士と共同研究を進めて、CT を用いた組織の解析等を進める予定である。
5	**房総の十脚甲殻類化石相**	加藤久佳	【内容】中生代白亜紀前期～完新世に及ぶ、千葉県産の十脚甲殻類化石の分類、記載を行う。 【成果】三浦層群千畑層、下総層群などからハサミ脚の断片を採集、クリーニング処理などを行った。

6	**房総周辺の花粉・環境誌**	奥田昌明（館外研究者）	【内容】房総とその周辺で以下のような花粉調査を実施する。(1) 上総・下総層群相当層に対し花粉分析をおこない日本列島中軸部の過去 100 万年の環境変動を解明する。(2) 房総とその周辺で表層花粉資料の収集整備に努める。(3) 千葉市周辺の歴史時代の古環境を復元する。 【成果】東総地域の歴史時代をさぐる試みとして、茨城県潮来から得られたボーリングコアの花粉分析をおこなった。
7	**房総丘陵におけるタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究**	大木淳一	【内容】タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する。 【成果】養老渓谷において 2012 年 4 月～6 月には幼生や幼体の生息状況を、2013 年 1 月～3 月にタゴガエルの越冬状況や産卵状況を調査した。
8	**房総丘陵における河川の発達と河道の変遷に関する研究**	小田島高之（島立理子）	【内容】房総丘陵における河川の発達と河道の変遷を解明し、河川環境と人との関わりについて考察する。 【成果】小櫃川上流域の踏査、古地図、迅速図、過去の地形図等による解析、古文書の解析を行った。

2-②地域研究課題：生命誌系 1(房総の分類学的多様性の特徴とその保全)

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**房総のハチ類誌**	宮野伸也	【内容】県内で広くハチ類を採集し、作成した標本約 600 個体の同定を進める。 【成果】サイジョウハムシドロバチ、ミカドジガバチなどの生息が明らかとなった。「アシダカグモを運ぶツマアカクモバチ」など 3 編を雑誌「房総の昆虫」に発表した。
2	**房総の魚類誌**	宮　正樹	【内容】房総の生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにする。 【成果】ミヤコタナゴを生物多様性センターと共同で採集し、博物館のコレクションとすると共に DNA の分析を行った。また、内房の東京海底谷の魚類を収集した。
3	**房総の貝類誌**	黒住耐二	【内容】房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査する。 【成果】県内各地で調査を行うと共に、「原色図鑑.外来害虫と移入天敵」を分担執筆し、市原市の縄文時代早期の天神台遺跡の微小貝類について報告し、房総のむらの展示会図録に下総台地の貝類相の変遷についても報告した。
4	**房総の土壌動物誌**	萩野康則	【内容】房総に生息する多種多様の土壌動物について文献調査と採集を行い、詳細な文献リストと生息種リストを作成し、生息種の標本を収集する。 【成果】千葉県内各地から採取した土壌試料からツルグレン装置で抽出した土壌動物試料約 20 点を分類群ごと（概ね目または亜目単位）にソーティングした。
5	**房総の甲殻類誌**	駒井智幸	【内容】房総半島に出現する軟甲甲殻類相の解明を行う。特に共生性種において未記載種が発見されており、資料の収集と記載を進めたい。 【成果】カイメン共生性エビ類の採集を行い、館山において、新たに潮間帯性の 2 種の存在を確認した。木更津の盤洲海岸から採集された、ツバサゴカイ共生性のマメガニ属の一種は外来種であることが示唆され、今後は原産地由来の標本との比較が必要である。房総半島とその周辺海域から採集された標本の検討を進め、イバラモエビ属の 1 新種とトガリツノガイヤドカリ属の 3 新種を記載した。
6	**房総の地衣類誌**	原田　浩	【内容】千葉県内の地衣類相を明らかにするために、既に収集した標本資料の分類学的検討をおこなう。また、必要に応じ、主として千葉県南部（あるいは銚子地域）において補足調査を行う。 【成果】共同研究員・市民研究員と協力し、県内に産するアナイボゴケ科、マルゴケ属、リトマスゴケ科、*Malcolmiella* 属などの分類を一部明らかにした。
7	**房総の蘚苔類誌**	古木達郎	【内容】千葉県内に生育するコケ植物について、分類学的な再検討を行い、併せて分布と生態を記述する。重点地域は継続して下総台地とする。 【成果】市原市の蘚苔類相について、市民研究員と調査を行い、ギボウシゴケモドキやオオクラマゴケモドキなどの千葉県新産を確認した。
8	**千葉県の甲虫相に関する研究**	斉藤明子	【内容】本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とするもので、昆虫の内、カミキリムシ類などの食材性甲虫類の調査を行う。幼虫が生木あるいは枯れ木を餌とする食材性の昆虫は森林環境を指標する生物群のひとつであり、これらの生物相を調べることで、その地域の森林の状況を推測するための資料ともなる。 【成果】大多喜県民の森、清和県民の森、南房総市で調査を行い、千葉県の甲虫相を明らかにするための基礎資料を収集した。市民研究員との協働で、千葉県動物誌、千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫の文献調査を行い、60 種を確認した。
9	**房総丘陵の両生爬虫類相**	大木淳一（尾崎煙雄・小田島高之）	【内容】千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1 ㎞メッシュ単位の分布図を作成する。 【成果】房総丘陵を中心に両生爬虫類の調査を行い、タゴガエル、ヒキガエル、モリアオガエル、ニホンアカガエルなどの生態写真を撮影し、観察会で活用した。
10	**房総丘陵の昆虫・クモ類相**	尾崎煙雄（大木淳一）	【内容】「房総三角帯」に属し特有の昆虫およびクモ類が生息する房総丘陵の昆虫・クモ類相を解明し、標本および生態写真のデータベースを作成する。 【成果】清和県民の森、清澄山を中心に調査を行い標本採集、同定、標本作製を行った。また、生態写真を多数撮影し、『しいむじな』や山 FM ウェブサイト等で公開した。
11	**房総丘陵の維管束植物相**	尾崎煙雄	【内容】千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明し、1 ㎞メッシュ単位の分布図を作成する。 【成果】清和県民の森、清澄山を中心に調査を行い標本採集、同定、標本作製を行った。また、生態写真を多数撮影し、『しいむじな』や山 FM ウェブサイト等で公開した。

12	**千葉県の鳥類相に関する研究**	桑原和之	【内容】千葉県を中心とした文献を基礎的資料として、千葉県全域の鳥類相を把握する（調査期間は 4-6 年間の予定）。千葉県全体の鳥類相を知る目的から、はじめに海岸部の鳥類相の状況などを現地調査により可能な限り把握し、過去の文献と比較する。 【成果】千葉県を中心とした文献を閲覧し、千葉県全域の鳥類が約 400 種であることを確認した。また、海岸部の鳥類相の状況などを把握するため現地調査を行った。
13	**房総のイシサンゴ類誌**	立川浩之	【内容】房総半島沿岸は有藻性イシサンゴ類の太平洋岸における分布北限域として知られるが、実際に分布する種については十分に解明されていない。また、これまで房総半島周辺の無藻性イシサンゴ類に関するまとまった報告はない。本研究では、標本収集および分類学的研究に基づき、房総のイシサンゴ相を明らかにする。 【成果】千葉県館山湾産をはじめ、和歌山県・天草諸島・対馬等で採集された「エダミドリイシ」とされる標本を精査した結果、日本産の本種は香港をタイプ産地とするエダミドリイシ *Acropora tumida* ではなく、日本（詳細な産地不明）をタイプ産地とするヒメエダミドリイシ *Acropora pruinosa* と同定されることがわかった。今後、千葉県を含む日本産「エダミドリイシ」の学名・和名の変更にむけ、更に検討を進める。
14	**房総の維管束植物誌**	天野 誠	【内容】千葉県鴨川市周辺の維管束植物相を調査し、合わせて標本を収集する。この地域は植物相が豊かであり、過去の記録と照合することで植物相の変遷を知ることができる。 【成果】24 年度は、のべ 20 日調査し、220 点の標本を採集した。これで累積分類群数が 1,005 に達した。新産および再記録の論文を発表した。

2-③地域研究課題：生命誌系 2（房総の生態学的多様性の特徴とその保全）

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**生態園の生態系変遷に関する野鳥調査**	大庭照代（泉宏子・金子大輔・河内悠太朗・斉藤裕・和田信裕）	【内容】野鳥のカウント調査（開館以来継続）から生態園における野鳥の生息状況を記録し、生物多様性をはかる基礎資料とする。 【成果】平成 24 年度（2012 年 4 月-2013 年 3 月）、生態園一周ルートを歩く早朝野鳥調査（7：45-8：45）および野鳥観察舎から見える範囲で行う日中調査(8：45-16：15)を土日祝日に全 108 日間に実施した。2011 年は 58 種 11002 羽であったが、2012 年は 61 種 12843 羽観察され、このうち 11 月にヒガラを生態園で初めて観察した。
2	**房総半島におけるニホンジカの保護管理のための研究**	浅田正彦	【内容】房総半島において旧来から生息している孤立したニホンジカ個体群のために、個体数や栄養状態のモニタリングを行う。
3	**房総のヒメコマツの保全生態学的研究**	尾崎煙雄	【内容】近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、群落生態学、分子生態学、造林学などの手法を用い、その保全に向けた研究を行う。 【成果】個体群モニタリング、繁殖状況モニタリング、移植試験等の調査を行い報告書を作成した。また、県民を対象とした観察会を実施し、植物分類学会の公開シンポジウムで研究成果を発表した。
4	**生態園の生態系変遷に関する総合研究**	原　正利（落合啓二・大野啓一・由良　浩・林　紀男・倉西良一）	【内容】生態園の生態系の変遷について、長期的な視野で記録に残し、今後の生態系管理に役立てていくことを目的とする。当面は、既存のデータや資料の所在確認や整理を行いつつ、日常的な記録システムのありかたや、市民との連携方法、総合的な調査の時期や方法について検討を進める。研究体制は仮のものであり、今後、関連分野の職員や館外研究者とも相談しつつ、実効的な研究体制に移行していきたい。 【成果】舟田池の水質および水生生物に関するモニタリングを継続し、抽水植物の導入・再生についての実践的研究を推進した。成果が得られ池岸の抽水植物帯は増加しつつある。陸上の植生および植物相についてのモニタリング調査は実施できなかった。
5	**照葉樹林の植生地理**	原　正利	【内容】千葉県の森林生態系の基盤をなす照葉樹林について、様々な空間スケールで植生地理学的研究を行う。(1)東アジアスケールでは、熱帯山地林と照葉樹林の比較研究を進める。(2)日本列島スケールでは、分布北限付近に位置する東日本各地の照葉樹林の特性を、西日本との比較も行いつつ明らかにする。(3)千葉県スケールでは、照葉樹林の大部分は社叢林として残されていることから、その分布や地域特性を、人との関わりも含めて明らかにしていく。 【成果】東アジアスケールでは、マレーシアサラワク州北部の低海抜地におけるブナ科植物の分布について調査した。県内では、佐倉市の社寺林について若干の調査を行った。
6	**千葉県における哺乳類各種の生息状況と生態**	落合啓二	【内容】千葉県に生息する哺乳類各種について、分布・生態等の調査研究を進める。 【成果】千葉県を含む国内外のハクビシン及びニホンテンの遺伝子特性に関し、論文 2 編（英文）を公表した。
7	**房総に自生する植物のフェノロジー**	大野啓一	【内容】房総に分布する在来植物種について、開葉・落葉の時期や期間などの季節的な生長様式を、網羅的に調査する。既に草本種約 200 種、木本種約 100 種についてデータを得ているが、さらに資料の蓄積を図る。木本種については、市民と連携した調査もすすめる。 【成果】生態園や千葉市緑区、君津市高宕山周辺の 3 地域において、シダ植物 17 種を含む計 34 種の草本植物の季節的な生長過程を記録した。それらのフェノロジー型を確定し、葉の寿命についても資料を得た。
8	**海岸植物の保護増殖**	由良　浩	【内容】千葉県をはじめとして海岸植物、特に砂浜と塩性湿地の植物は全国的に激減している。千葉県に生育する海岸植物を対象に海岸植物の生態を明らかにし、最適な保護策を考察する。 【成果】24 年度は自然保護協会と共同で、大津波が海岸の植生や松林等に与えた影響を市民とともに調査した。

9	**千葉県における原生生物等の生息状況**	林　紀男	【内容】千葉県内の池沼、ダム湖、水田など陸水域に生息する原生生物等の浮遊・付着生物の分布状況を網羅的に踏査し、県内生物相に関する同分類群の基礎的知見を集積する。 【成果】袋倉ダムなど複数の水域における分布状況を把握した。
10	**千葉県の水辺環境と水生昆虫類の分布特性**	倉西良一（外部研究者および市民若干名）	【内容】千葉県内の河川や湖沼においてその水生昆虫相を明らかにし、その特徴となる水生昆虫の調査を行う。特に、房総半島に分布する絶滅危惧種『ミサキツノトビケラ』などの水生昆虫について保全生物学的研究を行う。 【成果】千葉県の絶滅危惧種『ミサキツノトビケラ』の成虫雌雄と蛹、幼虫の形態の記載を行い。全国の分布状況、生態、遺伝子構造について公表した。
11	**房総に生息する生物の動画記録に関する研究**	山口 剛	【内容】主に昆虫を対象とし、その生態・行動をビデオ映像として記録し、整理、活用する方法などを研究する。 【成果】山のフィールドミュージアムが活動している三島小学校周辺や清和県民の森などで約１年間にわたり撮影したDVテープについて映像を解析し、撮影記録原簿に記録し、整理する作業を行った。

2-④地域研究課題：人類誌系（房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究）

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**房総の郡衙正倉域における施設配置と空間利用**	郷堀英司	【内容】郡衙正倉域における掘立柱建物跡や基壇建物跡などの施設配置や施設構造と、正倉域としての空間利用の仕方を時間的変遷とともに検討し、他地域との比較によって、房総地域の郡衙の特徴等を抽出する。
2	**近世江戸湾沿岸地域の総合的研究**	筑紫敏夫(共同研究員)	【内容】江戸時代の東京湾とその沿岸地域を対象に、漁業（貝漁を含む）・交通・沿岸防備を柱にして、その実態の解明を行う。分析にあたっては、古文書を中心とするが、石造物や現地での聞き取り調査も積極的に行いたい。
3	**房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究**	島立理子	【内容】房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活をしてきたを調査する。 【成果】房総丘陵に特有の二五穴という用水路について、その開削について調査した。二五穴は、房総の地形を巧みに利用していることがわかった。
4	**下総台地における近世以降の薪炭林育成に関する歴史地理学的研究**	白井　豊	【内容】下総台地において、近世以降に幕府直轄の馬牧とその周辺で展開した薪炭林育成について、空間的広がりとパターン、経過を探求しその意義を明らかにする。
5	**房総における生業の複合的なありかたについて**	小林裕美	【内容】農間余業としての職人仕事や行商がどのように行われてきたのか、事例研究を行う。 【成果】印旛沼周辺から東京への野菜行商について聞き取り調査を進めた。
6	**房総半島における縄文時代の狩猟**	三浦和信	【内容】貝塚から出土する自然資料をもとに、狩猟対象と狩猟用具について研究する 【成果】狩猟対象のシカの生息環境と罠猟について、勝浦周辺で現地調査を実施した。
7	**利根川下流の漁撈用具に関する研究**	糠谷　隆	【内容】大利根分館に所蔵されている千葉県指定有形民俗文化財「利根川下流域の漁撈用具」をはじめとした漁撈用具について、それら各々の使用法について調査する。
8	**水郷地域の社寺・史跡及び民俗行事の研究**	佐藤　誠	【内容】 水郷地域に分布する史跡や近世以前に創建された社寺の現地調査及び、博物館が立地する十六島を始めとする水郷各地区の民俗行事を調査・研究する。 【成果】香取・鹿島両神宮の例大祭、息栖神社、神崎神社、神宮寺及び香取市内の水神信仰、側高神社の髭撫祭を現地調査した。
9	**近世利根川下流域における江戸文人の遊歴**	内田龍哉	【内容】江戸時代後期、江戸文人が利根川下流を遊歴した。その事例や作品を情報化し、併せて、常総地域における受容層の動向について分析する。 【成果】藤森弘庵「航湖紀勝」、高田与清「鹿島日記」について翻字、テキスト化を行った（継続中）。
10	**房総における民間信仰の研究**	地引尚幸	【内容】上総地方を中心に民間信仰の特徴とその変容について調査・研究をする。
11	**近世房総の漢籍と民衆教化について**	石渡克彦	【内容】私塾や藩校といった教育施設における漢籍テキストや思想系譜から、房総における儒学教養の展開と民衆教化の実態を他地方との比較のなかで検討する。 【成果】儒学教養の展開と民衆教化に関する文献調査を行うとともに、漢籍テキストの収集を行い、現存の諸版本との比較分析を継続して行っている。
12	**印旛沼周辺の考古学研究**	一場郁夫	【内容】印旛沼周辺の考古遺跡及び博物館等の考古資料を調査し、印旛沼水系における遺跡との関係を研究する。 【成果】印旛沼周辺の遺跡の調査を行い、石器等の遺物の状況を確認している。

2-⑤地域研究課題：博物館誌系（博物館とその社会的役割に関する研究）

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究**	斉藤明子（筑紫敏夫・御巫由紀・友田暁子・駒井智幸）	【内容】博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためは、総合的有害生物管理（IPM）を行う必要がある。温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的に行い、異常を素早く見つけて対処し、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。 【成果】IPM の一貫として 1 回の生物生息調査を実施した。館内で有害生物の発生あるいは侵入が見られた場合には、その源を明らかにし、発生源となっていた資料の燻蒸などを行った。今後適切な総合的有害生物管理を行うためのデータとして活用する。
2	**中央博物館と学校との連携による博物館学習を推進するための体制整備**	一場郁夫	【内容】国立歴史民俗博物館等の他の博物館の教育利用状況の調査を通して、博物館と学校との連携（博学連携）のあり方について研究する。中央博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習を推進するための体制を整備する。 【成果】館内の推進体制が整備され、実質的な博学連携による博物館学習を実践している。今後は、受入体制を整備するために学習プログラム及び展示環境の整備が求められる。

2-⑥普遍研究課題：地質誌系（地質学的多様性に関する基礎研究）

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**GPR（地中レーダー）を用いた河川州の研究**	岡崎浩子（館外研究者）	【内容】GPR 地中レーダーを用いて河川堆積物の解析と房総半島に広く見られる河川成の地層の形成条件の検証をおこなう。これによって地球環境変動による中長期的な河川動態変化を明らかにする。 【成果】日本でも有数の堆積性河川である静岡県安倍川の調査をおこない、GPR 探査をおこなった。日本第四紀学会、日本地質学会で発表した。
2	**東北日本弧新第三紀火山活動の特質**	高橋直樹	【内容】東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪長質火山活動の要因を探求することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的関係を中心に調査を進める。 【成果】新第三紀火山活動の特徴を明確にするため、比較として第四紀火山の性質を調査する目的で箱根火山の噴出物を採集し検討した。
3	**地すべり地形の発達史的分類に関する研究**	八木令子	【内容】防災科学技術研究所（2004）の 5 万分の 1 地すべり地形分布「関東周辺部」のデータを基に、房総半島南部の山地～丘陵地の地すべり地形について、地質条件と形態的特徴を指標に分類を行い、それぞれのタイプの発達過程を明らかにする。 【成果】小櫃川上流（本流）および猪ノ川流域について地すべり地形の分布状況を把握し、そのいくつかについては現地で地すべり堆積物を確認した。これらについては山フィールドミュージアムの観察会「小櫃川を歩く」で解説した
4	**微小化石に基づく貝類化石の分類及び古生態の研究**	伊左治鎭司	【内容】古生代石炭系一の谷層、中生代白亜系手取層群および銚子層群から産出する微小貝類化石について、胎殻や稚貝の形態を記載し、多様性や幼生生態、古生物地理を議論する。 【成果】岐阜県高山市福地から発見された石炭紀の貝類胎殻化石について、日本古生物学会で発表した。古生代の貝類胎殻化石は、日本では初めての報告である。
5	**東アジアを中心とした地域の貝類相の変遷**	黒住耐二	【内容】現生・考古学遺跡・化石等の調査を行い、人間の貝類利用を含めて、包括的に変遷史を明らかにする 【成果】国外では科学研究費を用いたスリランカや私費で南アメリカ・ペルー、国内では琉球列島を含む各地で調査を行った。また、300 点の資料を収集した。成果は、5 つの報告書原稿や図録・普及書・学会発表で県民へ公表した。
6	**地質時代温暖期におけるアジアの古植生復元**	斎木健一	【内容】中生代ジュラ紀ー白亜紀の地球温暖期におけるアジアの古植生を化石記録から復元する。 【成果】当博物館に収蔵されている中生代植物化石の標本調査を行いデータベースに登録した。
7	**日本産十脚甲殻類化石の古地理と古生態**	加藤久佳	【内容】主として東北日本産の十脚甲殻類の化石記録から、現在の日本周辺の十脚類フォーナがどのように形成されてきたか、古生物地理学的な検討と、共産する化石から得られる情報など古生態学的なアプローチからの検討を行う。 【成果】北海道、東北地方、関東地方などの新生界から産出した十脚類化石の、クリーニングおよび分類学的検討を進めた。
8	**東アジア周辺の花粉・環境誌**	奥田昌明（館外研究者）	【内容】日本列島を中心とした東アジアにおいて、堆積物試料の花粉分析と表層花粉整備をおこなうことにより、おもに万年スケールの古気候復元の高精度化をはかる。また日本列島における表層花粉群のインベントリーを作成する。 【成果】沖縄県石垣市の西表島の亜熱帯林におもむき、植生調査および表層花粉試料を採取した。
9	**河川地形の動態と生物分布に関する環境地質学的研究**	大木淳一	【内容】河川や海岸等の水辺に生息する鳥類、両生類、昆虫類などの生息環境や繁殖場所が規制される要因を環境地質学的に解明する 【成果】亀山ダム周辺の地質調査を行い、タゴガエルの産卵場所を確認するための予備調査を行った。
10	**地形や地質の生物分布に与える影響について**	小田島高之	【内容】地形・地質が生物分布に与える影響について地理情報システムを用いて解析する。 【成果】県内の植生図及び標高データ（10m メッシュ）、２次メッシュの衛星画像に加え、小櫃川上流域の標高データ（1m メッシュ）を GIS データベースとして整備し、生物分布データと共に解析を行った。

2-⑦普遍研究課題：生命誌系１（分類学的多様性に関する基礎的研究）

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**ミトコンドリアゲノム分析に基づく魚類の系統進化**	宮　正樹	【内容】ミトコンドリアゲノム全長配列に基づき、魚類の系統進化史を解明する。 【成果】コイ目、ニシン科、デンキウナギ目、ネズミギス目、板鰓類の系統進化をミトゲノム全長配列に基づき分析し、論文として発表した。
2	**日本産エダヒゲムシ類の分類学的研究**	萩野康則	【内容】日本産エダヒゲムシ類は現在までに種名が確定しているのは約 30 種であるが、潜在的には 100 種以上が生息しているものと推定される。日本産本類を収集し調査研究し、多数の新種記載を含めて日本のファウナを明らかにする。 【成果】昨年度から参加しているエダヒゲムシの口器と食性に関する共同研究を進行した。その中で扱っている種のうちの１種が未記載種であることが明らかになった。
3	**十脚甲殻類の分類**	駒井智幸	【内容】全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基盤整備に貢献する。 【成果】台湾、中国、シンガポール、インドネシア、インド、フランス、ブラジルなどの研究者と共同研究を進め、23 編の英文原著論文を公表した。公表された新分類群は３新属 38 新種に及ぶ。野外調査を国内各地において継続的に実施し、資料の収集と整理を行った。その過程で得られた新しい知見について論文をまとめ、随時投稿を進めてきた。
4	**地衣類の多様性に関する研究**	原田　浩	【内容】主として日本および周辺地域を対象として、アナイボゴケ科を中心とする地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究をおこなう。共同研究員および館外研究者と協力する。２３～２６年度は、1)日本地衣類誌の編纂、2)淡水生地衣類の多様性解明、3)東アジア産被果地衣類の分類学的研究、等。 【成果】日本産マルミゴケ属（*Thelidium*）の分類を明らかにした。共同研究員等と協力し、コナカムリゴケ等５種を日本新産として報告した。
5	**アジア太平洋地域におけるコケ植物の分類学的研究**	古木達郎	【内容】千葉県と関係が深いアジア・太平洋地域に生育するコケ植物の多様性を探り、系統分類学的な研究を推進する。 【成果】シンガポール産のタイ類ミドリゼニゴケ科を研究し、2 属 7 種を認め、当館の Natural History Ressearch に論文を掲載した。
6	**アジア高山帯における植物分類学的研究**	天野　誠	【内容】アジアの高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一様ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、ヒマラヤ山脈を中心とする地域の植物相の調査は欠かせない。本研究は、アジアの高山帯で多様に分化した分類群（特にゴマノハグサ科）を生物地理学的、細胞分類学的観点も含めて、研究するものである。 【成果】東京大学を初めとする調査隊が採集したゴマノハグサ科を含むネパール産植物約 500 点を同定・整理した。その結果は、東京大学総合研究博物館のデータベースに登録・公表されている。
7	**カミキリムシ科甲虫の分類**	斉藤明子	【内容】アジア産を中心とするカミキリムシ類についての分類学的な研究を行う。 【成果】これまでに収集した資料を元にウォーレシア（スラウェシ島からモルッカ諸島周辺地域）のカミキリムシを中心とする甲虫類の特性について、地史を絡めて考察した。
8	**香気成分によるバラ属植物の化学分類**	御巫由紀	【内容】バラ属植物の花から得られる香気成分を分析し、種間、品種間の類縁関係との関わりを検討する。日本に自生する野生種 16 種類を対象として、自生地での香気の捕集および植物園等で栽培されている株の香気捕集をし、微量成分まで同定を行う。 【成果】野生種のバラの香気成分分析結果を第 12 回国際ヘリテージローズ会議（佐倉市、平成 24 年 6 月）で発表した。ヤマイバラ、カカヤンバラ等でバラ属には稀な成分が検出された。
9	**日本産イシサンゴ類の分類・生物地理に関する研究**	立川浩之	【内容】日本産のイシサンゴ類はこれまでにおよそ 500 種が知られるが、無藻性種や温帯域の有藻性種を中心に従来の同定を再検討すべき種が多数存在する。本研究では、これらの種の再検討を中心として、日本産イシサンゴ類の分類学的・生物地理学的研究を行う。 【成果】科研費の研究分担者等と協力して、主にオオトゲサンゴ科およびキクメイシ科について千葉県を含む日本列島温帯域に分布する種の再検討を行った。その結果、現在使われている学名が原記載と異なっている事例が複数見出され、その結果を日本動物分類学会で発表した。また、日本産のミドリイシ科ニオウミドリイシ属に関する再検討を行い、その成果を日本サンゴ礁学会誌に投稿し受理された。

2-⑧普遍研究課題：生命誌系２　（生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究）

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**社会性ハチ類の生態・行動・進化に関する研究**	宮野伸也	【内容】カースト分化の至近要因の解明を目ざし、フタモンアシナガバチを材料に幼虫の人工飼育実験を行う。 【成果】終齢幼虫(5 齢)から蛹への飼育にはほぼ成功したが、4 令幼虫からの飼育には成功せず、人工餌の改良および飼育法の改良が今後の課題である。また、「特集・アシナガバチの生物学　生活史とコロニーの個体群生態学」など 2 編を報告した。
2	**生物音声自動認識および環境モニタリングに関わる生物の音声信号と音環境構造の研究**	大庭照代（共同研究員）	【内容】生物音声識別装置「ききみみずきん」により収集した音声データをもとに、生物音声辞書改良に必要な条件を探す。生態園などで実施した識別活動から得られたデータを解析し、本装置の学習や環境モニタリング活動における効果について分析を行う。また、iPhone アプリの導入により、新たな辞書の作成など、環境モニタリングに必要な重要な鳥類種を中心に研究を進める。 【成果】73 種の鳥類について音声辞書の追加および改善に役立つ音声資料を確認した。iPhone アプリの導入により鳥類の識別への興味が増進する傾向があった。

3	**照葉樹林の生態学的研究**	尾崎煙雄	【内容】照葉樹林を構成する植物について生態学的、生物地理学的視点から研究を行い、その成り立ちを解明する。 【成果】南西諸島（奄美大島等）で森林の調査を行い、房総丘陵との比較を行った。
4	**ブナ林の動態と生物地理**	原　正利	【内容】東日本に本来は広く分布し、この地域の自然生態系の基盤をなしていたブナ林について、特に、1）再生・維持動態、および 2）生物地理（生態地理および系統地理）について研究を進める。1）については、これまでに行ってきた研究を継続し、ブナ林の再生・維持動態を長期モニタリングデータに基づいて明らかにする。2）については、東日本各地の残存林の分布や植生学的特徴、DNA 解析によるブナの系統地理学について研究を進める。 【成果】今年度は現地調査は行わなかった。これまでの研究成果を国際植生学会（木浦市、韓国）および植生学会（千葉大学、松戸）で口頭発表した。
5	**ニホンカモシカの生態学的研究**	落合啓二	【内容】野生動物と生息環境の関係を明らかにすることは、動物生態学の基本的な課題としても、また野生動物の保全を進めるうえでも重要である。この課題に関して、ニホンカモシカの環境収容力の解析、並びにメスの個体別の繁殖成功度となわばりの質に関する研究を進める。 【成果】メスカモシカの繁殖成功度となわばりの質の関係について、出産状況、子の生残状況のデータ蓄積に努めた。
6	**芽ばえに関する記載的研究**	大野啓一	【内容】木本・草本の芽ばえ（当年生実生）を、生態写真、スキャナー画像、標本、形態記載により、網羅的に記録し資料化する。採種、播種、育苗などについては市民と連携しておこなう。これらの資料をもとに、自然観察や自然の再生、管理に役立つ図鑑の編纂をめざす。 【成果】新たに 27 種の芽ばえについて形態記載をおこない、標本とした。以下により研究成果を発表した。(1)春の展示関連行事として芽ばえに関する講演会を開催、(2)柏の県民プラザで芽ばえ展を開催、(3)芽ばえに関する解説記事を教員向け雑誌に執筆。
7	**ススキ、オギ、アシの比較生態**	由良　浩	【内容】アシ、ススキ、オギの生育域は、湿性、乾性、半湿性とはっきりと分かれている。3 種とも種子は広く散布されているにもかかわらず、なぜそれほど生育域がはっきりと分かれているのかは未解明の点が多い。本研究ではなぜ湿性の植物が乾性的な環境に生育できないのかをさぐることに特に重点をおいて進める。 【成果】アシの生育は、土の含水量がある程度以下になると急に低下することを、新しく開発した方法で明らかにすることができた。
8	**水辺植生の再生による水環境保全技術の開発**	林　紀男	【内容】埋土種子等の散布体を用いて土着株による水辺植生の再生に向けた取り組みに関し、散布体からの株入手方法、増殖株の現場植え戻し工法、移植株の食害防止策など、植生再生に向けた基礎的知見を集積する。 【成果】舟田池・手賀沼・印旛沼での成果を秋田県八郎湖に活用し、探索を経て散布体から土着沈水植物株の入手に成功した。
9	**外来種『フロリダマミズヨコエビ』の分布拡大とその要因**	倉西良一（外部研究者若干名）	【内容】1980 年代に千葉県にその侵入が認められ、その後全国に分散した外来種『フロリダマミズヨコエビ』についてその繁殖生態や環境耐久性、各地に分散した個体の遺伝子から分散の要因を解明する。 【成果】フロリダマミズヨコエビと同時期に侵入した外来種アメリカナミウズムシについて全国の分布状態を公表した。
10	**アリ類の行動・生態学的研究**	山口　剛	【内容】アリ類は社会性昆虫であり複数の個体が協力して採餌や営巣活動などを行っている。しかし、その生態は種によって異なっており未知な部分が多い。この研究では、特に人の身近に生息しているアリ類を対象に、種ごとの行動・生態的特性について研究する。 【成果】クロヤマアリを実験的に水を満たしたプール内の中央に設置した島に落下させると、泳がなければ到達できない円柱に向かって泳ぎだすという行動を研究した。この結果は、玉川大学で行なわれた日本昆虫学会第 72 回大会において「クロヤマアリ(*Formica japonica*)は目的地を見極めてから泳ぐ」というタイトルで発表した。
11	**シギ・チドリ類の越冬生態、特に個体数変動に関する研究**	桑原和之	【内容】チドリ目の越冬期の生態に関して、チドリ科、シギ科に属する種を中心に生態的な基礎研究を行なう。シギ・チドリ類の個体数の変動は、気象状況や捕食者に大きく影響をうけるので、これらの記録も現地調査で収集し、解析する。 【成果】チドリ目の鳥類の越冬期の生息状況に関して、九十九里・利根川水系などで調査を行なった。特にシギ・チドリ類のミユビシギやオオソリハシシギの個体数変動に関して解析した。

2-⑨普遍研究課題：人類誌系（景観史という新領域の創出）

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**近古代における土器生産と流通**	郷堀英司	【内容】土師器・須恵器・施釉陶器など土器類の生産のあり方と、それらが流通して都城や集落で使用・消費される様相を明らかにする。 【成果】埼玉県北東部地域出土土器を実見し、その産地の検討を行った。その結果、小規模な生産遺跡ながら旧下総国三和窯産の土器群が少なからず存在することを確認した。
2	**近現代における裁縫教育についての研究**	島立理子	【内容】近現代において、衣類を調整する技術がどのような場で、どのように伝承あるいは教授されてきたかを明らかにし、近代以降の裁縫教育の持つ意味を明らかにする。 【成果】町場における洋装の普及と洋裁を教える場について調査した。洋装の普及は男性の仕事着、子どもの通学着から普及し、普段着としての洋装は子どもから普及したがそれは、洋裁教育がひろまっていく時期と一致することが野田町の調査から明らかになった。
3	**関東平野における明治 10 年代の土地利用に関する研究**	白井　豊	【内容】迅速測図を基礎的資料として、関東平野全域の土地利用を約 2km メッシュのオーダーで把握する。明治 10 年代の土地利用の意義を知る目的から近世の都市・信仰的中心地や交通の状況なども可能な限り把握する。その際には近世の道標を初めとする石造文化財や古文書を資料とする場合もある。 【成果】迅速測図を基礎資料とする土地利用の把握の作業を継続している。茨城県中部・南部の土地利用について、2km･1km メッシュで卓越する土地利用を読みとり表にした。また 2km メッシュについては、含まれている全ての土地利用の項目を表にした。
4	**民俗文化の伝播と伝承について**	小林裕美	【内容】民俗行事の変遷や地域による差異に着目し、民俗文化の伝播や伝承の在り方について考察する。 【成果】房総の出羽三山信仰の地域差について、主に梵天に注目して調査した結果を研究報告にまとめ、発表した。
5	**縄文時代の採集・狩猟・漁撈活動について**	三浦和信	【内容】遺跡から出土する遺物等をとおして、縄文時代の人々の生活について考察する 【成果】シカの骨角製品の研究成果の一端として、当館の企画展等の展示に反映した。

2-⑩普遍研究課題：博物館誌系（博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究）

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**持続可能な社会のための教育と博物館**	林　浩二	【内容】国際的にまた国内でも関心を集めている「持続可能な社会のための教育」に、博物館として何ができるか、具体的な活動から探る。 【成果】国立歴史民俗博物館で開催された国際博物館会議 教育と文化活動国際委員会 アジア太平洋地域研究集会において「持続可能な社会のための教育と博物館」を口頭発表し、参加者と意見交換した。国際的な動きに比べて、日本における博物館の社会的な活動の不足がよくわかった。
2	**地域博物館の連携による地域史像の形成**	内田龍哉	【内容】地域博物館の連携による、歴史的枠組みによるフィールドミュージアムの構築、文化遺産の再発見と地域史像の形成について、提言する。 【成果】伊能忠敬記念館、神栖市立歴史民俗資料館、稲敷市立歴史民俗資料館などと連携し、水郷地域の歴史民俗像の構築をめざした。

〈分館海の博物館〉

3-①房総半島の海洋生物相とその特徴

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**房総半島沿岸の魚類相と繁殖**	川瀬裕司	【内容】房総半島は北部と南部、太平洋岸と東京湾岸で海洋環境が大きく異なり、千葉県全体として多様な魚類相が形成されている。この魚類相の特徴を、県内および県外各地からの標本・資料収集により明らかにする。 【成果】県内調査では、ミズウオ、ソコクロダラなどの深海性魚類をはじめ、海の博物館前で収集した潮間帯に生息する魚類を資料登録した。
2	**房総半島の海産無脊椎動物相**	奥野淳兒（柳　研介・村田明久）	【内容】房総半島に生息する海産無脊椎動物相を掌握するため、資料の収集、同定、分類学的研究等を行う。 【成果】2013 年 2 月、外房からは記録のなかったロウソクエビ科の一種が採集されたため、同定作業を進めた。また、2012 年 12 月に勝浦市でフシウデサンゴモエビの千葉県新記録および分布の北限記録となる個体が採集された（担当：奥野）。 これまで情報収集、標本収集が遅れていたクラゲ類を中心として研究を進めた。その結果、本邦初記録となるジュウモンジクラゲ類の仲間の発見や、これまで登録標本がなかったクラゲ類を採集することができた。これらの成果は、観察ノート「クラゲを観察しよう」に利用され、広く県民に還元された（担当：柳）。 磯の観察エリア内の定点でのモニタリングを実施し、岩礁海岸生物群集の長期的な動態を把握するための基礎的なデータ収集および解析を行った（担当：村田）。
3	**房総半島沿岸の海藻相**	菊地則雄	【内容】房総半島沿岸の海藻相とその特徴を明らかにする。【成果】勝浦市沿岸を中心に海藻・海産種子植物相を調査して、海藻標本 102 点を新規登録した。南白亀川河口で絶滅危惧種アサクサノリの生育を確認した。

3-②専門研究

	研究テーマ	研究担当者	研究の目的・内容および本年度の成果
1	**房総半島における自然災害史の研究**	本吉正宏	【内容】自然災害のうちの地震津波に焦点を当てて、県内を取りあげた古文書等史料を調査し、津波の規模や被害状況を明らかにする。 【成果】地震津波の防災資料を、勝浦市内浜勝浦地区で確認し、釈文を行った。これに係る現地調査を行って、当時の防災対策の確認を行った。
2	**魚類の繁殖行動とその進化**	川瀬裕司	【内容】沿岸性海産魚類の繁殖生態（なわばり行動、産卵行動、卵保護行動など）について、フィールド観察を主体にして明らかにする。 【成果】鹿児島県屋久島および奄美大島で潜水観察を行い、フグ科魚類 2 属 3 種の繁殖行動を明らかにした。
3	**日本産共生性コエビ類の分類学的研究**	奥野淳兒	【内容】テナガエビ科を中心として、様々な海産無脊椎動物と共生するコエビ類の分類学的研究を行う。 【成果】テナガエビ科のジーファーテナガカクレエビ *Cuapetes lanceolatus* Okuno and Chan、 2012 およびホロヨイテナガカクレエビ *Cuapetes takedai* Okuno、 2012 を新種として記載した。
4	**イソギンチャク類の分類・生態学的研究**	柳　研介	【内容】イソギンチャク類について、その「形」を明らかにしていくとともに、DNA 解析の手法を用いた検証を行い、日本産のイソギンチャク類の分類の再検討を行う。タイプ標本の検討のため、海外での調査を行う。 【成果】イソギンチャク類の標本を採集し、形態解析、DNA 解析用の試料を作成した。特に、本邦で 110 年ぶりの再発見となるイソギンチャクが採集され、形態形質の精査、DNA 解析（共同）を実施した。この結果は、平成 25 年に発表予定である。 また勝浦での初記録となるカニハサミイソギンチャクの保持していたイソギンチャクの飼育実験を開始し、形態変化を観察した。現在も継続飼育観察中である。
5	**原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究**	菊地則雄	【内容】日本産原始紅藻亜綱植物の分類学的再検討を行うとともに、生活史について明らかにする。 【成果】千葉県内数カ所でアマノリ属藻類を採集し、糸状体培養株を作出するとともに、北海道産のエリモアマノリと、類似種のウップルイノリとの分類学的検討を行い、エリモアマノリが *Pyropia* 属に移る可能性が高いことを確認した。
6	**房総半島における海浜植生の研究**	青木慎哉	【内容】房総半島、特に鵜原理想郷を中心とした勝浦周辺の植物調査を行い、海浜植生の特徴を明らかにする。 【成果】博物館周辺を中心に、勝浦市周辺の植生調査および植物採集を行い、錯葉標本を作製した。定期的な鵜原理想郷モニタリングを実施し、周辺の植物について展示で紹介した。日本各地のタマアジサイと房総半島産を比較し、その系統と分類についての考察を行った。
7	**フジツボ類の繁殖生態**	村田明久	【内容】繁殖生態や生活誌等、蔓脚類の生態について明らかにする。 【成果】各種の蔓脚類のサンプリングを行った。また、県内各地での分布等を調査し、解析を行った。

Data 2.1.2　助成を受けた研究課題・他機関との共同研究課題

①文部科学省科学研究費補助金による研究（研究代表）

	研究種目	区分	研究代表者	開始	期間	研究課題	H24 直接経費 （円）
1	基盤研究（C）	一般	大木淳一	H21	５年	校内学習型地学教育プログラムの開発と実践	500,000
2	基盤研究（C）	一般	古木達郎	H21	４年	苔類ツキヌキゴケ科の多様性と初期個体発生に基づく種分化	600,000
3	基盤研究（B）	一般	宮　正樹	H22	３年	ミトゲノム超行列による巨大クレードの包括的な進化史解明：方法論の確立と実際	3,400,000
4	基盤研究（C）	一般	川瀬裕司	H22	３年	地球温暖化が沿岸性魚類の繁殖に及ぼす影響－データの集積と予測モデルの確立	900,000
5	基盤研究（C）	一般	奥田昌明	H23	３年	琵琶湖堆積物の花粉群解析による MIS1，５ｅ，１１間氷期の古気温定量復元	1,300,000
6	基盤研究（C）	一般	原田　浩	H23	４年	特殊環境に生育する地衣類の種多様性解明（１）．淡水生被果地衣類	900,000
7	基盤研究（C）	一般	熊代浩子(岡崎)	H23	４年	河川砂礫堆の 3 次元形成ダイナミクス：水路実験と現世堆積物のＧＰＲによる融合	1,100,000
8	挑戦的萌芽	一般	黒住耐二	H23	２年	真珠の考古学－未知の真珠採集遺跡発見を目指して	1,100,000
9	基盤研究（A）	一般	大庭照代	H23	３年	自然と環境を聞く力を養うための博物館音響資料の収集・保存・接続的活用の研究	7,300,000
10	基盤研究（C）	一般	斎木健一	H24	３年	形態学の知識が無くても使える生物検索システムの開発	1,400,000

②文部科学省科学研究費補助金による研究（研究分担）

	研究種目	研究分担者	研究代表者	研究課題	H24 直接経費 （円）
1	基盤研究（B）	立川浩之	宮崎大学 准教授　深見裕伸	造礁性イシサンゴ類の分子系統および化石と現世の形態多様性に基づく分類体系の再構築	250,000
2	基盤研究（B）	原　正利	宇都宮大学 教授　大久保達弘	攪乱環境下の東南アジア熱帯山地林におけるブナ科樹種多様性変動の解明のうちブナ科の広域分布調査・垂直分布調査	800,000
3	基盤研究（A）	原　正利	京都大学 准教授　神崎　護	東南アジア林冠部植物多様性と地理的生態的な群集分化解明のための広域イベントリー	150,000
4	基盤研究（B）	林　紀男	秋田県立大学 教授　尾崎保夫	八郎潟の植生浄化をめざした埋土種子を用いた枕水植物の再生に関する研究	400,000
5	新学術領域	黒住耐二	札幌大学 教授　高宮広士	琉球列島先史・原史時代における環境と文化の変遷に関する実証的研究	400,000
6	基盤研究（C）	伊左治鎭司	富山大学 准教授　柏木健司	東アジア東縁のジュラ紀－白亜紀の微化石相および海洋古環境解析：二枚貝原殻化石の処理と解析	250,000

③その他助成金による研究（当館研究代表）

	代表者	研究課題	助成名	研究分担者	期間	H24 直接経費（円）
1	一場郁夫	博学連携による博物館学習の推進に関する研究	平成２４年度笹川研究助成（財団法人日本科学協会）		H24	390,000
2	一場郁夫	博学連携を促進する展示手法の検討	平成 24 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした観光振興･地域活性化事業）（文化庁）	乃一哲久	H24	233,000
3	森田利仁	博物館収蔵資料を次世代に引き継ぐシステム構築	平成 24 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした観光振興･地域活性化事業）（文化庁）	乃一哲久	H24	770,000
4	宮 正樹	海洋生物多様性理解を加速するための大量ミトゲノム情報の収集と処理システムの構築	東京大学大気海洋研究所学際連携研究 「一般共同研究」		H24	770,000
5	倉西良一	多摩川流域の水生昆虫の遺伝的多様性	学術研究（とうきゅう環境財団）		H24-25	1,971,000
6	宮田昌彦	日本産紅藻サンゴモ科の系統分類学的研究（Dr. W. Nelson(NIWA)(New Zealand)との国際共同研究）	五峯ライフサイエンス国際基金（短期助成）		H24.4～H25.3	800,000
7	菊地則雄	未利用アマノリの基礎生物学的研究－エリモアマノリの分類学的検討と生活史特性－	平成 24 年度海苔養殖の長期的・基礎的研究に関する助成（一般財団法人海苔増殖振興会）		H24	301,000

④その他助成金による研究（当館研究分担）

	分担者	研究課題	助成名	研究代表者（所属）	期間
1	原　正利	アジア東岸域の環境圏とそれに依存する経済･社会圏の持続的発展のための研究拠点形成	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（文部科学省）	新沼勝利（東京情報大学）	H20-24
2	原　正利	東日本太平洋岸･市民による海岸植物群落と「海岸とのふれあい」調査	地球環境基金助成金（独立行政法人環境再生保全機構）	田畑貞寿（公益財団法人日本自然保護協会）	H23-24

④他機関との共同研究課題

	機関名	研究課題	研究代表	当館研究分担者	期間
1	鹿児島大学	島嶼地域における洞穴遺跡の基礎的研究	新里貴之（鹿児島大学）	黒住耐二	H23-25
2	熊本大学	琉球列島先史時代後半期における生業と交易にかんする実証的研究	木下尚子（熊本大学）	黒住耐二	H21-H24
3	宮崎大学	造礁性イシサンゴ類の分子系統および化石と現世の形態多様性に基づく分類体系の再構築	深見浩伸(宮崎大学)	立川浩之	H22-H26
4	国立環境研究所	日本産キクメイシ科サンゴの同定基準の確立とその地理的分布の解明	杉原　薫(国立環境研究所)	立川浩之	H24
5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林　千葉演習林	演習林の維管束植物相の研究	山田利博（東京大学）	尾崎煙男・天野　誠・御巫由紀	H22-24
6	国立歴史民俗博物館	日本の中山間地域における人と自然の文化誌	原　正利（※）	尾崎煙男・島立理子・加藤久佳・大木淳一・八木令子・小田島高之	H23-25
7	オークランド大学	カワノリ目（トレボクシア藻綱）の分子系統解析	宮田昌彦（※）・ウエンデイ・ネルソン（オークランド大学）	宮田昌彦	H23-H26
8	琉球大学	琉球列島産テナガエビ科カクレエビ亜科の分類と宿主選択の特異性-1. 内湾的環境における多様性	成瀬　貫（琉球大学）	奥野淳兒	H24.7.16-26
9	筑波大学	サラサエビの繁殖戦略についての研究（JAMBIO 研究課題）	青木優和（東北大学）	奥野淳兒	H24
10	東京大学付属植物園日光分園	タマアジサイ類の分類と分布	青木慎哉（※）	宮田昌彦	H23-25

※　当館職員

Data 2.2.5　研究員の執筆・研究発表

①執筆（種別は、学術：学術論文・学術書、報告：報告書、普及：普及書）

氏名	種別	書誌
中村俊彦	学術	中村俊彦．2012．里山里海の再興と持続可能な社会．日本不動産学会誌 26(3)：40-46
	学術	中村俊彦．2012．青木ヶ原樹林．渡邊定元・佐野充，富士山を知る事典，p. 87-92．日外アソシエーツ，東京
	学術	中村俊彦．2013．里山里海の構造と機能．田畑貞寿，緑地と地域計画Ⅲ：都市周辺の緑被地の保全，p. 3-18．古今書院，東京
	報告	中村俊彦．2012．白紙から市民とつくる「千葉方式」の生物多様性戦略．ランドスケープ研究 76(2)：158.
	報告	中村俊彦．2012．米づくりの変遷と冬期湛水田の生態系サービス．中村俊彦・小倉久子，印旛沼流域水循環健全化調査研究報告 1，p. 104-112．印旛沼流域水循環健全化会議・千葉県，千葉市
	報告	中村俊彦・小倉久子．2012．概要（冬期湛水・有機農法の水田による水質改善と生態系保全）．中村俊彦・小倉久子，印旛沼流域水循環健全化調査研究報告 1，p. 4-7．印旛沼流域水循環健全化会議・千葉県，千葉市
	報告	中村俊彦・小倉久子・吉田正彦．2012．冬期湛水研究プロジェクトの背景と経緯．中村俊彦・小倉久子，印旛沼流域水循環健全化調査研究報告 1，p. 8-12．印旛沼流域水循環健全化会議・千葉県，千葉市
	報告	中村俊彦・小倉久子・印旛沼流域水循環健全化会議事務局．2012．「恵みの沼をふたたび」冬期湛水による印旛沼流域再生の未来．中村俊彦・小倉久子，印旛沼流域水循環健全化調査研究報告 1，p. 132．印旛沼流域水循環健全化会議・千葉県，千葉市
	報告	金子是久・中村俊彦．2012．冬期湛水が水田雑草の生育に及ぼす影響．中村俊彦・小倉久子，印旛沼流域水循環健全化調査研究報告 1，p. 87-94．印旛沼流域水循環健全化会議・千葉県，千葉市
	報告	荒尾 稔・中村俊彦．2012．利根川下流・印旛沼流域における水鳥の越冬地復活．中村俊彦・小倉久子，印旛沼流域水循環健全化調査研究報告 1，p. 121-131．印旛沼流域水循環健全化会議・千葉県，千葉市
	報告	中村俊彦．2013．持続可能な社会と生物多様性教育．中村俊彦・小倉久子，科学技術教育（224）：5-7.
	普及	中村俊彦．2012．生きる力と自然欠損障害．森林インストラクター会報（112）：1
	普及	中村俊彦．2012．千葉の自然概論．平成 24 年度シニア大学前期テキスト集，p. 9-13
	普及	中村俊彦．2012．シリーズ「里山と人」1：里山とは．私たちの自然（575）：25
	普及	中村俊彦．2012．シリーズ「里山と人」2：里山のタイプ．私たちの自然（576）：25
	普及	中村俊彦．2012．シリーズ「里山と人」3：雑木林の更新とモザイク構造．私たちの自然（577）：25
	普及	中村俊彦．2012．シリーズ「里山と人」5：水田の多様な水環境のつながり．私たちの自然（578）：25
	普及	中村俊彦．2012．シリーズ「里山と人」5：自然を守り命を伝える神さまの力．私たちの自然，(579)：25
	普及	中村俊彦．2012．シリーズ「里山と人」6：「秋の七草」と自然を取り込む知恵．私たちの自然（580）：25
	普及	中村俊彦．2012．シリーズ「里山と人」7：野生の掟，生態系の食物連鎖．私たちの自然（581）：25
	普及	中村俊彦．2012．シリーズ「里山と人」8：生命を学び人となる子どもの自然体験．私たちの自然（582）：25
	普及	中村俊彦．2012．里山海からの通信 61：はかない春の妖精「カタクリ」．ふれあい毎日（136）：2
	普及	中村俊彦．2012．里山海からの通信 62：「まちづくり」の変革．ふれあい毎日（137）：3
	普及	中村俊彦．2012．里山海からの通信 63：新たな「地縁」．ふれあい毎日（138）：3
	普及	中村俊彦．2012．里山海からの通信 64：都市にホタル舞う学校ビオトープ．ふれあい毎日（139）：3
	普及	中村俊彦．2012．里山海からの通信 65：「標本」，自然と生物の姿と変化を語るもの．ふれあい毎日（140）：3
	普及	中村俊彦．2012．里山海からの通信 66：シカたちの逆襲．ふれあい毎日（141）：3
	普及	中村俊彦．2012．里山海からの通信 67：再考・境界の神と自然保護．ふれあい毎日（142）：3
	普及	中村俊彦．2012．里山海からの通信 68：谷津田のミヤコタナゴ．ふれあい毎日（143）：3
	普及	中村俊彦．2012．里山海からの通信 69：冬期湛水でコメの収量増加の理由．ふれあい毎日，(144)：3
	普及	中村俊彦．2013．シリーズ「里山と人」9：里山の変貌とさまざまな課題．私たちの自然（583）：25
	普及	中村俊彦．2013．シリーズ「里山と人」10：持続可能な未来への里山再興．私たちの自然（584）：25
	普及	中村俊彦．2013．里山海からの通信 70：巳（ヘビ）の伝統文化を平和のために．ふれあい毎日（146）：2
	普及	中村俊彦．2013．里山海からの通信 71：ニュータウン都市に残るキツネと浮世絵・広重の世界．ふれあい毎日（147）：2
	普及	中村俊彦．2013．トキ，コウノトリのふる里，房総の里山．生物多様性ちばニュースレター（32）：1-2
	普及	中村俊彦．2013．自然・生命体験の重要性とフィールドミュージアム．フィールドミュージアム・三番瀬の会，三番瀬をめぐる生命のつながり，p. 4-5．フィールドミュージアム・三番瀬の会，千葉市
宮野伸也	普及	宮野伸也．2012．潮来臨湖実験所での暑い夏．久松他編，茨城の動物たち，p. 157-172．（株）STEP，茨城県つくば市
	普及	宮野伸也．2012．特集・アシナガバチの生物学 生活史とコロニーの個体群生態学．昆虫と自然 48(2)：4-9.
	普及	宮野伸也．2012．「長南町でのウマノオバチの記録の紹介」の訂正．房総の昆虫（50）：66.
	普及	宮野伸也・大木明子・大木淳一．2012．アシダカグモを運ぶツマアカクモバチ．房総の昆虫（49）：裏表紙.
	普及	宮野伸也・立川浩之．2012．キスジセアカカギバラバチ．房総の昆虫（50）：裏表紙.

原　正利	学術	原正利. 2012. 津波による陸上植生への影響. グリーンエージ (465):8-11.
	学術	原正利. 2012. 宮城・岩手の被災地の植生を見て. 植生情報 (16):32-39.
	学術	原正利・浅見佳世・富田瑞樹. 2012. 植生学会 東日本大震災南三陸地域調査報告. (16):40-48.
大野啓一	普及	大野啓一. 2012.4. ハスとオニバスの芽ばえ. 友の会ニュース (75):2-3.
	普及	大野啓一. 2012.10. シュンラン－里山に咲くラン－. 房総のむら, 平成 24 年度千葉県立房総のむら企画展図録「むらの自然－里山の暮らしと生きものー」, p.20-21.
	普及	大野啓一. 2013.3. 里山の木々の芽ばえ. 理科教室 (699):70-71＋口絵 1-5.
一場郁夫	報告	一場郁夫. 2013.2. 博学連携による博物館学習の推進に関する研究, 80pp. 自刊 (H24 笹川研究助成)
林　浩二	普及	林浩二. 2012. 森の調査隊―フィールドワークをすすめるために―. 初等理科教育 46(5):34-35.
	普及	林浩二. 2012. 森の調査隊―学習計画との関連づけ―. 初等理科教育 46(6):34-35.
	普及	林浩二. 2012. 森の調査隊―自分なりに表現する―. 初等理科教育 46(7):34-35.
	普及	林浩二. 2013. 日本環境教育学会第 12 期（2011～2012 年度）報告. 広報委員会. 環境教育ニュースレター (100):5-6. 日本環境教育学会
奥田昌明	普及	奥田昌明. 2012. 天然の温度計としての花粉. 友の会ニュース (76):8. 千葉県立中央博物館友の会.
森田利仁	学術	森田利仁. 2013.1. 収蔵資料を有する博物館の究極の使命、生き残るということ. 博物館研究 48(1):17-20.
	普及	森田利仁・加藤久佳・乃一哲久・新和宏・久野一郎・宮下聡史・山村恭子. 2013. 岩手県の博物館資料救済現場を訪ねて. 千葉県博物館協会広報委員会, ちばの博物館 (131):2-3. 千葉県博物館協会, 千葉市.
小田島高之	普及	小田島高之. 2013. 地名と音 ドンドン. 中央博物館だより (70):4.
乃一哲久	普及	森田利仁・加藤久佳・乃一哲久・新和宏・久野一郎・宮下聡史・山村恭子. 2013. 岩手県の博物館資料救済現場を訪ねて. 千葉県博物館協会広報委員会, ちばの博物館 (131):2-3. 千葉県博物館協会, 千葉市立加曽利貝塚博物館.
岡崎浩子	普及	岡崎浩子. 2012. 液状化ー砂の性質と地質現象. 友の会ニュース (75) :4-5.
高橋直樹	普及	高橋直樹. 2012. 中央博物館「資料百選」の中の音. 中央博物館だより (70):6.
八木令子	普及	八木令子. 2012. 激しい隆起と侵食：深い谷に刻まれた房総半島の低山. 関東高等学校体育連盟登山部, 平成 24 年度第 56 回関東高等学校登山大会（冊子）, p.28-30.
伊左治鎭司	学術	Hirayama, R.,S. Isaji and T. Hibino. 2012.9. *Kappachelys okurai* gen. *et* sp. nov., a New Stem Soft-Shelled Turtle from the Early Cretaceous of Japan. D. B. Brinkman et al. Morphology and Evolution of Turtles :179-185. Springer, Dordrecht.
宮　正樹	学術	Aschliman, N.C., Nishida, M., Miya, M., Inoue, J.G., Rosana, K.M. & Naylor, G.J.P. 2012.4. Body plan convergence and diversity shaped by mass extinction in the evolution of skates and rays (Chondrichthyes: Batoidea). Molecular Phylogenetics and Evolution 63(1):28-42.
	学術	Lavoué, S., Miya, M., Moritz, T. & Nishida, M.2012.5. A molecular timescale for the evolution of the African freshwater fish family Kneriidae (Teleostei: Gonorynchiformes). Ichthyological Research 52(2):104-112.
	学術	Lavoué, S., Miya, M., Arnegard, M.E., Sullivan, J.P., Hopkins, C.D. & Nishida, M. 2012.5. Comparable ages for the independent origins of electrogenesis in African and South American weakly electric fishes. PLoS ONE (7):e36287.
	学術	Yang, L., Arunachalam, M., Sado, T., Levin, B.A., Golubtsov, A.S., Freyhof, J., Friel, J.P., Chen, W.J., Vincent Hirt, M., Manickam, R., Agnew, M.K., Simons, A.M., Saitoh, K., Miya, M., Mayden, R.L. & He, S. 2012.11. Molecular phylogeny of the cyprinid tribe Labeonini (Teleostei: Cypriniformes). Molecular Phylogenetics and Evolution 65(2):362-279.
	学術	Yang, L., Hirt, M.V., Sado, T., Arunachalam, M., Tang, K.L., Manickam, R., Simons, A.M., Wu, H.-H., Mayden, R.L. & Miya, M. 2012.12. Phylogenetic placements of the barbin genera *Discherodontus*, *Chagunius*, and *Hypselobarbus* in the subfamily Cyprininae (Teleostei: Cypriniformes) and their relationships with other barbins. Zootaxa (3586):26-40.
	学術	Imoto, J.M., Saitoh, K., Sasaki, T., Yonezawa, T., Adachi, J., Kartavtsev, Y.P., Miya, M., Nishida, M. & Hanzawa, N. 2013.2. Phylogeny and biogeography of highly diverged freshwater fish species (Leuciscinae, Cyprinidae, Teleostei) inferred from mitochondrial genome analysis. Gene514(2):112-124.
	学術	Lavoué, S., Miya, M., Musikasinthorn, P., Chen, W.J. & Nishida, M.2013.3. Mitogenomic evidence for an Indo-West Pacific origin of the Clupeoidei (Teleostei: Clupeiformes). PLoS ONE (8):e56485.
黒住耐二	学術	黒住耐二(分担執筆). 2012. 梅谷献二, 原色図鑑.外来害虫と移入天敵全国農村教育協会, 東京都台東区.
	報告	黒住耐二. 2013. 下江中島遺跡から得られた貝類遺体. 長谷部善一, 下江中島遺跡・上日置女夫木遺跡（熊本県文化財調査報告 278 集）, p.83-94. 熊本県教育委員会, 熊本市.
	報告	黒住耐二. 2013. 軟体動物（微小貝類）. 忍澤成視, 市原市展示台遺跡Ⅰ（本文篇２）（市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書 25 集/上総国分寺台遺跡調査報告 XXⅢ）, p.265-276. 市原市教育委員会, 千葉県.
	報告	黒住耐二. 2013. ナガラ原東貝塚の貝類遺体. 木下尚子, ナガラ原東貝塚の研究, 熊本大学, 熊本市.
	報告	黒住耐二. 2013. 首里城淑順門西地区および奉神門地区の発掘調査で得られた貝類遺体. 瀬戸哲也, 首里城跡, 淑順門・奉神門地区発掘調査報告書（Ⅰ）, 沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書沖縄県立埋蔵文化財センター, 沖縄県西原町.
	普及	黒住耐二. 2013. 縄文時代後期の宮前貝塚から出土したカワシンジュガイ. ひたちなか埋文だより (38):13-14. (財)ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社, 茨城県ひたちなか市.

	普及	黒住耐二. 2012. 里山の貝たち－下総台地の変遷. 千葉県立房総のむら, 平成24年度企画展「むらの自然, 里山の暮らしと生きもの」, p.14-15. 千葉県立房総のむら, 印旛郡栄町.
	普及	黒住耐二（分担執筆）. 2013. 自然しらべ2012.貝がらさがし！ 結果レポート. 自然保護（531号付録):1-4. 日本自然保護協会, 東京都中央区.
	普及	黒住耐二. 2013. 大垣さんのこと. いそこじき（特別号, 大垣氏追悼):10-12. 京都大学貝類同好会, 奈良市
	普及	黒住耐二（監修）. 2013. しぜんに タッチ！ かたつむりのひみつ. ひさかたチャイルド, 東京都文京区.
	普及	黒住耐二（分担執筆）. 2013. 田んぼの生きもの識別図鑑. 自然環境研究センター, 地域環境資源センター, 東京都港区.
	普及	黒住耐二. 2013. トピックス展「貝類新収蔵資料. 伏見道雄貝類コレクション. パート1, 1p. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	普及	黒住耐二. 2012.11. 大垣さんの目指されたもの. 関西海洋生物談話会, Argonauta (21):25-27. 大阪市立自然史博物館. http://www.mus-nh.city.osaka.jp/iso/argo/nl21/nl21-25-27.pdf
立川浩之	普及	宮野伸也・立川浩之. 2012. Photo Gallery キスジセアカカギバラバチ. 房総の昆虫（50):表紙裏. 千葉県昆虫談話会.
	普及	斉藤明子・立川浩之. 2012. 千葉県産昆虫数種の記録. 房総の昆虫（50):23. 千葉県昆虫談話会.
古木達郎	学術	Furuki, T. and B. C. Tan. 2013.3. Taxonomical studies of the family Aneuraceae (Marchantiophyta) of Singapore. Natural History Research 12(2):71-79.
	学術	古木達郎・城戸美智子・白河潤一・星良和. 2012.8. ヒカリゼニゴケが九州で再発見される. 蘚苔類研究(10):255-256.
	学術	古木達郎・太田正文. 2012.12. コムチゴケが新たな分布の北限として青森県で見つかる. 蘚苔類研究(10):293.
	学術	古木達郎・太田正文. 2012.12. ニセヤヤズゴケが新たな分布の北限として青森県で見つかる. 蘚苔類研究(10):293-294.
	学術	西村直樹・田村英子・嶋村正樹・古木達郎. 2012.8. ダンゴゴケ属タイ類の1種が日本でも見つかる. 蘚苔類研究（10):245-249.
	普及	古木達郎. 2012.8. 新・コケ百選 第10回ゼニゴケ科（タイ類）. 蘚苔類研究（10):268-270.
	普及	古木達郎. 2012. 身近なコケ植物（蘚苔類）の分類と生態. 植調 :47-58.
原田　浩	学術	Takahashi K., Anzai T., Kinoshita Y. & Harada H. 2012. *Sticta praetextata* and *S. sublimbata* (lichenized Ascomycota; Lobariaceae) new to Japan. Lichenology 11(1):1-7.
	学術	原田 浩・山本 好和・吉村 庸. 2012. 日本新産のウメノキゴケ科地衣類 チヂレウチキウメノキゴケ（*Myelochroa xantholepis*）. Lichenology 11(1):13-15.
	学術	川上 寛子・原田 浩・原 光二郎・小峰 正史・山本 好和. 2012. 分布資料(34). クロボシゴケ *Pyxine subcinerea*. Lichenology 11(1):27-30.
	学術	川上 紳一・斉藤 由夏・日比野 洋也・東條 文治・原田 浩. 2012. 岐阜県産の地衣類（5）. 岐阜県新産のキビノサラゴケ *Gyalecta kibiensis*（サラゴケ科）. Lichenology 11(1):31-34.
	学術	川上 紳一・東條 文治・原田 浩・岡本 達哉. 2012. 日本新産のダイダイゴケ属地衣類コナキクバダイダイゴケ Caloplaca decipiens（ダイダイゴケ科）. Lichenology 11(1):17-20.
	普及	原田浩. 2012. 地衣に擬態するコマダラウスバカゲロウ. 日本地衣学会ニュースレター（115):425-426.
	普及	原田浩. 2012. 身近な地衣類の分類と生態. 植調 46(1):19-27.
	普及	原田浩. 2012. 『日本の地衣フロラ解明プロジェクト』から. 日本地衣学会ニュースレター（118):439-440.
	普及	原田浩. 2013. 千葉県の地衣類, その多様性. 生物多様性ちばニュースレター生命のにぎわいとつながり(31):1-3.
	普及	原田 浩・木下 靖浩・安斉 唯夫・坂田 歩美. 2012. 第37回青空地衣教室（神奈川県足柄下郡箱根町やすらぎの森）で観察された地衣類. 日本地衣学会ニュースレター（116):432-436.
天野　誠	学術	天野誠・大山成文. 2013.1. 東京大学清澄演習林でユウシュンランを発見. 千葉県植物誌資料編集同人, 千葉県植物誌資料（28):278-280.
	普及	天野誠. 2013. 「ナッツ＆ベリー」赤いベリーと黒いベリー . 中央博物館だより（70):12.
斎木健一	学術	Uehara,K., K. Saiki and T.Ando. 2013.3. *Veronicastrum noguchii*(sect. Plagiostachys, Plantaginaceae), a new species from Japan. Acta Phytotax.Geobot. 63(2):63-69.
	学術	上原浩一・斎木健一・安藤敏夫. 2013.3. 千葉県で発見されたオオバコ科クガイソウ属の新種イスミスズカケについて. 食と緑の科学（67):1-8.
筑紫敏夫	普及	筑紫敏夫. 2012. 江戸湾防備と民衆. 千葉県歴史教育者協議会編, おはなし千葉の歴史, p.45-48. 岩崎書店, 東京.
小林裕美	報告	小林裕美. 2012. 梵天に見る房総の出羽三山信仰の現在. 千葉県立中央博物館研究報告（人文科学）13(1):1-81.
	普及	小林裕美. 2013. 房総の出羽三山信仰と梵天. 平成24年度千葉県立房総のむらトピックス展「神の依り代・梵天～房総の出羽三山信仰～」展示解説書, p.4-6.
斉藤明子	普及	斉藤明子. 2012. 津波により被災した甲虫と鱗翅類標本の救済. 昆虫と自然 47(12):21-23.
	普及	斉藤明子. 2013. ウォーレシアという世界. 花鳥風月（154):12-15.
	普及	斉藤明子・立川浩之. 2012. 千葉県産甲虫数種の記録. 房総の昆虫（50):23.
	普及	鈴木勝・斉藤明子. 2012. 千葉県動物誌、千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫ー補遺と追加60種一. 房総の昆虫（50):57-61.

駒井智幸	学術	Komai, T. 2012.7. A review of the western Pacific species of the crangonid genus *Metacrangon* Zarenkov, 1965 (Decapoda: Caridea), with descriptions of seven new species. Zootaxa (3468):1-77.
	学術	Komai, T. 2013.3. A new species of the hippolytid shrimp genus *Lebbeus* (Crustacea: Decapoda: Caridea) from lower bathyal zone in the Izu Islands, central Japan. Natural History Research 12(2):81-89.
	学術	Komai, T. 2013.3. Records of four species of the pylochelid hermit crab genus *Trizocheles* Forest, 1987 (Crustacea: Decapoda: Anomura) from the Sagami Sea and Izu Islands, central Japan, with descriptions of three new species. Natural History Research 12(2):91-112.
	学術	Komai, T. and A. Anker. 2012.6. A distinctive new species of the alpheid genus Salmoneus Holthuis, 1955 (Crustacea: Decapoda: Caridea) from the northwestern Pacific. Zootaxa (3344):60-68.
	学術	Komai, T. and Y. Fujiwara. 2012.4. New records of callianassid ghost shrimp (Crustacea: Decapoda: Axiidea) from reducing environments in Kyushu, southwestern Japan. Zootaxa (3271):55-67.
	学術	Komai, T. and Y. Fujiwara. 2012.11. Description of a new species of the hippolytid shrimp genus *Eualus* Thallwitz, 1892 from Japan, and clarification of the status of *E. kikuchii* Miyake & Hayashi, 1967 (Crustacea: Decapoda: Caridea). Zootaxa (3546):68-80.
	学術	Komai, T. and I. Itou. 2012.8. A new species of the pontoniine shrimp genus *Onycocaris* Nobili, 1904 (Crustacea: Decapoda: Caridea: Palaemonidae) from Sagami Bay, central Japan. Zootaxa (3440):50-62.
	学術	Komai, T. and K. Konishi. 2012.5. Reassessment of the systematic position of *Pseudopinnixa carinata* (Crustacea: Decapoda: Brachyura). Species Diversity 17(1):29-37.
	学術	Komai, T., J. Liang and T. Yang. 2012. 2012.4. Records of four species of the shallow water hermit crab genus *Diogenes* (Crustacea: Decapoda: Anomura: Diogenidae) from southern China, with description of a new species. Journal of Natural History 46:1219-1248.
	学術	Komai, T. and H. Motoh. 2012.5. The identity of *Pilumnus dofleini* Balss, 1933 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Pilumnidae), with descriptions of three new species from the Western Pacific. Zootaxa (3305):1-27.
	学術	Komai, T. and P.K.L. Ng. 2012.6. A new genus and species of leucosiid crab (Crustacea: Decapoda: Brachyura) from shallow coral reefs in the Indo-West Pacific. Zootaxa (3352):40-50.
	学術	Komai, T., P.K.L. Ng and Y. Yamada. 2012.8. A new genus and new species of chasmocarcinid crab (Decapoda: Brachyura: Goneplacoidea) from shallow waters in Japan. Crustaceana Monographs (17):137-154.
	学術	Komai, T. and M. Osawa. 2012.7. A new genus and new species of pagurid hermit crab (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguroidea) from a submarine cave in Kume Island, Ryukyu Islands. Zootaxa (3367):145-154.
	学術	Komai, T. and J. Ohtomi. 2013.2. The occurrence of a pandalid shrimp *Heterocarpus abulbus* Yang, Chan and Chu, 2010 (Decapoda: Caridea) in Japan. Crustaceana 86:379-385.
	学術	Komai, T. and J. Poupin. 2012.4. Two new species of shallow-water hermit crabs (Crustacea: Decapoda: Paguridae) from Mayotte Island, southwestern Indian Ocean. Zootaxa (3277):56-68.
	学術	Komai, T. and J. Poupin. 2013.1. Records of the hermit crab genus *Pagurixus* Melin, 1939 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from Europa Island, western Indian Ocean, with descriptions of two new species. Zootaxa (3608):191-203.
	学術	Komai, T. and D. L. Rahayu. 2013.2. Records of the hermit crab genus *Pagurixus* Melin, 1939 (Decapoda: Anomura: Paguridae) from shallow coral reefs in the Panglao Islands, the Philippines, with description of a new species. Raffles Bulletin of Zoology 61(1):133-141.
	学術	Komai, T. and D. L. Rahayu. 2013.2. Species of the pagurid hermit crab genus *Catapaguroides* A. Milne-Edwards & Bouvier, 1892 (Crustacea: Decapoda: Anomura) from the Bohol Sea, the Philippines, with descriptions of eight new species. Raffles Bulletin of Zoology 61(1):143-188.
	学術	Komai, T., R. Reshmi and A. N. Biju Kumar. 2012.4. A new species of the hermit crab genus *Ciliopagurus* Forest (Crustacea: Decapoda: Anomura: Diogenidae) from southern India. Zootaxa (3266):53-61.
	学術	Komai, T., R. Reshmi and A. N. Biju Kumar. 2012.2. A new species of the hermit crab genus *Diogenes* (Crustacea: Decapoda: Anomura: Diogenidae) from southern India. Zootaxa (3613):380-390.
	学術	Komai, T. and S. Tsuchida. 2012.7. Rediscovery and redescription of a sponge-associated axiid shrimp, *Eiconaxius acutifrons* Bate, 1888 (Crustacea: Decapoda: Axiidea). Zootaxa (3393):27-40.
	学術	Ahyong, S.T., T. Komai & T. Watanabe. 2012.8. First *Viridotheres* from Japan with a key to the species (Decapoda: Brachyura: Pinnotheridae). Crustaceana Monographs (17):35-47.
	学術	Malay, M. C. D., T. Komai & T.-Y. Chan. 2012.7. A new cryptic species in the "*Calcinus anani* Poupin & McLaughlin, 1998" species complex (Decapoda: Anomura: Diogenidae): evidence from coloration and molecular genetics. Zootaxa (3367):165-175.
大庭照代	報告	大庭照代. 2013. 千葉県立中央博物館「自然の音および音環境録音コレクション」 DISCOGRAPHY :収集および刊行資料. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 12(2):61-90.
	普及	大庭照代. 2012. チーバくんの Q「鳥の歌声、聴き入ってみれば」. 朝日新聞千葉版 (2012 年 5 月 8 日)
	普及	大庭照代. 2012. 聞いた鳥・見た鳥 2012 年 4 月 29 日. (2012 年 5 月 24 日):1-2. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	普及	大庭照代. 2012. 生態園の鳥チェックリスト. (2012 年 5 月 24 日):1. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	普及	大庭照代. 2013. 小学校と博物館の連携を考える 24 とりの声キャッチ名人－耳をたよりに自然を観察しよう－. 初等理科教育 (586):34-35.
	普及	大庭照代. 2013. 企画展 音の風景－うつりゆく自然と環境を未来に伝える－. 中央博物館だより (70):2-3.
	普及	大庭照代. 2013. フィールドから 自然の音に耳を澄ませよう. 中央博物館だより (70):10.
白井　豊	報告	白井豊. 2013. 近世の坂東観音巡礼ルートの実態―関東・甲信地方からの参詣を対象として―. 科学研究費補

		助金（基盤研究（C））研究成果報告書，p.72.
由良　浩	報告	由良 浩・小此木宏明．2013．市民による海岸植物群落調査．震災後の海岸植物、海、そして人－東日本海岸調査報告書－，p.3-8.
	普及	由良 浩・小此木宏明.2012．海岸の植物群落の変化を調べよう 東日本海岸調査－調査の手引き－．公益財団法人日本自然保護協会:1-10．東京都.
	普及	由良 浩．2012．千葉県の外来種「アツバキミガヨラン」．千葉県生物多様性センター，生物多様性センターニュースレター「生命のにぎわいとつながり」（30):4.
	普及	由良 浩．2013．千葉県の外来種「アメリカオニアザミ」．千葉県生物多様性センター，生物多様性センターニュースレター「生命のにぎわいとつながり」（32):4.
	普及	由良 浩．2013．大津波に耐えた北限のハマサジ．公益財団法人日本自然保護協会，自然保護（531):26.
林　紀男	学術	齋藤康宏・富田瑞樹・林紀男・原慶太郎．2012．手賀沼流域における植被率と水生植物の種多様性 の特性―流域の入れ子構造に着目した把握―．保全生態学研究 17(1):3-14.
	学術	林 紀男・竹中真里子・横林庸介．2012．古新田調節池（千葉県印西市）の浮遊微生物相．千葉生物誌 62(1):19-22.
	学術	土井 学・林 紀男.2012．谷当谷津（千葉市若葉区）の生物相（哺乳類，鳥類、両生・爬虫類，浮遊・付着微生物）．千葉生物誌 62(1):23-27.
	学術	林 紀男・徐 開欽．2013．袋倉ダム貯水池（千葉県鴨川市）の浮遊微生物相．千葉生物誌 62(2):65-71.
	報告	横林庸介・竹中真里子・林 紀男．2012．古新田調節池(千葉県印西市)の水生植物．水草研究会誌（97):19-23.
	報告	尾﨑保夫・吉川進太郎・舘田千春・ 林 紀男．2013．埋土種子を用いた沈水植物再生に及ぼす濁度と光量子の影響．秋田自然史研究（63):1-6.
	報告	林 紀男・ 岡野邦宏・ 尾﨑保夫．2013．八郎湖における浮遊性藍藻類アオコの多様性．秋田自然史研究(63):7-11.
	報告	林 紀男・岡野邦宏・稲森隆平．2012．日本の水田に出現する原生生物．印旛沼流域水循環健全化調査研究報告(1):45-56.
	報告	林 紀男・大内 匠・宮田直幸．2012．日本の水田に出現するワムシ類・ミジンコ類．印旛沼流域水循環健全化調査研究報告（1):57-62.
	報告	林 紀男・稲森隆平・岩渕成紀・徐 開欽．2012．冬期湛水が水田の原生生物現存量に及ぼす影響．印旛沼流域水循環健全化調査研究報告（1):63-68.
	報告	林 紀男・大内 匠・稲森隆平・岩渕成紀．2012．水田土壌中のミジンコ休眠卵孵化率に及ぼす湛水管理の影響．印旛沼流域水循環健全化調査研究報告（1):69-71.
	報告	林 紀男．2013．印旛沼・手賀沼における沈水植物再生の取り組みと課題．八郎湖流域管理研究（2)，p.49-58.
	普及	林 紀男．2012．埋土種子から蘇らせた印旛沼の沈水植物たち．友の会ニュース（77):2-3.
萩野康則	普及	萩野康則．2012．クモが出てくる子どもの本情報（9）．2010-11 年に出版された雑誌 1 点と児童書 3 点の紹介．談話会通信（135):5-9．東京蜘蛛談話会.
	普及	萩野康則．2012．土壌動物が出てくる子どもの本情報（7）．「つちらんど」ほか，近藤薫美子さんの絵本の紹介．どろのむし通信（58):8-14．日本土壌動物学会.
	普及	萩野康則．2012．クモが出てくる子どもの本情報（10）．2005，09 年に出版された写真絵本 2 点の紹介．談話会通信（136):14-18．東京蜘蛛談話会.
	普及	萩野康則．2012．チーバ君のQ．ムカデやヤスデ どんな生き物？ 朝日新聞千葉版（2012 年 10 月 23 日）
	普及	萩野康則．2013．土壌動物が出てくる子どもの本情報（8）．最近出版された子ども向け昆虫図鑑「ポプラディア大図鑑 WONDA」の紹介．どろのむし通信（59):6-9．日本土壌動物学会.
	普及	萩野康則．2013．2005，08 年に出版された読みもの 2 点と，2012 年に出版された図鑑 1 点の紹介．談話会通信（137):4-11．東京蜘蛛談話会.
尾崎煙雄	学術	Iwasaki, T., T. Sase, S. Takeda, T. A. Ohsawa, K. Ozaki, N. Tani, H. Ikeda, M. Suzuki, R. Endo, K. Tohei, Y. Watano. 2013.1. Extensive selfing in an endangered population of *Pinus parviflora* var. *parviflora* (Pinaceae) in the Boso Hills, Japan. Tree Genetics & Genomes (9):693-705.
	報告	房総のヒメコマツ研究グループ．2013.3．平成 24 年度ヒメコマツの現地調査・保全業務報告書．平成 24 年度ヒメコマツの現地調査・保全業務報告書，p.22.
	普及	尾崎煙雄．2012.10．小学校と博物館の連携を考える 19 房総の山のフィールド・ミュージアム-三島小教室博物館-．初等理科教育 46(10):34-35.
	普及	尾崎煙雄．2012.5．千葉県の生物 49 ヤドリギ．生物分科会だより（83):1.
	普及	尾崎煙雄．2012.12．薄皮マイマイ．館報せいわ（344):4.
	普及	尾崎煙雄．2012.7．マイマイガ．しいむじな（37):4.
	普及	尾崎煙雄．2012.10．腐生植物の魅力．しいむじな（38):1.
	普及	尾崎煙雄．2012.10．清澄山の昆虫調査．しいむじな（38):4.
	普及	尾崎煙雄．2013.1．地下の昆虫採集．しいむじな（39):4.
	普及	尾崎煙雄．2013.3．地下の昆虫採集２．しいむじな(40) :4.
	普及	尾崎煙雄．2012.4．ツチイナゴ．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2012.4．ツチハンミョウ．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2012.4．ミツバツツジ．坂畑小ニュース :1.

	普及	尾崎煙雄．2012.5．ネジロカミキリ．坂畑小ニュース:1.
	普及	尾崎煙雄．2012.5．マダラマルハヒロズコガ．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2012.5．マツモムシ．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2012.5．ミツバツツジ．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2012.5．ヤマアカガエル．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2012.12．ゲンノショウコ．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2012.12．ヒヨドリ．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2012.12．朽ち木の虫．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2013.2．オオイヌノフグリ．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2013.2．タマアジサイ．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2013.2．ホトケノザ．坂畑小ニュース :1.
	普及	尾崎煙雄．2012.9．書籍紹介『豊英島の自然』．千葉生物誌 62(1):59.
	普及	尾崎煙雄．2013.2．書籍紹介『日本原色カメムシ図鑑第３巻』．千葉生物誌 62(2):114.
島立理子	学術	島立理子．2013．建物のない博物館の試み．年報 月曜ゼミナール (5):247-260.
	学術	島立理子．2012．論評．日本教育史研究 (3):52-55.
	報告	島立理子．2013．人生儀礼（婚姻/出産と育児） 衣食住（衣生活）．野田市民俗調査報告書８ 上花輪・野田・中野台・清水の民俗，p.55-61,95-102．野田市史編さん委員会.
	普及	島立理子．2012．川を通して流域の歴史を探る．しいむじな (37):1.
	普及	島立理子．2012．ウシガエルとカジカガエル．しいむじな (37):4.
	普及	島立理子．2012．三島小の校庭にシカ．しいむじな (38):4.
	普及	島立理子．2013．蔵玉用水の見積もり書．しいむじな (39):2.
	普及	島立理子．2013．博物館のプロジェクトが復活させた幻の小麦．しいむじな (39):4.
	普及	島立理子．2013．蔵玉用水は誰が堀ったか？ しいむじな (40):2.
	普及	島立理子．2013．麦芽．しいむじな (40):4.
	普及	島立理子．2012．清和の郷土料理．館報せいわ (344):4.
	普及	島立理子．2012．房総の山のフィールド・ミュージアム―「おばあちゃんの畑」プロジェクト―．初等理科教育 46(11):34-35.
	普及	島立理子．2013．房総の二五穴．中央博物館だより (70):11.
加藤久佳	学術	長谷川善和・冨田進・加藤久佳・北川博道・国府田良樹．2013．千葉県銚子市長崎鼻の鮮新統名洗層産象臼歯化石．群馬県立自然史博物館研究報告 (17):49-54.
	報告	加藤久佳．2013．下江中島遺跡から得られた十脚甲殻類遺体．長谷部善一，下江中島遺跡・上日置女夫木遺跡(熊本県文化財調査報告 278 集)，熊本県教育委員会，熊本市.
	普及	加藤久佳．2012．ニゴイのノッコミ．しいむじな (37):4.
	普及	加藤久佳．2012．目を凝らしてみると．しいむじな (38):4.
	普及	加藤久佳．2012．深海底のごちそう．館報せいわ (344):4.
	普及	加藤久佳．2012．貸出用化石キット「生命と大地の歴史を体感する化石キット」．初等理科教育 46(12):34-35.
	普及	加藤久佳．2013．房総丘陵の石灰岩を調査しています．しいむじな (39):4.
	普及	加藤久佳．2013．ナゾの化石「マキヤマ」．しいむじな (39):1.
	普及	加藤久佳．2013．誰にでも見つけられる化石．しいむじな (40):4.
	普及	森田利仁･加藤久佳･乃一哲久･新和宏･久野一郎･宮下聡史･山村恭子．2013．岩手県の博物館資料救済現場を訪ねて．千葉県博物館協会広報委員会，ちばの博物館 (131):2-3．千葉県博物館協会，千葉市立加曽利貝塚博物館.
大木淳一	普及	大木淳一．2013．博物館実習［３年］の先生たち．日本女子大学，学芸員への誘い―日本女子大学博物館学芸員課程年報 (11):8，東京都.
	普及	大木淳一．2012．展示をじっくり『観る』仕掛け～中央博調査隊～．日本初等理科教育研究会，初等理科教育 46(4):36-37.
	普及	大木淳一．2012．川沼の自然入門．NPO 法人 千葉自然学校，平成 24 年度シニア大学テキスト集前期 :51-52.
	普及	大木淳一．2012．やっぱり清和はいいな～．館報せいわ (343):4.
	普及	大木淳一．2012．復活！メノウ探し．しいむじな (37):4.
	普及	宮野伸也・大木明子・大木淳一．2012．アシダカグモを運ぶツマアカクモバチ．千葉県昆虫談話会，房総の昆虫 (49).
	普及	大木淳一．2012．タヌキ（写真提供）．千葉県立房総のむら平成 24 年度企画展図録「むらの自然 里山の暮らしと生きもの」，p.12.

	普及	大木淳一. 2012. ニホンカモシカ発見！ しいむじな (38):4.
	普及	大木淳一. 2013. 声はすれども姿は見えず～幻のカエル・タゴガエル. 中央博物館だより (70):5.
	普及	大木淳一. 2013. ムネアカオオアリの女王の謎. しいむじな (39):4.
	普及	大木淳一. 2013. 世界最大のトド化石発見！ しいむじな (40):1.
	普及	大木淳一. 2013. 坂畑小学校の石材. しいむじな (40) :4.
落合啓二	学術	Inoue, T., Y. Kaneko, K. Yamazaki, T. Anezaki, S. Yachimori, K. Ochiai, L.-K. Lin, K. J.-C. Pei, Y.-J. Chen, S.-W. Chang and R. Masuda. 2012. Genetic population structure of the masked palm civet *Paguma larvata*, (Carnivora: Viverridae) in Japan, revealed from analysis of newly identified compound microsatellites. Conservation Genetics (13):1095-1107.
	学術	Kamada, S., S. Moteki, M. Baba, K. Ochiai and R. Masuda. 2012. Genetic Distinctness and Variation in the Tsushima Islands Population of the Japanese Marten, *Martes melampus* (Carnivora: Mustelidae), Revealed by Microsatellite Analysis. Zoological Science (29):827-833.
	普及	落合啓二. 2012. チーバくんの Q　中央博を訪ねる，シカとカモシカ 一体どう違うの？ 朝日新聞千葉版 (2012 年 7 月 4 日)
	普及	落合啓二. 2012. 企画展「シカとカモシカ」のコラボの話. 友の会ニュース (76):2-3.
	普及	落合啓二. 2012. 平成 24 年度千葉県立中央博物館企画展「シカとカモシカ －日本の野生を生きる－」解説資料 シカ・カモシカをもっと知ろう， 8p.
	普及	落合啓二. 2012. 里山の哺乳類. 平成 24 年度千葉県立房総のむら企画展図録「むらの自然－里山の暮らしと生きものー」, p.12-13.
桑原和之	報告	平田豊治・桑原和之. 2012. 野田山ラインセンサス結果 2011 年. 平野賢次, 石川野鳥年鑑 2011, p.81-82. 日本野鳥の会石川, 金沢市.
	報告	松丸一郎・桑原和之・根本貴久・金子謙一. 2013. 千葉県市川市じゅん菜池のトモエガモ *Anas formosa* の越冬記録. 我孫子市鳥の博物館研報 19(1):1-11.
	普及	桑原和之. 2012. キジ科のウズラ. 私たちの自然 53(575):10-11.
	普及	桑原和之. 2012. 千葉県の希少種 サシバ（タカ科）千葉県レッドデータブック重要保護生物 A. 生命のにぎわいとつながり，生物多様性ちばニュースレター (29):3.
	普及	桑原和之. 2012. 里山の鳥類. 千葉県立房総のむら平成 24 年度企画展図録「むらの自然－里山の暮らしと生きものー」, p.16-17.
	普及	桑原和之. 2013. 書籍紹介「船橋の野鳥 2013」金子敏之撮影・編集. 千葉生物誌 62(129):114.
	普及	桑原和之・糠谷隆・齊藤敏一・箕輪義隆. 2013. 川のフィールド・ミュージアム「いきもの調査隊」. 千葉県立中央博物館大利根分館ニュースレターたかっぽ通信 (5):3.
倉西良一	学術	Kawakatsu, M., M. Nishino, K. Ogata, R. B. Kuranishi, N. Kobayashi & A. Ohtaka. 2012. Two north American freshwater planarian species now naturalized in Japan: Girardia tigrina (Girard, 1850) and Girardia dorotocephala (Woodworth, 1897)-In Connection with the Field Survey of Benthic Invertebrate-. Kawakatsu's Web Library on Planarians: December 15, 2012. p.1-35. Sapporo.
	普及	倉西良一. 2012. 遺伝子時代の標本管理術. 昆虫 DNA 研究会ニュースレター (16):3-4.
	報告	倉西良一. 2012. 冬期湛水前後の水田内底生動物相の比較（水生生物を中心に）. 印旛沼流域水循環健全化調査研究報告 (1):72-75.
	報告	倉西良一・小田島高之. 2012. 君津市戸崎におけるオオシロカゲロウ成虫の採集記録. 房総の昆虫 (49):29.
	報告	倉西良一・関根一希・石綿進一. 2012. 千葉県のシロイロカゲロウ属 -文献の記録. 房総の昆虫 (49):42.
	報告	倉西良一. 2013. 源流河川のトビケラ目昆虫-ヌタノ沢で採集されたアミメシマトビケラ科とナガレトビケラ科の形態と遺伝子情報. 神奈川県自然環境保全センター研究報告 (10):187-193.
	報告	石綿進一・守屋博文・倉西良一・清水高男・小林貞・司村宜祥. 2013. 源流河川の底生動物. 神奈川県自然環境保全センター研究報告 (10):163-175.
	普及	倉西良一. 2012. 2011 年総会･第 79 回例会報告. 昆虫ニュース千葉 (87):1-2.
	普及	倉西良一. 2012. 川沼の自然入門. 平成 24 年度シニア自然大学テキスト集-後期-, p.24-34.
	普及	倉西良一. 2012. 里山とホタル. 千葉県立房総のむら平成 24 年度企画展図録「むらの自然－里山の暮らしと生きものー」, p.8-9.
	普及	倉西良一. 2013. 生態園のトンボ. 生態園観察ノート (19):1-36.

氏名	種別	書誌
宮田昌彦	学術	Sutherland, J. E., S. C. Lindstrom, W. A. Nelson, J. Brodie, M. D. J. Lynch, M., S. Hwang, H.-G. Choi, M. Miyata, N. Kikuchi, M. C. Oliveira, T. Farr, C. Neefus, A. Mols-Mortensen, D. Milstein and K. M. Müller. 2012. new look at an ancient order: generic revision of the Bangiales (Rhodophyta). Journal of Phycology 47:1131-1151.
本吉正宏	普及	本吉正宏. 2013. 大震災から. 千葉文華 42:54.
川瀬裕司	学術	川瀬裕司. 2013.3. 南房総で発見されたオオウナギ *Anguilla marmorata*. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 12 (2):55-59
	普及	川瀬裕司. 2013. 海博だより-深い海の海底生活に適応したソコダラの仲間. 友の会ニュース 78:8.
	普及	川瀬裕司. 2013. 釣りで漁獲される千葉県勝浦のキンメダイ. 中央博物館だより 70:9
	普及	川瀬裕司. 2013. チーバくんと学ぶ 深い海に暮らす生きものたち. 千葉県立中央博物館分館海の博物館平成２４年度マリンサイエンスギャラリー（企画展示）展示解説書 :1-14.
	普及	川瀬裕司. 2013. 人はどれくらい深くまで潜れる？ -深い海の過酷な環境. チーバくんと学ぶ深い海に暮らす生きものたち 1. 千葉日報朝刊（2013 年 2 月 11 日）.
	普及	川瀬裕司. 2013. ウナギって深海魚？ -深海で生まれて川で育つ. チーバくんと学ぶ深い海に暮らす生きものたち 2. 千葉日報朝刊（2013 年 2 月 25 日）.
	普及	川瀬裕司. 2013. 勝浦のキンメ漁-自主規制で資源を管理. チーバくんと学ぶ深い海に暮らす生きものたち 3. 千葉日報朝刊（2013 年 3 月 11 日）.
	普及	川瀬裕司. 2013. キンメ漁で混獲される魚-市場に出る魚と出ない魚. チーバくんと学ぶ深い海に暮らす生きものたち 4. 千葉日報朝刊（2013 年 3 月 25 日）.
奥野淳兒	学術	Okuno, J. 2012.7. A new species of cnidarian-associated shrimp of the genus *Cuapetes* Clark, 1919 (Decapoda, Palaemonidae) from Suruga Bay, Japan. Komatsu, H., J. Okuno and K. Fukuoka, Studies on Eumalacostraca: a homage to Masatsune Takeda. Crustaceana Monographs 17:233-244. Brill, Leiden.
	学術	Okuno, J. and T.-Y. Chan. 2012.7. A new antipatharian-associated species of the genus *Cuapetes* Clark, 1919 (Crustacea: Decapoda: Palaemonidae) and a new record of *C. nilandensis* (Borradaile, 1915) from Japan. Zootaxa 3367:115-125.
	学術	De Grave, S., T.-Y. Chan, Y. Fujita and J. Okuno. 2012.7. Hippolytidae and Barbouriidae (Decapoda: Caridea) collected during the Ryukyu "KUMEJIMA 2009" expedition. Zootaxa 3367:95-102.
	学術	Marin, I., T.-Y. Chan and J. Okuno.2012.7. Crinoid-associated pontoniine shrimps of the genus *Laomenes* Clark, 1919 (Decapoda, Caridea, Palaemonidae) from PANGLAO 2004 and KUMEJIMA 2009 Expeditions, with description of two new species. Zootaxa 3367:103-114.
	学術	奥野淳兒・魚地司郎・高石秀雄. 2012.12. 千葉県鋸南町で採集されたシシイロニセツノヒラムシ（新称）（渦虫綱：多岐腸目）. 日本生物地理学会会報 67:247-250.
	普及	奥野淳兒. 2012.8. 分館海の博物館収蔵資料展 カニの見せ方. 友の会ニュース (76):6
	普及	奥野淳兒. 2012.8. スザクサラサエビの博物誌. Cancer 21:39-43
菊地則雄	学術	菊地則雄. 2012. 第 2 編 藻類の応用 第 4 章 食料 第 2 節 海藻類の生産と利用 1 食用 10 その他の褐藻（マツモ、ハバノリ、カヤモノリ、イロロ）. 渡邉信, 藻類ハンドブック, p.608-610. 株式会社エヌ・ティー・エス, 東京都文京区.
	学術	菊地則雄. 2012. 第 2 編 藻類の応用 第 4 章 食料 第 2 節 海藻類の生産と利用 1 食用 11 アマノリ. 渡邉信, 藻類ハンドブック, p.611-616. 株式会社エヌ・ティー・エス, 東京都文京区.
	学術	Abe, M., M. Kobayashi, E. Fujiyoshi, M. Tamaki, N. Kikuchi and N. Murase. 2013. Use of PCR-RFLP for the discrimination of Japanese *Porphyra* and *Pyropia* species (Bangiales, Rhodophyta). Journal of Applied Phycology 25:225-232.
	学術	玉城泉也・藤田雄二・藤吉栄次・小林正裕・阿部真比古・菊地則雄・須藤裕介. 2012. 沖縄県宜野湾市にて採集したツクシアマノリ葉状体の形態的特徴と分子生物学的解析. 沖縄県生物学会誌 50:1-15.
	普及	菊地則雄. 2012. 連載 小学校と博物館の連携を考える 17 海というフィールドで学ぶ－海の博物館の学校連携活動－（1）. 初等理科教育 46(8):36-37.
	普及	菊地則雄. 2012. 連載 小学校と博物館の連携を考える 18 海で学ぶ野外実習授業－海の博物館の学校連携活動－（2）. 初等理科教育 46(9):34-35.
	普及	菊地則雄. 2012. 紅藻ウシケノリ目の属の再編について. 藻類 60:145-148.
	普及	菊地則雄. 2013. 絶滅が心配されるノリたち. 海苔タイムス (2084):4-5.
	普及	阿部真比古・小林正裕・藤吉栄次・玉城泉也・菊地則雄・村瀬昇. 2013. 日本産アマノリ類 16 種の分子系統解析. 海苔と海藻 (80):1-8.
青木慎哉	報告書	青木慎哉・大場達之・野口昭造・宮田昌彦. 2012. 千葉県のハマセンブリ. 大場達之・木村陽子, 千葉県植物誌資料 (28):277-278.
	報告書	青木慎哉・大場達之. 2012. タマムラサキ（ヒガンバナ科-APGⅢ-）を鵜原で確認. 大場達之・木村陽子, 千葉県植物誌資料 (28):281-282.
柳　研介	学術	柳研介（共同執筆）. 2012. その他の分類群. 日本ベントス学会, 干潟の絶滅危惧動物図鑑 海岸ベントスのレッドデータブック, 285p. 東海大学出版会, 神奈川県.
	学術	柳研介（共同執筆）. 2012. イソギンチャク. 針山孝彦・小柳光正・嬉正勝・小泉修・日本比較生理生化学会, 研究者が教える動物飼育 第 1 巻, 211p. 共立出版, 東京都.
	普及	柳研介. 2012. シャープゲンゴロウモドキ. 友の会ニュース (75):1
	普及	柳研介. 2013. クラゲを観察しよう. 海の生き物観察ノート 11, 22p. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.

②研究発表（口頭発表およびポスター発表）

氏名	発表内容
原　正利	Hara, M. 2012.7. Comparative ecogeography of two Japanese beech species, Fagus crenata Blume and Fagus japonica Maxim. The 55th Symposium of the International Association for Vegetation ScienceHyundai Hotel Mokpo, Mokpo, Korea.
	Hara, M. 2012.7. Tsunami as a huge disturbance to plant communities on various habitat in the coastal range of NE Japan. The 56th Symposium of the International Association for Vegetation Science. Hyundai Hotel Mokpo, Mokpo, Korea.
	原正利. 2012.9. 東日本大震災による津波が植生に与えた影響－植生学会の取り組みー. 研究集会「共同による震災後の生態系変化の把握 －調査データの集積と共有を可能にするプラットフォームづくりをめざしてー」（企画：日本景観生態学会東日本大震災復興支援特別委員会）,ELR2012. 東京農業大学, 東京.
	原正利. 2012.10. 植生学会賞受賞講演“私のブナ研究”. 植生学会第 17 回大会. 千葉大学, 松戸市.
	原正利. 2012.10. 植生学会震災復興プロジェクトチームの活動について. 植生学会第 17 回大会. 千葉大学, 松戸市.
	原正利. 2013.2. 津波被害により東北地方の海岸植生は破壊されたのか. 平成 24 年度植生学会・日本自然保護協会シンポジウム“岩手の海岸の自然再生に向けて～東日本大震災後の海岸植生の自律的再生と共存のために～”. いわて県民交流センター, 盛岡市.
一場郁夫	一場郁夫. 2012.12. 博学連携による博物館学習の推進. ICOM-CECA アジア太平洋地区研究集会. 国立歴史民俗博物館, 佐倉市.
	一場郁夫. 2013.4. 博学連携による博物館学習の推進. 平成２４年度笹川科学研究奨励賞受賞研究発表会. ANA ｲﾝﾀｰｺﾝﾁﾈﾝﾀﾙﾎﾃﾙ東京, 東京都港区.
林　浩二	林浩二. 2012.8. 環境教育等促進法と 政府の基本方針・省令について. 日本環境教育学会第 23 回大会. 立教大学, 東京都豊島区.
	林浩二. 2012.12. 持続可能な社会のための教育と博物館. 国際博物館会議 教育と文化活動国際委員会 アジア太平洋地域研究集会. 国立歴史民俗博物館, 千葉県佐倉市.
奥田昌明	菅谷真奈美・奥田昌明・岡田 誠. 2012.11. Paleoclimate reconstruction using a fossil pollen record for the past 120,000 years from the C9001C core, off Shimokita Peninsula, northeastern Japan. International Symposium on Paleoceanography in the Southern Ocean and NW Pacific: Perspective from Earth drilling sciences. . 高知大学, 高知市.
岡崎浩子	岡崎浩子･大木淳一. 2012.5. 千葉県九十九里浜の東北地方太平洋沖地震による津波堆積物-２つの例-. 日本地球惑星科学連合 2012 年大会. 幕張メッセ, 千葉市.
	岡崎浩子・郭　栄珠. 2012.6. 小型平面水路でみられる河川砂州地形の変化. 日本堆積学会 2012 年札幌大会. 北海道大学, 札幌市.
	岡崎浩子・郭　栄珠・田村　亨. 2012.8. 地中レーダによる安倍川網状州の研究（予報）. 日本第四紀学会 2012 年大会. 立正大学, 熊谷市.
	岡崎浩子・郭　栄珠・田村　亨. 2012.9. 地中レーダによる河川網状州（安倍川）の 3 次元内部構造. 日本地質学会第 119 年学術大会. 大阪府立大学, 堺市.
高橋直樹	高橋直樹・荒井章司. 2012.9. 環伊豆地塊蛇紋岩帯に産する深成岩類のバリエーション. 日本地質学会第 119 年学術大会. 大阪府立大学, 堺市.
	高橋直樹. 2012.12. 身近な石材からみた日本の火山活動史. 千葉県地学教育研究会　平成 25 年度研究発表会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	高橋直樹. 2013.3. 房総半島嶺岡帯の地質構造及び地史-研究の現状と課題. 日本地質学会関東支部『地質研究サミット』シリーズ　第１回「房総・三浦地質研究サミット」. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
八木令子	八木令子・吉村光敏. 2012.4. 地形景観を主題にした鳥瞰図の展示とその手法－千葉県立中央博物館「山の科学画」展とその後－. 日本地理学会 2012 年春季学術大会. 首都大学東京, 東京都八王子市.
伊左治鎭司	伊左治鎭司・大倉正敏. 2012.6. 飛騨外縁帯福地地域の石炭系一の谷層から産出した貝類胎殻化石. 日本古生物学会 2012 年年会. 名古屋大学, 名古屋市.
	佐野晋一・O. S. Dzyuba・伊庭靖弘・伊左治鎭司・蜂矢喜一郎・北浦嗣豊. 2012.6. 岐阜県荘川地域御手洗層産ベレムナイト. 日本古生物学会 2012 年年会. 名古屋大学, 名古屋市.
宮 正樹	Nishida, M. and M. Miya. 2012.6. Fish mitochondrial phylogenomics and DNA barcoding. FISH-BOL World Conference. Expo 2012 Yeosu, Yeosu, Korea .
	Miya, M., T.P. Satoh, T. Sado and M. Nishida. 2012.6. Undetected evolutionary radiation in the pelagic realm: A novel clade in the percomorph fishes as revealed by bioinformatic and mitogenomic analyses. European Congress of Ichthyology. Aquarium-Museum of Liege, Liege, Bergium.
	Miya, M., T.P. Satoh, T. Sado and M. Nishida. 2012.7. Undetected evolutionary radiation in the pelagic realm: A novel clade in the percomorph fishes as revealed by bioinformatic and mitogenomic analyses. Joint Meeting of Ichthyology and Herpetology. University of British Columbia, Vancouver, Canada.
黒住耐二	黒住耐二. 2012.4. 貝塚出土の陸産貝類からみた環境変遷. 日本貝類学会平成24年度大会. 東京家政学院大学千代田三番町キャンパス, 東京都千代田区.
	池澤広美・安見珠子・秋山昌範・黒住耐二. 2012.4. 茨城県におけるコハクオナジマイマイの分布拡大と農作物被害. 日本貝類学会平成 24 年度大会. 東京家政学院大学千代田三番町キャンパス, 東京都千代田区.
	黒住耐二. 2012.6. 貝類遺体からみた沖縄諸島の狩猟採集社会から農耕社会への変化－20１年調査. 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究「環太平洋の環境文明史」第４回国際研究者全体集会. 札幌大学, 北海道札幌市
	黒住耐二. 2012.11. 沖縄諸島の歴史変遷を貝類からみる. 平成 24 年度第２回　琉球環境文化史研究会. 沖縄県立博物館・美術館, 沖縄県那覇市.
	黒住耐二. 2012.12. スリランカで見た貝類－真珠採集を含めて. 第４回房総貝類談話会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
立川浩之	立川浩之. 2012.6. 小笠原諸島産ワレクサビライシ類の再検討. 日本動物分類学会　第48回大会. 東邦大学理学部, 千葉県船橋市.
	杉原薫・立川浩之・深見浩伸. 2012.6. オオトゲサンゴ科・ウミバラ科に属する単体性サンゴの分類の再検討. 日本動物分類学会　第 48 回大会. 東邦大学理学部, 千葉県船橋市.
	立川浩之. 2012.10. ミドリイシ属 *Acropora lovelli* グループの分類の現状と問題点. 日本造礁サンゴ分類研究会. 串本海中公園センター, 和歌山県串本町.
	林原毅･宮本麻衣･今原幸光･濱野明･中村武史･立川浩之. 2012.11. 天皇海山における冷水性サンゴ類の分布調査(2010、2011 年の結果概要）. 日本サンゴ礁学会　第 15 回大会. 東京大学, 東京都文京区.
古木達郎	古木達郎. 2012.8. ミドリホラゴケモドキ *Calypogeia granulata* Inoue 〔タイ類、ツキヌキゴケ科〕の分類学的研究２. 日本蘚苔類学会第 41 回北海道大会. 斜里町公民館ゆめホール知床, 北海道斜里町.
	富永孝昭･古木達郎. 2012.8. ハタケゴケの分類学的再検討. 日本蘚苔類学会第 41 回北海道大会. 斜里町公民館ゆめホール知床, 北海道斜里町.
	城戸美智子・星良和・白河潤一・古木達郎. 2012.8. 九州で再発見されたヒカリゼニゴケの生育環境と外部形態に関する研究. 日本蘚苔類学会第 41 回北海道大会. 斜里町公民館ゆめホール知床, 北海道斜里町.

原田　浩	原田浩. 2012.7. 日本産淡水生地衣類（３）. 日本地衣学会第 11 回大会. 筑波大学, つくば市.
	川上 紳一・東條 文治・原田 浩. 2012.7. 科学教育プログラムとしての地衣類調査と「進化する地衣類図鑑」の開発. 日本地衣学会第 11 回大会. 筑波大学, つくば市.
	坂田 歩美・原田 浩. 2012.7. 日本産海岸生リトマスゴケ科地衣類. 日本地衣学会第 11 回大会. 筑波大学, つくば市.
	高橋 奏恵・原田 浩. 2012.7. 高知県四万十川中流域のツブノリ科地衣類.日本地衣学会第 11 回大会. 筑波大学, つくば市.
	日比野 洋也・川上 紳一・東條 文治・原田 浩. 2012.7. 岐阜県養老町の養老公園における地衣類調査：大垣東高校理数科課題研究.. 日本地衣学会第 11 回大会. 筑波大学, つくば市.
	松井 宏明・原田 浩. 2012.7. 日本産 *Malcolmiella* 属地衣類の分類学的検討. 日本地衣学会第 11 回大会. 筑波大学, つくば市
	吉川裕子・原田浩. 2012.7. かつて清澄山（千葉県）で採集された 分布上興味深い地衣類. 日本地衣学会第 11 回大会. 筑波大学, つくば市.
小林裕美	小林裕美. 2012.9. 梵天にみる房総の出羽三山信仰の現在. 歴史民俗講座. 中央博物館, 千葉市.
斉藤明子	斉藤明子. 2012.12. ウォーレシアという世界. 神奈川昆虫談話会 2012 年第 5 回例会. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原市.
	斉藤明子. 2013.3. 被災標本を救え−陸前高田市立博物館の被災標本救済プロジェクト−. 千葉歴史・自然資料救済ネットワーク総会「あれから２年、そのときあなたは！これからあなたは？」. 千葉大学, 千葉市.
駒井智幸	駒井智幸・土田真二. 2012.10. 南西太平洋の熱水噴出域で発見された *Chorocaris* の２未記載種と属の再検討（十脚目：コエビ下目：オハラエビ科）. 日本甲殻類学会第 50 回大会. 熊本大学, 熊本市.
	土田真二・藤倉克則・駒井智幸. 2012.10. 西〜南太平洋における海山生物の多様性. 日本甲殻類学会第 50 回大会. 熊本大学, 熊本市.
	平岡礼鳥・滋野修一・駒井智幸・土田真二. 2012.10. 熱水性固有種トウロウオハラエビの退化的複眼と背上眼の構造. 日本甲殻類学会第 50 回大会. 熊本大学, 熊本市.
林　紀男	林紀男. 2012.11. シートハンクから復活させた沈水植物土着種を用いた岸辺水生植物の再生. 第 15 回自然系研究機関連絡会議（NORNAC）.
	林紀男・尾崎保夫・稲森悠平. 2012.11. 沈水植物の繁茂・定着化におけるナマズ捕食圧を用いたアメリカザリガニ芽生え食害影響の低減化. 日本水処理生物学会. 北里大学, 東京都港区.
	尾崎保夫・鈴木彩子・加藤理・岡野邦宏・宮田直幸・林紀男. 2012.11. 八郎湖における沈水植物の再生技術の開発　ー環境要因の影響調査ー. 日本水処理生物学会. 北里大学, 東京都港区.
	折笠綾・林紀男・西村浩・徐開欽・ 稲森隆平・ 稲森悠平. 2012.11. 水圏生態系を構成する水生動植物の塩分耐性に対する影響評価解析. 日本水処理生物学会. 北里大学, 東京都港区.
	類家翔・ 神蔵雄生・ 櫻井友太郎・西村浩・林紀男・稲森隆平・ 稲森悠平. 2012.11. 有毒藍藻類産生ミクロキスチンの根菜作物生長初期における生育および蓄積特性の解析. 日本水処理生物学会. 北里大学, 東京都港区.
	神蔵雄生・類家翔・櫻井友太郎・稲森隆平・西村浩・林紀男・徐開欽・ 稲森悠平. 2012.11. 有毒藍藻類産生 Microcystin の養液葉菜作物における吸収・移行特性解析. 日本水処理生物学会. 北里大学, 東京都港区.
	櫻井友太郎・ 神蔵雄生・類家翔・ 稲森隆平・西村浩・林紀男・徐開欽・ 稲森悠平. 2012.11. 有毒藍藻類産生の食用クレソン・セリの水耕/土耕栽培における成長および蓄積特性に及ぼす影響解析. 日本水処理生物学会. 北里大学, 東京都港区.
	熊田純・賀数邦彦・稲森隆平・西村浩・林紀男・徐開欽・ 稲森悠平. 2012.11. 水圏モデル生態系マイクロコズムの P/R 比を用いた非イオン界面活性剤 AE の環境リスク評価解析. 日本水処理生物学会. 北里大学, 東京都港区.
	賀数邦彦・ 熊田純・ 稲森隆平・林紀男・西村浩・徐開欽・ 杉浦桂・稲森悠平. 2012.11. 水圏生態系マイクロコズムによる P/R 比特性からの界面活性剤 SDS の影響評価解析. 日本水処理生物学会. 北里大学, 東京都港区.
	呂志江・杉浦則夫・徐開欽・西村浩・林紀男・徐開欽・ 稲森隆平・ 稲森悠平. 2012.11. 大型水生同植物生態系モデルによる界面活性剤の化学物質の影響評価. 日本水処理生物学会. 北里大学, 東京都港区.
	神田玲子・中澤雄太・ 神蔵雄生・ 稲森隆平・林紀男・ 稲森悠平. 2012.11. 沈水植物の成長に及ぼす環境改善剤水酸化マグネシウムの影響評価解析. 日本水処理生物学会. 北里大学, 東京都港区.
	林紀男. 2013.2. アメリカザリガニの沈水植物食害におけるナマズ捕食圧の影響. 千葉県生物学会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	竹中真里子・八鍬雅子・林紀男. 2013.2. 大津川（千葉県柏市）における特定外来生物オオカワジシャの繁茂状況. 千葉県生物学会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	神蔵雄生・類家翔・林紀男・ 西村浩・櫻井友太郎・稲森隆平・稲森悠平. 2013.3. 有毒藍藻類産生 Microcystin のコマツナの養液栽培における吸収･蓄積特性の比較解析. 日本水環境学会. 大阪工業大学, 大阪市旭区.
	櫻井友太郎・神蔵雄生・類家 翔・稲森隆平・西村 浩・林 紀男・稲森悠平. 2013.3. 有毒藍藻類産生ミクロキスチンの水生食用水耕植物における吸収・蓄積および安全性に関する評価解析. 日本水環境学会. 大阪工業大学, 大阪市旭区.
	熊田純・ 賀数邦彦・ 稲森隆平・林 紀男・徐開欽・稲森悠平. 2013.3. 水圏モデル生態系マイクロコズムを用いた非イオン界面活性剤 AE の生態毒性評価解析. 日本水環境学会. 大阪工業大学, 大阪市旭区.
	類家翔・神蔵雄生・櫻井友太郎・稲森隆平・西村浩・ 林紀男・稲森悠平. 2013.3. 有毒藍藻類産生毒 Microcystin の根菜作物の発芽初期から生長過程における阻害および蓄積特性の解析. 日本水環境学会. 大阪工業大学, 大阪市旭区.
萩野康則	萩野康則. 2012.5. 実習で生きたクマムシを観察するために−クマムシを多数抽出する簡便な方法−. 日本土壌動物学会第 35 回大会. 昭和大学富士吉田校舎, 山梨県富士吉田市.
山口　剛	山口剛. 2012.9. クロヤマアリ(Formica japonica)は目的地を見極めてから泳ぐ. 日本昆虫学会第 72 回大会. 玉川大学, 東京都町田市.
尾崎煙雄	尾崎煙雄. 2012.5. 千葉県のヤドリギ. ヤドリギ研究会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
	尾崎煙雄. 2012.7. トーク「別冊 ちょっと変態な植物」. すみだ川アートプロジェクト. アサヒ・アートスクエア, 東京都墨田区.
	尾崎煙雄. 2012.7. トーク「別冊 イモムシ類聚」. すみだ川アートプロジェクト. アサヒ・アートスクエア, 東京都墨田区.
	尾崎煙雄. 2013.3. 房総の絶滅危惧ヒメコマツ個体群の現状と保全の試み. 日本植物分類学会第12回大会公開シンポジウム. 千葉大学, 千葉市.
加藤久佳	浦田健作・加藤久佳・兼子尚知. 2012.9. 非石灰岩地域における石灰岩カルスト地形の発見ー千葉県, 上総層群分布域からの報告. 日本地質学会第 119 年学術大会. 大阪府立大学, 大阪府堺市.
	浦田健作・加藤久佳・兼子尚知. 2012.11. 千葉県上総層群の非石灰岩地域における石灰岩カルストの発見. 日本洞窟学会平成 24 年度学術講演会. 琵琶湖コンファレンスセンター, 滋賀県彦根市.
大木淳一	岡崎浩子・大木淳一. 2012.5. 千葉県九十九里浜の東北地方太平洋沖地震による津波堆積物−２つの例−. 日本地球惑星科学連合. 幕張メッセ, 千葉県千葉市
	大木淳一. 2012.9. 学校の石材が語る地域地質および地域産業〜九州地方の例〜. 日本地質学会第 119 年学術大会. 大阪府立大学, 大阪府堺市.
	針谷亜希子・大木淳一・伴野修一・松尾知・山口剛・落合啓二・並木美砂子. 2012.11. 千葉市内３館園連携企画「ちばジカプロジェクト」−異種博物館連携が引き出す博物館のちから−. サイエンスアゴラ. 日本科学未来館, 東京都.
落合啓二	浅田正彦・長田 穣・深澤圭太・落合啓二. 2012.9. 階層ベイズ法を用いたニホンジカとキョンの個体数推定法. 日本哺乳類学会 2012 年度大会. 麻布大学, 相模原市.

桑原和之	箕輪義隆・桑原和之. 2012.9. 千葉県沿岸と利根川下流におけるカワウとウミウの分布. 日本鳥学会 2012 年度大会(100 周年記念大会). 東京大学, 本郷.
	今井優・桑原和之・箕輪義隆・米林仲. 2012.9. 草地性鳥類のハビタット評価のための解析手法の検討. 日本鳥学会 2012 年度大会 (100 周年記念大会). 東京大学, 東京都文京区.
	石江彬・山中日奈子・岡久雄二・平山瑛一・岩佐奈生子・岩本愛夢・岡崎祥子・神田やよい・瀬戸隆之・高階あゆみ・東郷なりさ・新倉夏美・藤津亜季子・星野莉紗・桑原和之. 2012.9. 多摩川中流域における鳥類相の変遷. . 日本鳥学会 2012 年度大会 (100 周年記念大会). 東京都文京区.
	桑原和之・箕輪義隆・方波見守一・今井 優. 2012.11. 千葉県旧小見川町のシギ・チドリ類,2009-2012 年. 2012 年度 モニタリングサイト 1000 海域・干潟分野シギ・チドリ類個体数モニタリング調査 第 9 回モニタリングサイト 1000 交流会. ホテルコスモスクエア国際交流センター, 大阪市
	今井 優・桑原和之・箕輪義隆. 2012.11. 千葉県におけるシギ・チドリ類渡来地域. 2012 年度 モニタリングサイト 1000 海域・干潟分野シギ・チドリ類個体数モニタリング調査 第 9 回モニタリングサイト 1000 交流会. ホテルコスモスクエア国際交流センター, 大阪市.
	今井 優・桑原和之・箕輪義隆・米林仲. 2012.11. 草地性鳥類のハビタット評価のためのモデル構築と地図化. 第 7 回パーソナルコンピュータ利用技術学会 全国大会. 立正大学大崎キャンパス, 東京都品川区.
倉西良一	倉西良一. 2012.5. 水生昆虫の記載分類に遺伝子解析がどのように役立つか. 水生昆虫談話会第360回例会. 養沢センター, あきる野市.
	倉西良一. 2012.6. Everting method of male reproductive organ of two caddisfly species. The first Symposium of the Benthological Society of Asia. 信州大学, 松本市.
	Katsuma, N. and R.B.Kuranishi. 2012.7. Redescription of *Triplectides misakianus* (Matsumura, 1931) (Trichoptera, Leptoceridae) in Japan with notes on their habitat. The 14th International Symposium on Trichoptera. Russian Science Academy, Institute of Biology and Pedology, Vladivostok
	Kato, S., Kuranishi, R.B., NOZAKI, T.and K.TOJO. 2012.7. Molecular biogeography of the genus Stenopsyche (Trichoptera, Stenopsychidae) of east Asia. The 14th International Symposium on Trichoptera. Russian Science Academy, Institute of Biology and Pedology , Vladivostok.
	倉西良一. 2012.10. シャープゲンゴロウモドキの遺伝子解析とその展望. 第 36 回水生昆虫研究会. モリトピア愛知, 新城市.
宮田昌彦	青木慎哉・大場達之・宮田昌彦・大場広輔. 2013.3. タマアジサイ類の分類と分布. 日本植物分類学会第 12 回大会. 千葉大学, 千葉市.
川瀬裕司	川瀬裕司・須之部友基・加藤昌一. 2012.9. 潜水観察に基づいた魚類繁殖記録のデータベース-繁殖エリアと時期の長期的変化を解明する試み. 日本魚類学会. 水産大学校, 山口県下関市.
	川瀬裕司・大方洋二・伊藤公昭. 2012.11. 海底に巨大な幾何学模様の構造物をつくるフグの繁殖行動. 日本動物行動学会. 奈良女子大学, 奈良市.
奥野淳兒	奥野淳兒・亀川奏子. 2012.5. 日本初記録の Pseudobiceros Faubel, 1984 (扁形動物門: 多岐腸目: ニセツノヒラムシ科の 2 種). 沖縄生物学会第 49 回大会. 琉球大学理学部, 沖縄県中頭郡.
	高岡博子・奥野淳兒. 2012.6. 東京都八丈島で採集された日本初記録種を含むツノサンゴ目の標本について. 日本動物分類学会第 48 回大会. 東邦大学理学部, 千葉県習志野市.
柳 研介	柳研介, 平野弥生, 奥泉和也. 2012.6. 十文字クラゲ類の本邦未記録種、*Lipkea* sp. (Staurozoa: Stauromedusae: Lipkeidae) の発見. 日本動物分類学会第 48 回大会. 東邦大学, 千葉県習志野市.
	柳研介・村田明久. 2012.10. ヒメキンチャクガニが保持するイソギンチャクについて (予報). 日本ベントス学会若手会. 千葉大学海洋バイオシステム研究センター, 千葉県鴨川市.
	柳研介・藤井琢磨. 2013.3. 日本産イソギンチャク類の分類の空白を埋める. 第 8 回日本刺胞動物・有櫛動物研究談話会. 北里大学三陸研修所, 岩手県大船渡市.
	藤井琢磨・James Daveis Reimer・柳研介. 2013.3. イソギンチャク類の分子系統. 第 8 回日本刺胞動物・有櫛動物研究談話会. 北里大学三陸研修所, 岩手県大船渡市.
	柳研介, 平野弥生, 奥泉和也. 2013.3. 十文字クラゲ類の本邦未記録種、*Lipkea* sp. (Staurozoa: Stauromedusae: Lipkeidae) の発見. 第 8 回日本刺胞動物・有櫛動物研究談話会. 北里大学三陸研修所, 岩手県大船渡市
	平野弥生・柳研介. 2013.3. 本邦未記録の珍しい十文字クラゲ Lipkea sp.(Staurozoa: Stauromedusae: Lipkeidae)の発見. 日本動物学会第 65 回関東支部大会. 東京工業大学, 東京都目黒区.
	本間智寛, 小野義宏, 倉方達朗, 永島江美子, 塚本秀雄, 柳研介, 永井宏史, 塩見一雄. 2013.3. 深海産イソギンチャク(*Cribrinopsis* sp.)から単離した新規ペプチド毒の cDNA クローニング. 平成 25 年度日本水産学会春季大会. 東京海洋大学, 東京都品川区.
菊地則雄	菊地則雄・藤吉栄次・玉城泉也・二羽恭介・小林正裕・寺田竜太・吉田忠生. 2012.7. 絶滅危惧種紅藻アサクサノリの生育地. . 日本藻類学会第 36 回大会. 北海道大学, 北海道札幌市.
	玉城泉也・藤吉栄次・藤田雄二・小林正裕・菊地則雄・須藤祐介・山田真之・城間一仁・長嶺巌・当真武. 2012.7. 沖縄諸島各地において採集したアマノリ属の DNA による種判別. 日本藻類学会第 36 回大会. 北海道大学, 北海道札幌市.
	二羽恭介・菊地則雄. 2012.7. 同所的に生育するスサビノリ隠蔽種 2 種の存在. 日本藻類学会第 36 回大会. 北海道大学, 北海道札幌市.
	白香蘭・姜聲弼・梁謹培・金國鎭・崔宰榮・桑野和可・菊地則雄・申宗岩. 2012.7. 韓国におけるカプサアオノリ養殖場の環境と生体成分の含量. 日本藻類学会第 36 回大会. 北海道大学, 北海道札幌市.
	李政鎬・張旭・高卿棟・尹淳起・申玹受・曺主鉉・白香蘭・丁昶泰・魏聖二・菊地則雄・桑野和可・申宗岩. 2012.7. 韓国長興ノリ養殖場の環境, 成長及び成分含量. 日本藻類学会第 36 回大会. 北海道大学, 北海道札幌市.
	小林正裕・玉城泉也・藤吉栄次・阿部真比古・菊地則雄. 2012.9. DNA による種および品種判別と形態による判別. ノリ養殖品種の特性に関するシンポジウム. 石垣記念ホール, 東京都港区.
	玉城泉也・菊地則雄・藤吉栄次・小林正裕. 2012.9. ツクシアマノリ *Porphyra yamadae* の Pyropia 属への変更. 平成 24 年度日本水産学会秋季大会. 水産大学校, 山口県下関市
	菊地則雄・玉城泉也・藤吉栄次・小林正裕. 2013.3. 紅藻エリモアマノリの分類学的再検討. 日本藻類学会第 37 回大会. 山梨大学, 山梨県甲府市.
青木慎哉	青木慎哉・大場達之・宮田昌彦・大場広輔. 2013.3. タマアジサイ類の分類と分布. 日本植物分類学会第 12 回大会. 千葉大学, 千葉市.
村田明久	柳研介・村田明久. 2012.10. ヒメキンチャクガニが保持するイソギンチャクについて (予報). 日本ベントス学会若手会. 千葉大学海洋バイオシステム研究センター, 千葉県鴨川市.

Data 2.3　研究交流

Data2.3.1　海外調査・海外研究員の来訪

①海外調査

氏名	渡航先	渡航目的	滞在期間	備考
黒住耐二	スリランカ民主社会主義共和国	科学研究費・真珠の考古学調査	2012.10.8 - 21	科学研究費・挑戦的萌芽研究
奥野淳兒	ルイジアナ州立大学ラファイエット校（アメリカ合衆国ルイジアナ州）	観賞用エビ類・サラサエビ科の交配と雌雄構造の進化	2012.4.16 - 23	受け入れ先研究機関の研究費

②海外研究員の来訪

訪問者氏名	所属	国籍	滞在期間	対応職員
安　廷允	韓国国立民俗博物館	大韓民国	2013.1.8	島立理子
崔　銀水	韓国国立民俗博物館	大韓民国	2013.1.8	島立理子
呉　昌炫	韓国国立民俗博物館	大韓民国	2013.1.8	島立理子
ウエンデイ・ネルソン(Wendy A. Nelson)	オークランド大学(The National Institute of Water and Atmospheric Research)	ニュージーランド	2012.7.10 - 23	宮田昌彦

Data 2.3.2　館友、共同研究員、市民研究員、研究生の受入

①館友

氏名	退職時肩書き	研究テーマ	担当
大場達之	副館長	千葉県の植物相に関する研究	宮田昌彦
吉村光敏	地学研究科長	地形景観を主題にした鳥瞰図のデータベース化/千葉県の滝の地形学的研究	岡崎浩子

②共同研究員

	氏名	研究テーマ	担当	新規
1	木村陽子	千葉県の維管束植物に関する研究	天野　誠	
2	富塚朋子	房総半島における海藻・海草の標本調査と民俗植物学的研究	宮田・古木	
3	坂田歩美	リトマスゴケ科地衣類の分類学的研究	原田　浩	
4	木下靖浩	地衣類の化学分類	原田　浩	
5	高橋(嶋村)奏恵	ツブノリ科地衣類の分類学的研究	原田　浩	
6	坪田美保	地衣類の共生藻に関する研究	原田　浩	
7	綿貫　攻	日本産樹皮着生スミイボゴケ属の分類学的研究	原田　浩	
8	Jae-Seoun Hur	Taxonomic study on Korean lichens（韓国の地衣類相の分類学的研究）	原田　浩	
9	浅井秀彦	銚子層群の動物化石相	加藤久佳	
10	川崎史彦	江戸湾岸地域の歴史的研究	筑紫敏夫	
11	三浦茂一	江戸湾岸地域の歴史的研究	筑紫敏夫	
12	元木　隆	江戸湾岸地域の歴史的研究	筑紫敏夫	
13	山田順之	生物音声識別装置「ききみみずきん」実用化実証研究	大庭照代	
14	王　立松	Taxonomic study on lichens of Yunnan, China（中国雲南省産地衣類の分類学的研究）	原田　浩	
15	箕輪義隆	利根川水系の湿地における鳥類相の解明	桑原和之	新規
16	松丸一郎	湿地におけるトモエガモ Anas formosa の越冬生態	桑原和之	新規
17	今井　優	草地性鳥類のハビタット評価	桑原和之	新規
18	吹春俊光	糞生菌・アンモニア菌の研究	古木達郎	
19	豊谷　純	地域の音環境の記録および音声資料の共有を促進する地理情報ネットワークシステムの構築	大庭照代	

③市民研究員

	人数	研究テーマ	担当	新規
1-8	8	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）	高橋直樹	
9	1	鉱物の同定ー特に砂を構成する粒子について	高橋直樹	
10	1	18 世紀西洋鉱物学史の研究-リンネとビュフォンを中心として	高橋直樹	
11	1	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）	高橋直樹	新規
12	1	万田野層の古脊椎動物化石相の研究	伊佐治鎭司	
13	1	ミトゲノム超行列による巨大クレードの包括的な進化史解明：方法論の確立と実際	宮　正樹	
14	1	貝紫について　イボニシガイ・アカニシガイなどの生態に関する研究	黒住耐二	新規
15-16	2	房総の蘚苔類（コケ植物）誌	古木達郎	
17	1	狭山丘陵野山北六道山公園のコケ	古木達郎	
18	1	腐生性アンモニア菌の研究	古木達郎	
19	1	鹿田山丘陵の蘚苔類	古木達郎	新規

20	1	黒姫山周辺の地衣類	原田　浩	
21	1	房総の地衣類誌	原田　浩	
22	1	苗場山の地衣相	原田　浩	
23	1	２１世紀の森と広場（松戸市）における地衣類観察の取り組み	原田　浩	
24	1	関東地方（特に千葉県佐倉市）周辺の地衣類相	原田　浩	
25	1	茨城県北部の地衣類相	原田　浩	
26	1	地衣類の顕微鏡観察	原田　浩	
27	1	Malcolmiella 属地衣類の分類学的研究	原田　浩	
28	1	白井市周辺の地衣類	原田　浩	
29	1	地衣類の化学分類	原田　浩	
30	1	地衣類の内部組織の観察	原田　浩	
31	1	三浦半島の海岸生地衣類	原田　浩	
32	1	千葉県における岩上の地衣類相解明と図鑑の作成	原田　浩	
33	1	古代における上総国と中央集権(勢力）との交流	郷堀英司	新規
34	1	北総地域の昆虫相（蛾類）調査	斉藤明子	
35	1	千葉県北部地域の昆虫類（甲虫類）	斉藤明子	
36	1	三浦層群ならびに上総層群の底生無脊椎動物化石の分布調査	加藤久佳	
37	1	銚子層群の軟体動物及び甲殻類化石の研究	加藤久佳	
38	1	北総台地における木下層化石の研究	加藤久佳	新規
39	1	「植栽いかだ」に植栽した沈水植物が水環境保全に果たす役割	林　紀男	新規

④研究生

人数	研究テーマ	担当	新規/継続
1 名	青森県下北半島沖の深海底堆積物に対する化石花粉分析	奥田昌明	継続

Data 2.3.3　客員研究員・学会委員・非常勤講師・その他委員の受託

氏名	委嘱（依頼）役職名・肩書き	依頼・主催団体	委嘱・依頼期間
中村俊彦	非常勤講師（景相保全生態学）	千葉大学大学院理学研究科	2012.4.1 - 2013.3.31
中村俊彦	副会長	東京湾学会	2010.6.26 - 2013.6.26
中村俊彦	理事	(財）日本自然保護協会	2010.5.29 - 2014.6.7
中村俊彦	南関東エコロジカルネットワ - ク形成に関する検討委員会委員	国土交通省関東地方整備局	2011.8.30 - 2013.3.31
中村俊彦	手賀沼・印旛沼・根木名川圏域流域懇談会委員	千葉県河川整備課	2012.1.25 - 2014.1.24
中村俊彦	都川流域懇談会	千葉県千葉土木事務所	2012.3.14 - 2014.3.13
中村俊彦	千葉県・印旛沼流域水循環健全化会議	千葉県印旛沼流域水循環健全化会議委員	2011.3.31 - 2015.3.31
中村俊彦	我孫子市 谷津ミュジアム事業推進専門家会議議長	我孫子市	2011.3.31 - 2013.7.31
中村俊彦	千葉市 環境審議会委員	千葉市	2011.7.1 - 2013.6.30
中村俊彦	船橋市 環境審議会委員	船橋市	2011.2.18 - 2015.2.17
中村俊彦	市川市 環境審議会専門委員	市川市	2012.4.1 - 2013.3.31
中村俊彦	山武市 成東・東金食虫植物群落保護検討委員会委員・作業部会	山武市	2011.2.1 - 2015.1.31
中村俊彦	港区 緑と水の委員会委員	東京都港区	2012.1.1 - 2013.9.30
中村俊彦	港区 生物多様性推進委員会　副委員長	東京都港区	2012.8.21 - 2014.7.31
中村俊彦	シニア自然大学のカリキュラム・運営に係わる検証委員会委員	NPO 法人千葉自然学校	2012.9.28 - 2013.1.31
中村俊彦	環境政策外部評価委員	環境自治体会議	2012.10.2 - 2014.10.2
宮野伸也	希少野生動植物種保存推進員	環境省	2012.4.1 - 2013.3.31
原　正利	非常勤講師（群集動態論）	千葉大学大学院理学研究科	2012.4.1 - 2013.3.31
原　正利	客員教授	国立歴史民俗博物館	2012.4.1 - 2013.3.31
原　正利	印西市文化財審議委員	印西市教育委員会	2011.4.1 - 2013.3.31
原　正利	松戸市立博物館協議会委員	松戸市教育委員会	2011.10.1 - 2013.9.30
原　正利	鶴枝ヒメハルゼミ発生地保護協議会アドバイザ -	茂原市教育委員会	2012.7.19
原　正利	仙台湾沿岸海岸防災林生物多様性保全対策検討委員会委員	林野庁東北森林管理局	2012.3 - 2013.3.31
大野啓一	非常勤講師（緑地科学特別講義 2）	千葉大学大学院園芸学研究科	2012.11.1 - 12.31
一場郁夫	千葉県夢チャレンジ体験スク - ル実行委員	千葉県教育庁教育振興部生涯学習課	2012.5.9 - 2013.3
林　浩二	常任理事・広報委員長	日本環境教育学会	2011.4.1 - 2013.3.31
林　浩二	世話人	水草研究会	2012.4.1 - 2014.3.31
林　浩二	編集委員	千葉県生物学会	2011.4.1 - 2013.3.31
林　浩二	千葉県行徳内陸性湿地再整備検討協議会委	千葉県環境生活部自然保護	2010.4.1 - 2013.3.31
林　浩二	事業運営協議会委員	千葉市少年自然の家	2012.4.1 - 2014.3.31

奥田昌明	日本第四紀学会論文賞 受賞者選考委員	日本第四紀学会	2013.2.1 - 2013.7.31
森田利仁	博物館研究編集委員	日本博物館協会	2012.4.1 - 2013.3.31
岡崎浩子	非常勤講師	東京大学大学院新領域科学研究科	2012.4.16 - 2012.7.31
岡崎浩子	高等学校教科書検定委員	文部科学省	2012.4.1 - 2013.3.31
岡崎浩子	印西市文化審議委員	印西市教育委員会	2012.4.1-2013.3.31
岡崎浩子	評議員・編集幹事	日本第四紀学会	2012.4.1-2013.3.31
岡崎浩子	堆積支部論文賞選考委員	日本地質学会	2012.4.1-2013.3.31
高橋直樹	スーパーサイエンスハイスクール（千葉県立船橋高等学校）運営指導委員	千葉県教育委員会	2012.6.23 - 2013.3.31
高橋直樹	幹事（庶務）	千葉県地学教育研究会	2011.12.18-2013.12.21
八木令子	代議員	日本地すべり学会	2011.9.16 - 2013.3.31
八木令子	高宕山サル事務局会議委員	富津市教育委員会	2012.5.8 - 2013.3.31
伊左治鎭司	非常勤講師（博物館実習 A）	千葉大学理学部	2012.4.16 - 2013.12.31
伊左治鎭司	白山市手取層群調査協議会委員	石川県白山市	2012.6.1 - 2013.3.31
宮　正樹	客員教授	千葉大学大学院	2012.4.1 - 2013.3.31
黒住耐二	希少野生動植物種保存推進員	環境省	2012.7.1 - 2013.3.31
黒住耐二	希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会委員	生物多様性センター	2012.4.1 - 2013.3.31
黒住耐二	鎮座百年記念　第二次明治神宮境内総合調査委員会	明治神宮	2012.4.1 - 2013.3.31
黒住耐二	八王子市史編集専門部会　自然部会専門調査員	八王子市総合政策部市史編さん室	2012.4.1 - 2013.3.31
古木達郎	平成 24 年度千葉県児童生徒・教職員科学科学作品展審査会審査員	千葉県総合教育センター	2012.10.10 - 2012.10.12
古木達郎	千葉県希少野生生物・外来生物に係るリスト作成委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2012.4.1 - 2013.3.31
古木達郎	成東・東金食虫植物群落保護検討会作業部会委員	山武市教育委員会	2012.4.1 - 2013.3.31
古木達郎	希少野生動植物保護推進委員	環境省自然保護局	2012.4.1 - 2013.3.31
古木達郎	平成 24 年度第 3 次絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会検討委員	環境省自然保護局	2012.4.1 - 2013.3.31
古木達郎	副編集幹事	日本蘚苔類学会	2012.4.1 - 2013.3.31
古木達郎	絶滅危惧植物・移入植物専門第二委員会委員	日本植物分類学会	2012.4.1 - 2013.3.31
原田　浩	編集委員長	日本地衣学会	2012.4.1 - 2013.3.31
原田　浩	希少野生動植物保護推進委員	環境省自然保護局	2012.4.1 - 2013.3.31
天野　誠	希少野生動植物保護推進委員	環境省自然保護局	2012.4.1 - 2013.3.31
天野　誠	非常勤講師（植物分類・系統学）	東邦大学理学部大学院	2012.11.01 - 12.31
天野　誠	研究協力員	東京大学総合研究博物館	2012.4.1 - 2013.3.31
斎木健一	運営委員	自然史学会連合	2012.4.1 - 2013.3.31
筑紫敏夫	千葉県文書館古文書調査委員	千葉県知事	2012.4.1 - 2013.3.31
筑紫敏夫	千葉県文化財保護協会理事	千葉県文化財保護協会会長	2012.4.1 - 2013.3.31
内田龍哉	伊能忠敬記念館協議会委員	香取市教育委員会	2012.5.1 - 2013.4.30
小林裕美	栄町史編さん委員会調査研究員	栄町教育委員会	2011.4.1 - 2013.3.31
斉藤明子	非常勤講師	千葉大学教育学部	2012.5.1 - 2013.3.26
斉藤明子	希少野生動植物種保存推進員	環境省	2012 - 7.1 - 2015.6.30
斉藤明子	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2011.10.24 - 2013.10.23
斉藤明子	評議員	日本甲虫学会	2012.1.1 - 2013.12.31
駒井智幸	重要海域抽出に係る十脚目等の専門的知見・情報の提供	一般財団法人　自然環境研究センター	2012.11
白井　豊	常任幹事	房総石造文化財研究会	2012.4.1 - 2013.3.31
由良　浩	非常勤講師	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2012.4.1. - 2012.9.30
由良　浩	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会作業部会委員	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会	2011.2.1. - 2013.1.31
由良　浩	東日本太平洋岸・市民による海岸植物群落と「海岸とのふれあい」調査委員会委員	公益財団法人日本自然保護協会	2012.4.1. - 2013.3.31
由良　浩	作田川流域懇談会委員	千葉県山武土木事務所	2013.2.15. - 2015.2.14
由良　浩	真亀川流域懇談会委員	千葉県山武土木事務所	2013.2.15. - 2015.2.14
林　紀男	独立行政法人国立環境研究所客員研究員	独立行政法人国立環境研究所	2012.4.1 - 2013.3.31
林　紀男	編集部幹事	千葉県生物学会	2012.4.1 - 2013.3.31
林　紀男	千葉県印旛沼水質改善技術検討会植生ワーキンググループ委員	千葉県県土整備部河川環境課	2012.4.1 - 2013.3.31
林　紀男	非常勤講師	東邦大学理学部	2012.4.1 - 2013.3.31
林　紀男	千葉県手賀沼水生植物再生事業検討会委員	千葉県環境生活部水質保全課	2012.5.1 - 2013.3.31
林　紀男	秋田県八郎湖研究会植生部会委員	秋田県生活環境部環境管理課	2012.5.1 - 2013.3.31
林　紀男	環境省皇居外苑濠水質管理検討会委員	環境省皇居外苑管理事務所	2012.5.1 - 2013.3.31
萩野康則	評議員	日本土壌動物学会	2010.5.30 - 2012.5.26, 2012.5.27 - 2014.5.26

萩野康則	編集委員	日本土壌動物学会	2010.5.30 - 2012.5.26
萩野康則	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2011.10.24 - 2013.10.23
萩野康則	希少野生動植物種保存推進員	環境省自然環境局野生生物課	2009.7.1 - 2012.6.30, 2012.7.1 - 2015.6.30
尾崎煙雄	非常勤講師	千葉大学理学部	2012.4.9 - 2013.3.26
島立理子	野田市史編さん委員	野田市	2012.4.4 - 2013.3.31
島立理子	企画展示「贋造と模倣の文化史」展示プロジェクト委員	国立歴史民俗博物館	2013.1.8 - 2013.3.31
島立理子	国際交流事業「博物館型研究統合による日韓地域研究」メンバー	国立歴史民俗博物館	2012.4.4 - 2013.3.31
加藤久佳	企画展示「贋造と模倣の文化史」展示プロジェクト委員	国立歴史民俗博物館	2013.1.8 - 2013.3.31
大木淳一	非常勤講師	日本女子大学	2012.8.1 - 2013.3.31
落合啓二	日本哺乳類学会シカ保護管理検討作業部会員	日本哺乳類学会	1997.10 -
落合啓二	環境省希少野生動植物種保存推進員	環境省	2009.7.1 - 2015.6.30
落合啓二	千葉県特定鳥獣保護管理計画（ニホンジカ）策定検討会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2004.7 -
落合啓二	千葉県特定鳥獣保護管理計画（ニホンジカ）策定検討会作業部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2004.7 -
落合啓二	千葉県特定外来生物（アカゲザル）防除実施計画策定検討会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2006.7 -
落合啓二	千葉県特定外来生物（アカゲザル）防除実施計画策定検討会作業部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2006.7 -
落合啓二	千葉県特定外来生物（キョン）防除実施計画策定検討会副会長	千葉県環境生活部自然保護課	2007.12 -
落合啓二	千葉県特定外来生物（キョン）防除実施計画策定検討会作業部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2007.12 -
落合啓二	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会哺乳類分科会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2012.4 -
桑原和之	環境省委託鳥類標識調査協力員	環境省	2012.4.1 - 2013.3.31
桑原和之	環境省希少野生動植物種保存推進員	環境省	2012.4.1 - 2013.3.31
桑原和之	千葉県希少生物及び外来種に係るリスト作成委員会委員	千葉県自然保護課	2012.4.1 - 2013.3.31
桑原和之	千葉県希少生物及び外来種に係るリスト作成委員会群集・群落部会委員	千葉県自然保護課	2012.4.1 - 2013.3.31
桑原和之	平成 24 年度千葉市の鳥・コアジサシの保護に関する協力	千葉市長	2012.4.1 - 2013.3.31
桑原和之	環境省請負業務『平成 24 年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業（シギ・チドリ類調査)』における検討委員	バードリサーチ	2012.7.25 - 2013.3.31
桑原和之	環境省モニタリングサイト１０００シギ・チドリ類調査解析ワーキンググループ会合検討委員会	バードリサーチ	2012.7.25 - 2013.3.31
桑原和之	国土交通省関東地方整備局　利根川下流河川事務所請負業務『H24 利根川河口部生物環境調査等業務』における検討委員	新日本開発工業株式会社	2012.8.12 - 2013.3.31
倉西良一	シャープゲンゴロウモドキ保全協議会委員	千葉県自然保護課	2012.4.1 - 2013.3.31
宮田昌彦	希少野生動植物種保存推進員	環境省自然環境局野生生物課	2010.4.1 - 2015.3.31
宮田昌彦	江戸川左岸域流域懇談会委員	千葉県県土整備部	2013.1.1 - 2014.12.31
宮田昌彦	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会植物・菌類部会委員(部会長)	千葉県環境生活部自然保護課	2011.10.24 - 2013.10.23
宮田昌彦	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会群集・群落部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2011.10.24 - 2013.10.23
宮田昌彦	非常勤講師	国立大学法人千葉大学	2012.4.1 - 2012.3.31
宮田昌彦	日本応用藻類学会 Algal Resouces 編集委員会幹事	日本応用藻類学会	2010.4.1 - 2015.3.31
本吉正宏	いすみ市郷土資料館連絡協議会委員	いすみ市教育委員会	2012.4.1 - 2014.3.31
本吉正宏	いすみ市文化財審議会委員	いすみ市教育委員会	2012.4.1 - 2014.3.31
本吉正宏	勝浦市史副読本作成委員	勝浦市教育委員会	2013.4.1 - 2014.3.31
本吉正宏	千葉県文化財保護協会理事	千葉県文化財保護協会	2012.5.19 - 2014.5.18
川瀬裕司	電子情報委員会委員	日本魚類学会	2010.1 -
川瀬裕司	男女共同参画委員会委員	日本魚類学会	2013.1 -
川瀬裕司	委員（庶務担当）	第 9 回インド洋・太平洋魚類国際会議実行委員会	2009.10 -
奥野淳兒	非常勤講師（分類学）	千葉科学大学危機管理学部	2012.4.1 - 2012.9.16
柳研介	非常勤講師（地域自然誌論）	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2012.4.1 - 2012.9.30
菊地則雄	浜勝浦川浄化対策推進協議会委員	勝浦市	2012.8.27 - 2014.7.31
村田明久	モニタリングサイト 1000 沿岸域調査　調査代表者	特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合	2012.4.1 - 2013.3.31

DATA 4A　教育普及　<本館>

Data 4A.1　講座・観察会の主催

①本館行事

シリーズ名	実施日	行事名	申込	場所	対象	定員	参加者数	講師氏名
地学講座	5 月 19 日	地球科学入門　第１回　地形・地質と人間	事前	研修室	中～	30	20	高橋直樹
〃	6 月 9 日	地球科学入門　第２回　地球のすがた	事前	研修室	中～	30	24	〃
〃	7 月 7 日	地球科学入門　第３回　プレートテクトニクス	事前	研修室	中～	30	21	〃
〃	7 月 21 日	地球科学入門　第４回　海洋の地球科学	事前	研修室	中～	30	21	〃
〃	9 月 8 日	地球科学入門　第５回　地震	事前	研修室	中～	30	24	〃
〃	10 月 13 日	地球科学入門　第６回　火山	事前	研修室	中～	30	28	〃
〃	11 月 24 日	地球科学入門　第７回　地球の歴史をさぐる	事前	研修室	中～	30	24	〃
〃	12 月 16 日	地球科学入門　第８回　日本列島のおいたち	事前	研修室	中～	30	29	〃
〃	1 月 19 日	地球科学入門　第９回　地球の歴史	事前	研修室	中～	30	27	〃
〃	2 月 23 日	地球科学入門　第 10 回　地下資源	事前	研修室	中～	30	26	〃
〃	3 月 17 日	地球科学入門　第 11 回　地球環境問題	事前	研修室	中～	30	28	〃
〃	8 月 4 日	化石の模型を作ろう１−製作編	事前	研修室	小～	20	38	加藤久佳
〃	8 月 11 日	化石の模型を作ろう２−着色編	事前	研修室	小～	20	37	加藤久佳
〃	8 月 13 日	化石のクリーニング	事前	研修室	小～	15	23	伊左治鎭司
〃	9 月 23 日	化石発掘たいけん	事前	研修室	小～	15	28	伊左治鎭司
〃	11 月 4 日	実験水路をつくろう・使おう	事前	研修室	教員	10	5	岡崎浩子
〃	2 月 9 日	滝を観るための地形技能講座１	事前	研修室	大人	10	11	吉村光敏（館友）
〃	2 月 10 日	滝を観るための地形技能講座２	事前	研修室	大人	10	11	吉村光敏（館友）
〃	3 月 2 日	岩石薄片をつくろう	事前	研修室	小～	20	20	高橋直樹
動物学講座	5 月 27 日	ミツバチと蜂蜜「蜂蜜しぼりも体験します」	事前	研修室	小 3～	20	19	宮野伸也・山口剛
〃	7 月 16 日	昆虫標本のつくりかた	事前	研修室	小 3～	20	18	斉藤明子
〃	11 月 18 日	土壌動物入門「生きた土の中の生き物を見る」	事前	研修室	中～	20	9	萩野康則
〃	10 月 21 日	房総の海の生きもの (1) 東京湾の深海魚	当日	研修室	小～	20	14	宮　正樹
〃	11 月 17 日	房総の海の生きもの (2) サンゴ類	当日	研修室	小～	20	11	立川浩之
〃	12 月 2 日	房総の海の生きもの (3) 貝類	当日	研修室	小～	20	7	黒住耐二
〃	1 月 20 日	房総の海の生きもの (4)エビ・カニ	当日	研修室	小～	20	14	駒井智幸
植物学講座	4 月 22 日	地衣類の分類（第１回）	事前	研修室	高～	10	12	原田　浩
〃	5 月 20 日	地衣類の分類（第２回）	事前	研修室	高～	10	8	〃
〃	6 月 17 日	地衣類の分類（第３回）	事前	研修室	高～	10	14	〃
〃	7 月 29 日	地衣類の分類（第４回）	事前	研修室	高～	10	5	〃
〃	9 月 30 日	地衣類の分類（第５回）	事前	研修室	高～	10	8	〃
〃	10 月 28 日	地衣類の分類（第６回）	事前	研修室	高～	10	9	〃
〃	11 月 25 日	地衣類の分類（第７回）	事前	研修室	高～	10	7	〃
〃	12 月 23 日	地衣類の分類（第８回）	事前	研修室	高～	10	6	〃
〃	1 月 27 日	地衣類の分類（第９回）	事前	研修室	高～	10	7	〃
〃	2 月 17 日	地衣類の分類（第 10 回）	事前	研修室	高～	10	6	〃
〃	3 月 24 日	地衣類の分類（第 11 回）	事前	研修室	高～	10	12	〃
〃	6 月 2 日	植物形態学入門 I　花	事前	研修室・青葉の森公園	高～	20	16	原　正利
〃	10 月 27 日	植物形態学入門 II　果実	事前	研修室	高～	20	16	原　正利
〃	11 月 23 日	バラの歴史「ティーローズの育種家たち」	事前	研修室	中～	20	25	御巫由紀
〃	12 月 1 日	コケ植物の顕微鏡観察	事前	研修室	中～	15	10	古木達郎
〃	2 月 24 日	花粉の見わけ方ー技とコツ１	事前	研修室	中～	6	6	奥田昌明
〃	3 月 3 日	花粉の見わけ方ー技とコツ２	事前	研修室	中～	6	6	奥田昌明
歴史学講座	7 月 8 日	常総を旅する人々	当日	講堂	高～	200	48	内田龍哉
〃	8 月 26 日	浮世絵を支える技術ー彫りと摺りー	当日	講堂	高～	200	70	乙竹孝文
〃	9 月 23 日	梵天にみる房総の出羽三山信仰の現在	当日	講堂	高～	200	70	小林裕美
〃	11 月 24 日	古文書講座：基礎編（１）江戸時代の村方文書とは	当日	講堂	高～	200	30	筑紫敏夫
〃	12 月 1 日	古文書講座：基礎編（２）江戸時代の村方文書とは	当日	講堂	高～	200	34	筑紫敏夫
〃	9 月 30 日	古文書講座：応用編（１）「松平家忠日記」を読む	当日	講堂	高～	200	40	内田龍哉
〃	10 月 7 日	古文書講座：応用編（２）「大多喜藩家中役替帳」を読む	当日	講堂	高～	200	41	高橋　覚（房総のむら）
〃	10 月 14 日	古文書講座：応用編（３）「石川正西聞見集」を読む	当日	講堂	高～	200	30	乙竹孝文
〃	10 月 28 日	古文書講座：応用編（４）「石川正西聞見集」を読む	当日	講堂	高～	200	38	乙竹孝文
〃	11 月 11 日	古文書講座：応用編（５）「石川正西聞見集」を読む	当日	講堂	高～	200	38	乙竹孝文
〃	10 月 21 日	浦安からの生業−漁業と農業の生活からディズニーランドの町へ−	当日	講堂	高～	200	31	秋山　笑子（教育庁文化財課）
〃	11 月 4 日	ウナギあれこれ	当日	講堂	高～	200	21	糠谷　隆

〃	12月16日	常世田薬師の歴史と魅力	当日	講堂	高～	200	109	植野英夫（教育庁文化財課）
〃	1月27日	房総の上総掘り「養老川流域について」	当日	講堂	高～	200	150	地引尚幸
〃	2月3日	千葉県知事有吉忠一と名勝旧蹟保存事業	当日	講堂	高～	200	31	渡辺善司（国立歴史民俗博物館）
〃	2月17日	武士（もののふ）と信仰	当日	講堂	高～	200	65	村田憲一
考古学講座	10月20日	考古学講座（1）旧石器時代における石器製作とその復元	当日	講堂・一階入口	小～	200	32	橘本勝男（千葉県教育振興財団）
〃	11月17日	考古学講座（2）貝塚の発掘から見えてきた縄文人の生活	当日	講堂	小～	200	25	西野雅人（教育庁文化財課）
〃	12月15日	考古学講座（3）房総の弥生時代のはじまり	当日	講堂	小～	200	30	渡辺修一（県立美術館）
〃	2月16日	考古学講座（4）土器が語る房総の奈良・平安時代	当日	講堂	小～	200	42	郷堀英司
〃	3月16日	考古学講座（5）埴輪から見た房総の古墳時代	当日	講堂	小～	200	11	萩原恭一（教育庁文化財課）
環境科学講座	5月20日	三番瀬の生きもの	事前	船橋市	小～	40	36	風呂田利夫（東邦大学）・林　紀男
〃	7月26日	印旛沼水生植物再生の現場を歩く	事前	成田市	小～	20	15	林紀男・山口浩（千葉県河川環境課）・芳野進（印旛土木事務所）・椿原保彦（成田土木事務所）・銅達夫（北千葉道路建設事務所）
環境教育講座	6月23日	環境教育ワークショップ「持続可能な社会のための教育を考える」	事前	会議室	高～	30	0	林　浩二
〃	10月20日	景観を探る1「写真からみる東京湾の変貌」	当日	研修室	中～	30	4	白井　豊
〃	12月15日	景観を探る2「下総台地の薪炭林化−明治10年代編」	当日	研修室	中～	30	15	白井　豊
〃	12月8日	ヒトと哺乳類・鳥・虫「−生息環境と動物−」	当日	講堂	中～	50	22	落合啓二・桑原和之・倉西良一
〃	3月23日	河川環境と水生昆虫	当日	研修室	中～	15	5	倉西良一
〃	8月11日	石仏入門講座	当日	講堂	中～	200	80	石田年子（房総石造文化財研究会）・稲期章宏（同）
地学野外観察会	5月13日	地質の日関連　博物館周辺の地形・地質	事前	千葉市	小～	30	29	高橋直樹・八木令子
〃	5月26日	上総層群の化石採集会	事前	君津市	小～	30	29	伊左治鎭司
〃	8月5日	海岸で石ころをひろおう	事前	鴨川市	小～	30	26	高橋直樹・安達正嗣（友の会）
〃	10月27日・28日	秩父地方の地質と化石	事前	埼玉県	小～	20	24	加藤久佳
〃	11月10日・11日	県外岩石観察会6　箱根火山の小松石	事前	神奈川	小～	20	19	高橋直樹・橋本昇（友の会）
里山観察会	7月14日	カタツムリ	事前	県立房総のむら	小～	20	14	黒住耐二
〃	8月18日	はちみつのひみつ	事前	〃	小～	20	31	宮野伸也
〃	5月12日	春の山野草	事前	〃	小～	20	57	天野　誠
植物観察会	4月30日	春の植物観察	事前	銚子市	小～	30	26	天野　誠・斎木健一
〃	10月6日	アカマツ林のキノコ	事前	県立房総のむら	小～	20	15	吹春俊光（房総のむら）
〃	11月10日	身近なコケ植物	事前	千葉市	中～	15	18	古木達郎
〃	11月25日	秋の植物観察	事前	銚子市	小～	30	21	天野　誠・斎木健一
〃	4月28日	佐倉城址の植物観察－春編－	当日	国立歴史民俗博物館	全	なし	110	原　正利
〃	6月23日	くらしの中の植物	当日	国立歴史民俗博物館	全	なし	62	天野　誠
〃	2月9日	梅の科学	当日	青葉の森公園	全	なし	3	天野　誠
連休特別企画	4月28日	押し花で遊ぼう	当日	一階ホール	小～	20	35	天野　誠・古木達郎
〃	4月30日	小動物展示室で給餌観察	当日	展示室	全	20	23	倉西良一
〃	4月30日	収蔵庫探検：動物標本	当日	収蔵庫	小～	10	12	宮　正樹・黒住耐二・立川浩之
〃	5月3日	中央博「ミニ動物標本館」（深海魚）	当日	二階ホール	全	なし	366	宮　正樹
〃	5月3日	収蔵庫探検：液浸標本	当日	収蔵庫	小～	20	45	駒井智幸
〃	5月4日	石を割ってみよう	当日	一階入口	小～	なし	61	高橋直樹
〃	5月5日	本物の化石にさわってみよう	当日	一階ホール	全	なし	148	伊左治鎭司

〃	5 月 5 日	手形足形つくり	当日	研修室	全	なし	26	郷堀英司ほか
〃	5 月 6 日	中央博調査隊に挑戦！	当日	展示室	小	なし	43	石渡克彦
県民の日 特別企画	6 月 15 日	本物の化石にさわってみよう	当日	一階ホール	全	なし	306	伊左治鎭司
〃	6 月 15 日	収蔵庫探検：昆虫標本	当日	収蔵庫	小～	10	34	斉藤明子
〃	6 月 15 日	エコデコイに彩色	当日	研修室	小～	40	47	桑原和之
〃	6 月 15 日	木の葉図鑑を作ってみよう	当日	講堂	小～	20	61	天野　誠・古木達郎
〃	6 月 15 日	本物の土器に触ってみよう	当日	展示室	全	なし	420	郷堀英司ほか
〃	6 月 15 日	森の調査隊	当日	生態園	全（小保）	なし	36	萩野康則
海の日 特別企画	7 月 16 日	中央博「ミニ動物標本館」（貝）	当日	二階ホール	全	なし	367	黒住耐二
夏休み 関連行事	7 月 22 日	夏休み自由研究相談会（前編）	当日	一階ホール	全	なし	38	研究職員多数
〃	8 月 25 日	夏休み自由研究相談会（後編）	当日	一階ホール・研修室	全	なし	40	研究職員多数
〃	8 月 26 日	夏休み自由研究相談会（後編）	当日	〃	全	なし	43	研究職員多数
体験教室	10 月 6 日	勾玉つくりに挑戦しよう 1	事前	研修室	小 3～	15	7	郷堀英司ほか
〃	10 月 6 日	勾玉つくりに挑戦しよう 2	事前	研修室	小 3～	15	13	郷堀英司ほか
文化の日 特別企画	11 月 3 日	砂で遊ぼう一砂絵	当日	一階ホール・研修室	小～	なし	132	岡崎浩子
〃	11 月 3 日	砂で遊ぼうージオパッド	当日	一階ホール・研修室	小～	20	24	岡崎浩子
〃	11 月 3 日	中央博「ミニ動物標本館」（深海魚）	当日	展示室	全	なし	1193	宮 正樹
〃	11 月 3 日	ものしりミュージアム千葉―最新の研究紹介	当日	講堂	中～	200	61	天野誠・大庭照代
特別展 関連行事	10 月 15 日	平成 24 年度特別展「ティラノサウルスー肉食恐竜の世界ー」カルノタウルス公開組立	当日	二階ホール	全	なし	231	岡崎浩子
〃	10 月 19 日	平成 24 年度特別展「ティラノサウルスー肉食恐竜の世界ー」内覧会		講堂・二階ホール・企画展示室			112	岡崎浩子
〃	11 月 11 日	恐竜くんのイラスト教室ー恐竜を描いてみようー	事前	研修室	小～	30	45	田中真士（恐竜くん）
〃	11 月 23 日	恐竜フェスタ 2012　in 千葉	当日	講堂	全	200	215	田中真士（恐竜くん）・所十三・尾崎孝文
〃	12 月 2 日	恐竜折り紙教室	当日	一階ホール	小	20	67	木村哲夫（折り紙作家）
〃	12 月 24 日	恐竜くんのイラスト教室	当日	研修室	小～	30	31	田中真士（恐竜くん）
〃	10 月 20 日	突撃、恐竜調査隊！	当日	企画展示室	全	なし	62	友の会
〃	10 月 21 日	〃	〃	〃	〃	〃	121	〃
〃	10 月 27 日	〃	〃	〃	〃	〃	149	〃
〃	10 月 28 日	〃	〃	〃	〃	〃	114	〃
〃	11 月 3 日	〃	〃	〃	〃	〃	211	〃
〃	11 月 4 日	〃	〃	〃	〃	〃	249	〃
〃	11 月 10 日	〃	〃	〃	〃	〃	156	〃
〃	11 月 11 日	〃	〃	〃	〃	〃	121	〃
〃	11 月 17 日	〃	〃	〃	〃	〃	261	〃
〃	11 月 18 日	〃	〃	〃	〃	〃	134	〃
〃	11 月 23 日	〃	〃	〃	〃	〃	209	〃
〃	11 月 24 日	〃	〃	〃	〃	〃	478	〃
〃	11 月 25 日	〃	〃	〃	〃	〃	154	〃
〃	12 月 1 日	〃	〃	〃	〃	〃	189	〃
〃	12 月 2 日	〃	〃	〃	〃	〃	157	〃
〃	12 月 8 日	〃	〃	〃	〃	〃	220	〃
〃	12 月 9 日	〃	〃	〃	〃	〃	149	〃
〃	12 月 15 日	〃	〃	〃	〃	〃	157	〃
〃	12 月 16 日	〃	〃	〃	〃	〃	158	〃
〃	12 月 22 日	〃	〃	〃	〃	〃	200	〃
〃	12 月 23 日	〃	〃	〃	〃	〃	160	〃
〃	12 月 24 日	〃	〃	〃	〃	〃	242	〃
企画展 関連行事	7 月 6 日	平成 24 年度企画展「シカとカモシカー日本の野生を生きるー」内覧会		講堂・企画展示室			110	桑原和之
〃	7 月 15 日	記念講演会　星野道夫と見た風景	事前	講堂	小 3～	200	170	星野直子（星野道夫事務所）
〃	7 月 29 日	日本の野生を追うークマ・サルー	当日	講堂	小～	200	71	山崎晃司（茨城県自然博物館）・松岡史朗（動物写真家）
〃	9 月 15 日	ニホンカモシカを追って 36 年	当日	講堂	小～	200	88	落合啓二
〃	9 月 9 日	縄文人・弥生人とシカとのかかわり	当日	講堂	小～	200	60	西野雅人（教育

								庁文化財課）・渡辺修一（県立美術館）
〃	9月16日	徳川将軍の鹿狩と房総	当日	講堂	高～	200	76	筑紫敏夫
〃	8月19日	どうする？ 房総のシカと生物多様性保全	当日	講堂	小3～	200	115	浅田正彦・鈴木牧（東京大学）・大野啓一・揚妻直樹（北海道大学）・花輪伸一（WWFJapan）・落合啓二
〃	7月21日	○×クイズ大会　めざせ！シカ博士・カモシカ博士	当日	一階ホール	小～	100	62	大木淳一・山口剛・落合啓二
〃	8月15日	〃	当日	〃	小～	100	70	〃
〃	7月28日	ヤマビルとたわむれよう	当日	一階ホール・研修室	小～	20	56	谷　重和（ヤマビル研究会）・落合啓二
〃	9月2日	〃	当日	〃	小～	20	46	〃
〃	8月5日	シカの骨パズルに挑戦！	当日	一階ホール・研修室	小～	20	45	落合啓二・山田敏史（房総のシカ調査会）
〃	9月1日	〃	当日	〃	小～	20	45	〃
〃	8月12日	「鳴竹」つくりに挑戦！	当日	研修室	小3～	10	15	郷堀英司
〃	7月7日	企画展「シカとカモシカ」関連行事　「カモシカクイズ　この顔をさがせ！」	当日	本館			43	落合啓二・友の会
〃	7月8日	〃	〃	〃			77	〃
〃	7月14日	〃	〃	〃			22	〃
〃	7月15日	〃	〃	〃			65	〃
〃	7月16日	〃	〃	〃			75	〃
〃	7月21日	〃	〃	〃			56	〃
〃	7月22日	〃	〃	〃			77	〃
〃	7月28日	〃	〃	〃			40	〃
〃	7月29日	〃	〃	〃			112	〃
〃	8月4日	〃	〃	〃			73	〃
〃	8月5日	〃	〃	〃			91	〃
〃	8月11日	〃	〃	〃			95	〃
〃	8月12日	〃	〃	〃			125	〃
〃	8月18日	〃	〃	〃			49	〃
〃	8月19日	〃	〃	〃			116	〃
〃	8月25日	〃	〃	〃			70	〃
〃	8月26日	〃	〃	〃			96	〃
〃	9月1日	〃	〃	〃			100	〃
〃	9月2日	〃	〃	〃			89	〃
〃	9月8日	〃	〃	〃			81	〃
〃	9月9日	〃	〃	〃			136	〃
〃	9月15日	〃	〃	〃			86	〃
〃	9月16日	〃	〃	〃			130	〃
〃	9月17日	〃	〃	〃			111	〃
春の展示関連行事	4月29日	芽ばえと芽吹きウォッチング	当日	生態園	中～	30	57	八田洋章（国立科学博物館名誉研究員）
〃	5月19日	芽ばえさまざま–形と生態の多様性–	当日	講堂	中～	200	94	大野啓一
出土遺物巡回展関連行事	2月2日	千葉県遺跡調査研究発表会	当日	講堂	全	200	212	石川日出志（明治大学）・島立桂（千葉県教育振興財団）・蜂屋孝之（同）・白井久美子（同）・大谷弘幸（千葉県教育委員会）・小林信一（同）
春の展示関連行事	3月16日	春の展示「ナッツ&ベリー」開会式		講堂・企画展示室			89	古木達郎・天野誠・斎木健一
〃	3月24日	公開講座「イチゴ」	当日	講堂	全	200	69	石川正美（農林総合研究センター）・深尾聡（同）
〃	3月23日	イチゴの食べくらべ	事前	一階ホール	高～	10	40	古木達郎・天野誠・斎木健一
〃	3月24日	〃	事前	〃	高～	10	41	〃
〃	3月30日	〃	事前	〃	高～	10	40	〃
〃	3月31日	〃	事前	〃	高～	10	42	〃
企画展関連行事（プレ）	6月16日	音で伝える「私の大切な場所」	当日	研修室	小3～	なし	13	大庭照代

②生態園行事

シリーズ名	実施日	行事名	申込	場所	対象	定員	参加者数	講師氏名
生態園観察会	4 月 21 日	とりの声キャッチ名人	当日	生態園	小 3～	なし	13	大庭照代
〃	5 月 5 日	〃	当日	〃	小 3～	なし	25	〃
〃	5 月 12 日	〃	当日	〃	小 3～	なし	23	〃
〃	5 月 26 日	〃	当日	〃	小 3～	なし	11	〃
〃	6 月 10 日	アリを観察しよう	当日	〃	全	なし	17	山口　剛
〃	8 月 18 日	むしの声-1	事前	〃	小 3～	30	12	大庭照代
〃	10 月 6 日	むしの声-2	事前	〃	小 3～	30	35	大庭照代・鳥越けい子（青山学院大学）・大谷英児（森林総合研究所）
〃	4 月 19 日	春の植物	当日	〃	大人	30	12	林　浩二
〃	5 月 17 日	初夏の植物	当日	生態園・青葉の森公園	大人	30	14	原　正利
〃	11 月 15 日	秋の植物	当日	生態園	大人	30	21	大野啓一
〃	2 月 21 日	早春の植物	当日	〃	大人	30	13	大野啓一
〃	5 月 6 日	池のプランクトンを見てみよう	当日	〃	全	なし	32	林　紀男
〃	8 月 5 日	早起きして夏の音を探そう 1	事前	〃	小 3～	30	15	大庭照代
〃	8 月 5 日	早起きして夏の音を探そう 2	事前	〃	小 3～	30	13	大庭照代
生態園 連休特別企画	4 月 29 日	鳥のさえずり 1	事前	〃	小～	30	28	大庭照代
〃	4 月 29 日	鳥のさえずり 2	事前	〃	小～	30	24	大庭照代
〃	4 月 29 日	鳥のさえずり 3	事前	〃	小～	5	21	大庭照代
〃	4 月 30 日	生態園スタンプラリー	当日	〃	全	300	90	山口　剛・萩野康則
〃	5 月 3 日	体験！身近な植物の不思議	当日	〃	全	なし	26	大野啓一・原正利・由良　浩
〃	5 月 4 日	体験！身近な植物の不思議	当日	〃	全	なし	128	大野啓一・原正利・由良　浩
〃	11 月 4 日	体験！身近な植物の不思議	当日	〃	全	なし	187	大野啓一・原正利
生態園トピックス展関連行事	4 月 28 日	生態園トピックス展「生態園の花粉」の解説	当日	〃	全	なし	5	奥田昌明
生態園ギャラリー	6 月 16 日	第 9 回生態園ギャラリー撮影会 1	当日	〃	小～	なし	1	林　浩二
〃	6 月 30 日	第 9 回生態園ギャラリー撮影会 2	当日	〃	小～	なし	11	林　浩二
〃	7 月 14 日	第 9 回生態園ギャラリー撮影会 3	当日	〃	小～	なし	11	林　浩二

③房総の山のフィールド・ミュージアム行事

シリーズ名	実施日	行事名	申込	場所	対象	定員	参加者数	講師氏名
房総の山の観察会	7 月 21 日・22 日	夏の山の昆虫	事前	君津市	親子（小）	20	17	斉藤明子・尾崎煙雄
〃	5 月 27 日	小櫃川をのぼる 13	事前	君津市	中～	20	19	小田島高之・島立理子
〃	9 月 23 日	小櫃川をのぼる 14	当日	君津市	〃	〃	7	島立理子・小田島高之・八木令子・布施慶子（久留里城址資料館）
〃	12 月 4 日	小櫃川をのぼる 15	当日	君津市	〃	〃	12	島立理子・小田島高之・八木令子・布施慶子（久留里城址資料館）
〃	2 月 3 日	小櫃川をのぼる 16	当日	君津市	〃	〃	14	島立理子・小田島高之・八木令子・布施慶子（久留里城址資料館）・高橋裕貴（同）
山の学校	4 月 21 日	山の学校９７	当日	君津市	全（小保）		19	尾崎煙雄・大木淳一
〃	5 月 19 日	山の学校９８	当日	君津市	〃		11	大木淳一
〃	6 月 16 日	山の学校９９	当日	君津市	〃		雨天中止	尾崎煙雄
〃	7 月 21 日	山の学校１００	当日	君津市	〃		55	尾崎煙雄・加藤久佳・島立理子・斉藤明子
〃	8 月 18 日	山の学校１０１	当日	君津市	〃		32	尾崎煙雄
〃	9 月 15 日	山の学校１０２	当日	君津市	〃		9	島立理子・加藤久佳・斎木健一
〃	10 月 20 日	山の学校１０３	当日	君津市	〃		18	尾崎煙雄
〃	11 月 17 日	山の学校１０４	当日	君津市	〃		3	尾崎煙雄
〃	12 月 15 日	山の学校１０５	当日	君津市	〃		3	尾崎煙雄・島立理子
〃	1 月 19 日	山の学校１０６	当日	君津市	〃		16	尾崎煙雄
〃	2 月 16 日	山の学校１０７	当日	君津市	〃		91	加藤久佳・大木淳一
〃	3 月 16 日	山の学校１０８	当日	君津市	〃		13	尾崎煙雄・大木淳一

※ 親子（小）：小学生を含む親子、（小保）：小学生は保護者同伴

Data 4A.2.1　ミュージアム・トーク

実施日	タイトル	実施場所	参加者数	担当
4 月 1 日	成東・東金食虫植物群落	生物展示室	32	古木達郎
4 月 7 日	春の植物	生物展示室	13	天野誠
4 月 8 日	アロサウルスについて	１階ホール	38	伊左治鎭司
4 月 14 日	芽ばえのいろいろ	企画展示室	24	大野啓一
4 月 15 日	身近な自然を利用した道具作り	かかわり展示室	4	小林裕美
4 月 21 日	奈良・平安時代の筆名人	歴史展示室	6	郷堀英司
4 月 22 日	身近なアリ	生態園	1	山口剛
4 月 28 日	芽ばえのいろいろ	企画展示室	19	大野啓一
4 月 29 日	収蔵庫探検	液浸標本収蔵庫	33	駒井智幸
4 月 30 日	舟田池のプランクトン	生態園	23	林紀男
5 月 3 日	スキャナーで図鑑をつくろう	２Ｆホール	30	斎木健一
5 月 4 日	舟田池のプランクトン	生態園	22	林紀男
5 月 5 日	収蔵庫探検	液浸標本収蔵庫	33	駒井智幸
5 月 6 日	新型ルーペでみる超小さな世界	生態園	11	奥田昌明
5 月 12 日	芽ばえのいろいろ	企画展示室	12	大野啓一
5 月 13 日	身近な自然を利用した道具作り	かかわり展示室など	6	小林裕美
5 月 19 日	身近なアリ	生態園	4	山口剛
5 月 20 日	5 月 22 日は国際生物多様性の日です	生物・分類・かかわり展示室	5	林浩二
5 月 26 日	芽ばえのいろいろ	企画展示室	32	大野啓一
5 月 27 日	千葉石のはなし	地学展示室	15	高橋直樹
6 月 2 日	6 月は環境月間です	かかわり展示室	3	林浩二
6 月 3 日	千葉県の食虫植物	生物展示室	6	古木達郎
6 月 9 日	房総の森の樹木	生物展示室	2	原正利
6 月 10 日	房総の貝類	地学・生物・海洋・分類展示室	16	黒住耐二
6 月 15 日	スキャナーで図鑑をつくろう	２Ｆホール	27	斎木健一
6 月 16 日	展示室音めぐり	生物・分類・歴史・かかわり展示室	28	大庭照代
6 月 17 日	浮世絵をささえる技術―彫りと摺り―	歴史展示室	9	乙竹孝文
6 月 23 日	大陸からの贈りもの	歴史展示室	3	石渡克彦
6 月 24 日	砂の模様が語ること	地学展示室	41	岡崎浩子
6 月 30 日	気象衛星ひまわりで見る梅雨	地学展示室	5	小田島高之
7 月 1 日	バックヤードツアー：植物標本の作り方	植物標本製作室	5	御巫由紀
7 月 7 日	スズメバチの生活	生物展示室	19	宮野伸也
7 月 8 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	60	落合啓二
7 月 14 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	35	落合啓二
7 月 15 日	房総の貝類	地学・生物・海洋・分類展示室	5	黒住耐二
7 月 16 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	39	落合啓二
7 月 21 日	砂の模様が語ること	地学展示室	19	岡崎浩子
7 月 22 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	57	落合啓二
7 月 28 日	地形模型を使った身近な地域の地形観察	地学展示室	18	八木令子
7 月 29 日	房総の海にすむ生物	地学・生物・海洋展示室	22	立川浩之
8 月 4 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	9	落合啓二
8 月 5 日	房総の海にすむ生物	地学・生物・海洋展示室	9	立川浩之
8 月 11 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	37	落合啓二
8 月 12 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	34	落合啓二
8 月 18 日	第 9 回生態園ギャラリー	生態園	9	林浩二
8 月 19 日	水生植物復活の取り組み	生態園	11	林紀男
8 月 25 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	15	落合啓二
8 月 26 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	29	落合啓二
9 月 1 日	企画展解説ーシカと人のかかわりの歴史	企画展示室	7	島立理子
9 月 2 日	バックヤードツアー：昆虫標本	第 5 収蔵庫	33	斉藤明子
9 月 8 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	17	落合啓二
9 月 9 日	展示室音めぐり	生物・分類・歴史・かかわり展示室	40	大庭照代
9 月 15 日	気象衛星ひまわりで見る台風	地学展示室	9	小田島高之
9 月 16 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	38	落合啓二
9 月 17 日	企画展「シカとカモシカ」	２Ｆホール・企画展示室	61	落合啓二
9 月 22 日	中世房総の海上交通と港	歴史展示室	19	筑紫敏夫
9 月 23 日	スズメバチの生活	生物展示室	11	宮野伸也
9 月 29 日	幕末の房総	歴史展示室	7	筑紫敏夫
9 月 30 日	東京湾の景観の変貌	かかわり展示室	8	白井豊
10 月 6 日	近世房総の幕開け	歴史展示室	11	筑紫敏夫
10 月 7 日	スズメバチの生活	生物展示室	25	宮野伸也
10 月 8 日	縄文時代の人々のくらし	歴史展示室	30	一場郁夫
10 月 13 日	身近なアリ	生態園	2	山口剛
10 月 14 日	千葉の花粉	かかわり展示室、第二化学分析室	9	奥田昌明
10 月 20 日	ティラノサウルスについて	企画展示室	35	伊左治鎭司
10 月 21 日	ムカデとヤスデ	生態園オリエンテーションハウス	24	萩野康則
10 月 27 日	大陸からの贈りもの	歴史展示室	2	石渡克彦
10 月 28 日	むらの景観（谷津田編）	かかわり展示室	5	白井豊
11 月 3 日	地形模型を使った身近な地域の地形観察	地学展示室	10	八木令子
11 月 4 日	ティラノサウルスについて	２Ｆホール・企画展示室	90	伊左治鎭司
11 月 10 日	房総の縄文貝塚	歴史・分類展示室	12	三浦和信
11 月 11 日	ムカデとヤスデ	生態園オリエンテーションハウス	17	萩野康則
11 月 17 日	バックヤードツアー：動物標本	第２・液浸収蔵庫	22	乃一哲久
11 月 18 日	学校の石材について	２Ｆホール・１Ｆホール	6	大木淳一
11 月 23 日	千葉の酒	歴史展示室	6	立和名明美
11 月 24 日	浮世絵をささえる技術―彫りと摺り―	歴史展示室	9	乙竹孝文
11 月 25 日	ティラノサウルスについて	２Ｆホール・企画展示室	100	伊左治鎭司
12 月 1 日	房総の貝類	地学・生物・海洋・分類展示室	10	黒住耐二

12 月 2 日	身近な小動物の暮らし	小動物展示室	39	倉西良一
12 月 8 日	冬の樹木	生物展示室	0	原正利
12 月 9 日	ムカデとヤスデ	生態園オリエンテーションハウス	25	萩野康則
12 月 15 日	学校の石材について	２Ｆホール・１Ｆホール	10	大木淳一
12 月 16 日	大陸からの贈りもの	歴史展示室	29	石渡克彦
12 月 22 日	12 月は地球温暖化防止月間です	かかわり展示室	6	林浩二
12 月 23 日	ティラノサウルスについて	２Ｆホール・企画展示室	130	伊左治鎭司
12 月 24 日	砂の模様が語ること	地学展示室	20	岡崎浩子
1 月 5 日	バックヤードツアー：植物標本の作り方	植物標本製作室	9	御巫由紀
1 月 6 日	富士山の噴火と房総	地学展示室	15	高橋直樹
1 月 12 日	植物の冬越し	生物展示室	4	天野誠
1 月 13 日	バックヤードツアー：動物標本	第２収蔵庫・第一化学分析室	26	宮正樹
1 月 14 日	イモリの不思議	小動物展示室	10	倉西良一
1 月 19 日	出土遺物巡回展「時空を超えて」展示解説	企画展示室	11	郷堀英司
1 月 20 日	縄文時代の人々のくらし	歴史展示室	42	一場郁夫
1 月 26 日	コケ植物の暮らし	生物・分類・かかわり展示室	3	古木達郎
1 月 27 日	出土遺物巡回展「時空を超えて」展示解説	企画展示室	22	郷堀英司
2 月 2 日	ジオラマ展示の作り方	生物展示室	10	原正利
2 月 3 日	むらの景観（台地編）	かかわり展示室	6	白井豊
2 月 9 日	出土遺物巡回展「時空を超えて」展示解説	企画展示室	10	立和名明美
2 月 10 日	バックヤードツアー：動物標本	第２収蔵庫・第一化学分析室	40	宮正樹
2 月 11 日	学校の石材について	２Ｆホール・１Ｆホール	16	大木淳一
2 月 16 日	化石と進化の話	地学展示室	6	森田利仁
2 月 17 日	房総の二五穴	第２企画展示室	11	島立理子
2 月 23 日	展示室音めぐり	生物・分類・歴史・かかわり展示室	9	大庭照代
2 月 24 日	出土遺物巡回展「時空を超えて」展示解説	企画展示室	25	郷堀英司
3 月 2 日	笠森観音堂について	歴史展示室	8	内田龍哉
3 月 3 日	房総の海にすむ生物	地学・生物・海洋展示室	4	立川浩之
3 月 9 日	バックヤードツアー：昆虫標本	第５収蔵庫	15	斉藤明子
3 月 10 日	バックヤードツアー：動物標本	第２収蔵庫・第一化学分析室	11	宮正樹
3 月 16 日	ナッツとベリーの秘密	企画展示室	12	天野誠
3 月 17 日	千葉の花粉	かかわり展示室、第二化学分析室	11	奥田昌明
3 月 23 日	房総の縄文貝塚	歴史、海洋、分類、生物、企画展示室	5	三浦和信
3 月 24 日	ナッツとベリーの秘密	企画展示室	44	天野誠
3 月 30 日	マムシの不思議	小動物展示室	29	倉西良一
3 月 31 日	バックヤードツアー：昆虫標本	第５収蔵庫	32	斉藤明子

Data 4A.2.2　展示解説

タイトル	実施日	曜	対象	人数	担当
春の展示「芽ばえ」	4 月 11 日	水	友の会会員	10	大野啓一
〃	5 月 2 日	水	千葉市立本町小学校	45	〃
〃	5 月 2 日	水	いすみ市立東海小学校	76	〃
〃	5 月 11 日	金	成田野の花会	9	〃
〃	5 月 13 日	日	やどりぎ研究会	8	〃
〃	5 月 15 日	火	千葉の自然に親しむ会	27	〃
〃	5 月 15 日	火	千葉みちくさ会	10	〃
〃	5 月 23 日	水	館職員・ボランティア	30	〃
〃	5 月 27 日	日	自由学園最高学部	10	〃
企画展「シカとカモシカ－日本の野生を生きる－」	7 月 6 日	金	内覧会	110	落合啓二
〃	7 月 7 日	土	一般	25	〃
〃	7 月 8 日	日	一般	40	〃
〃	7 月 10 日	火	一般	4	〃
〃	7 月 11 日	水	船橋市教育研究協議会	10	〃
〃	7 月 12 日	木	一般	6	〃
〃	7 月 14 日	土	一般	10	〃
〃	7 月 15 日	日	一般	5	〃
〃	7 月 16 日	月祝	一般	30	〃
〃	7 月 18 日	水	友の会会員（１0）、ほか一般	15	〃
〃	7 月 21 日	土	一般	5	〃
〃	7 月 22 日	日	一般	25	〃
〃	7 月 25 日	水	職員（20）、ほか一般	30	〃
〃	7 月 26 日	木	博物館協議会委員（10）	10	〃
〃	7 月 28 日	土	一般	15	〃
〃	7 月 29 日	日	講演会演者、ほか一般	7	〃
〃	8 月 1 日	水	一般	5	〃
〃	8 月 2 日	木	教育総務課（4）、ほか一般	14	〃
〃	8 月 3 日	金	一般	12	〃
〃	8 月 4 日	土	一般	20	〃
〃	8 月 5 日	日	武蔵野美術大学(6)、ほか一般	6	〃
〃	8 月 7 日	火	一般	16	〃
〃	8 月 8 日	水	中央博物館活用研究会(10)	10	〃
〃	8 月 10 日	金	一般	10	〃
〃	8 月 11 日	土	石仏入門講座参加者(25)、ほか一般	35	〃
〃	8 月 12 日	日	一般	30	〃
〃	8 月 13 日	月	映像提供者(1)、ほか一般	11	〃
〃	8 月 14 日	火	一般	10	〃
〃	8 月 15 日	水	職場訪問(2)・博物館実習生（20）、ほか一般	22	〃

〃	8 月 16 日	木	一般	5	〃
〃	8 月 17 日	金	一般	5	〃
〃	8 月 18 日	土	一般	5	〃
〃	8 月 19 日	日	映像提供者(1)、ほか一般	16	〃
〃	8 月 21 日	火	イラスト作者(1)、ほか一般	11	〃
〃	8 月 22 日	水	一般	5	〃
〃	8 月 23 日	木	一般	10	〃
〃	8 月 24 日	金	一般	1	〃
〃	8 月 25 日	土	一般	15	〃
〃	8 月 26 日	日	一般	20	〃
〃	8 月 28 日	火	一般	5	〃
〃	8 月 29 日	水	一般	5	〃
〃	8 月 31 日	金	一般	5	〃
〃	9 月 1 日	土	一般	10	〃
〃	9 月 2 日	日	一般	5	〃
〃	9 月 4 日	火	一般	10	〃
〃	9 月 7 日	金	安房生物愛好会(8)・千葉県立青少年教育施設長会議(15)	23	〃
〃	9 月 8 日	土	千葉市未来の科学者プログラム(31)、ほか一般	41	〃
〃	9 月 9 日	日	一般	10	〃
〃	9 月 11 日	火	東京大学実習生(6)、ほか一般	11	〃
〃	9 月 12 日	水	ボランティア(10) 、ほか一般	20	〃
〃	9 月 13 日	木	自然保護指導員・自然公園指導員研修(30)・印旛歴史民俗博(2)、ほか一般	37	〃
〃	9 月 15 日	土	一般	20	〃
〃	9 月 16 日	日	一般	20	〃
〃	9 月 17 日	月	一般	20	〃
特別展「ティラノサウルス―肉食恐竜の世界―」	10 月 19 日	金	内覧会	112	岡崎浩子
〃	10 月 24 日	水	友の会会員	15	伊左治鎭司
〃	10 月 30 日	火	教和会	21	伊左治鎭司
〃	11 月 17 日	土	房総地学会、湘南地球科学の会	38	伊左治鎭司
生態園トピックス展「ムカデとヤスデ」	10 月 31 日	水	一般	18	萩野康則
〃	11 月 14 日	水	友の会会員	9	〃
〃	11 月 20 日	火	千葉市野鳥の会	11	〃
「水郷を旅する人々」	1 月 12 日	土	一般	12	内田龍哉
〃	1 月 13 日	日	一般	52	〃
〃	1 月 14 日	月	一般	4	〃
〃	1 月 19 日	土	一般	12	〃
〃	1 月 20 日	日	一般	6	〃
〃	1 月 26 日	土	一般	8	〃
〃	1 月 27 日	日	一般	6	〃
〃	2 月 3 日	日	一般	9	〃
出土遺物巡回展「時空を超えて」	1 月 16 日	水	友の会会員	9	郷堀英司
生態園トピックス展「写真で見る 生態園のいきものたち」	3 月 13 日	水	ボランティア	20	林紀男
〃	3 月 21 日	木	ボランティア・友の会会員	20	林紀男
春の展示「ナッツ&ベリー」	3 月 16 日	土	開会式	89	古木達郎・天野誠・斎木健一
〃	3 月 20 日	水祝	一般	14	古木達郎
〃	3 月 21 日	木	館職員・ボランティア	31	天野　誠
〃	3 月 28 日	木	読売新聞ジュニアプレス	6	天野　誠

Data 4A.2.3　中央博調査隊・森の調査隊

①中央博調査隊

実施日	学校名・団体名	実施展示室	参加者数	担当
5 月 30 日	市原市立ちはら台桜小学校	生物	138	勝部・小川・石渡・林浩二・奥田・ボランティア 3 名・八千代市博職員 1 名
7 月 3 日	市原市立牧園小学校	生物	109	小川・石渡・大野・奥田・ボランティア 3 名
7 月 13 日	千葉市立さつきヶ丘西小学校	生物	44	勝部・石渡・ボランティア 2 名
9 月 6 日	千葉市立花見川第三小学校	生物	47	寺部・石渡・ボランティア 3 名
9 月 27 日	千葉市立稲浜小学校	かかわり	26	小川・石渡・白井・ボランティア 2 名
11 月 21 日	習志野市立実花小学校	生物	62	勝部・石渡・大野・ボランティア 2 名
12 月 5 日	千葉市立松ヶ丘小学校	かかわり	52	寺部・石渡・白井・ボランティア 4 名
12 月 14 日	四街道市立中央小学校特別支援学級	生物	22	寺部・石渡・ボランティア 3 名
2 月 28 日	ふたば保育園	分類	31	寺部・石渡・ボランティア 2 名

②森の調査隊

実施日	学校名・団体名	場所	参加者数	担当
4 月 26 日	千葉市立稲毛小 4 年	生態園	117	萩野康則・落合啓二・パートナー3 名
4 月 29 日	あすなろ会親子読書力講習会小中	生態園	23	林紀男
5 月 16 日	千葉市立緑町小 4 年	生態園	97	萩野康則・桑原和之・パートナー3 名
5 月 24 日	千葉市立新宿小 3 年	生態園	146	萩野康則・林紀男・桑原和之・パートナー3 名
6 月 1 日	千葉市立宮崎小 3 年	生態園	145	萩野康則・大庭照代・パートナー2 名
6 月 2 日	木更津市桜井公民館 小 1-4 年	生態園	35	林紀男・山口剛・パートナー2 名
6 月 19 日	八千代市立村上東小 4 年	生態園	159	萩野康則・御巫由起・パートナー2 名
6 月 21 日	千葉市立上の台小 3 年	生態園	82	原正利

7 月 6 日	千葉市立真砂東小 3 年	生態園	92	萩野康則・林紀男・御巫由紀・大庭照代・パートナー1 名
8 月 3 日	木更津市桜井公民館 小 1-4 年	生態園	26	林浩二・萩野康則・パートナー1 名
8 月 3 日	小倉地区子どもルーム 1-4 年	生態園	38	萩野康則・林紀男・御巫由紀
9 月 4 日	目黒区立下目黒小 6 年（俳句作り）	生態園	45	萩野康則・御巫由紀
9 月 12 日	千葉市立緑町小 4 年	生態園	93	萩野康則・林紀男・御巫由紀・原正利・パートナー2 名
9 月 28 日	成田高校附属小 1-3 年	生態園	107	萩野康則・御巫由紀・原正利・パートナー2 名
10 月 12 日	習志野市立東習志野小 3 年	生態園	137	萩野康則・落合啓二・パートナー4 名
10 月 19 日	千葉市立新宿小 3 年	生態園	145	萩野康則・桑原和之・大野啓一・パートナー2 名
11 月 1 日	千葉市立緑町小 4 年	生態園	94	萩野康則・御巫由紀・原正利・大野啓一・パートナー3 名
11 月 13 日	千葉市立真砂東小 3 年	生態園	89	萩野康則・林紀男・御巫由紀・大野啓一・パートナー1 名
11 月 14 日	東金市立東小 1 年	生態園	106	萩野康則・御巫由紀・パートナー4 名
11 月 16 日	千葉市立稲毛小 4 年	生態園	116	萩野康則・林紀男・落合啓二・パートナー1 名
11 月 16 日	目黒区立中根小 4 年	生態園	84	萩野康則・林紀男・落合啓二・パートナー1 名
11 月 21 日	千葉市立みつわ台南小 3 年	生態園	113	萩野康則・倉西良二・パートナー2 名
11 月 27 日	千葉市立花園小 2 年	生態園	126	萩野康則・御巫由紀・山口剛・パートナー2 名
12 月 4 日	千葉市立高洲第四小 3 年	生態園	41	萩野康則・御巫由紀・パートナー2 名
12 月 5 日	千葉市立緑町小 4 年	生態園	95	萩野康則・御巫由紀・落合啓二・パートナー1 名
12 月 7 日	千葉市立検見川小 4 年	生態園	68	萩野康則・御巫由紀・倉西良一・パートナー2 名
12 月 18 日	千葉市立宮崎小 3 年	生態園	141	萩野康則・御巫由紀・山口剛・パートナー4 名
1 月 24 日	千葉市立新宿小 3 年	生態園	144	萩野康則・御巫由紀・山口剛・パートナー4 名
1 月 31 日	千葉市立真砂東小 3 年	生態園	89	萩野康則・林紀男・御巫由紀・パートナー3 名
2 月 13 日	千葉市立稲毛小 4 年	生態園	111	萩野康則・御巫由紀・パートナー1 名
3 月 6 日	千葉市川戸保育所年長	生態園	22	萩野康則・パートナー1 名
3 月 6 日	千葉市平山保育所年長	生態園	24	萩野康則・御巫由紀・パートナー2 名

Data 4A.4　学習キットの貸出

キット名	利用区分	貸出日	返却日	日数	利用対象	貸出先	利用者数	担当
生命と大地の歴史を体感する化石キット	実演	7 月 25 日		1	教員	中央博物館利用研修会	18	加藤久佳
	実演	8 月 11 日		1	小学生以上	館行事「化石の模型をつくろう 2」	37	
	出前	8 月 23 日		1	小学生	鎌ヶ谷市立北中沢児童センター	50	
	実演	12 月 22 日		1	小学生	山武市生涯学習課募集のイベント	26	
	貸出	2 月 11 日	2 月 23 日	12	中学生	千葉市立幕張西中学校	390	
	貸出	3 月 8 日	3 月 22 日	14	中学生	千葉市立星久喜中学校	80	
哺乳類標本貸し出しキット	貸出	6 月 12 日	7 月 20 日	38	中学生	千葉市星久喜中学校	126	落合啓二
	貸出	7 月 1 日	7 月 15 日	14	小学生	旭市立三川小学校	140	
	展示	7 月 24 日	8 月 3 日	10	一般	八千代市環境保全課	174	
	貸出	10 月 6 日	10 月 20 日	14	中学生	市原市立有秋中学校	120	
	貸出	5 月 25 日	5 月 28 日	3	小学 4 年生以上	千葉市科学館	23	

②野草カードの提供（担当：斎木健一）

提供日	県内・県外	小、中、高	学校名
6 月 5 日	県内	小学校	八千代市立村上東小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立秋津小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立大久保東小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立香澄小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立鷺沼小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立袖ヶ浦西小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立袖ヶ浦東小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立津田沼小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立東習志野小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立藤崎小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立実花小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立実籾小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立向山小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立谷津小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立谷津南小学校
7 月 30 日	県内	小学校	習志野市立屋敷小学校
11 月 16 日	県内	小学校	浦安市立入船南小学校
11 月 16 日	県内	小学校	浦安市立見明川小学校
11 月 16 日	県内	小学校	木更津市立馬来田小学校
11 月 16 日	県内	小学校	神崎町立神崎小学校
11 月 16 日	県内	小学校	佐倉市立小竹小学校
11 月 16 日	県内	小学校	白井市立大山口小学校
11 月 16 日	県内	小学校	千葉市立院内小学校
11 月 16 日	県内	小学校	千葉市立幸町第三小学校
11 月 16 日	県内	小学校	千葉市立寒川小学校
11 月 16 日	県内	小学校	千葉市立千城台北小学校
11 月 16 日	県内	小学校	千葉市立登戸小学校
11 月 16 日	県内	小学校	銚子市立豊里小学校
11 月 16 日	県内	小学校	富里市立七栄小学校
11 月 16 日	県内	小学校	船橋市立高根東小学校

11 月 16 日	県内	小学校	船橋市立坪井小学校
11 月 16 日	県内	小学校	船橋市立中野木小学校
11 月 16 日	県内	小学校	船橋市立古和釜小学校
11 月 16 日	県内	小学校	船橋市立法典小学校
11 月 16 日	県内	小学校	船橋市立法典東小学校
11 月 16 日	県内	小学校	船橋市立豊富小学校
11 月 16 日	県内	小学校	船橋市立前原小学校
11 月 16 日	県内	小学校	船橋市立丸山小学校
11 月 16 日	県内	小学校	松戸市立上本郷小学校
11 月 16 日	県内	小学校	松戸市立常盤平第三小学校
11 月 16 日	県内	小学校	松戸市立梨香台小学校
11 月 16 日	県内	小学校	八街市立実住小学校
11 月 16 日	県内	小学校	八街市立八街東小学校
11 月 16 日	県内	小学校	四街道市立中央小学校
11 月 16 日	県内	小学校	船橋市立南本町小学校
7 月 30 日	県内	中学校	習志野市立第一中学校
7 月 30 日	県内	中学校	習志野市立第五中学校
7 月 30 日	県内	中学校	習志野市立第三中学校
7 月 30 日	県内	中学校	習志野市立第七中学校
7 月 30 日	県内	中学校	習志野市立第二中学校
7 月 30 日	県内	中学校	習志野市立第四中学校
7 月 30 日	県内	中学校	習志野市立第六中学校
11 月 16 日	県内	中学校	市川市立柏井小学校
11 月 16 日	県内	中学校	浦安市立入船中学校
11 月 16 日	県内	中学校	船橋市立葛飾中学校
11 月 16 日	県内	中学校	船橋市立行田中学校
11 月 16 日	県内	中学校	船橋市立七林中学校
11 月 16 日	県内	中学校	船橋市立船橋中学校
11 月 16 日	県内	中学校	船橋市立芝山中学校
11 月 16 日	県内	中学校	習志野市立第七中学校
1 月 16 日	県内	中学校	船橋市立旭中学校
1 月 16 日	県内	中学校	船橋市立葛飾中学校
1 月 16 日	県内	中学校	船橋市立二宮中学校
1 月 16 日	県内	中学校	船橋市立船橋中学校
1 月 16 日	県内	中学校	船橋市立豊富中学校
1 月 16 日	県内	中学校	船橋市立宮本中学校
11 月 16 日	県内	その他	船橋市教育センター
11 月 16 日	県内	その他	千葉市科学館
11 月 16 日	県内	その他	葛南教育事務所
11 月 16 日	県内	その他	千葉県総合教育センター
11 月 16 日	県外	小学校	小山市立旭小学校
11 月 16 日	県外	小学校	真岡市立大内西小学校
11 月 16 日	県外	小学校	西桂町立西桂小学校
11 月 16 日	県外	小学校	宇都宮市立瑞穂台小学校
11 月 16 日	県外	小学校	宇都宮市立中央小学校
11 月 16 日	県外	小学校	春日部市立八木坂小学校
11 月 16 日	県外	小学校	大和市立大野原小学校
11 月 16 日	県外	小学校	宇都宮市立細谷小学校
11 月 16 日	県外	小学校	大田原市立親園小学校
11 月 16 日	県外	小学校	羽村市立松林小学校
11 月 16 日	県外	小学校	川口市立新郷東小学校
11 月 16 日	県外	小学校	江東区立南陽小学校
11 月 16 日	県外	小学校	大河原町立大河原小学校
11 月 16 日	県外	小学校	八潮市立柳之宮小学校
11 月 16 日	県外	小学校	川口市立新郷東小学校
11 月 16 日	県外	小学校	長野市立信里小学校
11 月 16 日	県外	小学校	高崎市立吉井西小学校
11 月 16 日	県外	小学校	横浜市立小机小学校
11 月 16 日	県外	小学校	佐野市立田沼小学校
11 月 16 日	県外	小学校	佐野市立旗川小学校
11 月 16 日	県外	小学校	取手市立白山西小学校
1 月 26 日	県外	小学校	京都市立桃山小学校
7 月 10 日	県外	中学校	宇治市立北宇治中学校
11 月 16 日	県外	中学校	涌谷町立涌谷中学校
11 月 16 日	県外	中学校	松島町立松島中学校
4 月 27 日	県外	高校	埼玉県立和光高校

Data 4A.5　学校支援

（小：小学校、中：中学校、高：高校、特：特別支援学校、大：大学）

	実施日	依頼団体	事業内容	参加者数	実施場所	担当
小	4 月 20 日	君津市立三島小学校	校庭の生きもの	15	三島小学校	尾崎煙雄
〃	5 月 2 日	千葉市立本町小学校 6 年	博物館学習	34	本館	一場郁夫・三浦和信
〃	5 月 2 日	千葉市立本町小学校 5 年	春の展示「芽ばえ」解説	45	本館	大野啓一
〃	5 月 2 日	いすみ市立東海小学校 3・4 年	春の展示「芽ばえ」解説	76	本館	大野啓一
〃	5 月 11 日	君津市立三島小学校	3、4 年生理科授業	14	三島小学校	尾崎煙雄
〃	6 月 1 日	君津市立小櫃小学校	君津市教育委員会スクールミュージアム事業	46	小櫃小学校	尾崎煙雄
〃	7 月 12 日	あしたの国シュタイナー学園	博物館学習	7	本館	一場郁夫・岡崎浩子
〃	9 月 28 日	成田高校付属小学校	博物館学習	100	本館・生態園	一場郁夫・萩野康則
〃	10 月 12 日	君津市立久留里小学校	自然観察会	30	清和県民の森	尾崎煙雄
〃	10 月 17 日	君津市立小櫃小学校	昆虫の観察会	35	小櫃小学校	尾崎煙雄
〃	10 月 18 日	千葉市立あすみが丘小学校特別支援学級 2-6 年生	野鳥観察	14	生態園	大庭照代
〃	10 月 31 日	印西市立大森小学校	博物館学習	49	本館	一場郁夫・白井　豊
〃	11 月 14 日	佐倉市井野小学校	博物館学習	117	本館	展示室当番
〃	11 月 30 日	秋田県潟上市立飯田小学校	環境学習特別授業	97	飯田小学校	林紀男
〃	11 月 30 日	秋田県潟上市立大豊小学校	環境学習特別授業	118	大豊小学校	林紀男
〃	1 月 11 日	鎌ヶ谷市立中部小学校	博物館学習	163	本館	大野啓一・ 一場郁夫・林　紀男
〃	1 月 16 日	君津市立坂畑小学校	教員研修	8	坂畑小校庭	大木淳一
〃	1 月 22 日	印西市立永治小学校	博物館学習	15	本館	一場郁夫・白井　豊
中	5 月 31 日	千葉明徳中学校	野草カードを用いた授業	47	千葉明徳中学校	斎木健一
〃	6 月 7 日	千葉明徳中学校	押し葉標本の作り方	46	本館	天野　誠
〃	6 月 19 日	千葉市立星久喜中学校	博物館学習「貸出資料」	36	中学校	一場郁夫
〃	7 月 14 日	千葉明徳中学校	サイエンスパートナーシッププロジェクト	48	本館	斎木健一
〃	10 月 4 日	千葉明徳中学校	校内の森の調査	47	千葉明徳中学校	原　正利
〃	10 月 11 日	木更津市立鎌足中学校	総合学習「矢那川の環境を調べる」勉強会講師	42	木更津市立鎌足中学校	林　紀男
〃	11 月 26 日	柏市立松葉中学校	柏市立松葉中学校第 3 学年理科特別授業「落ち葉の下の動物」	204	柏市立松葉中学校	萩野康則
〃	12 月 5 日	南房総市立丸山中学校	SPP 理科授業「嶺岡の大地を知ろう(1)」	48	南房総市	高橋直樹
〃	12 月 14 日	私立共栄中学校	博物館学習	64	講堂・本館	一場郁夫・古木達郎
〃	1 月 16 日	南房総市立丸山中学校	SPP 理科授業「嶺岡の大地を知ろう(2)」	47	本館	高橋直樹・岡崎浩子・ボランティア 2 名
〃	1 月 26 日	君津市立君津中学校	博物館学習	5	会議室・本館	一場郁夫・倉西良一
中高	8 月 9 日	独法科学技術振興機構・千葉大学教育学部	サイエンスキャンプ DX	28	本館	高橋直樹・斉藤明子・駒井智幸
高	6 月 13 日	千葉県立君津青葉高等学校 1 学年	博物館学習	154	本館生態園	一場郁夫
〃	6 月 30 日	千葉県立鎌ヶ谷西高等学校	中高生の科学部活動振興事業連携講座	9	本館	高橋直樹
〃	7 月 27 日	千葉県立大多喜高等学校	大多喜高校 2012 年サイエンスパートナーシッププロジェクト	22	本館	中村俊彦
〃	7 月 30 日	千葉県立千葉高等学校	課題研究対応	1	本館	黒住耐二
〃	7 月 31 日	千葉県立千葉高等学校	課題研究対応	3	本館	黒住耐二
〃	8 月 1 日	國學院久我山中学高等学校	理科部野外実習	14	本館	高橋直樹
〃	8 月 8 日	千葉県立千葉高等学校	課題研究対応	3	本館	黒住耐二
〃	9 月 21 日	千葉県立袖ヶ浦高等学校	情報コミュニケーション科校外学習	43	本館	林　浩二
〃	10 月 26 日	千葉県立印旛明誠高等学校	SPP サイエンス・パートナーシップ・プログラム–千葉県の地層を観察しよう	23	本館	岡崎浩子・高橋直樹
〃	11 月 14 日	千葉県立長生高等学校	SSH サイエンスフィールドワーク【地学野外実習】事前学習	20	千葉県立長生高等学校	高橋直樹
〃	11 月 25 日	千葉県立長生高等学校	SSH サイエンスフィールドワーク事前講義	22	自室などで対応	加藤久佳
〃	12 月 15 日	千葉県立長生高等学校	SSH サイエンスフィールドワーク【地学野外実習】	22	鴨川市	高橋直樹・加藤久佳
〃	12 月 16 日	千葉県立印旛明誠高等学校	SPP サイエンス・パートナーシップ・プログラム–千葉県の地層を観察しよう	28	印西市	岡崎浩子
〃	1 月 12 日	千葉県立印旛明誠高等学校	SPP「千葉県の地層を観察しよう 2」	19	銚子市	高橋直樹
〃	1 月 20 日	千葉県立印旛明誠高等学校	SPP「千葉県の地層を観察しよう 2」	21	いすみ市	高橋直樹
〃	2 月 19 日	千葉県立長生高等学校	SSH プログラムにおける SSL	74	千葉県立長生高校	落合啓二
特	6 月 7 日	千葉県立千葉盲学校	カエルの授業	15	千葉県立千葉盲学校	大木淳一
〃	11 月 21 日	千葉県立千葉盲学校(中等部)	野鳥を観察しよう	12	生態園	桑原和之
〃	2 月 14 日	千葉特別支援学校	野外活動支援	13	生態園	林　紀男
〃	2 月 21 日	千葉特別支援学校	野外活動支援	5	生態園	林　紀男

大	3 月 31 日	放送大学	博物館教育論('12)		放送大学	林　浩二
〃	5 月 7 日	東邦大学理学部	総合演習 III	20	東邦大学	林　浩二
〃	5 月 23 日	千葉大教育学部	生物学実験	28	県内	斉藤明子
〃	5 月 27 日	自由学園最高学部	自然探索実習	8	本館	林　浩二・大野啓一・原　正利
〃	6 月 3 日	東邦大学理学部	総合演習 III	20	本館	林　浩二
〃	8 月 8 日	順天堂大学スポーツ健康学部	生涯学習概論	9	県外	駒井智幸・林浩二
〃	8 月 30 日 〜9 月 1 日	東邦大学理学部	野外自然観察実習	22	県内	林　紀男
〃	8 月 30 日	立正大学文学部	施設見学実習	6	本館	林浩二・駒井智幸・萩野康則
〃	8 月 31 日	千葉経済大学	学芸員養成課程見学実習	21	本館	島立理子
〃	9 月 3 日 〜5 日	東邦大学理学部	野外自然観察実習	24	県内	林　紀男
〃	9 月 11 日	東京大学	企画展「シカとカモシカ」展示解説	6	本館	落合啓二
〃	9 月 27 日	東京成徳大学	江戸時代の東京湾	55	東京成徳大学	筑紫敏夫
〃	9 月 29 日	千葉大学	第 6 回高校生理化研究発表会	300	千葉大学	黒住耐二
〃	10 月 11 日・12 日	高知大学総合研究センター長・高知大学･JICA	平成 24 年度「海域における水産資源の管理及び培養コース」講義	7	土佐市	乃一哲久
〃	10 月 17 日	千葉大教育学部	生物学実験	25	県内	斉藤明子
〃	12 月 2 日・3 日	千葉大学大学院園芸学研究科	緑地科学特別講義２	9	南房総市	大野啓一
〃	12 月 8 日	法政大学人間環境学部	概要説明・バックヤード見学・生態園概要説明	13	生態園	林　浩二・山口　剛
〃	12 月 10 日	千葉経済大学短期大学部	生涯学習概論	16	千葉経済大学短期大学部	一場郁夫
〃	3 月 27 日	聖徳学園	博物館学習	11	本館	尾崎煙雄
〃	4 月 13 日	東京大学大学院	地域自然誌論の講義	5	東京大学大学院柏キャンパス	由良　浩
〃	5 月 26 日	東京大学大学院	地域自然誌論の講義	5	東京大学大学院柏キャンパス	由良　浩
〃	5 月 27 日	日本獣医生命科学大学	博物館実習	11	生態園	林　浩二・原　正利
〃	8 月 30 日	立正大学	学芸員課程見学	5	生態園	萩野康則

Data 4A.6　人材教育支援

①職場体験（中学生）

実施日	日数	学校名	人数	担当科	担当者
5 月 17 日・18 日	2	千葉市立都賀中学校（２年）	3	生態	山口・林紀男
6 月 13 日・14 日	2	千葉市立稲毛高校附属中学校（２年）	3	植物	斎木
6 月 27 日・28 日	2	千葉市立緑が丘中学校（２年）	3	歴史	歴史科全員
6 月 27 日・28 日	2	千葉市立星久喜中学校（２年）	2	地学	岡崎・八木
6 月 28 日・29 日	2	千葉市立真砂中学校（２年）	3	植物	古木
6 月 29 日	1	千葉市立末広中学校（２年）	3	生態	林紀男
9 月 19 日・20 日	2	千葉市立川戸中学校（２年）	3	地学	岡崎・八木
10 月 31 日・11 月 1 日	2	東金市立西中学校（２年）	3	動物	立川
11 月 6 日・7 日	2	習志野市立第 ２ 中学校（２年）	3	歴史	郷掘
11 月 6 日・7 日	2	千葉市立葛城中学校（２年）	2	地学	高橋・伊左治
11 月 13 日・14 日	2	東金市立東中学校（２年）	3	歴史	郷掘
11 月 13 日・14 日	2	千葉市立松ヶ丘中学校（２年）	2	資料	駒井・友田
11 月 14 日・15 日	2	船橋市立宮本中学校（２年）	3	環境	桑原・落合
11 月 15 日・16 日	2	千葉市立磯辺第２中学校（１年）	2	動物	宮
11 月 20 日・21 日	2	東金市立東金中学校（２年）	3	生態	山口・林紀男
11 月 20 日・21 日	2	千葉市立小中台中学校（２年）	3	資料	友田・駒井
11 月 27 日	1	千葉市立有吉中学校（２年）	2	教育	奥田
11 月 27 日・28 日	2	千葉市立おゆみ野南中学校（２年）	3	環境	桑原
11 月 28 日・29 日	2	千葉市立花園中学校（２年）	3	資料	斉藤
11 月 28 日・29 日	2	千葉市立磯辺第１中学校（１年）	3	動物	黒住
11 月 29 日・30 日	2	市原市立ちはら台南中学校（２年）	3	生態	御巫・大庭
1 月 22 日・23 日	2	四街道西中学校（２年）	3	環境	桑原・倉西
1 月 30 日・31 日	2	千葉市立蘇我中学校（２年）	3	植物	古木

②インターンシップ

実施日	日数	学校名	対象	参加者数	実施場所	担当
8 月 25 日～9 月 7 日	5	千葉商科大学	大学生	2	野鳥観察舎	大庭
9 月 5 日～9 日	5	東京成徳大学	大学生	1	野鳥観察舎	大庭
8 月 25 日～30 日	5	新潟大学	大学生	1	野鳥観察舎	大庭
9 月 8 日～14 日	5	東邦大学	大学生	1	野鳥観察舎	大庭
8 月 11 日～18 日	7	城西大学	大学生	1	野鳥観察舎	大庭
8 月 11 日～25 日	12	日本獣医生命科学大学	大学生	1	野鳥観察舎	大庭
7 月 26 日～8 月 12 日	10	木更津工業専門学校	大学生	1	野鳥観察舎	大庭
9 月 11 日～14 日	4	首都大学東京	大学生	1	図書室	友田
9 月 19 日～10 月 21 日	5	東京情報大学	大学生	1	図書室	友田

③教員研修

実施日	依頼団体	研修名	参加者数	実施場所	担当
4 月 25 日	目黒区教育委員会	平成 24 年度小学校興津自然宿泊体験教室に係る研修	4	生態園	萩野康則
5 月 28 日	君津市立坂畑小学校	教員研修（亀山学）	7	君津市坂畑	島立理子
5 月 31 日	君津市立三島小学校	教員研修（縄文土器について）	7	君津市	島立理子
7 月 7 日	君津市立三島小学校	教員研修（昔ばなし、染色の方法）	3	県内	島立理子
7 月 11 日	船橋市教育研究協議会	小学校教育研究協議部会学校園・環境研究部会研修会	21	本館	落合啓二・萩野康則・林　浩二
7 月 25 日～27 日	千葉県総合教育センター	県立学校等 10 年経験者研修	2	生態園	林　浩二・萩野康則
7 月 30 日	習志野市教育委員会指導課	平成 24 年度第 1 回教科等主任等研修会「理科」	23	習志野市総合教育センター	斎木健一
8 月 2 日	君津市小中学校教育研究会	生活・総合部会野外研修会	30	富津市	立川浩之
8 月 9 日	千葉市教育研究会	理科部会研修	38	銚子市	岡崎浩子
8 月 10 日	君津教育研究会事務部会	君津教育研究会事務部会研修会	10	鹿野山	尾崎煙雄
8 月 22 日	千葉市教育委員会理科部会緑区ブロック	緑区理科部会研修	20	本館	岡崎浩子
8 月 29 日・30 日	船橋市教育委員会学校教育部総合研究センター	教育事情調査研究事業にかかる研修生	1	本館	林　浩二
9 月 11 日	千葉市教育研究会	社会科教員を対象にした博物館利用の紹介と展示室解説	44	本館	一場郁夫
9 月 13 日	千葉市教育委員会理科部会緑区ブロック	緑区理科部会研修	35	本館	岡崎浩子
9 月 30 日	千葉市立新宿小学校	校庭の樹木に関する研修会	6	千葉市立新宿小学校	大野啓一
9 月 30 日	木更津市立鎌足中学校	水辺の環境調査方法指導	2	本館	林　紀男
12 月 3 日	君津市立坂畑小学校	教員研修	8	君津市立坂畑小学校	尾崎煙雄

4A.7　団体・機関支援

①特別利用

実施日	依頼団体	事業内容	参加者数	実施場所	担当
5 月 11 日	成田野の花会	春の展示「芽ばえ」解説	9	本館	大野啓一
5 月 13 日	やどりぎ研究会	春の展示「芽ばえ」解説	8	本館	大野啓一
5 月 15 日	千葉の自然に親しむ会	春の展示「芽ばえ」解説	27	本館	大野啓一
5 月 15 日	千葉みちくさ会	春の展示「芽ばえ」解説	10	本館	大野啓一
8 月 3 日	千葉県総合教育センター	平成 24 年度小・中学校自然体験活動研修	32	本館	斎木健一・天野　誠
8 月 10 日	国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター	社会教育主事講習	10	本館	乙竹孝文
8 月 28 日	JICA	ベトナムの生物多様性保全研修	15	本館	中村俊彦
9 月 7 日	安房生物愛好会	企画展「シカとカモシカ」展示解説	8	本館	落合啓二
9 月 7 日	千葉県立青少年教育施設長会議	企画展「シカとカモシカ」展示解説	15	本館	落合啓二
9 月 13 日	自然保護指導員・自然公園指導員研修	企画展「シカとカモシカ」展示解説	30	本館	落合啓二
10 月 30 日	教和会	ティラノサウルス展展示解説	21	本館	伊左治鎭司
11 月 20 日	千葉市野鳥の会	第 99 回談話会	11	生態園	萩野康則（桑原和之）
12 月 12 日	日本野鳥の会千葉県	探鳥会	33	本館	桑原和之
12 月 19 日	会津博物館連絡協議会	概要説明	13	本館	林　浩二
12 月 22 日	山武市生涯学習課	午前は自由見学、午後に化石レプリカ作り	26	本館	加藤久佳
1 月 20 日	早稲田コミュニティカレッジ	地学展示室の解説	26	本館	八木令子
1 月 22 日	千葉県生涯大学校京葉学園	博物館学習	32	本館	郷堀英司・林　浩二
2 月 2 日	日本野鳥の会千葉県	探鳥会	20	本館	桑原和之

②講座等講師

実施日	依頼団体	事業内容	参加者数	実施場所	担当
4 月 7 日	築地土曜会・おさかな勉強会	勉強会講師	25	県外	黒住耐二
4 月 17 日	安房生物愛好会	観察会	29	清和県民の森	尾崎煙雄
4 月 27 日	南外房環境クラブ	植生調査講習会	2	勝浦市鵜原地区	尾崎煙雄
5 月 7 日	茨城県美浦村教育委員会	陸平貝塚ボランティア研修会	17	小櫃川河口干潟	黒住耐二
5 月 10 日	NPO 法人千葉自然学校	シニア自然大学	40	本館	由良　浩
5 月 19 日	大多喜城分館	大多喜植物観察会	4	大多喜町大多喜県民の森	天野　誠
5 月 24 日	NPO 法人千葉自然学校	シニア自然大学	42	本館	古木達郎
5 月 30 日	松戸市観光協会/松戸市商工観光課	千葉県の歴史と観光	53	松戸市商工会議所	立和名明美
6 月 10 日	印西歴史愛好会	房総の出羽三山信仰	28	印西市小林公民館	島立理子
6 月 10 日	千葉県生涯大学校　京葉学園	博物館学習	22	本館	高橋直樹
6 月 10 日	公益財団法人日本自然保護協会	海岸植物の調査法を学び、人と自然とのふれあいを語る「地域会合」・「海岸植物群落の特徴と海岸植物群落との関係」	16	津軽石川河口	由良　浩
6 月 14 日	NPO 法人千葉自然学校	シニア自然大学	47	養老渓谷	大木淳一
6 月 17 日	公益財団法人日本自然保護協会	海岸植物の調査法を学び、人と自然とのふれあいを語る「地域会合」・「海岸植物群落の特徴と海岸植物群落との関係」	30	野蒜市民センター	由良　浩
6 月 19 日	日本蘚苔類学会 国立科学博物館	コケ類入門講座	20	国立科学博物館	古木達郎
6 月 20 日	もっともっと千葉 OB 会	梵天に見る房総の出羽三山信仰	20	千葉市生涯学習センター	小林裕美
6 月 22 日	九十九地区幼稚園園長部会	九十九里のたんぼの生きもの今昔	26	つくも学遊館（九十九里町）	大木淳一
6 月 23 日	東金こども科学館	自然科学教室「はちみつのひみつ」	60	東金こども科学館	宮野伸也
6 月 24 日	佐倉市立臼井公民館	地域づくり入門講座「まちを記憶する写真を未来へ」	6	佐倉市立臼井公民館	白井　豊
6 月 24 日	公益財団法人日本自然保護協会	海岸植物の調査法を学び、人と自然とのふれあいを語る「地域会合」・「海岸植物群落の特徴と海岸植物群落との関係」	11	いわき海浜自然の家	由良　浩
7 月 1 日	千葉市立加曽利貝塚博物館友の会	千葉市立加曽利貝塚博物館友の会講演会	20	県内	黒住耐二
7 月 7 日	千葉県総合教育センター	自由研究相談会	8	県内	斉藤明子
7 月 7 日	京都精華大学	シンポジウム 環境教育をラディカルに問い直すーー『環境教育学』（法律文化社）を手掛かりにーー	80	京都精華大学（京都市）	林 浩二
7 月 8 日	公益財団法人日本自然保護協会	砂はま観察会＆貝がら教室	28	千葉市美浜区検見川の浜	黒住耐二
7 月 12 日	君津市清和公民館	地域課題学習	8	君津市清和公民館	島立理子
7 月 14 日	緑懇ちば	第２５回緑懇ちば	25	本館	中村俊彦
7 月 16 日	フィールドミュージアム三番瀬の会	行徳鳥獣保護区での植物観察会	32	行徳鳥獣保護区	由良　浩
7 月 22 日	公益財団法人日本自然保護協会	海岸植物の調査法を学び、人と自然とのふれあいを語る「地域会合」・「海岸植物群落の特徴と海岸植物群落との関係」	20	青森県立少年自然の家	由良　浩
7 月 26 日	千葉市教育委員会学校教育部	理科教育センター植物観察会	60	生態園・青葉の森公園	由良　浩
7 月 26 日	千葉県教育振興部生涯学習課	千葉県夢チャレンジ体験スクール事業「サイエンススクール　昆虫標本を作ってみよう！」	42	本館	斉藤明子
7 月 26 日	八街市立図書館	夏休み子ども科学講座「地震をさぐる」	27	八街市立図書館	高橋直樹
7 月 28 日	NPO いんば	印旛沼のプランクトン紹介	65	千葉県水産研究センター内水面水産研究所	林　紀男
8 月 4 日	ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社	「ふるさと考古学―遺跡と人のワークショップ　パート７．貝の考古学―」	18	茨城県ひたちなか市	黒住耐二
8 月 5 日	岐阜県高山市荘川支所地域振興課	荘川化石フォーラム	100	岐阜県高山市荘川支所文化ホール	伊左治鎭司
8 月 6 日	秋田県秋田地域振興局	八郎湖児童交流会	85	秋田県潟上市昭和公民館	林　紀男
8 月 9 日	千葉そごう	キッズアカデミー　本物の化石にさわってみよう！	82	県内	伊左治鎭司
8 月 16 日	千葉そごう	キッズアカデミー　本物の化石にさわってみよう！	84	県内	森田利仁・伊左治鎭司
8 月 18 日	国立科学博物館	科博コラボミュージアム「アロサウルス」展	91	陸前高田市立米崎地区コミュニティセンター	加藤久佳
8 月 21 日	君津市清和公民館	伝統芸能・文化についての調査	4	君津市市宿	島立理子
8 月 22 日	千葉そごう	キッズアカデミー　目指せ！昆虫博士～昆虫標本クイズに挑戦しよう！～	36	県内	斉藤明子
8 月 23 日	鎌ヶ谷市北中沢児童センター	夏の特別教室	50	鎌ヶ谷市北中沢児童センター	加藤久佳
8 月 23 日	日本水処理生物学会	水処理生物基礎講座/水生植物の同定･水辺への再生技術	8	生態園	林　紀男
8 月 24 日	日本水処理生物学会	水処理生物基礎講座/水生植物の同定･水辺への再生技術	8	印旛沼	林　紀男

8 月 27 日	君津市清和公民館	地域課題学習	4	県内	島立理子
8 月 31 日	公益財団法人日本自然保護協会	インターンシップ補助	2	本館	黒住耐二
9 月 7 日	農林水産省植物防疫所	平成 24 年度植物防疫官専門研修（害虫コース）講師	15	県外	黒住耐二
9 月 8 日	千葉市生涯学習振興課	千葉市未来の科学者育成プログラム	31	本館	落合啓二
9 月 12 日	上総地区交流センター	久留里学入門講座　久留里鎌と雨城楊枝	20	君津市上総地域交流センター	小林裕美
9 月 12 日	佐倉市民カレッジ	身近な自然環境の最近の話題	100	佐倉市中央公民館	倉西良一
9 月 15 日	公益財団法人日本自然保護協会	海岸植物の調査法を学び、人と自然とのふれあいを語る「地域会合」・「海岸植物群落の特徴と海岸植物群落との関係」	15	国民宿舎サンライズ九十九里	由良　浩
9 月 18 日	君津市清和公民館	地域課題学習	5	君津市清和公民館	島立理子
9 月 20 日	NPO 法人千葉自然学校	シニア自然大学	39	本館	宮野伸也
9 月 22 日	公益財団法人日本自然保護協会	海岸植物の調査法を学び、人と自然とのふれあいを語る「地域会合」・「海岸植物群落の特徴と海岸植物群落との関係」	20	ウイングプラザ（名取駅コミュニティプラザ）	由良　浩
9 月 23 日	印西地域史研究会	印西地域史講座	50	印西市中央駅前交流館	郷堀英司
9 月 23 日	公益財団法人日本自然保護協会	砂はま観察会＆貝がら教室	14	津市河芸町	黒住耐二
9 月 28 日	文化庁	文化庁主催第 2 回ミュージアム・エデュケーター研修	60	東京都美術館	林　浩二
9 月 29 日	東金こども科学館	化石発掘体験	46	東金こども科学館	加藤久佳
9 月 30 日	水辺の植物同好会	水生植物再生講座	20	生態園	林　紀男
10 月 2 日	京葉学園	博物館学習	49	本館	黒住耐二
10 月 3 日	佐倉自然同好会	観察会	20	銚子市の海岸	由良　浩
10 月 6 日	千葉県高等学校体育連盟登山専門部	千葉県高等学校新人登山大会	100	大日山～御殿山	八木令子
10 月 11 日	NPO 法人千葉自然学校	シニア自然大学	40	本館	倉西良一
10 月 12 日	千葉県文書館	入門コース(1)	113	千葉県文書館 6 階	筑紫敏夫
10 月 15 日	千葉県文書館	入門コース(2)	115	千葉県文書館 6 階	筑紫敏夫
10 月 15 日	植生学会	エクスカーション	45	東京大学千葉演習林	尾崎煙雄
10 月 18 日	NPO 法人千葉自然学校	シニア自然大学	43	清和県民の森	尾崎煙雄
10 月 19 日	千葉県文書館	入門コース(3)	114	千葉県文書館 6 階	筑紫敏夫
10 月 20 日・21 日	独立行政法人　海洋研究開発機構	日本甲殻類学会第 50 回大会	100	熊本市（熊本大学）	駒井智幸
10 月 24 日	NPO 法人千葉自然学校	シニア自然大学	40	生態園	林　紀男
10 月 25 日	NPO 法人千葉自然学校	シニア自然大学	40	本館	大野啓一
10 月 25 日	NPO 法人千葉自然学校	シニア自然大学	40	生態園	林　紀男
10 月 28 日	（財）自然環境研究センター	JICA／国際協力機構平成２４年度アルゼンチン国別研修「標本管理」コース	7	本館	斉藤明子
11 月 6 日	自然保護課生物多様性センター	ヒメコマツ観察会	5	清和県民の森	尾崎煙雄
11 月 10 日	関東高等学校体育大会	平成 24 年度第 56 回関東高等学校登山大会	120	県内	八木令子
11 月 17 日	県立博物館	千葉学講座	20	県立美術館	内田龍哉
11 月 19 日	自然系調査研究機関連絡会議	自然系調査研究機関連絡会議	156	市民センターおおみや	林　紀男
11 月 28 日	勝浦市	植生調査講習会	4	勝浦市鵜原地区	尾崎煙雄
11 月 29 日	印旛地域振興協議会　第 1 回観光振興専門部会／印旛地域振興事務所	第 2 回観光振興専門部会	25	本館	岡崎浩子
12 月 1 日	さわやか県民プラザ	柏の葉アカデミア講座Ⅳ	36	さわやか県民プラザ	三浦和信
12 月 2 日	印西市教育委員会	考古学公開セミナー「印西の遺跡から縄文文化の謎を探る」	120	印西市立中央公民館	三浦和信
12 月 6 日	NPO 法人千葉自然学校	シニア自然大学	39	本館	岡崎浩子
12 月 8 日	ナメコロジー研究会	研究会での講演	68	主婦会館プラザエフ	黒住耐二
12 月 8 日	銚子市	恐竜時代の銚子の森	50	銚子市青少年文化会館	斎木健一
12 月 8 日	勝浦市	植生調査講習会	16	勝浦市鵜原地区	尾崎煙雄
12 月 11 日	君津市教育委員会、東大演習林	坂畑小スクールミュージアム	30	県内	大木淳一
12 月 22 日	君津市久留里城址資料館	博物館講座「用水を歩く」	20	君津市久留里城址資料館	島立理子
12 月 22 日	日本植物友の会	花のサロン「日本のバラ野生種」	38	ルーテル市ヶ谷センター	御巫由紀
1 月 18 日	千葉県立中央図書館	川・河川にまつわる資料展示会	149	千葉県立中央図書館	内田龍哉・佐藤　誠
1 月 19 日	千葉県立天羽高等学校	開放講座（参加者：一般市民）	21	天羽高校	内田龍哉
1 月 26 日	銚子市教育委員会	銚子今昔物語りの講演	60	県内	八木令子
1 月 27 日	自然と共に生きる会	特別講演「ミツバチの生活」	30	東山社会教育館	宮野伸也
1 月 30 日	南外房環境クラブ	植生図講習会	6	勝浦市	尾崎煙雄

2 月 8 日	公益財団法人日本自然保護協会	自然しらべ 2012.貝がらさがし！結果報告会	25	東京都千代田区（丸の内さえずり館）	黒住耐二
2 月 16 日	安房生物愛好会	外来種について	50	館山市コミュニティセンター	尾崎煙雄
2 月 16 日	公益財団法人日本自然保護協会	東日本海岸調査報告会～海岸植物、海、そして人～」	30	ニコンプラザ仙台	由良　浩
2 月 17 日	君津市文化課	化石から探る上総丘陵の大地の歴史	200	君津市中央図書館	加藤久佳
2 月 17 日	植生学会・公益財団法人日本自然保護協会	平成 24 年度植生学会・日本自然保護協会シンポジウム「岩手の海岸の自然再生に向けて～東日本大震災後の海岸植生の自律的再生と共存のために～」・「市民調査によって明らかとなった海岸の植生の変化」	160	いわて県民情報交流センター	由良　浩
2 月 28 日	銚子ジオパーク推進市民の会	銚子ジオパーク　マスター講座	57	千葉科学大学（銚子市）	高橋直樹
3 月 1 日	美しい手賀沼を愛する市民の連合会	調査活動報告会	44	手賀沼親水広場	林　紀男
3 月 6 日	南外房環境クラブ	タゴガエル調査指導	3	県内	大木淳一
3 月 10 日	市原ボーイスカウト第 3 団カブ隊	鋸山の地質	20	本館	大木淳一
3 月 14 日	東京都西部公園緑地事務所	井の頭池かいぼりシンポジウム	70	井の頭文化園	林　紀男
3 月 23 日	コア SSH 推進委員会	千葉県高等学校課題研究発表会	559	県内	高橋直樹・山口　剛
3 月 30 日	浦安中央公民館	わくわくエコ講座	18	生態園	大庭照代

③学会・研究会等の開催

実施日	依頼団体	事業内容	参加者数	実施場所	担当
5 月 12 日	千葉県地学教育研究会	平成 24 年度第 1 回　授業で使える初歩からの地学実験教室	60	本館	高橋直樹
5 月 12 日	房総地学会	平成 24 年度総会・講演会	20	本館	高橋直樹
5 月 13 日	千葉市野鳥の会	第 95 回談話会	3	本館	桑原和之
5 月 13 日	房総石造文化財研究会	総会、講演会	20	本館	白井　豊
5 月 13 日	ヤドリギ研究会	ヤドリギ調査報告会	7	本館	尾崎煙雄
5 月 20 日	房総貝類談話会	第 1 回例会	19	本館	黒住耐二
7 月 9 日	房総石造文化財研究会	石仏勉強会	16	本館	白井　豊
7 月 29 日	房総貝類談話会	第 2 回例会	9	本館	黒住耐二
8 月 4 日	房総地学会	房総地学会　第 63 回談話会	14	本館	高橋直樹
9 月 2 日	千葉市野鳥の会	第 96 回談話会	2	本館	桑原和之
9 月 9 日	房総貝類談話会	第 3 回例会	10	県内	黒住耐二
9 月 15 日	千葉市野鳥の会	第 97 回談話会	5	本館	桑原和之
10 月 18 日	日本特用林産振興会	きのこの分類・同定」についての講義，顕微鏡による研修	29	本館	古木達郎
10 月 21 日	千葉県昆虫談話会	第 81 回例会の開催	24	本館	斉藤明子
11 月 16 日	千葉市野鳥の会	第 98 回談話会	8	本館	桑原和之
11 月 17 日	房総地学会・湘南地球科学の会	房総地学会　第 64 回談話会・湘南地球科学の会　第 154 回例会	38	本館	高橋直樹
11 月 18 日	千葉県生物学会	第 65 回児童生徒生物研究発表大会	115	本館	原・古木・天野・斎木・尾崎・御巫
11 月 20 日	千葉市野鳥の会	第 99 回談話会	11	生態園	桑原和之（萩野康則）
11 月 20 日	自然系調査研究機関連絡会議	自然系調査研究機関連絡会議	45	埼玉県環境科学国際センター	林　紀男
11 月 25 日	千葉県地学教育研究会	第 62 回地学研究発表会（児童・生徒）	34	本館	高橋直樹
11 月 25 日	日本水処理生物学会	日本水処理生物学会大会	175	北里大学	林　紀男
11 月 30 日	千葉県高等学校教育研究会歴史部会	千高教研歴史部会生徒歴史研究発表会	85	本館	郷堀英司
12 月 1 日	千葉市野鳥の会	第 100 回談話会	7	香取市佐原	桑原和之
12 月 1 日	千葉市野鳥の会	観察会	6	香取市佐原	桑原和之
12 月 6 日	千葉市野鳥の会	第 101 回談話会	3	生態園	桑原和之
12 月 8 日	千葉市野鳥の会	第 102 回談話会	16	本館	桑原和之
12 月 9 日	房総貝類談話会	第 4 回例会	11	本館	黒住耐二
12 月 10 日	房総石造文化財研究会	石仏勉強会	14	本館	白井　豊
12 月 12 日	千葉市野鳥の会	第 103 回談話会	10	本館	桑原和之
12 月 15 日	千葉市野鳥の会	第 104 回談話会	2	本館	桑原和之
12 月 16 日	千葉県昆虫談話会	第 82 回例会の開催	34	本館	斉藤明子
12 月 22 日	千葉県地学教育研究会	平成 25 年度総会・研究発表会・談話会	21	本館	高橋直樹
1 月 20 日	千葉県文化財保護協会	文化財講演会	116	本館	郷堀英司
2 月 2 日	千葉市野鳥の会	第 105 回談話会	4	本館	桑原和之

2 月 9 日・10 日	東北・関東前方後円墳研究会	第 18 回研究大会	126	本館	郷堀英司
2 月 11 日	房総石造文化財研究会	平成 24 年度勉強会	17	本館	白井　豊
2 月 11 日	千葉市野鳥の会	第 106 回談話会	1	本館	桑原和之
2 月 17 日	千葉市野鳥の会	第 107 回談話会	2	本館	桑原和之
2 月 17 日	千葉県昆虫談話会	第 83 回例会の開催	22	本館	斉藤明子
2 月 19 日	千葉市野鳥の会	第 108 回談話会	7	本館	桑原和之
2 月 24 日	千葉県生物学会	2013 年度総会・講演会・会員研究発表会	48	本館	原・古木・尾崎・御巫
3 月 2 日	千葉県文化財保護協会	文化財講演会	195	本館	郷堀英司
3 月 2 日	千葉市野鳥の会	第 109 回談話会	2	大利根分館	桑原和之
3 月 5 日	千葉市野鳥の会	第 110 回談話会	6	本館	桑原和之
3 月 9 日	日本地質学会関東支部	房総・三浦地質研究サミット	128	本館	高橋直樹
3 月 10 日	日本地質学会関東支部	房総・三浦地質研究サミット	83	本館	高橋直樹
3 月 24 日	千葉市野鳥の会	第 111 回談話会	3	本館	桑原和之
3 月 24 日	房総貝類談話会	第 5 回例会	15	県内	黒住耐二

④調査指導

実施日	依頼団体	事業内容	参加者数	実施場所	担当
6月 27 日～29 日	沖縄県北谷町教育委員会	桑江伊平土地区画整理事業に係る発掘調査出土の貝類分析及び指導		北谷町教育委員会	黒住耐二
7月 1 日～4 日	沖縄県立埋蔵文化財センター	首里城跡出土貝類遺体の分析指導		沖縄県立埋蔵文化財センター	黒住耐二
7月 17 日～19 日	熊本県教育委員会	下江中島遺跡埋蔵文化財発掘調査における資料調査・指導		熊本県文化財資料室	黒住耐二
8 月 23 日	鹿児島県伊仙町教育委員会	面縄遺跡出土遺物の指導		伊仙町教育委員会	黒住耐二
9 月 11 日・12 日	南種子町教育委員会	平成 24 年度町内遺跡発掘等事業に伴う指導		南種子町一陣長崎鼻遺跡	黒住耐二
9月 17 日～19 日	島根県環境保健公社	隠岐陸産貝類調査	9	隠岐諸島	黒住耐二
7 月 4 日	環境省皇居外苑管理事務所	皇居外濠水生植物調査	10	野外（県外）	林　紀男
9 月 10 日	県土整備部河川環境課	印旛沼水草探検隊補足調査	16	野外（県内）	林　紀男
11 月 8 日	美しい手賀沼を愛する市民の連合会	手賀沼オオカワジシャ調査	8	野外（県内）	林　紀男
11 月 26 日	美しい手賀沼を愛する市民の連合会	手賀沼オオカワジシャ調査	4	野外（県内）	林　紀男
3 月 21 日	秋田県	秋田地域振興局	2	印旛沼	林　紀男

4A.8　友の会支援

①行事講師

実施日	事業内容	参加者数	実施場所	担当
4 月 22 日	総会講演会講師	40	本館	落合啓二
5 月 8 日	港湾研究所および銚子の観察会	31	茨城県鹿島市，銚子市	岡崎浩子
5 月 15 日	友の会生きもの教室	15	本館	駒井智幸
5 月 23 日	自然観察会	42	茨城県石岡市・桜川市（筑波山）	原　正利
6 月 9 日	化石採集会　上総層群の化石ー上総湊	30	富津市湊	伊左治鎭司
6 月 19 日	生きもの教室 蜂蜜を知る・蜂蜜を楽しむ	13	本館	宮野伸也
7 月 13 日・14 日	観察会下見	3	箱根	御巫由紀
7 月 14 日	生きもの教室「青葉の森の虫さがし」	18	県内	斉藤明子
7 月 20 日	自然観察会「四街道の植物」（下見）	4	四街道総合公園付近	天野　誠
8 月 19 日	自然観察会	4	県内	林　浩二
8 月 24 日・25 日	第２回自然観察会	32	山梨県笛吹市芦川町新道峠、甲斐市神の湯温泉、山梨市牧丘町乙女高原	大野啓一
9 月 1 日	自然観察会	25	横芝光町・多古町（多古・光湿原）	林　浩二
9 月 18 日	友の会生きもの教室「サンゴのお話」	15	本館	立川浩之
11 月 18 日	化石採集会　千畑層の化石ー鋸山	50	鋸南町奥元名	伊左治鎭司

②展示解説・講座

実施日	事業内容	参加者数	実施場所	担当
4 月 11 日	春の展示「芽ばえ」	10	本館	大野啓一
5 月 2 日	生態園の雄花さがし（初夏編）	2	生態園	奥田昌明
6 月 13 日	和紙-歴史と技術-（講座）	11	本館	乙竹孝文
7 月 18 日	企画展「シカとカモシカ」の展示解説	10	本館	落合啓二
8 月 8 日	縄文時代関連の話（講座）	6	本館	三浦和信
10 月 24 日	ティラノサウルス展展示解説	15	本館	伊左治鎭司
11 月 14 日	生態園トピックス展「ムカデとヤスデ」解説会	9	生態園	萩野康則
12 月 12 日	化石の話（地学展示室を中心として）（講座）	7	本館	森田利仁
1 月 16 日	出土遺物巡回展「時空を超えて」	9	本館	郷堀英司
2 月 27 日	学校の博物館活用について（講座）	3	本館	一場郁夫
3 月 13 日	生態園トピックス展「写真で見る生態園の生きものたち」	20	生態園	林　紀男

③自主活動支援

実施日	事業内容	参加者数	実施場所	担当
4 月 8 日	コケサークル研修会　地衣類銚子海岸観察会	8	銚子海岸	原田　浩
4 月 16 日	〃　第 45 回研修会「蘚苔類昭和の森観察会」	10	千葉市昭和の森	古木達郎
7 月 9 日	〃　第 47 回研修会「八ヶ岳蘚苔類観察会」	9	長野県茅野市八ヶ岳	〃
10 月 18 日	〃　第 49 回研修会「蘚苔類観察会」	中止	鋸山	古木達郎
2 月 7 日	〃　第 51 回研修会「蘚苔類顕微鏡観察」	10	本館	〃
4 月 6 日	ヒスイの会（岩石勉強会）	8	本館	高橋直樹
4 月 12 日	〃	7	〃	〃
4 月 20 日	〃	11	〃	〃
4 月 26 日	〃	9	〃	〃
5 月 10 日	〃	2	〃	〃
5 月 11 日	〃	12	〃	〃
5 月 17 日	〃	9	〃	〃
5 月 25 日	〃	9	〃	〃
5 月 31 日	〃	8	〃	〃
6 月 8 日	〃	9	〃	〃
6 月 12 日	〃	2	〃	〃
6 月 22 日	〃	7	〃	〃
6 月 27 日	〃	2	〃	〃
7 月 5 日	〃	10	〃	〃
7 月 13 日	〃	7	〃	〃
7 月 19 日	〃	7	〃	〃
8 月 14 日	〃	2	〃	高橋直樹（岡崎）
8 月 24 日	〃	4	〃	高橋直樹（八木）
8 月 31 日	〃	5	〃	高橋直樹
9 月 7 日	〃	8	〃	〃
9 月 14 日	〃	8	〃	〃
9 月 27 日	〃	8	〃	〃
10 月 5 日	〃	11	〃	〃
10 月 12 日	〃	8	〃	〃
10 月 18 日	〃	8	〃	〃
10 月 26 日	〃	9	〃	〃
11 月 2 日	〃	9	〃	〃
11 月 15 日	〃	7	〃	〃
11 月 27 日	〃	7	〃	〃
12 月 7 日	〃	9	〃	〃
12 月 13 日	〃	5	〃	〃
12 月 21 日	〃	10	〃	〃
1 月 11 日	〃	11	〃	〃
1 月 18 日	〃	14	〃	〃
1 月 25 日	〃	12	〃	〃
2 月 1 日	〃	10	〃	〃
2 月 8 日	〃	9	〃	〃
2 月 15 日	〃	11	〃	〃
2 月 22 日	〃	11	〃	〃
3 月 1 日	〃	10	〃	〃
3 月 15 日	〃	8	〃	〃
3 月 22 日	〃	7	〃	〃
3 月 29 日	〃	8	〃	〃

DATA 4B　教育普及　<大利根分館>

Data 4B.1～3　年間行事（講座等の主催、展示解説、川のフィールドミュージアム事業）

シリーズ名	行事名	実施日	対象	定員	参加者数	担当
ギャラリートーク	企画展「水郷を旅する人々Ⅱ」ギャラリートーク	5 月 27 日	般	20	15	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	6 月 3 日	般	20	14	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	6 月 10 日	般	20	17	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	6 月 17 日	般	20	28	糠谷隆･佐藤誠
〃	企画展「水郷を旅する人々Ⅱ」展示解説会	6 月 24 日	般	60	19	糠谷隆･佐藤誠
講座「水郷の自然と歴史」	利根川の水鳥	5 月 26 日	般	40	6	糠谷隆･佐藤誠
〃	水郷を旅する人々	6 月 16 日	般	40	23	糠谷隆･佐藤誠
〃	水郷地方の古墳文化（講師：栗田則久（千葉県教育振興財団・文化財センター）	9 月 15 日	般	40	7	糠谷隆･佐藤誠
〃	常陸国風土記に見る印波の鳥見の丘と霞の郷	10 月 13 日	般	40	8	糠谷隆･佐藤誠
〃	ウナギの話	11 月 17 日	般	40	8	
〃	水郷のいしぶみ、水郷の鳥たち	3 月 2 日	般	40	8	糠谷隆･佐藤誠
夏休み子供教室	かわいいカモをつくろう	8 月 11 日	小～	40	37	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	8 月 12 日	小～	40	70	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	9 月 1 日	小～	40	27	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	9 月 2 日	小～	40	45	糠谷隆･佐藤誠
〃	ザリガニ釣り	7 月 22 日	小～	40	129	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	7 月 29 日	小～	40	65	糠谷隆･佐藤誠
〃	まが玉をつくろう	8 月 18 日	小～	40	19	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	8 月 19 日	小～	40	23	糠谷隆･佐藤誠
〃	甲冑を着てみよう	8 月 25 日	小	20	10	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	8 月 26 日	小	20	10	糠谷隆･佐藤誠
〃	砂の中のたからものをさがそう	7 月 28 日	小4～中	20	72	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	8 月 4 日	小4～中	20	78	糠谷隆･佐藤誠
体験教室	かざぐるまをつくろう	4 月 28 日	般	40	4	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	4 月 29 日	般	40	8	糠谷隆･佐藤誠
〃	手がた・足がたをとろう	5 月 5 日	般	40	3	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	5 月 6 日	般	40	5	糠谷隆･佐藤誠
〃	十二単体験	3 月 3 日	般	40	47	糠谷隆･佐藤誠
	昭和の名車大集合!!	11 月 24 日	―	-	372	糠谷隆
フィールドミュージアム	いきもの調査隊	11 月 10 日	小～	-	3	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	12 月 1 日	小～	-	7	糠谷隆･佐藤誠
〃	いしぶみ調査隊	10 月 6 日	小～	-	-	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	11 月 3 日	小～	-	4	糠谷隆･佐藤誠
〃	〃	12 月 8 日	小～	-	4	糠谷隆･佐藤誠

Data 4B.4.1　学習キットの貸出

キット名	利用区分	貸出日	日数	対象	貸出先	利用者数	担当
灯の歴史体験キット	実演	6 月 17 日	1	小	四街道市立和良比小学校	104	糠谷隆・佐藤誠
〃	〃	7 月 13 日	1	小	佐倉市立上志津小学校	90	〃
〃	〃	8 月 5 日	1	―	千葉市青少年相談員サマーキャンプ	39	〃
〃	〃	9 月 26 日	1	小	我孫子市立我孫子第一小学校	110	〃
〃	〃	10 月 4 日	1	小	大網白里町立増穂北小学校	57	〃
〃	〃	10 月 19 日	1	小	旭市立富浦小学校	35	〃
〃	出前展示	10 月 11 日～22 日	11	小	千葉大学附属小学校	853	〃
〃	実演	10 月 23 日	1	小	我孫子市立高野台小学校	134	〃
〃	〃	10 月 24 日	1	小	銚子市立高神小学校	52	〃
〃	〃	10 月 24 日	1	小	東庄町立笹川小学校	42	〃
〃	〃	10 月 26 日	1	小	鎌ヶ谷市立道野辺小学校	126	〃
〃	〃	10 月 26 日	1	小	我孫子市立新木小学校	98	〃
〃	〃	10 月 29 日	1	小	大網白里町立大網小学校	66	〃
〃	〃	2 月 26 日	1	保	香取市立新島保育園	31	〃
〃	〃	10 月 4 日	1	小	大網白里町立増穂小学校	57	〃
〃	〃	10 月 26 日	1	小	大網白里町立白里小学校	66	〃
〃	〃	11 月 2 日	1	小	多古町立中村小学校	26	〃
〃	〃	11 月 6 日	1	小	市川市稲荷木小学校	80	〃
〃	〃	11 月 7 日	1	小	市川市立大野小学校	158	〃
〃	〃	11 月 13 日	1	小	多古町立常盤小学校	19	〃
〃	〃	11 月 22 日	1	小	香取市立佐原小学校	180	〃
〃	〃	11 月 22 日	1	小	御宿町立御宿小学校	42	〃
〃	〃	11 月 27 日	1	小	市川市立百合台小学校	100	〃
〃	〃	12 月 5 日	1	小	香取市立八都第二小学校	13	〃
〃	〃	12 月 5 日	1	小	神崎町立神崎小学校	43	〃
〃	〃	12 月 6 日	1	小	富津市立環小学校	19	〃
〃	〃	12 月 11 日	1	小	市川市立法典東小学校	96	〃
〃	〃	12 月 18 日	1	小	香取市立山倉小学校	11	〃
〃	〃	1 月 16 日	1	小 3	匝瑳市立吉岡小学校	21	〃
〃	〃	1 月 16 日	1	小 3	旭市立嚶鳴小学校	81	〃
〃	〃	1 月 22 日	1	小 3	茨城県潮来市立延方小学校	23	〃
〃	〃	1 月 25 日	1	小 4	旭市立嚶鳴小学校	82	〃
〃	〃	1 月 31 日	1	小 3	茨城県潮来市立日の出小学校	27	〃
〃	〃	2 月 4 日	1	小 3	茨城県潮来市立日の出小学校	27	〃
〃	〃	2 月 5 日	1	小 3	茨城県潮来市立大生原小学校	11	〃
〃	〃	2 月 6 日	1	小 3	香取市立府馬小学校	26	〃
〃	〃	2 月 6 日	1	小 3	旭市立矢指小学校	24	〃
〃	〃	2 月 6 日	1	小 3	茨城県潮来市立日の出小学校	28	〃
〃	〃	2 月 13 日	1	小 3	神崎町立米沢小学校	14	〃
〃	〃	2 月 15 日	1	小 3	香取市立新島小学校	14	〃
〃	〃	2 月 15 日	1	小 3	香取市立北佐原小学校	21	〃
〃	〃	2 月 26 日	1	小 3	香取市立神南小学校	22	〃
〃	〃	2 月 28 日	1	小 3	香取市立小見川小学校	27	〃
古い道具とむかしのくらし	展示	9 月 28 日～10 月 31 日	23	小	千葉大学附属小学校	731	〃
〃	出前授業	10 月 22 日	1	小	千葉大学附属小学校	122	〃
〃	〃	12 月 14 日	1	小 3	市川市立妙典小学校	120	糠谷隆
〃	〃	1 月 16 日	1	小 3	市川市立塩焼小学校	136	〃
〃	〃	1 月 23 日	1	小 3	柏市立花野井小学校	68	〃
〃	〃	1 月 25 日	1	小 3	茨城県潮来市立牛堀小学校	49	〃
〃	〃	2 月 1 日	1	小 3	八街市立朝陽小学校	114	〃
〃	〃	2 月 6 日	1	小 3	八街市立実住小学校	135	〃
〃	〃	2 月 7 日	1	小 3	香取市立小見川小学校	103	〃
〃	〃	2 月 15 日	1	小 3	船橋市立高根東小学校	89	〃
〃	〃	2 月 18 日	1	小 3	柏市立南部小学校	124	〃
〃	〃	2 月 21 日	1	小 3	柏市立柏の葉小学校	248	〃
〃	〃	2 月 22 日	1	小 3	印西市立内野小学校	61	〃

Data 4B.5　学校団体支援

①学校団体解説

実施日	学校名	対象	参加者数	担当
2 月 26 日	香取市立新島保育園	保	31	糠谷隆･佐藤誠
6 月 17 日	四街道市立和良比小学校	小 5	104	〃
7 月 13 日	佐倉市立上志津小学校	小 5	97	〃
9 月 26 日	我孫子市立我孫子第一小学校	小 3	104	〃
10 月 4 日	大網白里町立増穂北小学校	小	57	〃
10 月 19 日	旭市立富浦小学校	小	35	〃
10 月 23 日	我孫子市立高野台小学校	小	134	〃
10 月 24 日	東庄町立笹川小学校	小	42	〃
10 月 24 日	銚子市立高神小学校	小	52	〃
10 月 26 日	鎌ケ谷市立道野辺小学校	小	123	〃
10 月 26 日	我孫子市立新木小学校	小	101	〃
10 月 26 日	大網白里町立白里小学校	小	66	〃
10 月 29 日	大網白里町立大網小学校	小	66	〃
11 月 2 日	多古町立中村小学校	小	26	〃
11 月 6 日	市川市稲荷木小学校	小	80	〃
11 月 7 日	市川市立大野小学校	小	158	〃
11 月 13 日	多古町立常盤小学校	小	19	〃
11 月 22 日	香取市立佐原小学校	小	180	〃
11 月 22 日	御宿町立御宿小学校	小	42	〃
11 月 27 日	市川市立百合台小学校	小	100	〃
12 月 5 日	香取市立八都第二小学校	小	13	〃
12 月 5 日	神崎町立神崎小学校	小	43	〃
12 月 6 日	富津市立環小学校	小	19	〃
12 月 11 日	市川市立法典東小学校	小	96	〃
12 月 18 日	香取市立山倉小学校	小	11	〃
1 月 16 日	匝瑳市立吉岡小学校	小 3	21	〃
1 月 16 日	旭市立嚶鳴小学校	小 3	81	〃
1 月 22 日	茨城県潮来市立延方小学校	小 3	23	〃
1 月 25 日	旭市立嚶鳴小学校	小 4	82	〃
1 月 31 日	茨城県潮来市立日の出小学校	小 3	27	〃
2 月 4 日	茨城県潮来市立日の出小学校	小 3	27	〃
2 月 5 日	茨城県潮来市立大生原小学校	小 3	11	〃
2 月 6 日	香取市立府馬小学校	小 3	26	〃
2 月 6 日	旭市立矢指小学校	小 3	24	〃
2 月 6 日	茨城県潮来市立日の出小学校	小 3	28	〃
2 月 13 日	神崎町立米沢小学校	小 3	14	〃
2 月 15 日	香取市立新島小学校	小 3	14	〃
2 月 15 日	香取市立北佐原小学校	小 3	21	〃
2 月 26 日	香取市立神南小学校	小 3	22	〃
2 月 28 日	香取市立小見川小学校	小 3	27	〃

②出前授業「古い道具とむかしのくらし」

実施日	学校名	対象	参加者数	担当
10 月 22 日	千葉大学附属小学校	小	122	糠谷隆･佐藤誠
12 月 14 日	市川市立妙典小学校	小 3	120	糠谷隆
1 月 16 日	市川市立塩焼小学校	小 3	136	〃
1 月 23 日	柏市立花野井小学校	小 3	68	〃
1 月 25 日	茨城県潮来市立牛堀小学校	小 3	49	〃
2 月 1 日	八街市立朝陽小学校	小 3	114	〃
2 月 6 日	八街市立実住小学校	小 3	135	〃
2 月 7 日	香取市立小見川小学校	小 3	103	〃
2 月 15 日	船橋市立高根東小学校	小 3	89	〃
2 月 18 日	柏市立南部小学校	小 3	124	〃
2 月 21 日	柏市立柏の葉小学校	小 3	248	〃
2 月 22 日	印西市立内野小学校	小 3	61	〃
1 月 18 日	千葉県立千葉中学校	中 1	88	佐藤誠

Data 4B.7　団体・機関等への支援（一般団体解説）

実施日	学校名	対象	参加者数	担当
8 月 6 日	千葉市青少年相談員サマーキャンプ	般	39	糠谷隆･佐藤誠
10 月 24 日	四街道市社会福祉協議会	般	40	〃
11 月 4 日	牛久市景観まちづくりネット	般	26	〃
11 月 5 日	香取農業事務所	般	30	〃
11 月 22 日	佐倉城址公園ボランティアの会	般	26	〃
12 月 15 日	佐原水生植物園	般	17	〃
12 月 16 日	佐原水生植物園	般	18	〃
1 月 25 日	県佐原農業事務所	般	60	〃
1 月 28 日	房総史料調査会	般	32	〃
2 月 15 日	十六島俳句会	般	20	〃
3 月 6 日	高齢者介護施設エクセルシオール	般	8	〃

DATA 4C　教育普及データ　<大多喜城分館>

Data 4C.1～2　年間行事（講座等の主催、展示解説）

シリーズ名	行事名	開催日	対象	定員	参加者数	実施場所	講師
博物館セミナー	大多喜植物観察会	5 月 20 日	小高学年～	30	4	大多喜県民の森	天野　誠
〃	大多喜で虫探し	8 月 9 日	小～	20	7	大多喜県民の森	斉藤明子
〃	大多喜城めぐり	8 月 24 日	小～	30	15	館内・城周辺	小高春雄（館外）
〃	きのこ観察会	10 月 12 日	一般	40	17	他施設	吹春俊光（房総のむら）
〃	博物館セミナー「仏教美術を鑑る～かたちと願い～」	11 月 19 日	一般		25	館内	植野英夫（文化財課）
〃	古文書講座	12 月 14 日	一般	40	20	館内	内田龍哉
〃	古文書講座	1 月 18 日		40	12	館内	乙竹孝文
〃	夷隅の城めぐり	1 月 21 日	一般	40	13	万木城公園	小高春雄（館外
〃	古文書講座	2 月 15 日	一般	40	13	館内	高橋覚（房総のむら）
企画展関連事業	講演会「上総の仏教美術」	11 月 12 日	一般		27	館内	中尾堯（立正大学）
体験教室	甲冑・小袖の試着	5 月 6 日	小中・般	20	52	館内	地引・福原・ボラ 9
〃	甲冑・小袖の試着	6 月 16 日	小中・般	20	38	館内	地引・福原・村田・ボラ 4
〃	甲冑・小袖の試着	11 月 4 日	小中・般	20	44	館内	地引・福原・内田・ボラ 3
〃	甲冑・小袖の試着	2 月 12 日	小中・般	20	46	館内	地引・福原・村田・ボラ 8
〃	甲冑・小袖の試着	3 月 4 日	小中・般	20	36	館内	福原・村田・ボラ 8
ミュージアムトーク	特別公開Ⅰ「江戸風俗図屏風」	4 月 2 日	一般		20	館内	村田
〃	企画展解説	11 月 12 日	一般		25	館内	〃
〃	企画展解説	11 月 18 日	一般		35	館内	〃
〃	企画展解説	11 月 24 日	一般		70	館内	〃
〃	企画展解説	11 月 25 日	一般		52	館内	〃
〃	企画展解説	11 月 26 日	一般		67	館内	地引
〃	企画展解説	12 月 3 日	一般		52	館内	村田
〃	企画展解説	12 月 9 日	一般		72	館内	〃
〃	企画展解説	12 月 10 日	一般		47	館内	地引
大多喜お城まつり	大多喜お城まつり	10 月 1 日	小・中・高・大・一般		702	館内	
体験教室	甲冑・小袖の試着	9 月 24 日	一般		15	館内	地引・福原・村田・ボラ 3
体験教室	古の音の調べ（鼓演奏・体験）	9 月 24 日	一般		74	館内	

Data 4C.4.1　学習キットの貸出

キット名称(略称)	区分	開始日	返却日	貸出先	利用人数
甲冑・小袖	実演	5 月 5 日	5 月 5 日	体験教室	52
甲冑・小袖	実演	5 月 11 日	5 月 11 日	いすみ市国吉中学校	33
甲冑・小袖	実演	6 月 12 日	6 月 12 日	国際交流団体あんさんぶる茂原	49
甲冑・小袖	実演	6 月 15 日	6 月 15 日	体験教室	38
甲冑・小袖	実演	6 月 29 日	6 月 29 日	長南町立東小・西小	37
甲冑・小袖	実演	7 月 4 日	7 月 4 日	長南町立長南小・豊栄小	34
甲冑・小袖	実演	7 月 19 日	7 月 19 日	体験教室ボランティア	6
甲冑・小袖	実演	7 月 22 日	7 月 22 日	市原市姉妹都市モビール市よりホームステイ学生	8
甲冑・小袖	実演	7 月 31 日	7 月 31 日	君津市青少年相談員	27
甲冑・小袖	実演	8 月 9 日	8 月 9 日	いすみ市教育委員会大原中学校	32
甲冑・小袖	貸出	8 月 25 日	8 月 26 日	大利根分館	20
甲冑・小袖	実演	9 月 6 日	9 月 6 日	川村学園女子大学	26
甲冑・小袖	出前	9 月 12 日	9 月 12 日	大多喜町立西畑小学校	17
甲冑・小袖	出前	9 月 21 日	9 月 21 日	市原市立海上小学校	17
甲冑・小袖	実演	9 月 23 日	9 月 23 日	大多喜町	15
甲冑・小袖	実演	9 月 26 日	9 月 26 日	オーストラリア青少年日本研修（ホームステイ）	12
甲冑・小袖	実演	10 月 4 日	10 月 4 日	大多喜町立大多喜小学校	3
甲冑・小袖	実演	10 月 4 日	10 月 4 日	韓国の方	2
甲冑・小袖	実演	10 月 27 日	10 月 27 日	千葉県観光誘致促進課	36
甲冑・小袖	実演	11 月 3 日	11 月 3 日	体験教室	44
甲冑・小袖	実演	11 月 18 日	11 月 18 日	市川市国際交流協会	40
甲冑・小袖	実演	11 月 22 日	11 月 22 日	城西国際大学	20
甲冑・小袖	出前	1 月 10 日	1 月 10 日	四街道市立八木原小学校	75
甲冑・小袖	展示	1 月 17 日	1 月 17 日	ファムツアー	10
甲冑・小袖	実演	2 月 8 日	2 月 8 日	いすみ市国吉小学校	23
甲冑・小袖	実演	2 月 11 日	2 月 11 日	体験教室	46
甲冑	実演	2 月 28 日	2 月 28 日	四街道市立大日小学校	82
甲冑・小袖	実演	3 月 3 日	3 月 3 日	体験教室	36
袴	実演	3 月 28 日	3 月 28 日	ボランティア研修会	12

Data 4C.5　学校団体支援（職場体験・博物館実習を含む）

シリーズ名	開催日	行事名	実施場所	対象	連携先	参加者数	担当
歴史教室	2 月 9 日	大多喜城の歴史	館内	保	つぐみの森保育園	44	地引
〃	6 月 30 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	館内	小	長南町立東小・西小	37	地引・福原・村田
〃	7 月 5 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	館内	小	長南町立長南小・豊栄小	34	
〃	2 月 9 日	大多喜城の歴史・兜の試着体験	館内	小	いすみ市国吉小学校	23	福原・村田
〃	5 月 12 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	館内	小	いすみ市立国吉中学校	33	地引・福原・村田
〃	8 月 10 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	館内	中	いすみ市立大原中学校	32	地引・福原・村田
〃	11 月 23 日	企画展解説	館内	高	千葉県立大多喜高等学校	121	村田
〃	7 月 7 日	大多喜城の歴史	館内	特	千葉県立市原特別支援学校・つるまい特別支援学校	30	福原
〃	9 月 7 日	大多喜城の歴史，展示解説，甲冑・小袖の試着体験	館内	大	川村学園女子大学	26	地引・村田
〃	11 月 23 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	館内	大	城西国際大学	20	地引・福原・村田
総合学習	11 月 8 日	生活科「町はっけん」学習	館内	小	大多喜町立大多喜小学校	7	村田
〃	11 月 11 日	大多喜町の“すてき”発見	館内	小	大多喜町立総元小学校３年生	4	地引
〃	7 月 27 日	大多喜城の歴史	館内	小	いすみ市立国吉中学校	6	村田
出前授業	9 月 13 日	社会科戦国時代の学習・甲冑、小袖の試着体験	他施設	小	大多喜町立西畑小学校	17	地引・村田
〃	9 月 22 日	社会科戦国時代の学習・甲冑、小袖の試着体験	他施設	小	市原市立海上小学校	17	地引

〃	1 月 11 日	社会科戦国時代の学習	他施設	小	四街道市立八木原小学校	75	地引・村田
〃	3 月 1 日	社会科戦国時代の学習・甲冑、小袖の試着体験	他施設	小	四街道市立大日小学校	82	地引・村田
職場体験	10 月 5 日	「ゆめ・仕事ぴったり体験」	館内	小	大多喜町立大多喜小学校	3	福原
博物館実習	8 月 16-19 日	博物館実習	館内	大	国士舘大学・東洋大学	2	福原・地引・村田

Data 4C.7　団体・行政支援（一般団体）

①歴史教室（館内）

開催日	行事名	連携先	参加者数	担当
4 月 5 日	大多喜城の歴史	酒々井市タウンカレッジ	20	村田
4 月 20 日	大多喜城の歴史	玉縄歴史の会	35	地引
4 月 22 日	大多喜城の歴史	株式会社千葉センシティ	30	筑紫
4 月 25 日	大多喜城の歴史	日美会	32	本吉
5 月 13 日	大多喜城の歴史	京成臨海バスツアー	34	福原
5 月 26 日	大多喜城の歴史	藤寿会	15	福原
5 月 30 日	大多喜城の歴史・展示解説	シニア自然大学	28	地引
6 月 2 日	大多喜城の歴史	小見川文化協会	43	地引
6 月 3 日	大多喜城の歴史	東京成徳大学	11	福原
6 月 8 日	大多喜城の歴史	小見川文化協会	36	地引
6 月 8 日	大多喜城の歴史	千葉県退職者公務員連盟	23	村田
6 月 10 日	大多喜城の歴史	東京都盲人福祉協会	29	地引
6 月 13 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	国際交流団体あんさんぶる茂原	49	地引・福原・村田
6 月 23 日	大多喜城の歴史・展示解説	自衛官募集相談員連絡協議会	22	地引
6 月 24 日	ウォークラリー	県民の日夷隅地域実行委員会	160	地引
6 月 28 日	大多喜城の歴史	小見川文化協会	37	地引
6 月 30 日	大多喜城の歴史	市原市教育センター	20	村田
7 月 2 日	大多喜城の歴史	千葉市文化芸術の会	31	地引
7 月 2 日	大多喜城の歴史	吟道社	32	地引
7 月 16 日	大多喜城の歴史	木更津中郷丸	20	地引
7 月 20 日	甲冑の試着体験	体験教室ボランティア	6	地引・村田
7 月 23 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	市原市姉妹都市モビール市よりホームステイ学生	8	地引
8 月 1 日	甲冑・小袖の試着	君津市青少年相談員	27	地引
9 月 5 日	大多喜城の歴史	加須市騎西地域老人クラブ連合会	20	村田
9 月 8 日	大多喜城の歴史	天津小湊公民館いきいき学級	29	福原
9 月 27 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	オーストラリア青少年日本研修（ホームステイ）	12	地引
9 月 30 日	大多喜城の歴史・展示解説	[本多忠勝サミット]一行	50	地引
10 月 4 日	大多喜城の歴史	茂原市本納文化財顕彰会	22	福原
10 月 5 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	韓国の方	2	福原
10 月 7 日	大多喜城の歴史	こやつシニアクラブ	37	地引
10 月 8 日	大多喜城の歴史・展示解説	メキシコプエブラ州テカマルチャルコ市長一行	20	福原
10 月 12 日	大多喜城の歴史	柏人権擁護委員協議会研修会	30	福原
10 月 17 日	大多喜城の歴史	茂原市教育委員会	22	地引
10 月 17 日	大多喜城の歴史	大多喜町立老川小・西畑小	27	福原
10 月 19 日	大多喜城の歴史・展示解説	東武公民館福寿大学	40	地引
10 月 27 日	大多喜城の歴史・展示解説	柳営会	13	地引
10 月 28 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	千葉県観光誘致促進課	36	地引・福原・村田
10 月 29 日	大多喜城の歴史・展示解説	ガールスカウト千葉県第 89 団	21	地引
10 月 29 日	大多喜城の歴史	松三楽生会	21	地引
11 月 7 日	大多喜城の歴史・展示解説	柏古文書研究会	24	村田
11 月 9 日	大多喜城の歴史・展示解説	戸田コミュニティセンター	32	村田
11 月 9 日	大多喜城の歴史	富岡公民館	25	福原
11 月 10 日	大多喜城の歴史	かつしか歴史と民話の会	35	福原
11 月 14 日	企画展解説	夷隅地域振興事務所	10	村田

11 月 15 日	大多喜城の歴史・企画展解説	体験教室ボランティア	6	村田
11 月 15 日	企画展解説	千葉県公民館研究大会	55	村田
11 月 17 日	大多喜城の歴史	東会	36	村田
11 月 19 日	大多喜城の歴史，甲冑・小袖の試着体験	市川市国際交流協会	40	地引・福原・村田
11 月 22 日	大多喜城の歴史	東会	39	村田
11 月 22 日	大多喜城の歴史	ふじみ野市いきいきクラブ連合会	47	村田
11 月 23 日	大多喜城の歴史	婦人民主クラブ	21	村田
11 月 23 日	大多喜城の歴史	館山市社会福祉協議会	31	福原
11 月 25 日	大多喜城の歴史	白銀小学校区まちづくり協議会	43	村田
11 月 30 日	企画展解説	千葉市 K8 歴散会	31	村田
12 月 1 日	企画展解説	法華寺	24	村田
12 月 2 日	大多喜城の歴史・企画展解説	ちはら台コミュニティセンター	36	村田
12 月 3 日	大多喜城の歴史・企画展解説	白井小地区社会体育振興会	108	村田・福原
12 月 3 日	大多喜城の歴史・企画展解説	千代田八木節ソーラン	21	村田
12 月 5 日	大多喜城の歴史	船橋市ゆうゆう会	22	地引
12 月 9 日	企画展解説	美浜 3 丁目自治会	35	村田
12 月 21 日	大多喜城の歴史	熊谷市あさざ会	16	福原
1 月 18 日	大多喜城の歴史・企画展解説	ファムツアー	10	立和名・地引
1 月 18 日	大多喜城の歴史	労金友の会	27	福原
1 月 24 日	大多喜城の歴史・展示解説	引田・神代老人クラブ	22	地引
2 月 1 日	大多喜城の歴史	木更津市立東清公民館	30	地引
2 月 8 日	大多喜城の歴史	いきがい大学伊奈学園	97	地引
2 月 10 日	大多喜城の歴史	幸中原地区校長会	14	村田
2 月 16 日	大多喜城の歴史	全国中小企業団体中央会	13	村田
2 月 16 日	大多喜城の歴史	いすみ市受入環境整備サポーター	29	地引
2 月 18 日	大多喜城の歴史・展示解説	群馬県後閑地区区長会	21	地引
2 月 18 日	大多喜城の歴史	君津市八重原ミツバ会	23	地引
2 月 22 日	大多喜城の歴史	柏シルバー大学院 28 期生	43	村田
2 月 23 日	大多喜城の歴史・展示解説	埼玉県春日部学園 11 期史跡クラブ	30	福原
3 月 16 日	大多喜城の歴史	JA 長生女性部	31	地引
3 月 25 日	大多喜城の歴史	所沢友の会	30	地引
3 月 31 日	大多喜城の歴史・展示解説	南総公民館郷土史講座	31	地引

②講師派遣（館外）

開催日	行事名	実施場所	連携先	参加者数	担当
2 月 19 日	博物館文化セミナー	千葉県生涯大学校外房学園	千葉県生涯大学校外房学園	90	福原宣之
2 月 23 日	講演[房総の上総掘り～養老川流域について～]	大多喜町中央公民館	大多喜町文化財保護協会	30	地引尚幸
3 月 14 日	郷土史講座「本多忠勝と大多喜城」	市原市立南総公民館	市原市教育委員会	46	村田憲一

DATA 4D　教育普及データ　<分館海の博物館>

Data 4D.1　講座・観察会等の主催

①事前申込

シリーズ名	行事名	実施日	対象	定員	参加者数	実施場所	担当
講座	名前の秘密　－海の生きもの編－	4 月 30 日	一般	20	2	館内	村田明久
	潮だまりの生きもの	5 月 13 日	一般	20	1	館内	宮田昌彦
	房総災害史　－元禄地震津波－	11 月 18 日	一般	20	6	館内	本吉正宏
	深い海に暮らす生きものたち	2 月 17 日	一般	20	9	館内	川瀬裕司
観察会（海のフィールドミュージアム事業）	親子で磯の生きものを探そう　その 1	4 月 21 日	小～	20	4	館前の磯	川瀬裕司
	潮だまりの海藻	4 月 22 日	一般	20	3	館前の磯	宮田昌彦
	春の鵜原理想郷で植物を観察しよう	4 月 28 日	一般	15	13	鵜原理想郷	青木慎哉
	ウミウシを観察しよう	5 月 6 日	小～	20	18	館前の磯	立川・柳
	エビ・カニを観察しよう	5 月 20 日	小～	20	12	館前の磯	奥野淳兒
	親子で磯の生きものを探そう　その 2	5 月 26 日	小～	20	7	館前の磯	村田明久
	博物館周辺の歴史と文化を訪ねて	10 月 6 日	小～	15	5	鵜原理想郷	本吉正宏
	秋の鵜原理想郷で植物を観察しよう	10 月 21 日	一般	15	7	鵜原理想郷	青木慎哉
	海藻を観察しよう	3 月 16 日	小～	20	13	館前の磯	菊地則雄

②当日申込

シリーズ名	行事名	実施日	対象	定員	参加者数	実施場所	担当
フィールドトリップ(海のフィールドミュージアム事業)	磯・いそ探検隊（個人対象）	5 月 5 日	3 才～	各 15	28	館前の磯	川瀬裕司
	〃	6 月 3 日	〃	各 15	3	館前の磯	村田明久
	〃	6 月 23 日	〃	各 15	5	館前の磯	奥野淳兒
	〃	7 月 21 日	〃	各 15	14	館前の磯	柳研介
	〃	8 月 3 日	〃	各 15	20	館前の磯	村田明久
	〃	8 月 17 日	〃	各 15	34	館前の磯	柳研介
	〃	3 月 30 日	〃	各 15	19	館前の磯	菊地則雄
タッチプール	タッチプール①～④	5 月 3 日	〃	各 10	57	館内飼育室	本吉正宏
	タッチプール①～②	5 月 4 日	〃	各 10	24	館内飼育室	菊地則雄
	タッチプール①～④	8 月 11 日	〃	各 10	66	館内飼育室	青木慎哉
	タッチプール①～④	8 月 12 日	〃	各 10	58	館内飼育室	奥野淳兒
	タッチプール①～④	8 月 13 日	〃	各 10	69	館内飼育室	村田明久
	タッチプール（フィールドトリップ代替）	8 月 18 日	〃	各 15	32	館内飼育室	奥野淳兒
バックヤードツアー	博物館探検隊①～②	6 月 15 日	〃	各 15	32	館内バックヤード	菊地則雄
	博物館探検隊①～②	11 月 3 日	〃	各 15	19	館内バックヤード	本吉正宏
みんなで工作	エコデコイ「こがもちゃん」の色塗り	7 月 16 日	〃	各 15	11	館内	柏木・金子
	コーラルプリントをしよう	7 月 22 日	〃	各 15	17	館内	〃
	海で見つけた材料でオリジナルオブジェをつくろう	7 月 28 日	〃	各 15	26	〃	〃
	エコデコイ「こがもちゃん」の色塗り	8 月 5 日	〃	各 15	12	〃	〃
	コーラルプリントをしよう	8 月 14 日	〃	各 15	29	〃	〃
海の体験コーナーイベント	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	4 月 14 日	一般	各 6	9	〃	〃
	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	4 月 28 日	〃	各 6	5	〃	〃
	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	5 月 12 日	〃	各 6	2	〃	〃
	コーラルプリントをしよう	5 月 26 日	〃	各 6	5	〃	〃
	微小貝を探そう	6 月 9 日	〃	各 6	4	〃	〃
	海藻おしばづくり	9 月 8 日	〃	各 6	10	〃	〃
	微小貝を探そう	9 月 22 日	〃	各 6	10	〃	〃
	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	10 月 13 日	〃	各 6	6	〃	〃
	コーラルプリントをしよう	10 月 20 日	〃	各 6	5	〃	〃
	海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	10 月 28 日	〃	100	100	鴨川青年の家	菊地・青木・金子
	海藻おしばづくり	11 月 10 日	〃	各 6	8	館内	柏木・金子
	微小貝を探そう	11 月 24 日	〃	各 6	10	〃	〃

	微小貝を探そう	12 月 8 日	〃	各 6	4	〃	〃
	コーラルプリントをしよう	12 月 22 日	〃	各 6	9	〃	〃
	海藻おしばを作ろう	1 月 12 日	〃	各 6	7	〃	〃
	オリジナルオブジェを作ろう	1 月 26 日	〃	各 6	13	〃	〃
	コーラルプリントをしよう	2 月 9 日	〃	各 6	8	〃	〃
	シラスをしらべよう	2 月 23 日	〃	各 6	7	〃	〃
	海藻おしばを作ろう	3 月 9 日	〃	各 6	17	〃	〃
	シラスをしらべよう	3 月 23 日	一般	各 6	13	〃	〃

Data 4D.2　展示解説

①個人対象

行事名	実施日	実施場所	対象	参加者数
展示室の歩き方	8 月 3 日	展示室	一般	8
展示室の歩き方	8 月 10 日	展示室	一般	4

②団体対象

団体名・学校名	実施日	実施場所	対象	参加者数
小金井市立東小学校団体見学	5 月 16 日	展示室・バックヤード	学校	72
小金井市立前原小学校団体見学	5 月 17 日	〃	学校	98
小金井市立本町小学校団体見学	5 月 22 日	〃	学校	82
小金井市立緑小学校団体見学	5 月 24 日	〃	学校	48
勝浦市立勝浦小学校団体見学	5 月 29 日	〃	学校	50
小金井市立南小学校団体見学	5 月 30 日	〃	学校	98
小金井市立第二小学校団体見学	6 月 5 日	〃	学校	74
小金井市立第四小学校団体見学	6 月 12 日	〃	学校	97
夷隅特別支援学校	6 月 14 日	〃	学校	11
目黒区立中根小学校	6 月 14 日	〃	学校	71
目黒区立菅刈小学校	7 月 4 日	〃	学校	44
東京海洋大学	8 月 2 日	〃	学校	88
目黒区立五本木小学校	8 月 30 日	〃	学校	59
千葉科学大学	9 月 6 日	〃	学校	47
目黒区立緑ヶ丘小学校	9 月 11 日	〃	学校	43
いすみ市立中根小学校	9 月 12 日	〃	学校	45
鴨川市立天津小学校	9 月 12 日	〃	学校	33
目黒区立碑小学校	9 月 19 日	〃	学校	103
目黒区立中目黒小学校	10 月 25 日	〃	学校	97
目黒区立五本木小学校	11 月 8 日	〃	学校	50
目黒区立碑小学校	11 月 13 日	〃	学校	115
東京都立葛飾野高校団体見学	12 月 15 日	〃	学校	37
慶応女子高校	1 月 10 日	〃	学校	28
勝浦市立清海小学校	1 月 11 日	〃	学校	75
大原地区特別支援学級合同学習会	2 月 5 日	〃	学校	33
いすみ市立太東小学校	2 月 14 日	〃	学校	52
大多喜町立大多喜小学校	3 月 1 日	〃	学校	40
ボーイスカウトビーバー隊	8 月 5 日	〃	一般	38
茂原自然大好きクラブ	9 月 20 日	〃	一般	9
勝浦市公共施設見学会	10 月 31 日	〃	一般	26
千代田の野鳥と自然の会	3 月 3 日	〃	一般	9
岩根公民館青空自然観察サークル	3 月 30 日	〃	一般	35

Data 4D.4　学習キットの貸出

キット名称	貸出日	貸出先	利用者数	利用場所
磯の観察キット	4 月 21 日	磯いそ探検隊参加者	4	館前の磯
〃	4 月 22 日	観察会参加者	3	〃
〃	4 月 23 日	東京大学臨海実習	8	〃
〃	5 月 5 日	磯いそ探検隊参加者	12	〃
〃	5 月 5 日	磯いそ探検隊参加者	16	〃
〃	5 月 6 日	観察会参加者	18	〃
〃	5 月 8 日	有秋公民館	33	〃
〃	5 月 18 日	勝浦市立豊浜小学校	23	〃
〃	5 月 20 日	観察会参加者	12	〃
〃	5 月 21 日	天津わかしお学校	41	〃
〃	5 月 21 日	御宿町立御宿小学校	245	〃
〃	5 月 23 日	豊島区立竹岡健康学園	19	〃
〃	5 月 26 日	磯いそ探検隊参加者	7	〃
〃	5 月 27 日	東京大学大学院実習	7	〃
〃	5 月 27 日	南房総環境クラブ	7	〃
〃	6 月 3 日	磯いそ探検隊参加者	3	〃
〃	6 月 5 日	勝浦市立郁文小学校	75	〃
〃	6 月 5 日	勝浦市立豊浜小学校	58	〃
〃	6 月 6 日	千葉県生涯大学校外房学園	57	〃
〃	6 月 21 日	千葉シニア大学校	47	〃
〃	6 月 22 日	千葉県高等学校理科部会	10	〃
〃	6 月 23 日	磯いそ探検隊参加者	5	〃
〃	6 月 24 日	勝浦市・磯の生きもの探訪	33	〃
〃	7 月 3 日	学芸大学付属小金井小学校	127	〃
〃	7 月 3 日	勝浦市立上野小学校	23	〃
〃	7 月 4 日	いすみ市立千町小学校	24	〃
〃	7 月 7 日	睦沢町公民館　磯の生きもの観察会	9	〃
〃	7 月 10 日	学芸大学付属国際中学校	84	〃
〃	7 月 10 日	茂原市立緑ヶ丘小学校	34	〃
磯の観察キット 海藻おしばキット	7 月 19 日	市津公民館　磯観察、海藻おしば	42	館前の磯・講座実験室
磯の観察キット	7 月 20 日	わかば園【幼稚園】	35	館前の磯
〃	7 月 21 日	磯いそ探検隊参加者	14	〃
〃	7 月 22 日	勝浦市教育研究会ｻﾏｰｽｸｰﾙ磯観察	28	〃
〃	7 月 27 日	東京海洋大学海洋環境学科	114	〃
〃	8 月 1 日	東京都立科学技術高等学校	47	〃
〃	8 月 1 日	千葉県総合教育センター	24	〃
〃	8 月 2 日	埼玉県立熊谷西高等学校	32	〃
〃	8 月 3 日	磯いそ探検隊参加者	20	〃
〃	8 月 4 日	千葉県立岬高等学校	14	〃
〃	8 月 17 日	磯いそ探検隊参加者	34	〃
〃	8 月 18 日	磯いそ探検隊参加者	32	〃
〃	8 月 19 日	千葉県夏休みサイエンススクール	40	〃
〃	3 月 30 日	磯いそ探検隊参加者	19	〃
〃	3 月 30 日	千葉県立岬高等学校	4	〃
海藻おしばキット	6 月 3 日	日本橋女学館中学	20	講座実験室
〃	9 月 8 日	海の体験コーナー海藻おしば①	5	展示室
〃	9 月 8 日	海の体験コーナー海藻おしば②	5	〃
〃	11 月 10 日	海の体験コーナー海藻おしば③	4	〃
〃	11 月 10 日	海の体験コーナー海藻おしば④	4	〃
〃	11 月 23 日	日本橋女学館中学	7	講座実験室
〃	1 月 12 日	海の体験コーナー海藻おしば⑤	4	展示室
〃	1 月 12 日	海の体験コーナー海藻おしば⑥	3	〃
〃	3 月 9 日	海の体験コーナー海藻おしば⑦	8	〃
〃	3 月 9 日	海の体験コーナー海藻おしば⑧	9	〃

Data 4D.5　学校団体支援（野外実習授業・海のフィールドミュージアム事業）

実施日	団体名（学校名）	参加対象	参加者数	実施場所	担当者
7 月 20 日	わかば園【幼稚園】	幼	35	館前の磯	青木慎哉
5 月 18 日	勝浦市立豊浜小学校	小	23	豊浜小前の磯	村田明久
5 月 21 日	御宿町立御宿小学校	〃	245	小波月海岸	柳研介
5 月 21 日	天津わかしお学校	〃	41	城崎海岸	菊地則雄
5 月 23 日	豊島区立竹岡健康学園	〃	19	富津市棚海岸	奥野淳兒
6 月 5 日	勝浦市立郁文小学校	〃	75	館前の磯	柳研介
6 月 5 日	勝浦市立豊浜小学校	〃	58	かざはやの磯	村田明久
7 月 3 日	学芸大学付属小金井小学校	〃	127	松部の磯	柳研介
7 月 3 日	勝浦市立上野小学校	〃	23	館前の磯	青木慎哉
7 月 4 日	いすみ市立千町小学校	〃	24	館前の磯	柳研介
7 月 12 日	茂原市立緑ヶ丘小学校	〃	34	館前の磯	柳研介
6 月 3 日	日本橋女学館中学・高等学校	中	20	館前の磯	菊地則雄・青木慎哉
7 月 10 日	学芸大学付属国際中学校	〃	84	館前の磯	川瀬裕司・柳研介
11 月 23 日	日本橋女学館中学・高等学校	〃	7	館前の磯	菊地則雄
8 月 1 日	東京都立科学技術高等学校	高	47	館前の磯	柳研介
8 月 2 日	埼玉県立熊谷西高等学校	〃	32	館前の磯	柳研介・青木慎哉
8 月 4 日	千葉県立岬高等学校	〃	14	館前の磯	奥野淳兒・青木慎哉
3 月 16 日	千葉県立岬高等学校	〃	4	館前の磯	菊地則雄
4 月 23 日～26 日	東京大学臨海実習	大	32	館前の磯	宮田昌彦・菊地則雄
7 月 27 日	東京海洋大学海洋環境学科	〃	114	館前の磯	柳・菊地・村田
5 月 27 日	東京大学大学院実習	院	7	館前の磯	菊地則雄

Data 4D.6　人材教育支援

事業名	実施日	日数	依頼団体	対象	参加者数	担当者
職場体験	6 月 9 日	1	勝浦市立郁文小学校	小学生	2	青木
職場体験	11 月 13 日～15 日	3	勝浦市立勝浦中学校	中学生	4	青木・柳・菊地
職場体験	8 月 22 日	1	勝浦市立総野小学校	小学生	3	青木
博物館実習	8 月 16 日～19 日	4	日本大学	大学生	2	青木・（全職員）
教員研修	6 月 22 日	1	千葉県高等学校理科部会	教員	10	柳研介
教員研修	8 月 1 日	1	千葉県総合教育センター	教員	24	菊地則雄・青木慎哉
教員研修	12 月 1 日	1	夷隅郡市理科部会	教員	1	柳研介

Data 4D.7　団体・行政支援（団体フィールドトリップ）

実施日	団体名（学校名）	参加対象	参加者数	実施場所	担当者
5 月 8 日	有秋公民館	小	33	館前の磯	柳研介
6 月 24 日	勝浦市・磯の生きもの探訪	小	33	館前の磯	川瀬裕司
7 月 7 日	睦沢町公民館　磯の生きもの観察会	小	9	館前の磯	村田・柳
7 月 19 日	市津公民館　磯観察、海藻おしば	小	42	館前の磯	菊地・青木
7 月 22 日	勝浦市教育研究会サマースクール磯観察	小	28	館前の磯	菊地則雄
8 月 1 日	千葉県総合教育センター	小	24	館前の磯	菊地・青木
8 月 19 日	千葉県夏休みサイエンススクール	小	40	館前の磯	柳・青木
6 月 22 日	千葉県高等学校理科部会	教員	10	館前の磯	柳研介
6 月 6 日	千葉県生涯大学校外房学園	一般	57	館前の磯	柳・菊地・青木
6 月 21 日	千葉シニア大学校	一般	47	館前の磯	奥野・青木
10 月 20 日	南房総環境クラブ	一般	3	館前の磯	菊地・柳
11 月 13 日	市原歩こう会	一般	17	鵜原理想郷	青木慎哉
2 月 28 日	千葉シニア大学校	一般	42	鵜原理想郷	青木・宮田

DATA 5. 情報発信

Data 5.2.1 ウェブサイトの更新

『教室博日記』（房総の山のフィールド・ミュージアム）

発信タイトル	発信者	件数
No. 1004 2012/04/06「むなしいヒキガエル」ほか	大木淳一	59
No. 1005 2012/04/06「ワサビ」ほか	尾崎煙雄	60
No. 1016 2012/05/04「波うつ地層」ほか	加藤久佳	7
No. 1049 2012/08/16「湖底に沈んだ遺跡」	島立理子	1

Data 5.2.2 メールマガジンの配信

配信月	4	5	6	7	8	9	10	11	11 号外	12	1	2	3
ちば中央博メール	1545	1538	1536	1534	1526	1524	1517	1522	1516	1520	1518	1523	1517
しいむじなメール	988	967	961	961	949	940	929	924		919	915	912	903
海からのたより	1057	1042	1028	1031	1028	1016	1006	999		993	986	985	976

①本館「ちば中央博メール」連載コラム『中央博の窓』

回次	記事名	著者	掲載巻次	掲載月
31	春の展示「芽ばえ」はじまる	大野啓一	68	4
32	生態園観察会「鳥のさえずり」	大庭照代	69	5
33	地学野外観察会「中央博周辺の地質・地形」	高橋直樹	70	6
34	でも「シカ」のこと	立和名明美	71	7
35	欠番			
36	「音環境調査会」活動中！	大庭照代	72	8
37	大利根分館の暑い夏の日	佐藤誠	73	9
38	大多喜の秋を楽しもう	立和名明美	74	10
39	恐竜展見学のポイントを伝授します！	加藤久佳	75	11
40	男性よりも女性の方がヤスデ好き？	萩野康則	76	12
41	旅大好き！　与謝野晶子が行く！！	内田龍哉	77	1
42	生態園のいきものたち	林紀男	78	2
43	博学連携ー学校とのかかわりを進めていますー	一場郁夫	79	3

②本館「ちば中央博メール」連載コラム『コラム　研究室から…』

回次	記事名	著者	掲載巻次	掲載月
5	１つの卵が 1500 匹の成虫に！	宮野伸也	68	4
6	さらに、キンウワバトビコバチ	宮野伸也	69	5
7	あなたの大切な場所の音を未来に伝えよう	大庭照代	70	6
8	3 つの地域のカモシカを比べる	落合啓二	71	7
9	ヤマビルはニホンジカが好き	落合啓二	72	8
10	海岸の化石	加藤久佳	73	9
11	ジゴクモエビ，ついに命名	駒井智幸	74	10
12	世界最高のティラノサウルス「パーフェクト・スタン」	伊左治鎮司	75	11
13	外来植物	斎木健一	76	12
14	有吉北貝塚からうかがえること	三浦和信	77	1
15	上から目線で地形景観をとらえる?航空斜め写真	八木令子	78	2
16	飼っている虫を放さないで！	斉藤明子	79	3

③分館海の博物館「海からのたより」連載コラム『研究員ノート』

記事名	著者	掲載巻次	掲載月
人の名前と生きものの名前	村田明久	86	4
磯遊びのすすめ	青木慎哉	87	5
「深い海」ってどんな海？	川瀬裕司	88	6
深海の大きなカニ	奥野淳兒	89	7
ノリの属名の変更について	菊地則雄	90	8
ヒメキンチャクガニ	柳研介	91	9
天災は忘れた頃にやってくる	本吉正宏	92	10
地味な写真	村田明久	93	11
勝浦の原風景と植物たち	青木慎哉	94	12
研究成果の公表	奥野淳兒	95	1
勝浦のキンメ漁	川瀬裕司	96	2
海藻はどのくらい深い海まで見られる？	菊地則雄	97	3

Data 5.2.4　デジタルミュージアムの公開（公開コンテンツ）

館名	コンテンツ名	備考
本館	地域の音が出る地図	新規
	維管束植物標本百選	新規
	ネパールと東南アジアのガ	新規
	梵天にみる房総の出羽三山信仰	新規
	おばあちゃんの畑プロジェクト	新規
	ききみみコレクション	
	耳たよりにプロジェクト	
	音の標本箱	
	野草・雑草検索図鑑	
	房総の山のケモノ	
	花の植物画集-カーチス植物学雑誌より-	
	館蔵浮世絵・屏風画紹介	
	房総の植物誌づくりと中央博物館	
	千葉県の毒きのこ	
	下総台地と周辺の貝化石	
	空からみた千葉県(1987・88 年)	
	千葉県の滝-所在と成因	
	故・林辰雄氏撮影写真集-昭和 30 年代の東京湾岸-	
	生態園植物歳時記	
	房総の山のフィールド・ミュージアム	削除。ホームページへ移動
	哺乳類の疑問解決	
	カラス大調査	
	カエル教室	
	浮世絵に見る江戸時代の園芸	
	房総の八チ 世界ハチ	
	百年前の千葉県「日本博覧図」	
	環境教育と千葉県	
	旅する地球の水	
大利根分館	水郷の原風景	
	むかしの道具	
	常設展示	削除。ホームページへ移動
大多喜城分館	甲冑展	
	武具のデザイン	
	火縄銃	
分館海の博物館	理想郷いきもの図鑑	新規
	勝浦深訪	新規
	磯の生きもの図鑑	
	館山の海底	

Data 5.3.3　職員の取材対応

①本館

■新聞・雑誌

	取材日	取材機関	取材内容	対応
1	4 月 1 日	ベネッセコーポレーション	夏休み中の博物館情報について	大庭照代
2	4 月 3 日	千葉日報 編集局 香取支局	写真展「私が獲った水郷 2012」	内田龍哉
3	4 月 5 日	千葉日報社	大原のシロバナタンポポについて	天野　誠
4	4 月 5 日	銚子よみうり	銚子市で予定されている植物調査の研修会について	斎木健一
5	4 月 5 日	大衆日報	銚子市で予定されている植物調査の研修会について	斎木健一
6	4 月 21 日	朝日新聞	とりの声キャッチ名人	大庭照代
7	4 月 25 日	読売新聞	「園芸ごよみ」欄への中央博物館生態系の季節の見どころ紹介掲載	原　正利
8	5 月 11 日	読売新聞地域情報紙マイタウン	24 年度企画展「シカとカモシカ」について	落合啓二
9	5 月 22 日	日経サイエンス	発電魚の進化について	宮　正樹
10	5 月 22 日	地域情報紙シティライフ	24 年度企画展「シカとカモシカ」について	落合啓二
11	5 月 31 日	朝日新聞千葉支店	房総の山フィールド・ミュージアム「おばあちゃんの畑」プロジェクトについて	島立理子
12	6 月 11 日	サンケイ新聞	千葉県のお宝紹介について・「サンケイリビング新聞」特集について相談	立和名明美
13	6 月 12 日	朝日新聞	発電魚の進化について	宮　正樹
14	6 月 25 日	読売新聞 東京本社	日本自然保護協会が行う自然しらべ「貝がらさがし!」について	黒住耐二
15	6 月 27 日	朝日新聞 和歌山支社	アマゾントチカガミについて	大野啓一
16	8 月 7 日	福音館書店	カイツブリ	大庭照代
17	8 月 18 日	ちば民報社	房総の山のフィールド・ミュージアム「山の学校 101」について	尾崎煙雄
18	8 月 21 日	朝日新聞	ウズマキゴカイについて	黒住耐二
19	9 月 9 日	有限会社キャップストーン	東京湾であがったメガマウスザメの写真	宮　正樹
20	9 月 11 日	東京新聞 千葉支局	企画展「シカとカモシカ-日本の野生を生きる-について」	落合啓二
21	9 月 13 日	南日本新聞・南海日々新聞・大島新聞	沖永良部の洞窟遺跡調査について	黒住耐二
22	10 月 10 日	朝日新聞千葉総局	千葉県の海の生物について基礎知識の聞き取り	立川浩之
23	10 月 17 日	読売新聞	20 日からはじまる特別展「ティラノサウルス」取材。	立和名明美
24	10 月 19 日	千葉日報社・サンケイリビング新聞社	特別展「ティラノサウルス」について	高橋直樹
25	10 月 28 日	産経新聞　千葉総局	特別展「ティラノサウルス-肉食恐竜の世界-」取材。	立和名明美
26	11 月 10 日	朝日新聞東京本社	生物多様性及び生物多様性地域戦略について	中村俊彦
27	11 月 19 日	Evernote Japan	情報管理ソフト Evemote の活用法について	宮　正樹
28	12 月 3 日	朝日新聞千葉総局	房総半島周辺の海と生物に関する基礎知識について	宮　正樹
29	12 月 18 日	読売新聞 千葉支局	世界最大のトド石の取材・撮影	立和名明美
30	12 月 26 日	東京新聞 千葉支局	トド化石の経緯および房総の山のフィールド・ミュージアム事業の取材	大木淳一
31	12 月 30 日	山形大学人文学部	ペルー・ナスカの地上絵付近で確認された海産貝類について	黒住耐二
32	1 月 9 日	読売新聞 千葉支局	「会津藩土水泳」額	立和名明美
33	1 月 17 日	ダイヤモンド・ビック社・チャイナ・インベストメント・マネジメント・インフィニティ・コミュニケーションズ・ファイネックス・千葉県インバウンドおもてなし事務局	千葉県が行っている「海外からの個人旅行客に対する県内受入体制強化事業」に判う、メディアモニターツアー	立和名明美
34	2 月 6 日	千葉大学園芸学部	千葉県いすみ市で発見された新種植物イスミスズカケ(千葉県固定有種、絶滅危惧種)について	斎木健一
35	2 月 13 日	読売新聞松戸通信部	千葉県いすみ市で発見された新種植物イスミスズカケ(千葉県固定有種、絶滅危惧種)について	斎木健一
36	2 月 19 日	毎日新聞・東京本社	"飛ぶ"バカガイについて	黒住耐二
37	3 月 5 日	あさひ砂の彫刻美術展実行委員会	ティラノサウルスの砂像の展示について	伊佐治鎭司
38	3 月 15 日	朝日新聞 千葉支局	佐倉城社の森について・口頭で質問に答えた	原　正利

■ テレビ・ラジオ

	取材日	取材機関	取材内容	対応
1	4 月 10 日	NHK 千葉放送局	春の展示「芽ばえ」紹介のための番組主演打ち合わせ	大野啓一
2	4 月 16 日	千葉テレビ	春の展示「芽ばえ」の番組での紹介について	大野啓一
3	4 月 20 日	日本テレビ	「ZIP!」貝に関する質問	黒住耐二
4	5 月 13 日	千葉県鎌ヶ谷高校放送部	学校放送コンクールに出品する放送作品・とりの声キャッチ名人	大庭照代
5	5 月 15 日	NHK 教育	「E テレ キッズ」　カタツムリに関する質問	黒住耐二
6	6 月 6 日	共同テレビジョン	まごころ配達人・企画展「シカとカモシカ」にからめた番組制作について	立和名明美
7	6 月 21 日	NHK 千葉放送局	房総の山フィールド・ミュージアム「おばあちゃんの畑」プロジェクトについて	島立理子
8	7 月 11 日	千葉テレビ	企画展「シカとカモシカ」の取材及び撮影	立和名明美
9	8 月 13 日	NHK 千葉放送局	24 年度企画展「シカとカモシカ」について	落合啓二
10	8 月 27 日	千葉テレビ	"カラスガイについて"	黒住耐二
11	9 月 2 日	TBS テレビ	ヤマビルについて	落合啓二
12	9 月 25 日	NHK 千葉放送局	印旛沼の埋土種子から蘇らせた水生植物について	林　紀男
13	10 月 4 日	NHK 長崎放送局	長崎県松浦市鷹島の沈船付近で撮影された貝類について	黒住耐二
14	10 月 20 日	NHK 千葉放送局	特別展「ティラノサウルスー肉食恐竜の世界ー」取材。	立和名明美
15	10 月 23 日	千葉テレビ	平成 24 年度特別展「ティラノサウルスー肉食恐竜の世界ー」の取材	岡崎浩子
16	11 月 15 日	ジャパンケーブルネットワーク千葉	ティラノサウルス展について	伊佐治鎭司
17	11 月 15 日	JCN 千葉	ティラノサウルス展の入場者について	乙竹孝文
18	12 月 4 日	茨城県　美浦村教育委員会	美浦村 陸平貝塚出土の微小貝類遺体について（史跡展示室上映用ビデオの制作）	黒住耐二
19	12 月 12 日	テレビ朝日「やじうまテレビ」	世界最大のトド化石の取材・撮影及び採取地点の撮影	立和名明美
20	1 月 18 日	NHK 千葉放送局	NHKFM 千葉「ひるどき情報ちば」出演(電話出演)。関博協共同企画展「水郷を旅する人々」について	立和名明美
21	3 月 19 日	千葉テレビ	春の展示「ナッツ&ベリー」展の紹介。テレビ撮影(録画)	立和名明美
22	3 月 29 日	テレビ東京	番組「所さんの学校では教えてくれないんそこトコロ!」。バイは、いつから食べられていたか?	黒住耐二

■ テレビ・新聞

	取材日	取材機関	取材内容	対応
1	10 月 15 日	朝日新聞 globe・千葉テレビ報道部・恐竜パンテオン	カルノタウルス公開組み立て	立和名明美
2	10 月 27 日	千葉日報・千葉テレビ	10 月 27 日開催の「駐目各国大使館員モニターツアー」の大多喜城分館見学時の同行取材。	立和名明美
3	12 月 7 日	千葉テレビ放送・朝日新聞・東京新聞・時事通信・千葉日報・日本経済新聞・毎日新聞・共同通信	世界最大のトド化石の解説及び撮影会	立和名明美

②大利根分館

	メディア	取材日	取材機関	取材内容	対応
1	新聞・雑誌	4 月 19 日	エリート情報 香取支社	写真展「私が獲った水郷 2012」	佐藤　誠
2	新聞・雑誌	5 月 3 日	朝日新聞 千葉総局	企画展「水郷を旅した人々Ⅱ」	佐藤　誠
3	新聞・雑誌	5 月 26 日	千葉日報社 編集局 香取支局	企画展「水郷を旅した人々Ⅱ」	佐藤　誠
4	新聞・雑誌	6 月 5 日	朝日新聞 千葉総局	研究論文に関する取材	佐藤　誠
5	新聞・雑誌	6 月 15 日	朝日新聞 千葉総局	連載企画のための調査	佐藤　誠
6	新聞・雑誌	7 月 22 日	香取市役所 秘書広報課	夏休み子供向けイベント「ザリガニ釣り」	佐藤　誠
7	新聞・雑誌	7 月 29 日	読売新聞東京本社 成田支局	収蔵品展「空飛ぶいきものたち」	佐藤　誠
8	新聞・雑誌	8 月 26 日	香取市役所 秘書広報課	夏休み子供向けイベント「申冑を着てみよう!」	佐藤　誠
9	新聞・雑誌	9 月 15 日	毎日新聞 成田支局	水郷十六島のイチジクについて	糖谷　隆
10	新聞・雑誌	9 月 23 日	毎日新聞 成田支局	なぜ利根川の向こうに千葉県があるのかや、利根川下流の渡船について	糖谷　隆
11	新聞・雑誌	3 月 3 日	千葉日報社 編集局 香取支局	東京成徳大学共催講座「十二単体験」	佐藤　誠
1	テレビ・ラジオ	5 月 29 日	千葉テレビ放送 報道局報道部	企画展「水郷を旅する人々Ⅱ」	佐藤　誠

③大多喜城分館

	メディア	取材日	取材機関	取材内容	対応
1	新聞・雑誌	4 月 27 日	千葉日報社	写真展「大多喜城の四季」	地引尚幸
2	新聞・雑誌	5 月 22 日	合同会社さくら編集工房	雑誌『クラブ MJ マガジン』の取材及び撮影について	村田憲一
3	新聞・雑誌	6 月 1 日	アドベンチャージャパン	雑誌『ADVENTURE　JAPAN』の雑誌及び撮影にいて	村田憲一
4	新聞・雑誌	7 月 6 日	ムービアイ	JCOM 情報バラエティ番組『快撮』の取材について	村田憲一
5	新聞・雑誌	8 月 7 日	千葉日報	収蔵資料展「絵図と絵画」	福原宣之
6	新聞・雑誌	9 月 12 日	千葉日報	学習支援 出前授業「甲冑・小袖の試着体験」	地引尚幸
7	新聞・雑誌	10 月 24 日	千葉日報社	企画「上総の仏教美術～夷偶・長生～」について	村田憲一
8	新聞・雑誌	10 月 26 日	朝日新聞	企画「上総の仏教美術～夷偶・長生～」について	村田憲一
9	新聞・雑誌	12 月 27 日	サンケイリビング新聞社エリア事務局	地域情報誌『リビングちば』『リビングふなばし・ならしの』の記者作成に係る取材及び撮影	村田憲一
10	新聞・雑誌	1 月 5 日	有限会社 アクロ	大多喜分館外観撮影	地引尚幸
11	新聞・雑誌	1 月 30 日	朝日新聞	大多喜城について	福原宣之
12	新聞・雑誌	2 月 14 日	プラボー・フィルム	大多喜分館の外観を利用した旅の CM 撮影について	村田憲一
13	新聞・雑誌	3 月 1 日	小学館	本多忠勝について	村田憲一
14	新聞・雑誌	3 月 12 日	ブエノ	大多喜城分館の概要について ゴールデンウィークの行事等について	村田憲一
15	新聞・雑誌	3 月 12 日	ユニオン映画	テレビ番組の撮影について	村田憲一
16	新聞・雑誌	3 月 23 日	ドリームアップカンパニー	テレビ番組の撮影について	村田憲一
1	テレビ・ラジオ	4 月 13 日	ジャパン・エフエム・ネットワーク	ラジオ番組に係る取材及び撮影について	村田憲一

③分館海の博物館

	メディア	取材日	取材機関	取材内容	対応
1	新聞・雑誌	6 月 5 日	千葉日報社	カタクチイワシ大量打ち上げについて	川瀬裕司
2	新聞・雑誌	6 月 15 日	千葉日報	博物館探検隊について	菊池則雄
3	新聞・雑誌	7 月 31 日	千葉日報	収蔵資料展について	村田明久
4	新聞・雑誌	8 月 3 日	千葉日報	磯・いそ探検隊について	村田明久
5	新聞・雑誌	8 月 23 日	株式会社サンエイティ月刊ダイバー編集部	沖縄のエビ最新事情の監修について	奥野淳兒
6	新聞・雑誌	10 月 5 日	千葉日報	都川で採集されたエビ 2 種について	奥野淳兒
7	新聞・雑誌	10 月 18 日	朝日新聞千葉総局	ダイバーズフォトギャラリーについて	柳　研介
8	新聞・雑誌	11 月 1 日	千葉日報	写真展「～ダイバーズフォトギャラリー～勝浦の海をゆく」について	青木慎哉
9	新聞・雑誌	11 月 14 日	朝日新聞千葉総局	写真展ダイバーズフォトギャラリー 勝浦の海をゆく取材(現地)	青木慎哉
10	新聞・雑誌	12 月 6 日	毎日新聞千葉支局	写真展ダイバーズフォトギャラリー 勝浦の海をゆく取材(電話)	青木慎哉
11	新聞・雑誌	2 月 22 日	佐賀新聞	アサクサノリについて	菊池則雄
12	新聞・雑誌	2 月 22 日	読売新聞	企画展示「チーバくんと学ぶ 深い海に暮らす生き物たち」の内容紹介	川瀬裕司
13	新聞・雑誌	2 月 28 日	共同通信社千葉支局	マリンサイエンスギャラリーについて	柳　研介
1	テレビ・ラジオ	4 月 3 日	株式会社日企	ノリの糸状体の培養について	菊池則雄
2	テレビ・ラジオ	6 月 8 日	株式会社日企	アサクサノリ養殖試験について(日本テレビ系列の番組製作)	菊池則雄
3	テレビ・ラジオ	7 月 6 日	NHK エンタープライズ	シッポウフグ属の 1 種の繁殖生態について	川瀬裕司
4	テレビ・ラジオ	7 月 12 日	NHK 千葉放送局	収蔵資料展について	奥野淳兒
5	テレビ・ラジオ	12 月 19 日	NHK 千葉放送局	FM ラジオ「ひるどき情報ちば」について	奥野淳兒
6	テレビ・ラジオ	12 月 21 日	NHK 千葉放送局	FM ラジオ「ひるどき情報ちば」について	奥野淳兒
7	テレビ・ラジオ	2 月 28 日	NHK	アサクサノリについて	菊池則雄
8	テレビ・ラジオ	3 月 15 日	NHK 千葉放送局	企画展示「チーバくんと学ぶ 深い海に暮らす生き物たち」の内容紹介	川瀬裕司

Data 5.3.4　メディア掲載（新聞雑誌掲載記事）

①本館

発行日	新聞名・雑誌名	記事名
4 月 1 日	初等理科教育 2012 年 4 月号	連載　小学校と博物館の連携を考える 13：展示をじっくり「観る」仕掛け：中央博調査隊
4 月 8 日	毎日新聞	被災地の博物館に聞く　国立歴史民俗博物館編（吉川弘文館）　歴史資料の救出を通じた地域復興の試み
4 月 11 日	千葉日報	白いタンポポ見つけた　いすみの路地脇
4 月 17 日	朝日新聞	この本大好き「たんぽのおばけタニシ」　那須塩原市立稲村小　2 千の卵リアルでびっくり
4 月 22 日	朝日新聞	アプリで判別　鳥のさえずり　県立中央博で観察会
4 月 30 日	千葉日報	忙人寸語　[クモ展についてコメント：数年前、県立中央博物館で開かれた企画展を思い出した。]
5 月 6 日	千葉日報	桜、雪、27 の大多喜城　県立中央博分館で写真展
6 月 1 日	教育広報　夢気球（千葉県教育委員会）v.44	平成 24 年度千葉県夢チャレンジ体験スクール　サイエンススクール
6 月 15 日	千葉教育 2012(6)	千葉県教育委員会からのお知らせ　ちば文化発信プロジェクト事業
6 月 25 日	日経サイエンス 2012.8	Information 企画展・特別展
6 月 27 日	朝日新聞夕刊 10 面	アフリカ・南米　電気魚のビリリ、同時期に発達
7 月 7 日	千葉日報	国内 2 大草食獣　違いは？　県立中央博物館　シカとカモシカ企画展　動物公園や科学館と連携も
7 月 7 日	シティライフ外房中央版 817	夏はシカ博士、カモシカ博士になろう　楽しさいっぱい、驚きいっぱいの博物館
7 月 7 日	シティライフ市原版 1126	夏はシカ博士、カモシカ博士になろう　楽しさいっぱい、驚きいっぱいの博物館
7 月 17 日	千葉日報	家族で県立美術館・博物館に　小中学校新入生に無料入場券
7 月 31 日	読売新聞多摩版	自然しらべ 2012 貝がらさがし　拾ったらヒーロー　（福岡県で採取されたアオイガイを手にする黒住さん）
8 月 2 日	日経サイエンス	Information 企画展・特別展
8 月 5 日	ちば県民だより 2012.8	県民ひろば　講座・催し　歴史学講座「浮世絵を支える技術」
8 月 6 日	千葉日報	昨年度の県立美術館・博物館　過去最多 110 万 8 千人来場「山下清展」入場者の記録更新[出羽三山と山伏　3 万 6 千]
8 月 9 日	読売新聞京葉	自然しらべ 2012 貝がらさがし！　上　拾ったらヒーロー（福岡県で採取されたアオイガイを手にする黒住さん）
8 月 11 日	読売新聞	自然しらべ 2012 貝がらさがし！　下　人工海浜　消えた巻き貝
8 月 15 日	読売新聞南信 2	自然しらべ 2012　貝がらさがし！
8 月 16 日	千葉日報	子供向けに多彩な企画　県内文化施設、県警も協力　そごう千葉店
8 月 20 日	県教委ニュース　2012.8-2 v.100	「シカとカモシカ　日本の野生を生きる」開催中[星野直子氏による記念講演の記事]
8 月 21 日	ぐるっと千葉 2012.9 146 号	読者のページ　あじょあじょ　遊んで来ました
8 月 22 日	朝日新聞	「藻塩焼き」縄文が起源　万葉集に登場　ゴカイで証明
9 月 12 日	奄美新聞	祭祀遺跡の可能性　知名町住吉・鳳雛洞遺跡　鹿大など 11 機関調査　炉跡やグスク系土器を確認
9 月 14 日	東京新聞	角の違い知ってネ　シカ・カモシカ展　千葉市で 17 日まで
10 月 1 日	すずがも通信 196	シカとカモシカ展/どうぶつ大行進：博物館と美術館のハシゴだぞ
10 月 1 日	芸術文化振興基金文化芸術振興費補助金助成事業事例集平成 23 年度	12 出羽三山と山伏：はるかなる神々の山を目指して（活動概要/助成を受けて）
10 月 15 日	千葉教育 2012(10) no.611	千葉県教育委員会からのお知らせ　特別展「ティラノサウルス：肉食恐竜の世界」in 県立中央博物館
10 月 19 日	読売新聞	知事賞に石塚さん、生浜高　学生科学省県審査　中央審査に 12 点　審査委員　古木達郎（千葉県立中央博物館）
10 月 19 日	YOMIURI ONLINE	恐竜　あすから千葉で特別展
10 月 19 日	読売新聞	迫力肉食恐竜　あすから千葉で特別展
10 月 21 日	千葉日報	迫力の恐竜骨格　頭骨や卵など 60 点
11 月 9 日	毎日新聞	ティラノサウルス：肉食恐竜の世界
12 月 1 日	日本経済新聞	へっぴり腰の研究が科学書に、自分でも不思議　団体オヤジのナメクジ探索　写真：文献提供などでお世話になった千葉県立中央博物館の黒住さんに出版の報告をする著者
12 月 2 日	朝日新聞グローブ　The Asahi Shimbun Globe.2	恐竜にあいたくて：目が肥えるファン。曲がり角の展覧会ビジネス
12 月 8 日	毎日新聞	雑記帳　世界最大級となるトドの仲間の顎の化石…
12 月 8 日	朝日新聞	90 万年前のトド化石　市原で発見　県立中央博博物館　世界最大、体長推定 5 メートル

12 月 8 日	千葉日報	絶滅種　現在の 1.5 倍　県立中央博 24 日まで展示　体長 5 メートル、体重 3 トンか（7 面）/　市原で世界最大級、トドの化石発見(1 面）
12 月 8 日	日本経済新聞	窓[市原市の 90 万年前の地層からトドの仲間のあごの化石が見つかったと発表した]
12 月 9 日	読売新聞	最大級トド近縁種の化石　県立中央博物館 90 万年前の地層で発見　24 日まで展示
12 月 15 日	日本経済新聞	ようこそ定年　泰然ナメクジ考 3
12 月 23 日	読売新聞	イノシシ駆除に難題　肉からセシウム検出　食用目的捕獲できず
1 月 1 日	朝日新聞	黒潮と親潮出合う房総の海（響け　人間賛歌　まんが家ちばてつやさんから年賀状）
1 月 13 日	読売新聞	くろしお　房総史と大河の接点[「会津藩士水泳の額」レプリカ展示]
1 月 14 日	東京新聞	かお　Chiba People　大木淳一さん　自然のおもしろさ紹介　世界最大のトド化石を発見　県立中央博物館研究員
2 月 1 日	読売新聞新聞回収袋	美術館・博物館めぐり　房総の自然を見て触れる学べる博物館　千葉県立中央博物館/企画展 NEWS　ナッツ＆ベリー展/ミュージアムショップ/軽食喫茶あおば/名建築に注目　建築家＝白川明/青葉の森公園
2 月 18 日	朝日新聞	チーバくんの Q　記者に聞く　房総のニホンザルに雑種が広がる　絶滅の危機アカゲザル捕獲へ
2 月 18 日	読売新聞夕刊	スズカケソウ　千葉に新種　千葉大など調査で
2 月 18 日	YOMIURI ONLINEWeb	千葉に新種の植物「イスミスズカケ」と命名
2 月 18 日	千葉大学大学院園芸学研究科・園芸学部 Web	千葉県いすみ市で発見された新種植物イスミスズカケ（千葉県固有種、絶滅危惧種）について
2 月 19 日	msn 産経ニュース Web	いすみ市に新種植物「イスミスズカケ」　千葉大が確認
2 月 20 日	JAPAN PRESS NETWORK 47 NEWSWeb	千葉で新種植物発見、標本公開「イスミスズカケ」と命名（共同通信）
2 月 20 日	スポニチ Web	千葉で新種植物発見の「イスミスズカケ」標本公開
2 月 20 日	産経新聞	いすみに新種の種子植物　イスミスズカケ　千葉大確認
2 月 21 日	千葉日報	イスミスズカケ　いすみで新種植物発見　千葉大などの研究チーム
2 月 21 日	読売新聞	千葉の新種　見に来て　県立中央博博物館　イスミスズカケ公開
2 月 24 日	毎日新聞	新種の種子植物発見　イスミスズカケと命名　千葉大大学院と県立中央博物館　83 歳ボランティアお手柄
3 月 3 日	毎日新聞	余録[バカガイの海面飛行]
3 月 5 日	朝日新聞	観察半世紀　夢の新種　イスミスズカケ、茂原の野口さん発見　保護これからの課題
3 月 10 日	子供の科学 76(3) p.9	KOKA TOPICS　News11 古生物学　世界最大のトド化石を発見！
3 月 17 日	千葉日報	千葉の名産、深く知ろう　中央博で「ナッツ&ベリー」展
3 月 31 日	平成 24 年度教育事情調査研究報告書　第 42 集（船橋市教育事情調査研究協議会）	県内外の博物館施設における調査研究　教育機関での情報、データの収集（生物分野）　船橋市立船橋高等学校　教諭　對島浩二 p.68-75
8 月 1 日	MAKINO93 p11	第 647 回野外研究会 2012.2.19 千葉県立中央博物館
9 月 2 日	ちば民報	自然が舞台の博物館

②大利根分館

発行日	新聞名・雑誌名	記事名
6 月 8 日	千葉日報	文豪も愛した水郷：香取・県中央博分館で企画展　足跡や作品で美しさ紹介
8 月 17 日	読売新聞	空飛ぶ生き物ずらり
8 月 21 日	朝日新聞	鳥見の丘、一之宮神社か　常陸風土記で景行天皇が立った地　中央博物館大利根分館佐藤・城跡研究員　門外不出の古文書解析
9 月 26 日	毎日新聞	利根川北岸　茨城側に千葉県香取市　水郷の民が守った飛び地
3 月 4 日	千葉日報	宮中衣装でひな祭り　十二単気付け体験　香取の大利根分館

③大多喜城分館

発行日	新聞名・雑誌名	記事名
5 月 20 日	日本の城郭完全名鑑	大多喜城　p.50/ p.16-17
6 月 20 日	毎日新聞	大多喜で大河ドラマを　城主･本多忠勝親子主人公に　町が誘致活動に熱[大多喜城写真掲載]
7 月 6 日	千葉日報	県立美術館が 2 年休館　来年 1 月から耐震化工事　外部展示会できず　[大多喜城分館でも耐震化工事を予定している]
8 月 9 日	千葉日報	鹿角のかぶと、采配を手に　貴重な本多忠勝肖像画も　「絵図と絵画」収蔵品展　県立中央博物館大多喜城分館
9 月 14 日	千葉日報	本物仕様の甲冑体験　大多喜城分館　西畑小で出前授業
10 月 1 日	読売新聞	武者行列　街を練り歩く　大多喜お城まつり
10 月 31 日	千葉日報	ラストサムライと歓喜　大使館員が甲冑試着
11 月 14 日	千葉日報	貴重な仏像、仏画、仏具「上総の仏教美術」紹介　非公開「木造阿弥陀如来坐像」も
12 月 1 日	広報いすみ 85	いすみ市文化財散歩　第 16 回　木造阿弥陀如来坐像
12 月 25 日	ムゼイオン 58　p.65-66	2011 年度博物館実習（実務）の成果：　千葉県立中央博物館　大多喜城分館
3 月 29 日	朝日新聞	関東城めぐり　大多喜城　本多氏の威光は今も

④分館海の博物館

発行日	新聞名・雑誌名	記事名
6 月 6 日	千葉日報	海底から次々浮上　大原漁港　大量のイワシ死骸
8 月 7 日	千葉日報	勝浦・海の博物館　海のカニ・川のカニ展　千差万別な姿楽しんで
8 月 14 日	千葉日報	ちば水辺の風景 4：生き物の宝庫に触れ歓声　海の博物館前の磯場
12 月 19 日	千葉日報	勝浦・写真展「ダイバーズフォトギャラリー」
12 月 20 日	朝日新聞	ダイビングスポット　勝浦の海　人気上昇　多彩な生物とらえた写真展　開催　海の博物館
12 月 20 日	千葉日報	地元ダイバーが写真展　海の博物館　回遊魚群、擬態魚　勝浦沖の住人　プロの技で紹介
2 月 17 日	千葉日報	“深海の住民”70 点紹介　水深 500 メートル、地元漁師が協力　勝浦・海の博物館で企画展
2 月 20 日	朝日新聞	深海の生き物標本ずらり　勝浦・海の博物館
2 月 27 日	佐賀新聞ニュース Web	絶滅危惧のアサクサノリ　佐志川河口で確認

⑤職員執筆の新聞連載

館名	新聞名	連載名	発行日	記事名	執筆者
本館ほか	朝日新聞	チーバくんの Q 中央博を訪ねる	4 月 3 日	芽を見ればどんな植物かわかる？	大野啓一
			5 月 8 日	鳥の歌声、聴き入ってみれば…	大庭照代
			6 月 5 日	「水郷」と呼ばれる場所があるよ	佐藤 誠
			7 月 4 日	シカとカモシカ一体どう違うの？	落合啓二
			8 月 7 日	千葉の海には様々なカニがいるね　300 種以上　多様な環境のお陰	奥野淳兒
			9 月 25 日	サンゴってどんな生き物なの？　クラゲの親戚　房総にも生息	立川浩之
			10 月 23 日	ムカデやヤスデどんな生き物？　環境維持に貢献　千葉固有種も	萩野康則
			11 月 20 日	上総には古くから仏教が伝えられたよ	村田憲一
			12 月 13 日	ティラノサウルス完全骨格展示中　肉食恐竜が鳥の先祖、定説だよ	伊左治鎭司
			1 月 22 日	市原で 21 年にわたる遺跡発掘調査　古くは旧石器時代の出土物も	三浦和信
			3 月 5 日	調査隊員になって観察してみよう　生き物・歴史とことん追求	一場郁夫
			3 月 26 日	春になると現れるミジンコ　秘密は　腹にフィルター水を透明に	林紀男
海の博物館	千葉日報	名前の秘密 海の生きもの編	4 月 2 日	3：竜宮城に縁？　乙姫、大王も	村田明久
			4 月 16 日	4：針金ではないハリガネ	〃
			4 月 23 日	5：人々に親しまれる証し　「ぽんぽんげー」などの地方名	〃
	千葉日報	チーバくんと学ぶ 深い海に暮らす生きものたち	2 月 11 日	1：人はどれくらい深くまで潜れる？　深い海の過酷な環境	川瀬裕司
			2 月 25 日	2：ウナギって深海魚？　深海で生まれ川で育つ	〃
			3 月 11 日	3：勝浦のキンメ漁　自主規制で資源を管理	〃
			3 月 25 日	4：キンメ漁で混獲される魚　市場に出る魚と出ない魚	〃

DATA 7　団体入館状況（種類・地域内訳）

本館（生態園を含む）

郡	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者	老人介護	一般	合計
	千葉市	2	5	2	32	3		19	18	10	3	9	17	120
葛南	市川市				1								2	3
	船橋市				1					1		1	6	9
	習志野市	1			2			3				1	1	8
	八千代市				2					2			1	5
	浦安市												1	1
東葛飾	松戸市				2			1		1				4
	野田市										2			2
	柏市													0
	流山市												1	1
	我孫子市													0
	鎌ケ谷市				2									2
北総	銚子市													0
	成田市				4									4
	佐倉市				3			1	1	1			2	8
	旭市													0
	四街道市				1	1								2
	八街市													0
	印西市		1		1									2
	白井市				1					1				2
	富里市									1				1
	匝瑳市				1					1				2
	香取市				1									1
	栄町													0
	酒々井町												2	2
	神崎町													0
	多古町				1								6	7
	東庄町													0
東上総	茂原市		1								1			2
	東金市				1									1
	勝浦市													0
	山武市									1				1
	いすみ市				1									1
	横芝光町													0
	芝山町													0
	九十九里町										1			1
	大網白里町													0
	白子町												1	1
	長柄町				1									1
	長南町													0
	睦沢町													0
	一宮町													0
	御宿町													0
	大多喜町		1	1	1			2						5
	長生村													0
南房総	館山市				2									2
	木更津市												2	2
	市原市				2					1	1		1	5
	鴨川市	1												1
	君津市		1								1		2	4
	富津市												3	3
	袖ケ浦市		1											1
	南房総市			1										1
	鋸南町													0
県外				2	4		1			1			7	15
海外														0
合計		4	10	6	67	4	1	26	19	21	9	11	55	233

20 名以上のグループを団体とした。

大利根分館

郡	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者	老人介護	一般	合計
	千葉市			1	2								1	4
葛南	市川市				8									8
	船橋市				1									1
	習志野市													0
	八千代市				3									3
	浦安市													0
東葛飾	松戸市													0
	野田市													0
	柏市				5									5
	流山市													0
	我孫子市				3									3
	鎌ケ谷市				1									1
北総	銚子市				1									1
	成田市													0
	佐倉市				7									7
	旭市				5									5
	四街道市				2									2
	八街市				2									2
	印西市				1									1
	白井市													0
	富里市													0
	匝瑳市				1									1
	香取市				11			1				1	1	14
	栄町													0
	酒々井町													0
	神崎町				2									2
	多古町				2									2
	東庄町				1									1
東上総	茂原市													0
	東金市													0
	勝浦市													0
	山武市													0
	いすみ市													0
	横芝光町													0
	芝山町													0
	九十九里町													0
	大網白里町				2									2
	白子町													0
	長柄町													0
	長南町													0
	睦沢町													0
	一宮町													0
	御宿町				1									1
	大多喜町													0
	長生村													0
南房総	館山市													0
	木更津市													0
	市原市													0
	鴨川市													0
	君津市													0
	富津市				1									1
	袖ケ浦市													0
	南房総市													0
	鋸南町													0
県外					6								2	8
海外														0
合計		0	0	1	68	0	0	1	0	0	0	1	4	75

大多喜城分館

郡	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者	老人介護	一般	合計
	千葉市		1							1			16	18
葛南	市川市									1	1		3	5
	船橋市												11	11
	習志野市												1	1
	八千代市												1	1
	浦安市												2	2
東葛飾	松戸市												3	3
	野田市												1	1
	柏市										1		3	4
	流山市												3	3
	我孫子市	1											1	2
	鎌ケ谷市													0
北総	銚子市												1	1
	成田市													0
	佐倉市												3	3
	旭市												1	1
	四街道市													0
	八街市													0
	印西市													0
	白井市													0
	富里市													0
	匝瑳市													0
	香取市												5	5
	栄町												1	1
	酒々井町												1	1
	神崎町													0
	多古町													0
	東庄町													0
東上総	茂原市												5	5
	東金市	2											1	3
	勝浦市												1	1
	山武市								1				1	2
	いすみ市			2	1								4	7
	横芝光町													0
	芝山町													0
	九十九里町										1			1
	大網白里町													0
	白子町													0
	長柄町													0
	長南町				2									2
	睦沢町													0
	一宮町													0
	御宿町							1						1
	大多喜町		2		1			1					3	7
	長生村													0
南房総	館山市												3	3
	木更津市										1		1	2
	市原市					2							7	9
	鴨川市												1	1
	君津市									1			5	6
	富津市													0
	袖ケ浦市												1	1
	南房総市													0
	鋸南町													0
県外		0	0	0	0	0	5	0	0	0	2	0	76	83
海外														0
合計		3	3	2	4	2	5	2	1	3	6	0	166	197

県名	大学	高校	中学校	小学校	特別	各種	保育所	幼稚園	子ども	身障者	老人	一般	合計
茨城県												13	13
栃木県												9	9
群馬県												10	10
埼玉県												16	16
東京都						5				1		17	23
神奈川県										1		9	10
静岡県												1	1
長崎県												1	1

分館海の博物館

郡	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者	老人介護	一般	合計
	千葉市	3		2									7	12
葛南	市川市								1	2				3
	船橋市													0
	習志野市													0
	八千代市								1		1			2
	浦安市													0
東葛飾	松戸市													0
	野田市													0
	柏市													0
	流山市													0
	我孫子市													0
	鎌ケ谷市													0
北総	銚子市	1												1
	成田市													0
	佐倉市													0
	旭市													0
	四街道市													0
	八街市													0
	印西市													0
	白井市													0
	富里市													0
	匝瑳市													0
	香取市													0
	栄町													0
	酒々井町													0
	神崎町													0
	多古町													0
	東庄町													0
東上総	茂原市				2								3	5
	東金市													0
	勝浦市				3								4	7
	山武市												1	1
	いすみ市		2		3	2							2	9
	横芝光町													0
	芝山町													0
	九十九里町													0
	大網白里町													0
	白子町													0
	長柄町													0
	長南町													0
	睦沢町												1	1
	一宮町													0
	御宿町										1			1
	大多喜町				1									1
	長生村													0
南房総	館山市													0
	木更津市			1									1	2
	市原市												3	3
	鴨川市													0
	君津市									2				2
	富津市													0
	袖ケ浦市				1									1
	南房総市									1			1	2
	鋸南町													0
県外		4	6	3	25	1					1	1	16	57
海外														0
合計		8	8	6	35	3	0	0	2	5	3	1	39	110

所在地

千葉県立中央博物館（本館・生態園、房総の山のフィールド・ミュージアム連絡先）
〒260-8682　千葉市中央区青葉町 955-2
TEL 043-265-3111　FAX 043-266-2481

千葉県立中央博物館大利根分館
〒287-0816　香取市佐原ハ 4500
TEL 0478-56-0101　FAX　0478-56-1456

千葉県立中央博物館大多喜城分館
〒298-0216　夷隅郡大多喜町大多喜 481
TEL 0470-82-3007　FAX 0470-82-4959

千葉県立中央博物館分館海の博物館
〒299-5242　勝浦市吉尾 123
TEL 0470-76-1133　FAX 0470-76-18

千葉県立中央博物館年報 25　平成 24 年度

編集・発行　千葉県立中央博物館
〒260-8682 千葉市中央区青葉 955-2
TEL 043-265-3111　FAX 043-266-2481
http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/

発 行 日　2013 年 12 月 15 日